

明治廿八年二月十四日

語学材料

随、庵主

第六

人種考 天孫氏考 言語

大歌集^故小橋川朝昇ノ纂ノ凡例ニ

一 神歌ハ御唄ナリ遠キ神代ノ昔ハコレヲ以テ天地ヲ動カシ鬼神ヲ泣シムトカヤ然ルニ末ノ代ニ至テハ適職官ト雖トモ
往古綴リオキシ成句ヲ唱フノミニテ其意趣ハ何物タルコトヲ知サルソ嘆カシセメテ今伝ルモノサヘ失ハズシテ古ノ道ニ
心ヲ尽サハ好古ノ君子ト云ヘシ

此歌ハ千蔭ノ略解^下廿八ニアリ

円珠庵雜記ニ 神のやしろ又みむろといへり

万葉ニ 長歌 わがやどに みむろをたてゝまくらべに いはひべをすゑたかまをまふくぬきたれ云々

即チ神ノ居ス所ニテ唄フ故ニオモロウタナド云フヨリ遂ニオモロトナリシカ

一 オモロハオモヒニテ即チ歌ト云フ意ナリ

琉球神道記 弁蓮社 袋中集 万曆三十三年四月ノ序アリ

一 きんまもん事

昔此国初未タ人アラサル時天ヨリ男女二人下リシ男ヲしねりきゆト女ヲあまきゆト云二人舎ヲ並テ居ス此時此島尚小ニノ波ニ漂ナリ爾ニたしかト

云木ヲ現ノ殖テ山ノ体トス次ニしきゆト云草ヲ殖又阿檀ト云樹ヲ殖漸ノ国ノ体トス二人陰陽和合ハ無レトモ居所並力故ニ往來ノ風ヲ縁ノ女胎ム遂ニ三子ヲ生ス一リハ所々ノ

主ノ始ナリ一リハ祝ノ始^三リハ土民ノ始時ニ国ニ火ナシ龍宮ヨリ是ヲ求テ国成就シ人間生長シテ守護ノ神現シ玉フきんまもんト称シ上ル此神海底ヲ宮トス毎月出テ託アリ所々ノ拝林ニ
遊給フ持物ハ御簀ナリ唱ハ御唄ナリ^{オモリ}土ノ唄ノ如シ其詞多シト雖^{ミゲン}少分ヲ舉 きけいきみなしなしいしあきめきゆわれ^{オモリ} きけいおほみきみやをれいにゆりゆをわればまんまん

あすらまんけゆわれ^{アヲ} 七年一回ノ新神ハニ七日ノ御託ナリ遠海諸島會議ナクノ同日同時ノ出現ナリ毎月ノ出モ是ナリ託女等悉滴ヲモ飲マス一粒ヲモ食セスト雖谷顔

変セス身体殊ニ健ナリ少女ハ七才以上老女ハ六十已下也走則レハ荊棘瓦礫ノ恐ナシ水波ニ入テモ湿ナシ昼夜林ニ遊ヒ風雨野ニ居ス日数滴ノ神離玉フ則シハ女等怪チニ

死ス爾ヲ赤土ヲ水ニ和^{十二}飲マシムレハ暫アリテ活ス一旦一日ヲ経テ本店ニ還ヌ又一紀一回ノ荒神亦ニ七日ヲ期トス國ニ惡心貶毀ノ者アレハ必是ヲ刑罰ス誹謗ノ者ヲハ口ヲ裂惡心ハ^{サキ}

胸ヲ切ル執モ狎サル女性等^{ムケキ}鋒戟^{ホウキツ}ノフルマヒ猶勇^ユシ所作ノ惡業一々ニ諳ニ宣^ノ實玉フ当人諍ヘキ様ナシ若遠島ノ者ヲハ早船ノ呼メス或ハ又惡心ノ者常ニ毒蛇ノ攻アリ信者ハ見ルナシ況ヤ傷害ヲヤ託女^{オカシ}二十二人ハ皆以王家也^{王ノ家}妃^{キツフキミ}モ其^{イナカ}一ナリ聞補君ヲ長トス都ア君ト称ス此外夷中辺土ノ託女ハ数モ定^{タテ}ナシ家ヲモ起スきんまもんニ陰陽ノ二神アリ天ヨリ下給フきらいかないのきんまもんと称ス海ヨリ上玉フヲオボシカモおぼつかくらのきんまもんと称ス都ア弁才天女ナリ古今ノ事神託ニ明ナリ若神感嘆玉フ時ハ諸人腕折爪折ノ是ヲ拜シ慰メ上ル国ノ風トノ岳々^{ウドラツモオリ}浦々^{ウカ}ノ大石大樹皆御神ニ崇メ上ル然ノ拜貴則驗アリ矣云々

佐銘川太主由来記ニモのろ雲上下アリ 佐敷間切格護ノ書

のろくもい のろは祝也 くもいハ尊称也或ハクメとも云ふ 雲上(クモウヘ)ノ義 昔地頭チドラ某の大やくもいと云ふも

同じ義也 雲上を くもいと云ふは 司雲上按司を ツカサ クモイ アンシ 或ハ ツカサクメと云ふにても知るへし

明夏冊使子陽使録云国申神有女王王宗姉妹之属世由神選以相代五穀成時女王渡海至姑達佳山探其穀穗成熟者嚙之各処乃敢穫
若未嘗足穫者食之即斃故田間絶無盜採者
許願^{イリ}イリ也

六臂神 凡許願^{スレニ}皆以石為神凡神靈義祠之所皆有巨石教処離立設香炉炷香燭於前燒酒設牲菓酬願^{スレニ}皆就石獻供不設神像也旧録

有女王王女君弁才天六臂神之類蓋即君々祝々開國諸神伝久異辞不盡數也女巫為人祈疾者曼声唱誦徹夜每鼓樂

以上二件中山伝信録

中臺齋 いちのほの 帆なかふいつゝむ美風 聞得大君の おすし美風 高續按司

聞得大君のおすしおひかりに旅のみちひろくむきやひきちやれ 浦添王子朝薫

以上二首かきやて風 古今琉歌集ヨリ

せ ハ兄ニテ尊称カ 兄地、兄軍、

うむい（おもい）神歌、唄、昔祭日ニ城内ニテ唄主取之ヲ唱フのりと（祝詞）ノ如キモノ（仲本政世ノ沖縄語典）
ちくいうふぢみ 聞得大君、天孫氏ノ代長女ヲ君々ノ始トセラレシ神職ナリ今ちゆうふじん 聞得婦人 ト云フ（全土語典）
ぬーる、ぬるぐむい（のろこもり）祝々、天孫氏ノ代娘ヲシテ神職ヲ掌ラシメタルニ起レリ今一ケ間切ニ五六名アリ（全土）

おもろ御さうし目録

きこゑ大きみかおもろ

41 第一 首里王府の御さうし

嘉靖十年

1531

中城越来おもろ

46 第二 首里王府の御さうし

萬曆四十壹年五月廿八日

カ靖十年ヨリ
八十二年

1613

64

第三

きこる大君かなしおもろの御さうし
万レキ四十一年ヨリ
天啓三年癸亥二月七日
十一年
1621

60

第四

あおりやゑ、さすかさの、おもろ御双紙
天啓三年癸亥二月七日

79

第五

首里天きやすへ、あんしおそい、かなし
首里おもろ御さうし
天啓三年癸亥二月七日

54

第六

しより大君、せんきみ、君かなし、もゝと、ふみ
あかり、きみの、つんしの、おもろ御双紙
天啓三年癸亥三月七日

47

第七

首里天きやすへ、あんしおそい、かなし、
はひの、おもろ御さうし
天啓三年癸亥三月七日

70	236	94	95	45	35	82
第十四	第十三	第十二	第十一	第十	第九	第八
いろくの、ゑさ、おもろ御さうし	船ゑとの、おもろ御さうし 天啓三年癸亥三月七日	いろくの、あすび、おもろ御さうし 天啓三年癸亥三月七日	首里ゑと、おもろ御さうし	あか ^{アリ} ぎ、ゑとの、おもろ御さうし 天啓三年癸亥三月七日	首里天きやすへ、あんしおそい、かなし、 いろくの、こねり、おもろ御双紙 天啓三年癸亥三月七日	首里天きやすへ、あんしおそい、かなし、 おもろ、ねやかり、あかいんこが、おもろ御双紙 天啓三年癸亥三月七日

75

第十五

首里天きやすへ、あんしおそいかなし、
うらおそい、きたゝん、よんたむき、おもろ御さうし

天啓三年癸亥三月七日

48

第十六

首里天きやすへあんしおそいかなし
勝連具志川おもろ御さうし

天啓三年癸亥三月七日

74

第十七

恩納より上のおもろ御さうし

32

第十八

首里天きやすへあんしおそいかなし
しま中おもろ御さうし

天啓三年癸亥三月七日

50

第十九

ちゑねん、さしき、はなくすく、
おもろ御さうし

天啓三年癸亥三月七日

63

第廿

くめすおもしろ御さうし
天啓二年癸亥三月七日

114

第廿一

くめの二まぎりおもしろ御双紙
天啓二年癸亥三月七日

47

第廿二

みおやたいりおもしろ御双紙

共貳拾貳冊

総歌数千五百五十一首也

廿九年十二月廿九日調

ア ト記セシハ主取安^旧屋ノ本ノ略符

モ 註釈セシウチニ モノカナヲ冠セシハ原本ニモトヨリ有リシコトヲ示ス略符也

種等の例 トハ例ニタガヘ朱ニテセズ ウス墨ニテ註ヲ加ヘシモノニ云フ

きこゑ大^ききみかおもろ 41

首里王府の御さうし

嘉靖十年^{後奈良天皇即位五年}

享祿四年足利義時近江ヨリ入京セル前年

尚清王即位五年

△按スルニ大荒ノ世ニ天帝子ニ男ニ女ヲ生ム長子ヲ天孫氏ト云フ始メテ琉球国君タリニ男ヲ按司ノ始メトス三男ハ百姓ノ始トス而シテ其長女ハ君々（君々ハ婦女神職ヲ掌ル者ノ称也）ノ始トス即今ノ聞得大君ノ始ナリ次女ハ祝々（祝々モ亦神職ヲ掌ル者ノ

聞得大君神社 称也ノ始メトス今ノ各間切ノロクモイノ始メナリ

（別行）

位置 首里汀志良次村六拾九番地 祭神 御スチ 御ヒハチ 弁才天女 火ノ神此神六月十一日上申ノ上删除

社格 旧藩社 神職 聞得大君一人^{神大付} 祭日ハ末社ノ神職ヲ集合挙行ス 神職年限ナシ 欠員ノ時ハ

藩王実母祖母或ハ伯叔母ヲ以テ是ニ任ス

俸禄 略也

末社 儀輔神社 司雲上神社 真壁神社 首里神社 祭日 例 三月 五月 六月

祈願 毎年一月三日年賀ノ為メ藩王参詣ス 供物別段藩王ヨリナシ俸禄ノ内ヨリ弁ス

備考

聞得大君神社 往古ハ各間切ノロクモイノ如ク散在スルヲ中古首里各村ノ分併シ其神職ニハ藩王ノ親族ヨリ任スルヲ法トセリ

当今ニ至リ尚益尊敬スル如クナレリ其性質ハ各間切ノロクモイニ異ナシ 旧藩制中格別鄭重ノ取扱ヲ為シ当時藩王ノ祈願

所ナリ 大親大宜味某ノ供述ニ依レバ祭神御スチハ天帝ノ子御ヒハチハ君々ナリ君々即聞得大君ハ生時神ヲ祭ルヲ司ル神也

シカ死後神ニナルト皆口碑ニ伝フト云フ依テ確認シ難シ 取扱ハ神職ノ部分ニ属スト雖モ藩制中特別ノ取扱ヲ為シ神社座ニ

於イテモ一切閑セス任免共藩王自ラ施行ス 聞得大君ハ藩王ノ実母或ハ祖母伯叔母ヲ以テ是ニ任ス故ニ国母殿ノ称アリ 聞得大

君ハ婦人ナルヲ以テ諸務ヲ弁理セシメ總大親大親（共ニ役名）置ク總大親ハ三司官兼務シ大親ハ上士ヲ以テ是ニ任ス總大親ハ役俸ナシ大親ハ

聞得大君役俸ノ内ヨリ給ス 儀輔神社司雲上神社真壁神社首里神社ノ四社ハ聞得大君神社ハ附属スル者ニシテ其神職ノ任免等ハ

聞得大君是カ良否ヲ審査シ大親ヲシテ藩王ヘ呈出セシム 末社祭神ハ聞得大君神社ノ分靈ナリ其神職ハ各間切ノノロクモイ

ト稍等シキ者ニ付一々役俸等揚ケス △

かよわれは

三、32 同

あおりやへかふし

9
と
む

せたかこか

しよりもり

くすく

またまもり

1

きこる大きみ

ぎや

おれて

あすび、よわれは、てにが、した、たい

又

とよむ せたかこか

又

しよりもりくすく

又

またまもり くすく

三、32
ナシ

混二

おちやいめしやうれ 極敬也

按司部へちやいむしやうれと云ふなり

(言葉)

- 1 聞得大君
- 2 きや ガ也
- 3 おれて 下リテ也 君々祝々ハ皆神トシテ (神事ニタツサハル時 崇メタルモノ故ニ
- 4 あそび 遊び也 天降ノ意ヨリ称ヘテ言ヘルナリ
- 6 てにがした 天ガ下也 天 天次王ヲヤラサモリノ碑ニテニツキ王トカケリ
又久志金武のろくもいガおもろニハ天ヲ悉クテニト云フ
- 7 たいらけて 平ゲテ也
- 8 ちよわれ 混二 おちよわひめしよわちへ行幸の事也 オハセナドイフ意ナリ

あおりやへかふし

首里天かなし百十わりちよわれ

御万人の間切をかですでら

朝饗翁 百十マデ兆マテトイヘリ

非也

2

きこる大きみぎや、

おれて

あすびよわれは、

かみてだの、

まぶり、

よ

三、33 同

又

首里もりくすく

又

またまもりくすく

三、33
ナシ

かみ 神也

てた 日也

まぶり 守護也

よわれ おわるト同言ニテ崇敬語也

あんしおそへ 按司御製ニテ

御製

あおりやへかふし

三 34 同

3 きこゑ大ききぎや、

ちよわれ

又 とよむせたかこか

又 きこゑあんしおそい

又 とよむあんしおそい

又 首里もりくすく

又 またまもりくすく

又 大きみす、まぶらめ

みナリ

世そう、せぢ、みおやせは、千萬、世、そわて、

「」七、4オ とよむとの 世そうせぢ あんしおそいに みおやせ トアリ

世そう 世襲フ也

せぢ 靈験の意 今俗ニモ シヂタカサ ナド云フ

みおやせは みハ 美称ニテ添ヘタル也 おやせは 御坐セホ也 混ニハ捧クトイヘリ

千万 センマンと字音ニテヨムベシ雍正三年ニ諸蘭切ヨリ徴セシ由來記ノ中ニアル

祝ノ御タカベノ詞ニ せんがみはい まんがみはい 拝みやべる ●ナド多ク見え

タリ 三、11ニモ

そわて 襲フテ也

聞得あんしおそい 聞得ハ添ヘタル也

おきやかもい

尚眞王ノ神御名ナリ古歌ニ
おきやかもいみよや あめち
わいちなとて十日ししの雨
のふれば世界報

あおりやへかふし

4 きこゑ大きき

おきやかもいに

又 とよむせたかこか

てるかは

いのり 祈禱也 しまわれは 為よわれは也

いのり、しまわれは、てるかはも、ほこて、

かざり、うらちへ、みおやせ

あおりやへかふし

三 36 同 5

きこゑ大きき

あけの、

よろい、

めしよわちへ、

かたな、

うちい、ぢやく

に、とよみよわれ

月しろ
（形容）
月ノ照リワタルヲホオキイヘルヨリ
遂ニ八月ヲホムル詞ニナレシルナリ
近松ノ今宮心中道行ニ
早真夜中の月しろの空を
力に東堀云々 ト見エタリ

又 とよむせたかこか
又 月しろは、さだけて
又 物しりは、さだけて

刀うち、いちやくに（た）くに、ちやくにト同シキ美称）ナラン
うちいぢやくに ニ、
75 4ウ あたにやもしらたるのおもろに かたな、うちトアリ参照スベシ
月しろ
さだけて 金武ノおもろ イナゴバシフシニ いちゆちやわん 七
さばけてトアリ 同語ナラン
物しり 神人ノ「也」孝行ノ巻 トキノ大屋子ノ詞ニ 我身ノトキ 我身ノ物知リノ御祭ヨシヨモノ
御タカベヨシヨモノ云々トアリ

ミ 37 同

ア
あおりやへかふし

6

きこゑ大きみきや、かくらゑが、とりよわちへ、あんしおそいす、
ともゝすへ、ちよわれ
オシト同シ強辞也

すへ 年ニテセナラン トモ、セトヒヤクサ
十百年十百歳

ミ 37 ナシ
以下

又 とよむせたかこか
又 てるかはと、よきやて
又 てるしのと、よきやて

てるしの
おかけふさめしやれ

又 首里もりくすく、おれて、おれふさよわ

又 またまもりくすく

又 きらやの、うきしま きらやの、やけしま うきしま やけしま 共ニホムル詞ナリ恩納ノオモロニモアリ

又 首里もりくすく、世がけにせ、あんしおそい

又 またまもりくすく、おそいにせ、あんしおそい

又 きこゑあんしおそいや、かくらきやめ、とよで 島津迦久羅神（球陽 世譜 トアル是ナルベシ

又 とよむあんしおそい、や、おほつきやめ、とよで

ミ 37 ナシ
以下
きらやの、うきしま
きらやの、やけしま
きこゑあんし

今日ニデモ
おや国^{エイグニ}トイヘバ重イナリ

ニ₃₈ 同

7一

きこゑ^ミ大ききみきや、
とたけ、まさり、よわちへ、
みれども、あかぬ、^ミ首里
おや国^{エイグニ}
見レドモ、^ミ飽カヌ

あおりやへかふし

又 とよむせたかこか

おや 美祿也 国王ノ御衣ヲオヤンシヨト云フモ親御衣トテ美祿也

物置ヲ 敬ヒテ云フ#ハ おやもの

元ハ国王ノモノニ限リシカ今ハ普通ニ云フ

又 首里もりくすく

とたけ 城内ノ十懸ライフナラン

あおりやへかふし

ニ₃₉ 同

8一

きこゑ^ミ大ききみきや、
けよの、せぢ、やりよわは、^ミしま、^ミまるく、^ミみこゑ
しやり、おそわ

又 とよむせたかこか

ニ₃₉ ナシ

又 首里もりくすく
又 またまもりくすく

あおりやへかふし

ニ₄₀ 同

9一

きこゑ^ミ大ききみきや おれて、おれ、ふさ、^ミよわち、^ミよつ、^ミそろいて、^ミおき
やかもいに、みおやせ
世 揃ヘテ即チ万々世マデ

又 とよむせたかこか

ニ₄₀ ナシ

又 首里もりくすく
又 またまもりくすく

NII-Electronic Library Service

かの、もり、ちよわれ

かいなでわる 播磨オハスニテ愛セラル也

又 とよむせたかこか

又 首里もりちよわる

又 ま玉もりちよわる

ミナシ

ア あおりやへかふし

ミ 45

14 ア

きこる大ききみや、

いのり、

たてまつれは、

まん、

まんあすう、

ア

まん、ちよわれ

あすう

おきもかなしけの首里天かなしあすうまんちよわれ
をかですでら混ヨリ引ク

又 とよむせたかこか

ミナシ

又 首里もりくすく

又 ま玉もりくすく

あおりやへかふし

ミ 46

15

きこる大ききみや

せぢ、

だか、

うち

やがて、

ちよわれ

又 とよむせたかこか

ミ 大やが

うちやがて

とりの伊平屋敷やうきやかてとみゆる

あすて浮上ゆる我たまこかね

長伊平屋敷 津堅親方

あおりやへかふし

ミ 47

16

きこる大ききみや

首里もり、

おれわちへ、

おぎやかもいや、

きみしよ、まぶりよわめ

又 とよむせたかこか

ミナシ

ま玉もりおれわちへ

以テ
ミナシ

又 御しふ、てる、くもに、おれ、なおちへ、かうは

又 さしふ、てる、きやしやけ、おれ、ふきて、からは

又 てるかはと、とこゑ、やり、かわちへ

又 てるしのと、ありぢよ、やりかわちへ

又 てるかはも、ほて

あおりやへもりやあんしかふし

ミ 48

17 一 きこゑ大ききや せちとよみ、せいくさ、しま、うちの、とよみ

又 とよむせたかこか(ミナシ)せちとよみ、せいくさ

又 きこゑあんしおそいきや せちとよみ、せいくさ

又 とよむあんしおそいきや せちとよみ いくさ

又 るそこ、かよわ、ぎやめ、せち、やり、やりおそう

又 みおろね、かよわ、ぎやめ、せち、やり、やりおそは

又 (モ)せ、いくさ、おしたては、けおやり、やり まふら

又 (ア)せ、ひやく、おしたては、けおやり、やり、まふら

又 だしきや、うちぐき、ちや、はれ、まわらし

ミナシ

せちとよみ 舟ノコト也

あおりやへかふし

ミ 49

18 一 きこゑ大ききや 首里もり、おれ、わちへ、ひやくさ、きやめ、おきやか

もいしよ、ちよわれ

百歳迄

又 とよむせたかこか ま玉もり、おれわちへ

又 きこゑあんしおそいや
又 とよむあんしおそいや

あおりやへかふし

又 きこゑ大ききみや、けよお

ふらす、あめや、きやの、うちみやに、

聞得大君ガ今日降ラス雨ハ京ノ内裏ニ黄金降り満チタリト也

蓋シ雨乞ナドノ神唄ナラン王城ニ黄金充滿スルバカリニ尊キ雨

ヨトノ意 よかるひ 良クアル日即チ吉日

又 けおのよかるひに
又 けおのきやかるひに

きやかるひ 輝ク日 即●称ヘテ云ヘルナリ きやハカナリ 集中ニ かゝよわれは

ナド総ベテ耀ノ意ナリ 仲本の語典ニかぎやでイ、かぢやてイ(一)沖繩語ノかんまでイ又ハかんぢや

てイノ転訛ナリト云フ以上ハ斯迄ノ義ナリ(二)国語間切奥間村ニ営業セシ奥間ト云フ鍛冶屋方岡田王ノ
危難ヲ救ヒタルニヨリ其ノ忠ニ感シテかぢやノ義ニテ琉歌ノ節ヲ作りタリト云フ琉歌ニ「かぎやて風のこと」

あおりやへかふし

又 きこゑ大ききみや しけうち、あや、あすばちへ、ちよらの、はなの、

(アニモアレドウス墨ニテ例トタガヘリ決シテ後ニ書き加ヘタル也
種等也)

うらくと、とよで、みもん

又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

又 きこゑ大ききみや しま舟也つちとみ、おしうけて、かくらので、よりとみる、

てよりとみる、かにある ナラン

かに、ある

十三、
118、
ヲ見ヨ

又 とよむせたかこか

てよりとみ 9、ウ けやゐ、てよりとみ トアリテてよりとみニハ舟ナリト註セラレタリ、

ナシ

又 けおのよかるひに
又 けおのきやがるひに

きこへ大ききみてつからいのかふし

ミ、
53、
7、
24

22

一 きこゑ大ききみや

みかなしけ、あんしおそい、うらくと、ゑんぢ^ア・き、

ちよわれ

又 とよむせたかこか

一伊呂^{那覇由来記二}展^牛仁^姓御^沢嶽^親筆^上秀^実原^是日^本人^少時^徒叙^教為^僧及^長有^趣中^華之^志一^日間^中山^与中^国有^往来^之使^特来^中山^是時^当正^徳年^間也^遠嘉^靖元^年漢^俗改^名曰^沢岷^提道^随毛^氏沢^岷親^方盛^世赴^中華^国及^帰国^後願^請返^日本^於是

よかきけらへかふし

ミ、
19

23

一 大ききみや、

いろのべに、

なしよわちへ、

きみしなて、

なよろに、
にミナシ尚^眞聖^主留^之賜^喜思^戸者^更
賜^宅那^覇 伊^呂展^仁御^蔵
以^爲西^殿後^黃冠^頂戴^然則^其
厚^屋至^公相^伝不^替也

又 せたかこか、またまへに、なしよわちへ

又 けおのよかるひに

しなで 今モ猶イフ言葉也即チ

又 けおのきやがるひに

あおりやへかふし

ミ、
54

24

一 きこゑ大ききみや、

おれて、

おる、^アれなふしより、^アわ

あんしおそいに、世かほう、

みおやせ

又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

混ニあつて、来れといふ事也トアリ

ミ 55

25 一

きこゑ大ききみや、はぢめ、いくさ、たちよわちへ、あおて、いきやり、

(コモ種等ト同シ)
治也

かたき、ひぢめ、わちへ

又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

ミ 56

26 一

きこゑ大ききみや、世がけ、せぢ、おろちへ、あんしおそいしよ、すゑ、

まさて、ちよわれ

又 とよむせたかこか

又 首里もりくすく

又 またまもりくすく

ミナシ

あおりやへかふし

27 一

きこゑ大ききみや、あまゑわちへ、からは、なさいきよもいに、しまが、

ミ 57

いのち、みおやせ

又 とよむせたかこか

ミナシ

又 ままもりくすく

又 しよもりくすく

あおりやへかふし

28 一 きゝゑ大きみきや、世かほう、もりに、しまゆ、そろへ、わちへ

又 とよむせたかこか

又 さしきかなもりに世かほう
又 きゝゑ、あが、なさいきよに

大きとの、げすの、おもい、あんしきやふし

29 一 よなばばま、きゝゑ、大きみ、や●よ、かけて、とよまひに

又 あきりぐち、とよむ、大きみ、やちよ

又 ばてん、ばま、きゝゑ、てるきみ、やちよ
又 あからかさ、もくと ふみやかり やちよ

あおりやへかふし
あおりやへかふし

30 一 きゝゑ大きみきや、あめもらん、もりに、いのり、あかりしよ、世は

ちよわれ

又 とよむせたかこか

又 さしきかなもりや

ナ、
きゝゑ大きみきや、はたおれ、ちよふし、
祈りて世構立テノヨリ出ツ

31 一 きゝゑ大きみきや、てるかはは、のだて、あんしおそいしよ、

アロシカナナラズ
多クハラナラン
はらら

又 天^テ下^カにぎや下、おそいへ
又 とよむせたかこか、てるしのは、^{ナシ}の^{ナシ}だて、^{ナシ}あちおそいす
又 ^{ナシ}いせ^{ナシ}えけり、^{ナシ}あん^{ナシ}しおそい、^{ナシ}あゆ^{ナシ}が、^{ナシ}うろは、^{ナシ}なげくな

ナシ

又 いせ^{ナシ}えけり、^{ナシ}たた^{ナシ}みきよ、^{ナシ}おぎも、^{ナシ}うちは、^{ナシ}なげくな
又 ^{ナシ}せ、^{ナシ}いくさ、^{ナシ}おしたては、^{ナシ}大き^{ナシ}みしよ、^{ナシ}世しらめ
又 ^{ナシ}せひやく、^{ナシ}おしたては、^{ナシ}せたかこす、^{ナシ}世しらめ

又 国^{ナシ}もちの、^{ナシ}はら^{ナシ}はう、^{ナシ}おほ^{ナシ}つなよ、^{ナシ}世^{ナシ}そろへて

又 うらよせの、^{ナシ}もと^{ナシ}ろ、^{ナシ}か^{ナシ}くらなよ、^{ナシ}世^{ナシ}そろへて

又 国^{ナシ}かねの、^{ナシ}は^{ナシ}うら、^{ナシ}しまは、^{ナシ}たい^{ナシ}らあけて

又 うら^{ナシ}ひちめ、^{ナシ}もと^{ナシ}ろ、^{ナシ}くに^{ナシ}ひろく、^{ナシ}そ^{ナシ}あて

又 あか^{ナシ}ぐちや、^{ナシ}が、^{ナシ}よい^{ナシ}つき、^{ナシ}せ、^{ナシ}いくさ、^{ナシ}て、^{ナシ}はねて

若しハ
はらく トアリシヲ写シヒカメタルモノカ

ナシ あちおそいす、天^テが下、おそい

天より下の王にせかふし

32 一 きこ^{ナシ}え、^{ナシ}きみ^{ナシ}おそい、^{ナシ}おれて、^{ナシ}あすび、^{ナシ}よわれは、^{ナシ}てにより、^{ナシ}したの、

せぢ、^{ナシ}かほう、^{ナシ}みおやせ

又 せた^{ナシ}かきみ、^{ナシ}おそ^{ナシ}いきや

又 しより^{ナシ}もり ^{ナシ}くすく

又 また^{ナシ}まもり ^{ナシ}くすく

ナ、19、~~ナ、131~~
131、~~ナ、131~~
見目

33

ナ、おのゝあしのかし ナ、おのゝあしのかし

あおりや、くもりやあつのおし

一 きこる大ききや、ぢやくにや、世、そゑる、あんしおそいしよ、

とよめ

又 とよむせたかこか

又 いせゑけり、あんしおそい

又 いせゑけり、たたみきや

又 せくさ、せぢ、まされ

又 せひやく、せぢ、まされ

又 しよりもり、ころく

又 みしまかす、ころく

又 あよ、ちよく、げに、あれ

又 きも、ちよく、だに、あれ

又 けやる、せいやりとみ

又 けやる、てよりとみ

又 はたら、しま、くはら、きも、まよい

又 首里もり、●あせ、は、つちぎりに、きらせ

又 ま玉もり、ちかわは、みちや、ぎりに、きらせ

又 うらのかず、かみおそい、あいて、なて、まふし

こゝ 古事記上 次生隠岐之三字嶋亦名天之宮許別
伝三日 許呂ハ未だ思ひ得ず 上ノノ許呂許呂又ハ怒 怒怒動許呂臥なり云語あれとよりても
聞えず書紀三卷二穆殿之噴議々々此ヲ云フ 筆蹟此ノ意なりや凡て
建きまを以て 大神宮儀式帳に鴨神社一処称天水上ノ児石呂和居命ニは許呂別の例なり
称るハ古ノ名の當也

廿ノ 26

きこへきみおそいかふし

34 一 きこへきみおそい、さはたけ、おれわちへ、うらうらと、御さうせ、

やに、ちよわれ

又 とよむせたかこか よりみちへに、おれわちへ

又 いしゑけり、あんしおそい、かいなでゝす、より おれて

又 いしゑけり、たたみきや、み、まぶてす、よりおれて

又 おぎも、うちに、御さうせ、あけとまに、たとゑちへ

又 あよが、うちに、御さうせは、あけだち、たとゑ つかへ

又 せいぐき、ゑが、とりよわちへ、しまうち、せぢ、もろよろ

又 せひやく、ゑが、とりよわちへ、くにうち、せぢ、もろよろ

又 いべの、いのり、しよわちへ、うらしは、よせて

又 つかさ、いのり、しよわちへ、なでるわは、よせて

又 きらのかず、ゑかのかず、いので、うらくと

十一、廿ノ、きこへきみおそい、さはたけ、おれわちへがふし
おらそいおもろのふし

35 一 きこへきみおそい、さはたけ、おれわちへ、うらうらと、御さうせ、

又 とよむせたかこか よりみちへに、おれわちへ

又 いしゑけり、あんしおそい、かいなでゝす、より おれて

又 いしゑけり、たたみきや、み、まぶてす、よりおれて

又 おぎも、うちに、御さうせ、あけとまに、たとゑちへ

又 あよが、うちに、御さうせは、あけだち、たとゑ つかへ

弘治十三年
尚真王廿四年
久米島君南風跟随官
軍往至八重山設為奇謀
深蒙褒嘉
十一、6 廿ノ、20

廿、ナシ

又 ^男もりやへへ ^男こた、ぢやくに、^{ナシ}しちへ、^{ナシ}しま ^{ナシ}うちしちへす、もどりよれ

又 ^{大男}大ころた、ぢやくに、しちへ、くにうち、^{ナシ}しちへす、もどりよれ

又 ^男ゑそこかず、ころたよ、しまうち、^{ナシ}しちへす、もどりよれ

又 ^舟みおつねかず、ころたよ、あおてす、もどりよれ

又 おぼつぎやめ、とよで、^{ナシ}あおてす、もどりよれ

● ^アが
ありおなりかみのふし

36 一 あんしおそいや、金うちに、ちよわれ、世の、さうぜ、しよわれ 大きみす、

けいやりよわれ

又 あんしおそいや、けおの、うちに、ちよわちへ、世の、さうぜ、しよわれ、

せたかこす、けいやり、よわめ

又 あんしおそいや、おぎも、うちは、なげくな、大きみす、けいやり、よわれ

又 たゝみきよは、あよか、うちは、なげくな

又 首里もり、大ころた、しま、ひろく、そへて、あんしおそいに、世そへて、みおやせ

又 ^みみしまかず、^男ころく、^男国、ひろく、そへて

又 きみはゑか、みやこ、しま、はちへおわれ、しまひろく、そへて

又 けおのしよか、やへましま、はちへおわちへ、くにひろく、そへて

又 やへま、しま、いづこ、あせら、ためやは、大きみす、世しらめ

又 はたら、しま、くはら、ちかわ、ためやは、せたかこす、世しらめ

又 あせら、ためやはら、おきなます、すもらん、す大きみ世 しらめ

かくらとよてかふし

37

一 きこゑ、大君きや、とよむ、せたかこか、とよまちへ、みおやせ
なさいきよもい、あんしおそい、アあが、アかいなで、あんしおそい

又 けおの、うちの、もちよる、もちろ、うちの、もちよる

又 国、きよらは、あおうちへ、あけめつら、アあおうちへ

又 なりとよみ、うちあけて、なりきよらは、うちあけて、

又 大きみは、いきよて、きみくは、いきよて

又 けおのより、おれわちへ、もちろ、行合也かちへ、あすべは

又 けらへ、能ギ也太男也、ナさ、男也しらん、ころく

又 あよ、アそろて、ふてそて、きも、そろて、そて

又 いつこ、このみ、しま、くはら、このみ、くに

又 あか、やなり、おれわちへ、やし、アなり、おれわかへ

かくらとよてかふし

ミ
8

38

一 きこゑ、ミ大きみきや、とよむせたかこか、みしま、いのられ、ミ

又 首里もり、ちよわる、ま玉もり、ミちよわれ

又 なさいきよもい、あんしおそい、ミあが、ミかいなで、あんしおそい

又 大きみよ、いきよて、ミせたかこよ、ミてつて

繫(即ち作り)浮ケテハ漕ギ(コチヨリクリニ
 転シタルモノ浮ケテ後ノ方可ナラン

又 ^{舟也}ゑそこ、^{綱也繩等の例}なよ、こゆわちへ ^{ミナシ}みおうね、^{ミナ}なよ、こよわちへ
 又 ^{舟也}あまの、^{嬉し也}そこらしや、^ミあまの、まづれしや、^ミに
 又 ^{舟也}よひき、^ミとみ、^ミおしうけて ^ミせぢあら、^ミとみ、^ミくりうけて
 又 ^同世づき、^ミとみ、^ミおしうけて ^ミくもこ、^ミとみ、^ミくりうけて
 又 ^{舟也}まやい、^{あまへ}とみ、^ミおしうけて ^ミおじあけ、^ミとみ、^ミくりうけて
 又 ^ミたけ、^ミたけよ、^ミいのて ^ミもり、^ミよりよ、^ミいのて
 又 ^{舟也}あおりや、^ミとりよわれ ^ミておりや、^ミとりよわる
 又 ^{舟也}ゑそこかず、^ミつけわちへ、^ミみおうねかす、^ミつけわちへ
 又 ^{波也}そさん、^ミなご、^ミやけて ^ミあおなみやよ、^ミとごやちへ
 又 ^ミおしうけかす、^ミみ、^ミまぶら ^ミくりうけかす、^ミみ、^ミまぶら
 又 ^ミきみくしよ、^ミせしらめ、^ミぬしくしよ、^ミせしらめ、

かくらとよてかふし

39 一 ^ミきこゑ大きみきや、^ミとよむせたかこか、^ミいつこ、^ミしま、^ミとよで
 又 ^{真高サ}おぼつ、^ミ世の、^ミまだかさ、^ミかくら、^ミ世の、^ミまだかさ
 又 ^{天地とよまぢ也}おぼつ、^ミよため ^ミかちゑ ^ミてに、^ミち、^ミよためかちへ
 又 ^ミよなはばま、^ミよりおれて ^ミよきのはま、^ミよりおれて
 又 ^ミけおの、^ミうちの、^ミのろく ^ミもちろ、^ミうちの、^ミのろく

廿
17

又 みよたちやは、ぬきあけて よおたちやは、おしあけて

又 いきやる、なまたにやか、ぬし^{（輝ク也）}かま^{（上のニ全シ）}あ^{（ア）}いきやる、あよなかか

又 きみよ、かり、あらちへ ぬしよ、かり、あらちへ

又 きも、たち、よれども、あよは、たちよれども

又 首里もり、ちよわる ま玉もり、ちよわれ

又 なさいきよもい、あちおそい あが、かいなで、あんしおそい

又 あけの、つよ、おさちへ、しもの、つよ、おさちへ

又 いつこ、しま、そろゑて、このみ、しま、そろゑて

又 きみ、たうり、しよわちへ、ぬしかまゑ、とり、よわちへ

又 いつこ、いのち、つきよわちへ、くはら、いのち、つきよわちへ

又 ほこてく、しられく、そこてく、しられく

又 てるかはが、おざし、てるしのか、おざし
ふこて出種等の例
おざし タンジヨ嘉例吉やエラテサシメシヤイル
船ノツナトレバ風ヤマトモ廿、おしかけふし
せちやりくやまとしまひちめかふし

40 一 なるや、とよむ、大ぬし、かなや、とよむ、わかぬしにるや、せぢ、みおやせ

又 たしま、おそう、おちおそいたきより、おそう、おちおそい

又 よりみちへは、やぬて、せぢよせは、やぬて

又 大きみは、いきよて、せたかこは、てづて、

けおの、うちの、もちよろ、もちろ、うちの、もちよろ、

ツバクカ

又 ほこる、てく、げに、あり そこる、てく、だに、あり

又 ^{あるが}あるぐちやが、はねて、ぜるまゝが、はねて
 又 ^{天道也}なるきやめ、とうちへ ^同かなや、きやめ、とうちへ

又 あまにこの、うらやて、けさにこの、きゑて

又 ^ゑなるやへか、とり よわちへ、かなやゑか、とりよわちへ

又 しよりもり、うちあよで、またまもり うち、あよで

又 かねの、みうち、まみやに、くもゝみうち、まみやに

又 ^こあや●、ばま、やひちへ、しつゝ、ばま、やひちへ

又 ^{ウス}さん〇こおり、させわちへ ^{上ニ全シ}さん〇みあしやけ、させわちへ

又 あよが、うちの、うまれて をきも、うちの、すぐれて

又 ゑそにや、ませ、あちおそい てたか、すゑ、あちおそい

又 なるや、せぢ、あらきやめ、かなや、せぢ、あらきやめ

又 しよりもり、ふさい またまもり、ふさい

又 大ぬしす、まぶれ わかぬしす、まぶれ

あおりやへかふし

41 一 あかる、おりかさが、大きみに、しられて、^{アリ也トアルヲ消シテル、世界也トセリ}いけな、ゑらて、おろちゑ、^{モ勝ル世界也}

あんしおそい、ともゝすへちよわれ

又 きゑゑ大ききや、ふれしまに、おぎも、せぢ、やりよりちへ^{アワ}

又 とよむせたかこか ^{皆々也種等の例}おぎも、うちに、しなより、^{アワ}あちおそいす、

^アおもひくわもちノ下目ヲ余シ
 別行ニちやる、いけくしやトアリ

又 あかる、おりかさが、もりやへきみ、おもいくわもち ^{ナノ字ヲ脱セシナラン}ちやる、いけくしや

四十一首

内二首 十三、ニ入ル

又 ゆきあかりが、おもいくわ、あがる^アおりかさが、もち、なちゆる^ア、いけくしや
又 きみくか、おもいくわ、もち、なちゆる^ア、いけくしや
又 ひよう、おきて、まな しけ、たゝみきよに、しられゝ、あちおそい
又 けらへ、ようふさよ、首里^アもりおれほしや
又 けらへ、ゆらふさよ、ふれしまに、とよて

中城越来のおもろ

首里王府の御さうし

萬曆四十一年五月廿八日

1 中くすく 29
5 ウ 越来 17

タクニ タシマ

おもろくさりおろちへかふし

たくに イチゴサンマルヤ 中城タミチ ガケ 瓦奉行シチヨテ御扶持スデラ

1 きこゑ 中くすく、あがるいに、むかて、いちやちや、たてなおちへ、
たくに、おそう中くすく

又 とよむ中くすく てたか、あなにむかて

アモ之ニ同シサレト

いちやたてなおちへかふし

2 きこゑ 中くすく おもろ、くさり、おろちへ、おろちへ、なおしよわちへ
又 とよむ中くすく

おもろくさりおろちへかふし

3 きこゑ 中くすく ゆかる、まいくか、のろくに、つめて、あがりよわちへ
又 とよむ中くすく

おもつへきりおもちへかふし

4 ききる中くすく けさや、つのひらせ、いみやは、せめてうたん、なか
昔ハ 今ハ攻メテ伐タン
くすく

又 とよむ中くすく

おもつへきりかふし

5 ききる中くすくつきのかす、なつやに あまゑて、かか、ちよわれ

又 とよむ中くすく 十一、²² しの、おき、ねて、月のかす、なつやに、あまへる、きまや、より
なつやにハつゝ下の字ヲ脱セシニテ
即チ夏ノ様ニト云フ意ナリ

おもつへきりかふし

6 ききる中くすく かみの、もちぢやらの、おもて、きうせて、こうは、
いしと、かねと、あわちへす、も^とせ

又 とよむ中くすく

あおりやへかふし

7 ききるなかくすく たまの、みつ、まわり、まわちへ、もちへ、あちおそい
に、みおやせ

又 とよむ中くすく

けす

おもろくさりかふし

8 一 きこゑなくすく いちみ、さうす、 いぢやちへ、かみしもの、けすの、

みちへと、うらやみよる
見テノ羨ム
泉清水也

又 とよむなくすく

あおりやへかふし

9 一 はしかりか、おもろ、たま、よ、そろいわちへ、もろつき、あすはす、アモナシ か脱セシニハアラヌカ きよらや

又 はしかりかせるむ

あおりやへかふし

10 一 きこゑなくすく たまの、きみ、てづて、よきや、のろす、おもろ、ねや、

とりよわれ

又 とよむ中くすく

あおりやへかふし

11 一 中くすく、あつる、 うらとよむ、つゝみ、うちちへ、なり あかりせ

又 とよむくにあつる

あおりやへかふし

12 一 中くすく、ねくに、ねくに、あつる、集也 はやぶさ、とく、大みや、かけて、ひき

とく
疾カ

よせれ

又 とよむくにの、ね、くにの、ねに、あつる、はやあは

くになかのしよりもりくすくかふし

13 一 きこゑ中くすく とよむなかくすく あち、かすが、てもち、中くすく

よせれ

又 きこゑ、いろめきや、とよむ、いろめきや、

又 おれつむか、たては、わかなつか、たては

しよまへかふし
りまへ

14 一 よきや、のろの、けはや、のろの、まわちへ、もち ちやる

又 なたか、つるき おしあけ、つるき

又 中くすく、こしあてもりに

名高き剣カ

△

り
たいらこしらへかふし
たいかこしらんかふし

15 一 あまみや、よきや、のろの、あけ、やれ、あけ、

又 しねりや、よきや、のろの

又 御まへ、かゝ おらに

又 おそば、かかおらに

きこへあけしのかふし

16 一 やきの、かなもりに、ま人●の、ひやくうたは、きみも、なよら^{こねり也}
又 ひかの、かなもりに

きこへあけしのかふし

17 一 やきの、かなもりに、あけかなし、てづて、世、まさる、みやり、ほごり、よわちんへ
又 ひかのかなもりに

きこへあけしのかふし

18 一 やきの、かなもりに、みもの、みやふ、おろちへ、かみしもの、みものする、きよらや
又 ひかの、なかもりに

きたうん^{アタ} よのぬしのふし

19 一 やきから、のぼる、したよりや^{具足はら巻之事}、よろい、たるが、きちへ、にせる^{似呂カノ意チラン}、あちおそい、
てたす、めしよわちへ、にせれ^{アタ}

又 ひかから、のぼる^ア

中にしのとよみうちかふし

20 一 中くすく、よしのうら、よしのうら、めつらしや、けよから、しはく、
みらに

国頭親方 瓦屋節 豊中城ヨシノラノ御月御影テリ渡テサイヤナイサメ

又 やきの、うらの、よしの、うらの

うらおそいおもものふし

21 一 あらかきの、ねたか、もりくすく、てたか、ふさよわか、くすく
ルノ観ナラン

又 てにつきの、ねたか、もり

うらおそいおもものふし

22 一 あらかきの、くにの、ねに、けよ、しよる、つかい、もとの、つかい

又 天つきの、しまの、ねに、

くに中のしよりもりくすくかふし

23 一 いちよのし、ぎや、おもう、いちらこか、せるむ、のちも、みやも、ちよわれ
人名也 アナシヤ 人名也

又 けおの ゆかるひに けおのきやかるひに

又 けおの まわあひに

うらおそいおもものふし

くに木中アのしよりもりくすくかふし

24 一 あたにやの、わかまつ、あはれ、わかまつ、よださちへ、うらおそう、
くじむかしあかのこと申名人或時安倉屋辺に罷過し折菓子ひとり蕪の荷をかたけ参候を其蕪ひとつやらめらぬと申されは則

わかまつ

通

菓子荷を御簾ミ蕪の皮をきり四ツにわり捧ルされは名をいかにとなりハまつと答ルその時給り申おもつ也
又 きもあくみのわかまつ

うらおそいおもろのふし

25 一 あたにやも、しらたる、きも、あぐみ、しら^アたる、この、いくさ、せちやて、もどせ

又 おにのきも、しらたる、よらせ、きみ、しらたる

又 よなはしぎや、へともいか、かたな^アうち

*一五

うらおそいおもろのふし

26 一 きる、おにの、きみ、あたにやの、もりに、かみ下の、とそ^{スミニテウテリ}ば、そろいわちへ

又 とよむ、おにの、きみ、きも、あぐみの、もりに

御^アさけやははかふし

27 一 あたにやの、きも、あぐみの、もりに、世かほう^ア、よせわる、たゝみ

又 くすくと、たゝみと、しなて

又 たゝみと、まなてすと、しなて

うらおそいふし

28 一 あたにやは、ねしやり、おにの、きみ、てつて、世がけ、せち、まわちへ^ア

もちちへ、みおやせ^ア

又 きみもあぐみ、は、ねしやり、よらせきみ、てつて

あかいんこかなねたてはかふし

29 一 あたにやの、いちみ、さうす、もちやらの、うらやも、さらす
サウズ 清水也 アウナルベシ

又 きもあくみの、いちみ、さうす

安倉ノ泉 寒水ヨ諸協司ノ羨ムトコロノ寒水ヨ
 清冷ナル泉寒水ヨ

てんかす 廿七

うらおそいおもろのかし

十 30 一 いあへ、もりくす、いきよいつな、やぢ、イハ、もいぢ、そわる、

ひやし、うちちへ、みおやせ

又 あかるもりくすへ

又 ●やりかさの、おやのろ

うらおそいおもろのかし

二 31 一 いあへ、あや、みやに、もち、なちやる、いけへしや、くも、イハ、またま、なわ、

又 のちやる、ことへ、アへ、ア、

又 いあへ、くせみやに

ねいしきしのかし

五 32 一 いあへ、もりくす、おみや、つちみちやる

又 あかる もりくすへ

うらおそいおもものおし

4 33 ー こゑく、こてるわに、ゑのち、とも おそいや、あまみきよか、たく

だる、くすく

又 みもの、こてるわに

うらおそいおもものおし

5 34 ー こゑく、あやみやに、こがね、げは、うへてこかね、けが下、きみのあちの、

シニユクユル 俗ニシカウルト

同

しの、くり、よわる きよらや しのくりよわる

大庫理ノ藤サキナゲル草葉集報 シニユクユル雪ノ降ナサ

又 こゑく、くせみやに、

恩納ナベ歌ニ アネヘタヤヨカテ シノク シチ遊テ、ワスタ世ニナレバ御止サレテ

うらおそいおもものおし

35 6 ー こゑく、こてるわに、ゑのちども おそいや、ゑのち、 ● ● かみとのに、

つかい

又 やりかさの、おやのろ

うらおそいおもものおし

7 36 ー こゑく、こてるわに、あやうちへに、せしはやせ

又 やりかさの、おやのろ

43

九
●
28
同

うらおそいふし

41
12 一 こゑく、世のぬしの つゝみの、あぢなりかなしふうくに、うちよせれ
又 あかる世のぬしの

あんのつのけたちてたやれはかふし

42
13 一 あんの、つのけたち、あんの、おやけ、だち こゑくの、てた、^タたるとす、きちやれ

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 たうくは、はちへ、ひらくは、はうて
^アたうくは ^アひらくは

九、かなぐくかふし
うらおそいふし

14
43 一 こゑく、^{モリ}みや、^{ミヤ}あけれは、あか、^モなさが ^{父也}ちよわより、^ルもちろちへ、

こかきよる、^タきよらや

又 あかる、^{ミヤ}もりみや、^{ミヤ}あけれは、^{ミヤ}あけれは

うらおそいふし

15
44 一 ちばな、かなくすく ちばな、いしくすく もし、^マまちらん ^アいしくすく

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

うらおそいふし

~~16~~ 45 一 ちばな、こしたけに あんは、^{我也}かみ、てづら、かみや、あん、まふれ

又 ちばな、にしたけに 知花ノコシ御嶽ニ我ハ神ヲ拜マン 神ハ亦我ヲ守護リ給ヘト也

うらおそいふし

~~17~~ 46 一 いけはるの、あちの、ひらた。^{アヌミミテ}よど、しよわちへ、ほつむ、もり、みや、あければ、

かけふさい、世のふさい、しよわれ

又 くにのねのあちの

きこる大きみなしおもろ御さうし

天啓二年癸亥三月七日

あおりやへかふし

1 きこる、大ききぎや、おぼつゑが、とりよわす、首里もり、おれわちへ、

あちおそいしよ、きみそわて、おぼつ、世わ、みおやせ

ぎハ、おきもかなしげナドノゲト同シ

いしやぎ 今二名護辺ニテ用フ

名護の大兼人馬はらち いしやうしや

船はらちいしやうしや我浦泊 大兼人節

読人不知

組頭伏山敵討ニモ

イシヤウシヤシメラネバナラン トアリ

又 とよむ、せたかこが、かくらゑが、とりよわす。まだまもり おれわちへ、あち

おそいしよ、きみそわて、おぼつ、世は、みおやせ

又 かいなで、大ごろた、その、いしやうぎ、げに、あて、あたおそいに、より

おれて、あちおそいしよ、きみそわて、おぼつ、世は、みおやせ

又 げらゑ、まごろた、いせほこり、だに、あてから、おそいに、つきおれて、あち

おそいしよ、きみそわて、おぼつ世わ、みおやせ

又 とし、みとせ、いくます、とこゑ、まちかさ、いけな、きみ、おろちゑ、あちおそい
しよ、きみ、そわて、おぼつ世わ、みおやせ

又 ゑが、世とせ、させわす、御事、まはやさ、なりきよ、かみ、おろちゑ、あち

おそいしよ、きみ、そわて、おぼつ、世わ、みおやせ

又

（火の神也）

あよ、くちやが、ゆいづき、あちおそいぎや、ゑりぢよ、たりろ、てく、させ

わちゑ、あちおそいしよ、きみ、そわて、おぼつ、世わみ、おやせ

あおりへかふし

四 56 六 3 廿 46

2 一 首里大ききぎや、この、ゑかの、よりおれや、すゑに、ぎやめ、まちよく

はあて
延へテ
即心●下カニ也

ちよわれ

又 とよむ 国おそいきや、この、きらの、つきおれや、^{四ナシ}すゑに、きやめ

又 あちおそいちよ、あよ、はあてあすで、^{四ナシ}すゑに、きやめ、まちよく

四ナシ

又 み物、きよら、あおらちあ、おほつ、^{四ナシ}だけ、^{四ナシ}よきで、^{四ナシ}すゑに、きやめ

又 国ふさい、おしたて、かくらもり、ひくちあへ、^{四ナシ}すゑに、きやめ

又 大きみに、よしられてるかにはに、^{四ナシ}のだてれ、^{四ナシ}すゑに、きやめ、まちよし、ちよ

ちよ
42

ちよ
あおりやへかふし

3 きゑ、せのきみぎや、^{四ナシ}すゑ、とめて、おれわちへ、いみで、^{四ナシ}からど、おれなおちへ、

あすぶ

又 とよむ、くに、とよみ、ませねがて、おれわちへ、いみやからど

又 首里もり、ちよわる、^{四ナシ}あそにや、^{四ナシ}すゑ、あちおそい、いみやからど

スミナリ

又 まだま、もり、ちよわる、^{四ナシ}てだへ、^{四ナシ}ませ、^{四ナシ}うきゆ、くも、いみやからど

又 とし、七と、おほつ、^{四ナシ}だけ、^{四ナシ}おきつめ、いみやからど

又 るが、八とせ、しよりもり、まどおさ、いみや、からど

又 てるかはが、^{四ナシ}うさら、^{四ナシ}さしふ、おれなおちへ、いみや、からど、おれなおちへ、

あすぶ

三
62

かくらとよてかふし
62

4 きこゑ大ききぎや、とよむ、せたかこが、きみくしよ、よしれ

又 いせゑけり、あちおそい、あが、^かいなて、たくみきよ、^{以下62ナシ}きみくしよ、よしれ

又 大ごろた、おより、もりやゑこた、おなおさ、きみくしよ、よしれ

又 あけめつら、あおらちゑ、てよりきよら、おしたて
62ナシ

又 首里もり、おやのろ、なよかきの、おやのろ、きみくしよ

又 まかび、^アもり、おやのろ、みちゑりきよの、おやのろ

又 にしもりの、おやのろ、すづなりの、おやのろ

又 たいらもり おやのろ、みちゑり、^{アナシ}きよの、おやのろ

又 みよちよの。^アのろかみ ^アきよら、かみにしやの、そできよら、きみくしよ
^アろハ朱ニテ小ク乃ノ下ニアリ

又 きやのうち、もりくすく、いべの、いのり、しよわちへ

又 いしらごは、^{石垣の事也}おりあげて、^{いた門之事也}いちやぢや、げらへわちへ

又 そのひやふは、かなひやふは、つかさ、いのり、しよわちへ

又 「^{石垣ノ異名也}ましらごは、^{かお問の事}つみあげて、かなぢや、たてなおちへ

又 おぼつより、かゑて、けよの、うちに、もどて、きみきみしよ

又 てるかはわ、てりより、てるしのは、おしより、きみくしよ、世しれ

九 いへのいのりのふし
きみのつちかふし

5 一 きこゑ、きみかなし、いづこ、しま、よりおれて、なごいきよもい、^アあんしおそい、^アあまこ、^アよりかわちゑ、^アまなしやど、^アたち
^{御肝合ちと也 舞臺の例}
^{余目アリよるハ別行}
^{よる}

七
21
九
22

又 とよむ、きみなし、このみ、しま、つきおれて、^(な)いきよもい、あちおそい
 又 おぎも、うちに、よしらす、大きみに、しなより、^(な)いきよもい、あちおそい
 又 あよが、うちに、おぼゑす、せたかこに、しなよわ、^(な)いきよもい、あちおそい
 又 大^ナころた、みまふてす、おぼつより、かゑれ、^(な)いきよもい、あちおそい
 又 もりやゑこた、あがなてす、かくらより、かゑれ、^(な)いきよもい、あち
 おそい
 又 てるかはが、てるしのが、^目のてるやうに也、^{やに}、おきむ、うまれ わちゑ、^七
^{以下ナナシ} ^{ちよる} ^ないきよもい、あちおそい あまゝ、より かわちへ、まなしやど、た

しより大きみかふし

6 一 きゝる大きみきや、とよむせたかゝが、あんしおそいしよ、よしれ
 又 しまうちゑか、とりよわちへ、ゆそいゑか、とりよわちへ
 又 ^(勢)せくさ、^(勢)せち、^(勢)おろちへ
 又 ^(勢)ひやくさ、^(勢)せち、^(勢)おろちへ
 又 げらへ、大^ナころた、かいなで、まゝころた、あんしおそい
 又 あよが、^(肝)うちや、まちよく、あれ、きもちよく、まだに、あれ
 又 きみくしよ、まふれ、ぬしくしよ、まふれ
 又 やまゝ、しま、いつこ、まへほしの、くはら

チヨハラ

又 肝か内●也 あよが、うちは、まよわちへ きもが、うちは、まよわちへ
 又 両手詰る也 こむで、よいたうちへ、あたす、よいたうちへ
 又 おきなます、しめて、へたなます、しめて
 又 やまとしま、ぎやめむ、やしるくに、ぎやめむ
 又 いと、わたしへ、かけわれ、首里もり、かなて、まだまもり、かなて
 又 いづこ、いのられて、くはら、ほこいのられて
 又 きこる大ききぎや、てるかはに、しられ、

かくらとるてかふし

7ー きこる大ききぎや、とよむせたかこが、めづらしや、げに、あよる

又 神人 さしふ、おれ●さて ほむつき、おれなおちへ

又 なさいきよもい、あんらおそい、あが、かいなで、たゝみきよ

又 勢輩也 せこさ、たち、しよわてゝ 同せひやこ、たち、しよわてゝ

又 大きみは、のたてゝ、せたかこは、いのて

又 あまにいしやや、こさに、あまの、まなしやに、しよ

又 世のため世所により其人の為と申事も有之也 おより、とて、おれわちへおなおさ 同上とゝく、おれわちへ
相互三目とめを見合ふ対面する事也
 又 向顔事也 みきやう、あわちへ、めづらしや、
又 あまこ、あわちへ、めづらしや、

向顔

君に快く被仰也

又 いきやる、しよりもりか、いきやる、またまもりが、

又 きみにいしや、まれて、ぬしに、このまれてあんしおそいが、かけなし、たゝみきよが、

もちなし この「字」アモ小ク朱ニテ

又 おぼつ、てゝ、さうせて、かくらてゝ、さうせて
又 あかぐちやが、よいつき、ぜるまゝが、よいつき

かくらてゝよてかふし

81 きこる大ききみや、とよむ せたかこが、みしま、いのられゝ

又 しよりもり、ちよわる、またまもり、ちよわる

又 なさいきよもい、あんしおそい、あが、かなで、あんしおそい

又 大ききよ、いきよて、せたかこが、いきよて

又 大ききよ、いきよて、せたかこが、いきよて

又 あまの、そこらしやに、あまの、まうれしやに

又 世ひきとみ、おしうけて、せちあらとみ、おしうけて

又 世つきとみ、おしうけて、くもことみ、おしうけて

又 あまへとみ、おしうけて、おしあけとみ、おしうけて

又 たけくに、いのて、もりくよ、いのて

又 あおりや、とりよわ、やり、ておりや、とりよ、わ、やり

又 ゑそこかす、つけわちへ、みおねかす、つけわちへ

又 そさん、なごやけて、あふなみよ、(とらめて也)

又 おしうけかす、み、まぶり、くりうけかす、み、まぶり

又 きみくしよ、(ゆしらめ、ぬしくしよ、よしらめ)

又 きみくしよ、(ゆしらめ、ぬしくしよ、よしらめ)

かくらふし

9 きこゑ大きき●や、まぞ、たより、なちへ、いつこ、なけかすな

又 とよむせたかこが、やしるしぢやに、なちへ

又 あが かいなで、あちおそい、せくさ、^{勢也} たてわやり

又 あが、まぶるたゝみきよ、^{軍勢也} せひやく、たてわやり

又 あまみや、から、おきなわ、たけてゝは、おもはな

又 しねりや、から、みしま、もり てゝは、おもはな

又 よりあけもり、おやり、あよなめさ、^{げに}、あて

又 こかねもり、おやり、ことなめさ、はねと^て

又 はから、ひきたてゝ、^アあわてゝよ、しちやる

又 まさけなよ、おしあけて、つかてゝよ、^{レテカ}しちやる

又 あから、せぢ、おるちへ、まへほしやよ、まよわちへ

又 ひぢある、せぢ、おるちへ、おかすきやよ、ゆゑちへ

又 かすの、^アねも、とり、●なおちへ くめの、しま、おしあわちへ

又 すさの、ねも、なおちへ、かねの、しま、ひきあわちへ

又 くめの、きみ、は、^{アナシ}ゑに、おこと、やり、よわ、やり

又 かねの、しま、のろく、ぜるまゝは、いのて

又 てるかはが、おしあわし、てるしのが、もちなし

まへほしやの
マキリ欲シヤノ也

10 一 ち天とよむ、大ぬし、にるや、せぢ、しら^申たる^{といふ事也}、せぢややり、やまと、しま、ひちめ
又 だしま、とよむ、わかぬし、かなや、せぢ、しらたる
又 しよりもり、ちよわる、ゑそにやすへ、あちおそい
又 またまもり、ちよわる、てたかすへ、あちおそい
又 せこさ、たてらのず、うちやりやり、とよめ
又 せひやこ、たてらのず、しまより、まさよわれ
又 げらへ、大^{人名也}ころた
又 きりさ^鷹べも、つけるな、かうさびも、つけるな
又 はゝら、おしたて、はやめよ、くちに、とめれ
又 まさけなよ、ぬきやげて、あうやかたも、さけ
又 けやる、よゝす、とみ、おしうけかず、み、まぶら
又 せやる、おき、めつら、くりうけかず、み、まぶら
又 やまと、まへほしやの、あよ^なめ^めの、いつこ
又 やしる、まへほしやの、ことなめの、おの^アつきや
又 せくさ、てゝ、たては ひせとあわちへついのけ
又 ゑそこ、てゝ、たく^ては、にるやそこ、ついのけ
又 きもか、うちに、おもわは きもたりよ、しめれ
又 あよが、うちに、おもわば、たいちに、おとちへ、す、てれ
又 天か下、くにかす、大ぬしす、よしらめ

11 きこる大ききや、ちやくにとみ、おしうけて、てるかはす、よしれ

又 とよむせたかこか、世とせとみ、おしうけて

又 もとすへに、きやめむ、すへとまへて、おれわちへ

又 やそすへに、きやめも、ませとまへて、おれわちへ

又 なさいきよもい、あちおそい、ちやくにとみ、おしうけて

又 なさいきよもい、たゝみきよ、世とせとみ、おしうけて

又 おほつきやめ とよて、ちやくにとみ、よせて

かくらふし

12 きこる大ききや、とよむせたかこか、おれなおちへ、かいなて

又 なさいきよもい、あちおそい、あが、かいなで、たゝみきよ

以上28ナシ

又 しより、のろ、おや、のろ、なよかさの、おや、のろ

又 かねのもり、おや、のろ、みちりきよの、おや、のろ

又 にしもりの、おや、のろ、ともとすへの、おや、のろ

又 まきよく、のろく、あよそゐて、いのて

又 あけま、どし、むかは、いしやも、よは、かけおそて

又 むかか、おゑか、おしあけは おきうせ、やに、おそて

又 このゑかの、よりおれや、いつよりち、まなしや

又 このきよの、つきおれや、いつよりち、おもかしや

又 あまみや、はちめて、おきもうちは、おまれて

又 しねりや、のだてゝ、あよがねが、すぐれて
又 きこる大きみしよ みしま、世は、よしれ

九にんちちちちちちちちちち

13 一 になるやとよむ、大ぬし、だしま、とよむ、わかぬし、あんしおそいしよ、

せぢ、まさて、ちよわれ

又 あからだけ、とよむ、まきみ、きよら、大ぬし

又 くもごだけ、とよむ、しまは●め、大のし

又 あまにこの、うらやて、けさにこの、きらやて

きらやてトアリ

又 てるかはと、よきあて、おこと、あわしよわちへ

又 しよりもり、うち、あよで、またまもり、うち、あよで

又 ゑぞにやすへ、あちおそい、せたかすゑ、わうにせ、

又 くもご、だけ、おりあけて、あおりや、はな、つみあけて

アモナシ

又 あやこ、ま、や、ひちへ、よきのたけ、や、ひちへ

又 おきも、うちの、うまれて、あよが、おちの、すぐれて

又 あんしおそいぢよ、よきあて、あま、あわちへ、そこて

又 になるや、せぢ、あきや、め、きみきや、せぢ、あらかめ

又 天ぎやした、おそて、しよりもり、ふさて

14 一 きこゑ、あちおそいきや、大きみは、のたてゝ、しよりもりけらへて、おぼ
 つの、よもつ、とで、モ世の肝要なる閉といふ事也あちおそいに、みおやせ

又 とよむ わうにせが、せたかこは、のたてゝ、まだまもり、けらへて

又 いべの、いのり、し・わちへ、よくになかの、もりに、世の、こしやて、國中の森の異名也あおりや、たて、

おりや あけて

又 つかさ、いのり、しよわちへ、赤田御門の御獄事アナシあがる、たけみや、くむたけ、よつたけ、つみあけて

又 すへつきぎや、みもん、アトヂトハスミナいちやちや、けらへて

又 きみか、とで、世添ふ閉也世そう、とで、さしよわちへ

又 あちおそいや、いみやからだ、天ぎや下、いとかけて、ちよわれ

あおりやへかふし

15 一 きこゑ大きみぎや、あまみや、世の、うぶ玉、うぶだまは、いのるすど、よ、かける

又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

16 一 きこゑ大きみぎや、大ひらのいくさ、けふ、みあがやり、もゝそ、きりふせて

又 とよむせたかこか

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

中城よしのうちふし

17 一 大きみ、とよむ、くにもりや、そでたれて、かなわせ、しまのぬし、世のぬし、なりよわめ

又 しよりもり、あが、かなて、たゝみきよ

又 中にしの、とよみうしの、あすた、そでたれて

又 しま中の、まへくにの、あすた

大ぬしかてへところかふし

18 一 きこゑ大きみきや、なで、おちやる、みやふさ、とよまちへ、おるしよわ

又 くにもりきや、なてゝ

又 よなは、ばま、よりやけ、はま、おるしよわ

又 うち、すてる、かき、すてる、すりより

よきけらへふし

19 一 大きみきや、いるのへに、なしよわちへ、君しなて、なよろ

又 せたかこか、またま人に、なしよわちへ

又 けおの、よかるひに

又 けおの、きやくる、ひに

あおりやへかふし

20 一 きこゑ大きみきや、あまみや、ゑか、とりよわちへ、なさいきよもりしよ、くに

一、 23 よきけらへかふし

・ な 17
・ 人 17

とよでちよわれ

又 とよむせたかこか、しねりやゑか、とりよわちへ

又 さしふ、五ころに、ねかいわちへ、よりおれて

又 さしふ、七ころに、このみ、よわちへ、つきおれて

又 大ころた、そこよりしや、よりかしや、もりやへこた、まうれしや、なさいきよもしよ
モ人名也

又 あんしおそいに、よしられ、あかぐちやに、つきよわちへ

又 大きみよ、おかま きみくよ、てつら

又 おぼつたけ、おごかちへ、きみくぎや、ほこて

又 てたか、おざしやれば、首里もりふさて、なさいきよもしよ、くにとよでちよわれ

あおりやへふし

21 一 きこゑ大きみきや、だしまきらなうちへ、あちおそいしよ、てるかはは、いのれ

又 とよむせたかこか、たきよりゑか、ゑらて

又 なさいきよもい、あちおそい、おぎも、うちに、ねかて

又 あが、かいなで、たゝみきよ、おさうぜねに、このて
(イモ)

又 けらへ、大ころた、こむて、そろよわちへ
モ両手也

又 かいなで、まゝこた、みそで、そろよわちへ

又 せん、いのり、しよわちへまんの、よねんかよて

又 あかぐちやが、よいづき、おぼあ^ったけ、とよて

74
43

74
やのたけきくかふし
やくのきくたけかふし

22 一 きこゑ大ききや、きらなうちへ、いけなけ、よりおるちへ、あちおそいしよ、世ぢ、まはる、ちよわれ

又 とよむせたかこがゑがなうちへ、なりきよきみ、つきおるちへ

又 とし七と、させわちへ、しよりよりおるちへ

又 とし八とせ、ねがて、またまもり、つきおるちへ

又 いせゑけり、あちおそい、大ききは、のたてゝ

又 あが、かいなで、わうにせ、きみくは、てつて

又 てるかはが、まふりよわちへ、みしま、わうにせす、かけおそて

74
いへのいのりのふし
きみのつんしかふし

74
44
へ

23 一 きこゑ大ききや、ゑが、ゑらびやり、おれわちへ、あんしおそいしよ、かけぶさて、ちよわれ

又 とよむせたかこが、きう、ゑらびやり

又 きこゑ天つききや、およりとて、おれわちへ

74
こちいてかのちあかりのふし

24 一 きこゑきみおそいや、おれて、あすひ、よわれは、天より下の、せぢ、かふう、みおやせ

又 せだかきみおそいや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

又 大ききが、まふらは、あちおそいしよ、かけぶさて、ちよわれ

世
14

あおりやへかふし

25 一 きこゑ大ききみや、おぼつゑが、とりよわちへ、けおのうちは、おしあけて、あちおそい

しよ、ともゝすへ、ちよわれ

又 とよむせた、かこが、^{以テ世ナシ}かくらゑが、とりよわちへ、もちる うちは、つまあけて

以テ

世ナシ

又 いけな、きみ、さきだて、首里もり、おれわちへ

又 なりきよ、きみ、いぐまちへ、またまもり、おれわちへ

又 あちおそいとよきやて、^{行金}あまこ、あわちへ、あすで

又 わうにせと、よきやて、みかう、あわちへ、あすて

又 きみくか、いのらは、てるかは、か、まふらは

26 一 きこゑ大ききみや、せぢまはて、おれわちへ、あちおそいしよ、きみぎや、せぢもちよわれ

又 とよむせたかこか、けおそわておれわちへ

又 とし、なおさ、とりよわちへ、おほつ、せぢ、いきやよわちへ

又 きら、なおさ、とり、よわちへかくら、せぢ、おろちへ

又 きみてづり、まどぎ、みもんあすび、めつらしや

又 ゑそにやすへ、あちおそい、いみやからど、せぢ、まゑてちよわれ

九、33へ

みしまいのられてかふし

27 一 きこゑ大ききみや、とよむせたかこか、かくら、とよで

又 いきやる、あんしおそいが、いきやる、たゝみきよが

かくらふし

28 一 きこゑ大ききみや、とよむせたかこか、おれなおちへ、かいなで

又 なさいきよもい、あちおそい、あが、かいなで、たゝみきよ、

おもつとのはらかふし

十一、1へ

29 一 きこゑ大ききみや、おれてあすび、よわれは、のちあかりしよ、世わ、ちよわれ

又 とよむせたかこか

のちあかりのふし

十一、2へ

30 一 きこゑ大ききみや、みやがの、ひやし、うちやがの、ひやし

又 とよむせたかこか

おしかけふし

十一、3へ

31 一 きこゑ大ききみや、おれていのり、よわれは、しまが、いのち、おきやかもいに、みおやせ

又 とよむせたかこか

一、 1
又とよむせたかこか
又しよりもりくすく
又またまもりくすく

32 一 きこゑ大ききみや、おれて、あすび、よわれは、天か下、たいらけて、ちよわれ
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

一、 2
又
又しよりもりくすく
又またまもりくすく

33 一 きこゑ大ききみや、おれて、あすびよわれは、かみてだの、まぶり、よわる、あち^{んし}おそい
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

一、 3
又
又きこゑあんしおそい
又とよむあんしおそい
又しよりもりくすく
又またまもりくすく
又大きみすまふらめ

34 一 きこゑ大ききみや、世そう、せぢ、みおやせは、千万、世、そわて、ちよわれ
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

一、 4

35 一 きこゑ大ききみが、天の、いのり、しよわれば、てるかはも、ほこて、おき^{かきり}や^{うち}か^へもいに、しま^そそ^あて、みおやせ
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

一、 5
又
又月しろハさたけて
又物しりハさたけて

36 一 きこゑ大ききみや、あけの、よろい、めしよわち^いへ、かたな、うち^いす、ぢやぐにとよみよわれ
又 とよむせたかこか

又ー又 一、
6

あおりやへかふし

37 一 きこる大きみぎや、かくらゑが、とりよわちへ、あんしおそいす、ともゝすへ、ちよわれ
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

又又又ー
7

38 一 きこる大きみぎや、とだけ、まきよわちへ、みれとも、あかん、しより、おやくに
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

又又又ー
8

39 一 きこる大きみぎや、けおの、せぢやり、よわば、嶋まるくみこへ、しやり、おそわ
又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

又又又ー
9

40 一 きこる大きみぎや、おれておれぶさよわ、世、そろゑて、おきやかもいに、みおやせ
又 とよむせたかこか

たうやまかふし

一、
10
又ー
又きこるあんしおそいや
又とよむあんしおそいや

41 一 きこる大きみぎや、いくさ、せぢみおやせ
又 とよむせたかこか

又　とよむせたかこか

又とよむせたかこか

あおりや／かふし

43
きゝゐたうやま、大きみぎや、けやりよわ

又とよむたう山やまに

きゝる大きみかいくさしちかふし
に₁₂

又又又 13

又　とよむせたかこか

又とよむせたかこか

あおりや／ふし

又又又 14

又 きこゑ大ききや、いのり、たてまつれば、万々、あすらまん、ちよわれ

又
とよむせたかこか

あおりやへかふし

あおりや／かふし

又　とよむせたかこか

又
とよむせたかこか

一、
又—又

47 一 きこゑ大きみきや、しるりもり、おれわちへ、おきやかもしや、きみしよ、まがりよわれ
又 とよむせたかこか

一、
又—又

48 一 きこゑ大きみきや、せちとよむ^{もみ}、せいぐさ、しま世^{うち}の、とよみ
又 とよむせたかこか

一、
へ

49 一 きこゑ大きみきや、ひやくさ、きやめ、おきやかもしよ、ちよわれ
又 とよむせたかこか、またまもりおれわちへ

尚皇王の御世
あおりやへかふし

一、
又—又

50 一 きこゑ大きみきや、けお、ふらす、あめや、きやの、うちみやに、こかね、ふりみちへて
崇禎十二年庚辰年七ヶ月雨降続水産之時此おもふとしよりおわるること云おもふ式ふしからめき候間則雨止たるよしなり
米次親王上廿五歳之時と直伝承る 西千八百四十年 天啓二年ヨリ十八年後
又 とよむせたかこか

一、
20 同

51 一 きこゑ大きみきや、しけうちあや、あすばちへ、ちよちの、はなの、さいわたるみもん
又 とよむせたかこか

一、
又²¹ |
又けおのよかるひに
又けおのきやかるひに

あおりやへかふし

52 一 きこゑ大きみきや、
し^{舟の異名也}まうちとみ、おしうけて、かくらの、
て^{船の異名也}よりとみる、^{ド也}かに、ある

又 とよむせたかこか

一、
22 同

きこゑ大きみきやみてすからいのりかふし

53 一 きこゑ大きみきや、みかなしけ、あんしおそい、浦うらと、
^{同座敷いふこと}ゑんざしき、ちよわれ

又 とよむせたかこか

一、
24 同

あおりやへかふし

54 一 きこゑ大きみきや、おれて、おれなおしよわ、あちおそいに、世かほう、みおやせ

又 と^よむせたかこか

あおりやへかふし

一、
25 同

55 一 きこゑ大きみきや、はぢめ、いくさ、たちよわちへ、
^てあおく、いきやり、かたき、^フひちめわちへ

又 とよむせたかこか

あおりやへかふし

一、
26 又 又 |

56 一 きこゑ大きみきや、世かけせぢ、
^ちおるちへ、^一あちおそい^しす、^一すゑまゐて、ちよわれ

又 とよむせたかこか

又又又
一、
27

あおりやへかふし

57 一 きこゑ大ききみや、あまへ、あまわち・からわ、時之主上の御事也なさいきよもいに
又 とよむせたかこか 万々世まで長久に御座有といふ事也しまが、のち、みおやせ

一、
28

又さしきかなもりに世かほう
又きこゑあかなさいきよ

あおりやへかふし

58 一 きこゑ大ききみや、世かほう、もりに、しま世、ゆそろいわちへ
又 とよむせたかこか

一、
30

又さしきかなもりや

うらおそいおもろのふし

59 一 きこゑ大ききみや、あめもらん、もりや、に、いのりあかりしよのちあがるしよ、世は、ちよわれ
又 とよむせたかこか

一、 29 太さとのけすのおもいあんしきやふし

又一又はてんはまきこゑ
きみやちよあからかな●もと
ふみあかりやちよ

60 一 よなは、ばま、きこゑ、大ききみやちよ、かけて、とよまきに

又 あきかぐち、アとよも大ききみやちよ
与論の大やゝ屋敷の事なり

よきけらへふし

十一、 4

61 一 大ききみくにおそいきみ、世かほう、まかほう、みおやせ
又 かみしものくにかすの

かくらふし

三ノ4ノ

62一 きこゑ大ききや、とよむせたかこか、きみくしよ、よしれ

又 いせゑけり、あちおそい、あが、かいなて、たゝみきよ

あおりやへかふし

十ノ8ノ

63一 きこゑ大ききや、さしふ、おれなおちへ、あちおそいしよ、ともゝすへ、すゑ、まはて

ちよわれ

又 とよむせたかこか、むつきおれふさて

十ノ9ノ

64一 大ききや、み、まふる、てたがすへ、あちおそい、天下した、すへまさて、ちよわれ

又 せたかこか、みまふる、するまはる、わらにせ

あおりやへさすかさのおもろ御さうし

天啓二年癸亥三月七日

1 あおりやへ 21

3 さすかさ 32

10 首里大君

5

11 ウせんきみ

2

第六二出アタルト同ジ

*18 ト同じ

*参照

四 18

あおりやへかふし

1 ききゑ、あおりやへや、いけな、なりかわて、しよりもり、おれわちへ、かくら、せち、あんし

おそいに、みおやせ

又 とよむ、あおりやへや、なりきよ、おれかわて、またまもり、おれわちへ

ききゑ大きみのふし

2 ききゑ、あおりやへや、かくら、しけうち、あやよりも、ふれまて、おきやかもいに

みおやせ

又 とよむ、あおりやへや

あおりやへふし

3 ききゑ、あおりやへや、せち、まさて、あすへは、てるかほか、てりよる、やに、

ききゑや

又 とよむ、あおりやへや

あおりやへふし

4 ー きゝゑあおりやへや、世の、まゐて、よの、つんし、かみてたの、せち、もちやり、
ちよわれ

又 とよむ、あおりやへか

あおりやへふし

5 ー きゝゑ、あおりやへ●か、けちよりや、まゐり、またまゝかね、もち、みちろ、くすく
又 とよむあおりやへか

あおりやへふし

6 ー きゝゑ、あおりやへや、しけうろ、あや、かけわちへ、ちよらの、はなの、さい、わたる、みもん
又 とよむあおりやへや

きゝゑ大君かみやりのひやしかふし

7 ー きゝゑ、あおりやへや、くすく、おとん、けらへて、かくらの、けおの、うちに、ある
又 とよむあおりやへや

あおりやへふし

8 ー きゝゑ、あおりやゑや、あかるいの、こかね、あな、こかね、はなの、さ●よのは、あおりやゑ
や、おれよみきや、おれわちへ

あかるへの大ぬしきゝゑくにせかきよりふし

きこゑ、あおりや木こゑや、ち天の、せち、おろちへ、おきやかもいに、みおやせよ、ともくと、す、ちよ
われ

又とよむあおりやるや

おちいてはあおりやへかふし

10 一 きゝゑ、 あおりやへ、 もゝあちより、 まゐゑ、 なちぐゑきよもい、 とゝまちへ、 あおりやゑ、 つかい

又とよむあおりやへや

かつれんはなおにきやたとわるかふし

11
— あおりやへや、なさいきよ、おやまよわちへ、きみの、つんし、つかい

又くにもりきや、なちいきよ

12 一 きゝゑ、あおりやへや、しまうち、きみやれは、あおりやゑや、しまうちゑやや
おれわちへ

又とよむあおりやへや

あおりやへふし

13 一 ききゑあおりやへや、中かみに、てつて、あちおそいしよ、てつて、ふきよわれ
又 とよむ、あおりやへや、かな、ひやふに、てつて

あおりやへふし

14 一 せりよきに、とよむ、ききゑ、あおりやへや、あちおそいに、くに、^{すもも}てもち、みおやせ
又 すへの、きみやれは、ふさい、きみやれは

15 一 ききゑ、あおりやへや、なさいきよ、かなしけや、よかほう、かなふくに、ちよわれ
又 とよむ、あおりやへや

ねいしまいしかふし

16 一 ききゑ、あおりや^へく^へや、なさいきよか、よそいるもり
又 とよむ、あおりやへや

あおりやへふし

17 一 ききゑ、あおりやへや、千万の、もちよる、^{いノ上ヨリ}おき^ミやかもいしよ、かけて、ふきよわれ
又 とよむ、くにもりか、千万のもちよる、おき^ミやかもいす

きゝゑ、あおりやくか、いけな、なりかわて、しよりもり、おれわちへ、かくら、せち、

あちおそいに、みおやせ

又とよむ、あおりやへや、なりきよ、おれかわて、またまもり、おれわちへ

おしかけか
ねいしまいしかふし

19 一 きゝゑ、あおりやへは、手 国求と也すへとめて、おれわちへ、わかきよみに、よかけすへ、みおやせ

又とよむ、くにもりきや、国求と也ませ、とめて、おれわちへ

十六、 $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$

あかんこかねたてかふし

共
1

20 一 あおわやへか、みやの、とよみ、あちほこる、おみやの、とよみ

又 せたかこか、みやの、とよみ、あんしほころ、おみ、あの、
十六 あかつれんのみやのとよみ

きみかなしかふし

21 一 きこゑあおりやへや、^{モ昔也}けさよりや、まさり、しよりもり、もち^アなちへ、けおの、うち、もちよる、なちへ、

とて

又　とよむ、くにもりきや、昔也むかよりや、まさり、またまもり、もちなちへ、けおの、うちに、もちよる、
なちへ、とよみ

けさ おとこ きんぎょの
きんぎょ也 琉俗今ハ唯

先^{サキ}ニトイフ副詞□□□用フ

ケサ

キルサ
ケツサ

又 またまもり、いのらに

又 きこへ、あちおそいや

又 とよむ、あんしおそいや

又 けお、まさり、あちおそいふた、まさり、あちおそい

あおりやんふし

26
5-1 きこへ、さすかさか、とよむ、大きみや、さすかさす、なさいきよもい、まふら
又 とよむ、さすかさか

たいらのとのふし

27
6-1 きこへ、さすかさよ、ともくと、さにして、ちよわれ
又 とよむ、さすかさよ、しよりもりくすく、まさまもりくすく

△

しよりもりのほていけはかふし

29
28-8-1 きこへ、さすかさか、あ、け、せい、やりよわ

又 とよむさすかさか

又 しまうちの中、わかいきよた、まほの、きも、そろい

28
7-1 首のほていけはかふし

又 きこへさすかさか、せち、やしは、たに又たよ
又 とよむさすかさか
又 くめ、けすに、きよやせ
又 かき、なき、みれつな

たくしたらなつけのふし

30
9-1 きこへ、さすかさか、きみほこり、ふう国、うちよせれ

同
50

又 とよむ、さすかさか

又 首里、もりくすく、またまもり城

ねしましのおて

31
10-1 きゝゑさすかさか、ひやしの、つち、うたは、きゝ、かなしけさ

又 とよむさすかさか

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

32
11-1 きゝあへお^{しな}きかやちよにだにしらせかあし
あや^きこ

又 とよむ、さすかさか

又 もり、おとちやは、さたけて

よそわる あや^いこのおて

33
12-1 きゝゑさすかさか、こへやて、おきもやすま

又 とよむさすかさか

34
13-1 きゝゑさすかさか、あまへわちへ、あすひよわ

又 とよむ、さすかさか

又 けおの、うちは、をしあけて、さんこおり、つきあけて
 又 しよりもり、おれわちへ
 又 またまもりおれわちへ

くにとよてかふし

35
~~14~~ 一 きゑゑ、さすかさか、ともゝと、はやせ、おれ●わ

又 とよむさすかさか、ともゝと

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

すへのひやしかふし

36
~~15~~ 一 さすかさ、さすかさ、とよみ、われゑ、み物、よせす、つなり

又 きみの、あんし、あちす

廿
 一 ちふたふたはははは

すつなかかふし

37
~~16~~ 一 さすかさ^{はは}に、すゑの、ひやし、めつち、ひやし、みおやせ

又 きみのあんし^{ちふ}に

廿
 一 7

ち^大こかふし

38
17 一 きい^あ さすかさか、たくに^い とよて、おれわちへ

又 とよむさすかさか

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

くにとよてかふし

39
18 一 きい^あ さすかさか、も^いすへ^い これ^ととよむ

又 とよむさすかさか

又 しよりもりくすく

又・ またまもりくすく

たくしたらなつ^いのふし

40
19 一 きい^いへさすかさか、つ^いみの^い あちなり、かなし^い ふうくに、うちよせれ

又 とよむさすかさか

ねいしま右のふし

41
20 一 きい^いへさすかさか、あちの、つち、なさいきよ

又 とよむさすかさか

あおりやへふし

42
~~21~~ 一 きこ●へさすかさか、よかほう、あまへ

又 とよむさすかさか

うしおそいふし^ア

43
~~22~~ 一 いはかわの、もりに、さすかさか 嶋なふし、おれわちへ

又 おやかわの、もりに

又 おろく、よこたけに

あおりやへふし

44
~~23~~ 一 きこへ、さすかさか、もちろかちへ、あすへは、もろすへ、おきやかもしゆ、ちよわれ

又 とよむさすかさか

又 いしゑけり、あちおそい^{勝利也}

又 てたか、うさし、ちよわれ

又 るそにやすへ、あちおそい、いちる、うさし、ちよわれ

又 かわるめの、みうちに、きみほこり、けらへて

又 しより、もりくすく、きらのかす、おれらに

又 またまもりくすく 月のかす、おれらに

うらおそいふし

45
24 一 きこへ、さかさ、おこのみの、たかさ、あけ、くもの、あさひさす、様に也

又 とよむさすかさか

あおりやへふし

46
25 一 しよりもり、ちよわる、きこへ、あちおそいや、ひやくさ、のち、いので、みおやせ

又 またまもりくすく

ねいしまいのふし

47
26 一 きこへ、さすかさか、あかるいに、かよて

又 とよむ、さすかさか、てたかあなに、かよて

あおりやへふし

48
27 一 きこへ、さすかさか、けおの、おうちは、おしあけて、しよりもり、おれわちへ、きみきや、こかね

すへ、天孫主かなし也天つきに みおやせ

尚瀬王加那志之神御名

又 とよむ、大きみきや、もちろ内は、つきあけて、めつらしや也またまもり、おれわちへ

又 年三とせ、なるきやめ、しよりもり、めつらしや也おもかしや

又 とし四とせ、なるきやめ、またまもり、おりかしや

又 しよりもり、かけふせる、王かなしの御事也てにつきの

又 またまもり、しきふせる

又 てたの事也 てるかはか、あかる、やに、てりおそて

ね石ま石のふし

49
28 一 きこゑ、さすかさか、きみきや、まふり、よわる、たみ

又 とよむさすかさか

よそわるちやこかふし

同 33、へ

50
29 一 きこへ、さすかさか、こへやて、おぎも、やすま

又 とよむさすかさか

ナナホもさいふし
あおりやへふし

ナナホ

51
30 一 きこへ、さすかさか、おほつゑが、おれわちへ、あちおそいしよ、せぢ、とよて、ちよわれ

又 とよむ、大きみきや、かくらゑか、とりよわちへ

又 年ハとせ、なるきやめ、きみ、てつり、間ノ有ル事也 まとうさ

又 きら、なふさ、とるきやめ、み物、あすひ、めつらしや

又 あんしおそいきや、御為也 おより 此きらに、 おれわちへ

又 このみ、しま、なふちへ、此幅也 このゑかに、おれわちへ

又 てたか、うさし、やれは、しよりもり、まさて、あんしおそいしよ、せぢ、とよて、ちよわれ

十一
69

うらおそいふし

52
31

一 きこへさすかさは、まふる、きみ、やれは、^{見事成を云}くもこいろ、^{十一ナシ}てりや、あかて、ちよわれ

又 とよむ、大きみや、かいなて、きみやれは

又 しよりもり、ちよわる、^{勝利也}いせるけり、あちおそい

又 またまもり、ちよわる、あか、かいなて、あちおそい

又 あまみやから、^{相手也}あいちへ、きみやれは

又 しねりやから、^{相手}つほこ、きみやれは

又 てるかはか、おことす、てるしのか、御ことす

あおりやへふし

53
32

一 きこへ、さすかさか、さしふ、おれかわて、ともとの、^{世おそ事也}よそつ、せち、あんしおそいに、
みおやせ

十一
92
由来アリ
口記

又 とよむ、さすかさか、むつき、おれなふちへ

又 けおの内は、^{十一ナシ}おし●あけて、^{また十一ナシ}しよりもり、おれわちへ

又 もちろん内は、つきあけて、またまもり、おれわちへ

又 あちおそいよ、ほこて、たみきよ、^世ほこて

あちおそいしよしれかふし

六
1
廿
44
廿
15

54
十一

一首里、大きみや、とよむ、くにおそいきや、国ふさて、ちよわれ

又 けおのうちに、^六もどて、^{又あやな}もちろん内に、もどて

眼力本合シ

以下廿二ナシ

六、二廿、45

三、一

又 なさいきよもい、あちおそい、^{六、又}なさいきよもい、^{右同替名也}たみきよ、^{目とめと見合ふ事也}

又 あま^あわちへ、^{六、又}ならて、^{右同}みきやうあわちへ、^{六、からわ}ならて、^{明年にならばと云}

又 あけまとし、^{六、又}ならは、^{明年替名也}むかうどし、ならは、

又 きみてつり、ほこり、^{六、又}かみつかい、このめ

又 けおとまに、よりおれや、ゑかゑらひの、よりおれや

又 よりみちゑの、^{六、又}おより、せち、よせの、^{六、又}おなふさ

又 おれらかす、まふら、あすはかす、^{六、又}かいなてら

55
二 一 しより、^{六、二}大きみきや、^{六、二}すゑ、^{六、二}ゑらひやり、^{六、二}おれわちへきみきや、^{六、二}せち、^{六、二}もちよろ、^{六、二}なちへ、^{六、二}みおやせ

又 とよも、^{六、二}国もちきや、^{六、二}ませ、^{六、二}ゑらひやり、^{六、二}おれわちへ

又 しよりもり、^{六、二}ちよわる、^{六、二}ゑそにや、^{六、二}すへ、^{六、二}あちおそい

又 またまもり、^{六、二}ちよわる、^{六、二}てたかすへ、^{六、二}あちおそい

又 み物の、^{六、二}まみやに、^{六、二}くに、^{六、二}あかりは、^{六、二}あふらちへ

又 かわるめの、^{六、二}みうちに、^{六、二}きみしない、^{六、二}あふらちへ

又 きこへ、^{六、二}大きみちよ、^{六、二}ゑりちよ、^{六、二}やりかわちへ、

あおりやへふし

56

三 一 しより、^{六、二}大きみきや、^{六、二}此ゑりの、^{六、二}よりおれや、^{六、二}すゑに、^{六、二}きやめ、^{六、二}まちよく、^{六、二}ちよわれ

又 とよむ、^{六、二}国おそいきや、^{六、二}此きらのつきおれや

六
4
廿
47

六
5
十一
93
廿
48

又 たゝみきよ、きも、みちへて、あすて

又 みもん、きよら、あふらちへ、おほつ、たけ、よきちへ

又 くにふさい、おしたて、かくらもり、ひうちへ

又 大きみに、^{申上の也}よしられ ^{アテた也}てるかはに、^{右同}のいてれ、
^{元のまゝに書}アたて

あおりやへふし

57
4 ー しより、大きみきや、首里もり、おれわちへ、^申あちおそいしよ、^六せぢ、^六まきて、ちよわれ

又 とよむ、きみ、とよみきや、^{しき也}ませねかて、おれわちへ

又 ^{むかしからと云}あまみやから、すへの、きみやれは

又 ^{右同}しねりやから、あいちへ、きみやれは

又 ^{神人也}さしふ、五ごろに、みまふてす、おれたれ

又 ^{神人異名也}むつき、七ごろに、かいなてゝす、おれたれ

又 大きみきや、^{思慮也}御さうせ、てるかはは、の たてゝ

^モ首里天尚寧王加那志御代

萬曆三十五年ひつゝの年拾月十日つちの、との、みのへ、きみ、てつりの、もゝかほう

ことの、時に、しより、大きみの、御まへより給^アう^申

あおりやへふし

58
5 ー しより、大きみきや、首里もり、おれわちへ、^六あちおそいしよ、^六せぢ、^六まきて、ちよわれ

六
6
十一
88
廿
49

六
前
二
ツ
マ
ク

又 とよむ、くにおそいきや、またま、おれわちへ
又 あちおそいか、おより、わうにせか、おより
又 きらのかす、おれわちへ、ゑかのかす、おれわちへ
又 おれらかす、みまふら、あすばかす、みまふら、

首皇天尚永主加那志御代

万曆十五年の年十月十八日みつのととのりのへ、せのきみの、御まへの、かかり、かわり、めされし時に給う

ア
あおりやへふし

59
十一 きこへ、せんきみきや、なりきよ、おれふさて なさいきよもい、わうにせ、せち、またて、

ちよわれ

又 とよむ、きみ、とよみきや、いけな、おれ、なふちへ

又 みもん、内の、まみやに、あすて、なふちん、からわ んへノ饗

又 かわるめの、まみやに、ほこて、なふちへ、からわ

又 さしふ、五ころに、おれなふちへ、からわ

又 むつき、七ころに、みまふてす、おれたれ

又 しよりもり、ちよわる、あか、なさいきよ、わうにせ、すゑなく、せち、またて、ちよわれ

又 またま、もり、ちよわれ、あか、なさいきよ、わうにせ、すへなく、せち、またて、ちよわれ

尚寧王かなしみ世

萬曆三十五年ひつしの年十月十日つちのとのみのへにせんのみみの御まへより給^アう

あおりやへふし

六
廿、
50
7
11
94

60 ^二 きこゑ、せんきみや、すゑ、とまへて、おれわちへ、あち^六おそいに、嶋か、のち、みおやせ

又 とよむ、きみ、とよみや、ませ、ねかて、おれわちへ

又 あまみやから、すへの、きみ、やれは

又 しねりやから、あいちへきみやれは

又 さしふ、五ころに、みまふてす、おれたれ

又 むつき、七ころに、かいなてゝす、おれたれ

又 大ききや、御さうせ、てるかはは、のたてゝ

中秋宴

王府庭中于「北宮滴水前」造「木方五六丈」帷幕四週王延「客人」席坐先王呈「神歌祝頌」説帖云本國混沌之初首出御「世者」為「天孫氏」

如「中國魏皇」澹泊為「治嗣」後國君登「位神」每出「示」靈祐「乃製」迎神歌「以歡樂之」迨後神不「屢出」神歌遺曲至「今猶存」每「當」國土即位及

行慶諸事「必皆奉行」從前先王受冊封「後宴」天使「例」首演「之作」老人「登」場不「作」樂惟唱「神歌」拜祝「皇」上乃歲中外昇平「次頌」國王

共蒙「福祉」今當「中秋佳節」天使降臨真神人共喜之日也謹遵「例」首唱起神歌「黃髮老人」百拜稽首恭頌「皇」上恩德續如「天國」王「將」續百世老人

歌罷拜退次令「戚臣子弟俊秀者數十人」衣「彩衣」隊々相繞歌「太平曲」以供「宴樂」云（中山伝信録）

大清同治五年丙寅九月八日仲秋之宴三付 兩勅使樣御登城之時躍之次第

一番

神歌こねり 安仁屋筑登上親雲上

同地 安仁屋掟親雲上

宮城掟親雲上

着付神歌主取髪髷古銅色緞子丸頭巾白唐ひかけ天青緞子衣裳金襴大帯足袋同地人紋髪玉色
さや丸頭巾朝衣緞子大帯足袋

(旧冠組臨奉行 小祿按司所蔵ノ躍次第記)

廿九年十二月 日 おもろ主取ノ本二部ト校合了

明治廿八年三月十四日

語学材料

随庵主

第七

んつとノ聞達 ア 五、セウめんくしやトアリ

神の託言 彦麿翁ノ傍廂後篇

崇神天皇紀に丹波氷上人名ハ氷香戸^{ヒカトマ}辺啓于皇太子活目尊^{タマモシツシ}曰、己子有「小兒」、而自然言之、玉藻鎮石^{イツモヒトマツルマタネノウマンカミ}、出雲人祭真種之甘美鏡、押羽振^{オシハフル}、
 甘美御神底宝、御宝主、山川之水泳、御魂静挂、甘美御神底宝、御宝主也、是非似「小兒之言」、若有託言^{ウマシミカミノコタカラ}乎、於是皇太子奏于天皇、則勅之
 使祭、これは出雲の臣らか大神の祭りに怠りし故の神託なりまた神皇后紀にも神託あれど其意明かにて漢文なれば神語定かならず、履仲天皇紀に五年

九月乙酉朔癸卯、有如風之聲、呼於大虚^{トリカヨ}曰、劍刀太子王也、亦呼之曰、鳥往来^{ハタノナニモハハサニハフリタチヌ}羽田之汝妹者^{サナキタノコモツノミコト}狹丹葬立往也、亦曰狹名来田之蔭津之命、羽
 狹丹葬立往也、俄而使者忽来曰、皇妃薨云々、これは車持君が筑前宗形三女神の神領を押領したる祟なり、これらは実の神託なり、国史以下

後世の文物語文などにも正しき神託あれど或は漢文或は其世の俗言などにて記せるは意は聞えつゝも語は伝らず、卜部兼俱卿の三社宣託というふものは
 つたなきづくり物にて仏語を以て漢文の対句にしたる下手細工なり、師翁^{ハハ}の託言^{ハハ}考に類聚三代格を引きて厳くいはれたり

首里天きやすへあんしおそいかなし

首里おもろの御さうし

天啓三年癸亥三月七日

いちハト

おちいちへ同

首里おもろ 79

まちゆに^ン オナジニ也オラ略
キタルナリ 敬ニハオラ添ヘテ
オマジヨントイフ

おちいちへ[、]しよりちよわちへからのふし

1 首里の、てたと、天に、てる、てたと、まちゆに、ちよわれ

又 みかなし、てたと、てにゝてる、てたと 首里ノ日即チ王ト夫ニ照ル日ト同ニ(運レ立チテ来レヨト也

又 てた、^モ首里加那志行幸ノ御事、いちろくとてにゝ、てるてたと

又 てた、はちろくと、てにゝ、てる、てたと

2 首里、^モ御座事^也、ちよわちへ、からわ、しまの、ぬしてたよ、^モ今事^也、いみやど、かみしも、とよむ

又 くすく、ちよわちへからわ^ハ 首里ニ御坐ス以上ハ島ノ主^ヲテタハ例ノ尊称ヨ、今ソ上下讚美スルト也

あかんこうかいよやにかふし

3 一 しよりもり、のぼて、いけは、よのあけて、てだの、てりよる、やに

又 またまもり、のほて、いけは 首里ニ上リテ往ケバ丁度夜ノ明ケテ太陽ノ赫灼タルヲ拜スル様ニアルト也

うちいちへはしよりちよわちへかふし

4 一 首里、もりよ、わか、おやくによ、あま[、]ふさよわちへ、

又 よかる、ひの、かすよ きやかる、ひの、かすよ

よきけらへかふし

5ー しよりもり、またまもり、けらへて、のちまさる、世がけ、柏子之筆ひやし、みおやせ

又 しも、あしから、もとあしから、おり、あけて

又 たけ、たかく、はりひろく、おり、あけて

あおりやへかふし

6ー 首里、おわる、首里かなしの御事てたこか、たま、いしがき、けらへて、たま、こかね、もち、みちへる、くすく

又 くすく、おわる、てたこか、たま、いしがき、けらへて

あおりやへかふし

7ー しよもり、けらへて、アけらへたる、きよらや、かみ、しもの、ア世そろゑる、くすく

又 またまもり、けらへて、けらへたる、きよらや

サイ、ク 喧ウク 是ハ賞讃ノ意

8ー たらかにぎや、さいく、かくら、アぎやめ、とよて、しよもり、こかね、アより、みちへて

又 たらかにぎや、古こく、おほつ、アぎやめ、とよて

9ー きゑ、あちおそいかひがわ、ぢやうは、けらへて、かみ、しも、そろゑる、世ルのとで、うち ちゑ

みおやせ

又 とよむ、あちおそいきや

10 一 きこへ、あちおそいきや、あかた、ぢやうは、あけわちゑ、かみ●、てたの、そろて、ほごり、よわちへ

又 とよむ、あちおそいきや、すへの、ぢやうは、あけわちへ

又 おなり、かみ、たかへて

又 おなりかみのかいし言葉也 せせりきよ、たかへて

ア あおりやへかふし

11 一 おもひ、またふきや 米也 よねもいは、けらへて、かくら、あつる、くもいぢへ、みをやせ

又 かなしわうしやくかよねもいは、けらへて

又 てに、からり アお ふりおそてよねもいは、けらへて

又 ぢい、からは、わきあかる よねもいは、けらへて

12 一 首里、まちや、おどのいりちへ、みちゑ、きよらやの、みおとん

又 くすく ア まちや、おとん

13 一 しよりもりくすくとよむ、世そいもりよの、かほう、世もつ ア せち、みおやせ

又 まだ アナシ、まもりくすく

14 一 首里、まだまもり、せだか、あちおそいや、きみよせ、きらくせみもん

又 きみの、もちつきやせだか、あちおそいや

十一 あふりやかふし

（母親之事所によりて山の神をかく申事も有

15 一 たけの、すつなりや、かほう、そろゑ、わちゑ、
（我也）あか、なさいき●、のち、まさり、
又 きみのもち月きや

ちやるのし、はねしやりかふし

16 一 しより、ふくじ、きよ、世かる、ゑさの、しゆ、けおの、めつらしや

又 けおのよかる、ひに けおの、きやかるひに

又 がぢやの、うらの、かない、うつ、うらの、さしけ
、ニテ貢ナラン

うちいちへるしよりいちゃかふし

17 一 首里、たちよもいや、わか、てたす、
きみくに、せれ

又 くすく、たちよもひや

18 一 首里、あつる、みやがり、みいきよせ、せんよせ、けらへ

又 くすく、あつる、みやがり

なへたるかおもろのふし

19 一 しよりもり、ちよわる、おきやかもい、かなし、天より、したの、わうにせ、てた
又 またまもり、ちよわる

20 一 しよりもり、ちよわる、(おそつなり)世そつせち、もち、よわち_ふ、(ち)てるかはす、御日之事まゐて、よは、ちよわれ

又 またまもり、ちよわる

又 てるくもに、しられ

又 おそて、とづ、やけれ

又 さし、ふてるくもに

又 もつき、てる、まもん

又 うまかへは、ゐせわちん_へ

又 むかよりや、まさり

又 けさよりや、まさり

又 かみしもは、そろゑて

又 ぢはなれは、そろへ_わす

又 天か、した、そろへて

又 てるかはか、うさししよ

21 一 首里、わか、さいく、ま物、おとん、けらへて、世ま_{なり}の、おき_やかもひ、しよ、と_もと、ちよわれ

又 くすく、わか、さいくするの、おどん、けらへて

又 大きみは、たかへて

又 おしかさは、たかへて

又 おやのろは、たかへて

又 みやき、せん_の、あすた、ほこて、しよる、つかい

ア あおりやへかふし

22 一 くにかさかもちよる、大世のぬし、あんしおそい、ともくすゑ、そろゑて、ちよわれ割り帰し

又 くもこもり、おやのろ

又 しよりもり、おれて

又 まだまもり、おれて

又 御日の事 てるかは、たかへて

又 御月の事 てるしのは、たかへて

又 きみくは、たかへて

あおりやへかふし

23 一 首里もり、くすくしまこがね、くすく、ともくすゑ、とひや くさす、アナシ ち、よわれ

又 またまもり、くすく、くにこがね、くすく

うらおそいのおやのろかふし

24 一 たまの、みそてかなし、しよりもり、けらへて、かみ、しもの、いくさ、せち、みをやせ

又 けらへ、みそてかなし、またまもり、けらへて

又 しよりもりちよわる、わかいきよ、すて、かなし

うらおそいおやのろかふし

25 一 けらへ、ゆきなわか、しよりもり、おれわちへ、世そうせち、おきやかもいに、みおやせ

廿ノ 8

又 とよむ、ゆきなわか またまもり、おれわちへ
又 きみぎや、よりたは^アくもこ、よりみちへて
又 きみぎや、よりたは^アこがね、よりみちへて

廿ノ うらおそいあし
うらおそいおやのろかふし

26 一 たまの、みそてかなし、けらゑ、みそてかなし、かみすぢや、そろ^廿て、ほこり、よわちへ
廿ノ ナシ又 あう^タの、たけ、大ぬしなです、もり、大ぬし
又 かゑふたに、おろちへ いつこたに、とらちへ

あおりやへかふし

27 一 あかるいの、大ぬし世そう、せち、あちおそい、天きや、した、せちやり、やりちよわれ^ヤ
又 きこへ、くにせりきよ、世そうせち、あちおそい

廿ノ のちあかりのふし
きこへ大きみかおれてあすひやとれはかふし

28 一 あまみやはちまたる、しよりもり、くすく、これと、こかね、うち^廿にたどわる
又 しねりや、はちまたる まだまもり、くすく

うらおそいのおやのろかふし

29 一 あまみきよか、まさいく、しよりもり、けらへて、けらへ、やり、おぎやかもいに、みおやせ
又 しねりやこか、まさいく、またまもり、けらへて

世
1

30 一 あまみきよわ、大しま●、つくて、やちよ、ゑそにや、すゑ、おぎやかまいに、みおやせ
又 しねりやこは、大しまは、

あおりやへかふし

31 一 あまみきよか、うざししよ、この、大しま、おれたれ、ともゝすへ、おぎやかまいす、ちよわれ
又 しねりやこか、うざししよ、此たしまおれたれ

又 ほうばな、とて、ぬきあけは、ちりさびは、つけるな
又 ほうざき、とて、ぬきあけは、か●さびも、つけるな

32 一 なべたるか、おもろ、もゝつか、わりくる、ぎやめ、これと、べ、にひき、とよむ
又 なべたるか、せるむ

あおりやへかふし

33 一 なへたるか、おもろ、くすく、おどの、けらへて、かみ、しむの、み物する、きよらや

あおりやへかふし

34 一 ゆだいきよか、おもろ、ゑそにや、すへ、てたが、うち、世、ひろく世、ながく、ちよわれ
又 ゆだいきよか、せるむ

101

39 一 たよん、中みねや、たよぬ、かねつきや、これど、あんしの、きみしてた^し

又 しよりおわる、てたこ、みかなしの、てたこ

又 もうらおそい、ちよわちへ、世^ア、そわりに、ちよわちへ

又 めちへ、おわれは、きよらや、つちあ、おわれは、みほしや

おもろ^ア、ねやかりや^ア、せるむ^ア、ねやかりか^ア、おもろと^ア、そないせるもかふし

40 一 なかみね、きよ、もんかねつき、きよ、物^ヤ、しより、きやん^{キヤナルベシノ、ノ}、うち、あまやか^{ノトナルハ例多シ}せ

又 かない、あちあ^ア、きよ、物、さくけ、しちあ、きよ、物

おもろねやかりか^ア、せるむねやかりは^アおもろと^ア、そないかふし

41 一 なかみね、きよ、もん、かね、つき、きよ、物、これ、いちあ、あんしおそい、はやせ

又 あかんこ、おもろ、ねはいんこ、をもち

又 まいしがね、おもい^ア、あか、よせて、おかは

あおりやへかふし

42 一 あか、わりぎや^ア、おもろ、くち、まさしや、あもの^ア、とものと、おがて、かか、おらに

又 としの、はち^まもりに、ゆはい事^ア、すれは

又 しよりもり、ちよわる、世^アまさりの、おぎやか

又 またまもり、ちよわる世^アまさりの、おぎやか

又 ひやくさ^{算也}、さ^{算也}にしよわちあ、世^アまさりの、おぎやか

あんのあかみねまぐちまさしやか物くふし^ア

43 一 あんの、あかわりや、くち、まさしや、あ物、よ、ひろく、よう、なか、ちよわれ

又 としの、はちまりに、よわいごと、みおやせは

あおりやへかふし

44 一 あかわりぎや、おもろ、あすもりの、よもつ、すでみつよ、みおやせは

又 けおの、よかるひに

あおりやへかふし

45 一 あかわりぎや、おもろ、あかわりぎや、せるむ、おもひ、ぐわす、とひやく、さよ、ちよわれ

又 けおの、よかる^ゆひに けよの、きやかる、ひに

又 るぞにやする、やれは てだりす^がへ、やれは

又 しよりもり、ちよわちへ またまもり、ちよわちへ

リ
クナラン

46 一 しまぢりか、おもろ、くちまさしや、あもの、ぢ天の、あらきやめ、ちよわれ

又 しまぢりきや、せるむ

又 あちおそいきや、おもいくわ、つれの、あぢきや、たとへる

47 一 あんの、あ^ア●^るか みねま、くち、まさしや、あ物、てだやれは、とひやくさす、ちよわれ

又 あんの、もと みねま

48 一 あんの、あかみねま、くちましや、あ物、もぢやら、なおす、せち、もつたゝみ
又 あんの、もとみねま

たくしたらなつけかふし

49 一 (児之事) せぢこ、なちへ、からは、わがみ、わがく、なて、てたか、いのち、かみか、いのち、みおやせ
又 おもひ、なちゑ、からわ

おもろねやか、あまゑわちへから、いみやと、よわまさりかふし

50 一 かねし、くにかみきや、おもろ、こそてはた、おきも、たりじよ、げすに、をもわれく
又 かねし、くにかみか、せるむ

あんのあかみねまかふし

51 一 かねし、くにかみか、せるむ、よかる、くにかみきや、天か、した、たりじよ、とよみ、よわれ
又 しよりもり、ちよわる おきやかもい、かなし
又 ゐちゑ、おわれは、きよらや つちへ、おわれは、きよらや

あをりやへかふし

52 一 まみちけか、おもろ、すゑの、くち、ましや、とも、すゑ、とひや、くさす、ちよわめ
又 けよの、よかる、ひに けおの、きやかる、ひに
又 大きみは、たかべて くにもりは、たかべて

又 首里もり、ちよわる世まさりの、おきやか

あおりやへかふし

53 一 まみちけか、おもろ、くち、まさしや、あ物、ゑぞにやすへ、おもいぐわす、ちよわれ

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 しよりもりくすく またまもりくすく

又 もくうらおそいちよわちへすゑのおどんちよわちへ

かつれんはいきやるかつれんかふし

54 一 なをぢ、きよわ、けよわ、のが、しよらい、いみき、もり、ぢよ、いちよ、なしや、しゆるな

かゞくしむかし翁有糸多子をとり中にもなおちきよらと申は名人なり或時なま魚持て預たる人有時過取に

又 なおぢ、きよわ、なまわ、のが

参りたれはくさり無なり弁てやらんすれ共更に取りす と角 ●本々魚を取と申やうすは家財

かゞくし

うらおそいのおやのろかふし

55 一 なおぢ、きよか、しよりかち、ぐれは、しま、ひろく、くにひろくちよわれ

御まゐり

取と頻に云翁作て申 なおちきよら家にあらは何ぞ様のことあらんいつ共も尋よと なおちきよらとて
又 なおちきよか御まゐりかち

申は世界は一朝の露何ぞ安堵の思を成す国中は我が家也國人は皆わが兄弟也と申していつち共

十一
15

うちいちへはおやみかまかふし
56 一 なおぢ、をも、りげや、あんの、おもかけや、すかてのおもいちゑのてた
なく周流して家にあらす帰る事の遅きを待て作たるおもる是也
又 あんからと、すかる げすからと、すかる

十一くすくすの太やよしの太やかふし
くすくすの太や又よしの太やきゆんうちあまへかふし

57 一 つるこにくけ、しや、よかる、にくけ、しや たまつむ、きやんの、うち、みちやる
又 おい人に、とゑは、ひとのおやに、とへは
又 けさよりや、まさり むかよりや、まさり

たまつも、きやうゆかふし
内?

58 一 つるこにくけ、しや、よかる、にくけ、しや みやがの、とり、みやがのわし
又 なかべ、まうとりや、くもへ、まうとりや
又 とりむ、物、しると、わしも、物、しると
又 くめは、いなへ、やり、けらま、まい、こゑて

きゑあおりやへかんとすおすあきやめもかふし

十一
16

59 一 きゑ、おしかけか、しよりもり、おれわちへ、きみつほに、おきやかもいに、みおやせ
御座事

又 きみの、に、せとのか、またまもりおれわちへ

又 さしふ、いつ、ころに、おれなおちへ、からわ

又 さしふ、なつ、ころに、おれふさて、からわ

十一
前ニツク

しよりちよわちへからしまぬしてたかふし

60 一 おぎやか、へどもいや、おぎやか、しひつぎや、さすかおそい、世、そわて、ちよわれ
又 しよりもり、ちよわる、おぎやかもい、^{かな}なし

しよりちよわちへからつまぬしてたかふし

61 一 おぎやか、へどもいや、おぎやか、しひつぎや、てだの、てら、ぎやめ、ちよわれ
又 しよりもり、ちよわる、おぎやかもい、かなし
*88 参照 日ノ照ルカギリハ也

しよりちよわちへからしまぬしてたかふし

62 一 おぎやか、へどもいや、あちく、せの、このみ、みもん、みやふ、かみ、しもの、とよみ
又 おぎやか、しひつぎや

おなしふし

へらい
ヨリアヒ ユラヒ エラヒ
ヘライ モ
よそへらいん

63 一 おぎやか、へどもいや、おぎやか、●しひつぎや、あち、てだ、おやまて、へらい
又 ^{近くよるなどいふ事也}きやがす、さへ、ずるな、はたす、さへ、ずるな、
又 しられ事、あらは、なかどり、やり、しられ、

しよりちよわちへからしまぬしてたかふし

64 一 おぎやか、へどもいや、おぎやか、しひつぎや、をふれ、おぎも、やすて、
又 しよりもり、ちよわる、おぎやかもい、かなし

又 ぢよか、ぢやなの、おきてぢよか、とかしき、にや

おもいこ、たらつかふし

65 一 おぎやか、へどもいや、しより、おやぐに、おてからわ、ともゝすゑ、あまゑ、よす、ならめ

又 おぎやか、しひつぎ、か、わか、おやぐに、おてから●は

しよりちよわちへからしまのぬしてたかふし

66 一 おぎやか、へともいや、おぎやか、しひつぎや、もゝ、あちの、みあぐも、てた

又 しよりもり、ちよわる おぎやかもい、かなし

~~又 ぢよか、ぢやなの、おきて、ちよか、とかしき、にや~~

おなしふし

67 一 おぎやか、へともいや、おぎやか、しひつぎや、ともゝすゑ、これど、いちへ、とよま

又 しより、おわる、てたこ、くすく、おわる、てたこ

あおりやへかふし

68 一 きこへあぢおそいか、おもかはに、ちよわちへ、しま世の、あらぎやめ、ちよわれ

又 とよむあぢおそいか、かねしま、ちよわちへ

又 きこへあぢおそいか、しよりもり、ちよわちへ、てるかはが、てりよる、やに、ちよわれ

又 とよむあぢおそいか またまもりちよわちへ

又 きこゑ大ききぎや、うら、とよみ、めしよわちへ、しまよの、あらきやづ
 又 とよむせたかこか、とよみ、おうね、めしよわちへ
 又 きこゑ大ききぎや、うらまわり、めしよわちへしまよの、あらきやづ

あおりやへかふし

69 一 おぎやかもか、おこのみ、ぢはなれは、そろへて、あまゑ、のちやらは、けらへて、とよ
 すへ、ぎやめも、おぎやかもいしよ、するまて、ちよわれ
 又 あちおそいか、おこのみ、
 又 大きみは、たかべて
 又 をなりきみ、たかべて
 又 けさよりも、まさり
 又 むかよりも、まさり
 又 すゑのわう、やれは

あおりやへかふし

70 一 おぎやかもいぎや、おこのみの、なみまつ、おぎやかもい、ほて、するまて、ゆだ
 なちゑ、ちよわれ

又 あちおそいぎや、おこのみの、なみまつ
 又 あまみきより、しまは、つくりよわちへ
 又 しねりきよわ、くには、つくりよわちへ

又 おぎやかもいか、しまは、けやわし、よわちへ

又 あちおそいか、くには、けやわし、よわちゑ

又 かみしむは、そろへて

又 ぢはなれも、そろへて

又 かみでたも、まぶりよわ

あおりやへかふし

71 一 おぎやかもいぎや、をこのみ、大みちは、けらへて、わかまつ、うゑちゑかみてだの、
そろて、ほこり、よわちゑ

又 あちおそいか、おこのみ

又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

又 大きみは、たかべて

又 きみくは、たかべて

又 はり、ひろく大みち、けらへて

尚真王

弘治五年（明徳元年）壬子創建円覚寺^{三年}并荒神堂延老僧芥隠為開山住持
開設

七年甲寅構宗廟于円覚方丈右側謂之御照堂 十一年戊午于円覚寺山門外營造石欄及橋

72 一 おぎやかもいかおこのみ、ゑんかくじ、けらへて、いのりよれは、てだか、ほりこ、よわちゑ

又 あちおそいか、おこのみ

又 大きみは、たかべて みやてらは、けらへて

又 きみくは、たかべて

又 かみしむは、そろへて

又 ぢはなれは、そろへて

又 みやてらの、すでみづ、おきやかもいに、みおやせ、ともゝすゑ、とひやくさす、ちよわれ

あおりやへかふし

73 一 おきやかもいか、おこのみ、まつなみは、うゑちちゑ、ともゝすゑ、ぎやめも、かみしもの、みもんする、

きよらや

又 あちおそいかおこのみ

又 大きみはたかべて

又 きみくはたかべて

又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

又 すゑの、わう、やれは

あおりやへかふし

74 一 まかるこか、おもろ、すゑの、おどの、ちよわちちゑ、^モつば、^{御座也}に^モみしやく、^{神酒之事}ぬきあげは、

すゑまなつてとひやくさす、ちよわれ

又 大きみぎや、もちなしすゑの、おどの、ちよわちちゑ

又 きみのあちのもちなしすゑの、おどの ちよわちへ

又 おきやかもいかなしぎやすゑのおどの ちよわちへ

又 きこへあちおそいぎや

又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

あおりやへかふし

75 一 あかともいぎや、おもろ、おきやかもいに、しられ、しまそわて、ともゝすゑ、ちよわれ

又 あかともいぎや、せるむ、

又 おきやかもい^かお^べこれみ う^きあちやる、わかまつ

又 あちおそいかをこのみ うゑさちやる、わかまつ

又 大きみはたかべて

又 きみくはたかべて

又 とし、ゑらびやり

又 つき、ゑらびやり

又 天きやしたとよて

76 一 おきやかもいか、おこのみけらへたる、御くらもゝくら、ひきよせて、みおやせ

又 あちおそいかおこのみ

又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

又 大きみはたかべて

又 きみくはたかへて

又 きこへおやとまり

又 とよむおやとまり

又 ともゝすゑ、ぎやめも

77 一 おきやかもいか、おこのみ、すゑの、御くら、そゑて、かみしもの、たから、つで、みおやせ

又 あちおそいかおこのみ、すゑの御くら、そゑて

又 大きみはたかべてくらなみは、げらへて

又 きみくはたかべて

又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

又 けさよりもまさり

78 一 家内之事
 ゑぞにやの、うちや、あまへ、やべら ほり、やべら
御日の御子そなたの祖父也 嬉しやする也
 又 てだか、うちやれは

79 一 いちやはなか、おもろ、あぢはるか、せるむ、ともと、もろろおそい、ちよわれ

又 あまの、かなしやにす、なごふ、つ、ちよわれ

但てんかす 七十九

首里大君

せんきみおなし

君かなし

もくとふみあかり

きみのつんし

、ハアニヨリテ

首里大君、せんきみ、君かなし、もくと、ふみあかり、きみの、つんしの、おもろ御さうし

天啓三年癸亥三月七日

第六

四、
へ

1 首里大君 5

2 ウ せんきみ 2

4 きみかなし 37

12 ウ もくとふみあかり 9

14 ウ きみのつんし 1

「あちそいしよせりかふし

「1ー しょり、大きききや、とよむくにおそいか、くにおさて、ちよわれ

又 けおの、うちに、もとる

るハて 又ト又トノ間ニ、ヲヒキシハ行なり

又ー あよか、うち、もとる

又ー なさいきよもい、あちおそい

又ー なさいきよもい、たゝみきよ

又ー あま肝也、あわちへ、ならて、

又ー みきやう、あわちへからわ

からわ ハ ならて

又ー あけまとし、ならは

又ー むかうとし、ならは

又ー きみてつり、御拝の事 慶の事ほこり かみつかい、このめ

又ー けお、とまに、今日也 言葉の結也よりおれや、あか、あらひの、ゆかおれや

アミミトアリテ傍ニ朱ニテ
リトカケリ

又ー よりみちへか、おより、せぢよせ御為也・なおさ

へハあかハの なノ上ニお字アリ

四へ

又 おれらかす、まふら、あすばかす、かいふまふら あふなぞ

尚永主

神皇英祖仁耶添塔司
添 又称日豊操王

2一 しより大ききまや、すへゑらひやり、おれわちへ、きみまや、せち、もちよる、なちへ、

みおやせ

へへあ るへる

又 とよむ、くにもりまや、ませゑらひやり、おれわちへ

りへち ?

又 しよりもり、ちよわる、ゑそにやすへ、あちおそい

又 またまもり、ちよわる、てたかすへ、あちおそい

又 みもん、うちの、まみやに、くに、あかりは、あふらちへ

下ノ歌ニやち也下解セリ

又 がわるめの、みうちに、きみしない、あふらちへ

みもんうちのハ 米物の

又 きこへ、大ききまよ、ゑりちよ、やりかわちへ、

あおりやへかふし

三へ

3一 しより、大ききまや、このゑかの、よりおれや、すへに、きやめ、まちよく、ちよわれ

又 とよむ、くに、おそいきや、このきらの、つきおれや

へへあ

又 たゝみきよ、きもはへて、あすて、みもん、きよら、あふらちへ、おほつだけ、き行よきちへ

はハ 米

又 くにふさい、おしたて、やちち也かくらもり、ひちちへ

又 大きみに、申上ル也よしられ、右高てるかはに、のたてれ

あおりやへかふし

四へ

4一 しより大ききまや、しよりもり、お口かれわちへ アあんしおそい、アナシしゆ、おせちまよて、ちよわれ

ゆへよ

四
へ

又 とよむ、きみとよみきや、ませねかて、おれわちへ
 又 あまみ^{昔也}や、から すへの、きみやれは、し^{むかし也}ねりや、から、あいちへ、きみ、やれは
 又 さしふ、五ころに、みまふてす、おれたれ
 又 むつき、七ころに、^{カキナデル、播磨といふ事}かくなててす、おれたれ
 又 大きみきや、御^{御一節也}さうせ、てるかはは、のたて、

尚
璽
主

首里天加那志之御代

萬曆^三十五年ひつしのとし十月十日つちのとのみのへに きみてつりの、もくかほう、
 ことの時にしより大きみの御まへより給侯
 しハつにナシ 候ハ?

あおりやへかふし

51 しより大きみきや、しよりもり、おれわちへ、あんしおそいしゆ、せぢまきて、ちよわれ
 又 とよむ、くにおそいきや、またまもり、おれわちへ
 又 あんしおそいか、お●●^{より}、わうにせか、おより、うらのかす、おれわちへ、ゑかのかす、おれわちへ
 又 おれらかす、みまふら、あすかはす、みまふら
 あんしハち、ハ又トアリテ別行ナリ うハき

尚永主加那志之御代

萬曆十五年あのとし十月十八日みつとの、とりのへに、せんきみの御まへのかるり、かわり、めされ候
 時に給侯
 んハの

きみかなしおもろのふし

8 一 きこゑ、きみかなしあれく、
あまへれ、*嬉 間切のおまか人の女房の事也

又 とよむ、きみかなし

又 しより、もりくすく

又 またま、もりくすく

又 ことし、かほう、とし

又 ことし、うまれ、とし

きみかなしおもろのふし

9 一 きこゑへ、きみかなし、おもつやに、けらへ、世の、つち、ちよわれ

又 とよむ、きみかなし

又 いつむいつむ 何時モイツモ也

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむ、あんしおそいや

きみかなしおもろのふし

10 一 きこゑ、きみかなし、おきも、せち、やりよ●は、おきなわ、たうり、ゆり、やかない

又 とよむきみ、かなし

又 きこゑ、あんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きみかなしおもものふし

11 ●一 きこゑ、きみかなしせちはや、しよ^わは、せちにす、おわ^メめ

又 とよむ、きみかなし

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きみかなしおもものふし

12 一 きこゑ、きみかなし、てもち、なわ、ぬへ^ちへ、またま、あ^らて、よて^いう、ぬ^ちへ、

みおやせ

又 とよむきみかなし

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きみかなしおふし

13 ●一 きこゑ、きみかなし、う^らかす、おそ^う、世わ、世の、てもち、ま^へに、よせわ、

又 とよむきみかなし

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きみかなしかふし

14 ~~7~~ー きゝゑきみかなしおれて、おれふさよわ、なさいきよもいに、世の、せち、みおやせ

又 とよむきみかなし

又 しよりもり、ちよわる、なさいきよもいに、世の、せち、み●^おやせ

*展覧会 四巻二号 折口
万葉の人□□□□
みたまをかけた

又 またま、もり、ちよわる、なさいきよもいに、世の、せち、みおやせ

又 ^空く^世くら、きやて、とよて

又 おほ^空つ、きやて、とよて

又 いくさ、せち、まさりよわ

又 うち、あかりの、とよみ

又 ふみ、あかりのとよみ

きみかなしかふし

15 ~~8~~ー きゝゑ、きみかなし、たにす、^{とよみ}とよわれ、^{とよみ}けす、まゐ、すたし^やり、ちよわれ

又 とよむきみかなし

又 きゝへあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きみかなしかふし

16 ~~9~~ー きゝゑ、きみかなし、たけ、きよらやば、あやちへ、かみく、あまへる、きよらや

又 とよむ、きみかなし

又 のろくは、しらもゝ、なりより
又 かみくは、しらもゝ、なりより

きみかなしかふし

17 ~~10~~ 一 きこへ、きみかなし、世るもりに、ちよわちへ、しまり^か おる^き、きめ、ちよわれ
又 とよむきみなし

きみかなしかふし

18 ~~11~~ 一 きこへきみかなしきみや^か、いのる^き、もりに、ちよわちへ、しまか、おる、ちよわれ
又 とよむきみなし

きみかなしかふし

19 ~~12~~ 一 きこゑ、きみかなし、おれみれ、さうせ、やり、あだ^て
又 とよむきみ、かなし

又 しま中の、あすた

又 しゝめきの、あすた

きみかなしかふし

20 ~~13~~ 一 ^モいちへきなり
いけり、きみよしや、なさいきよか、おせち、もゝあち、^{たち}たちあわん

又 なさいきや、きみよしや

きみよし

廿
19

きみよし

21 14 いげり、きみよしや、たにす、なさいきよもい、たう、みやこ、きや、かまくら、かなわせ

又 なさいきや、きみよしや

きみかなしかなし

22 15 一 きこゑ、きみかなし、てるかはは、たりへて、あんしおそいす、すゑまゐて、ちよわれ

又 とよむきみかなし

又 しよりもりくすくおれなおちへ、からわ

又 またまもりくすくおれなおちへ、からわ

又 さしふ、いつゝころに、おれなおちへ、からい

又 さしふ、なゝつころに、おれなおちへ、からい

又 ともしすゑ、きや めむ

きこへきみかなしねいしまいしかふし

23 16 一 きこへ、きみかなし、しまうち、せのたかや、くにうち、せち、あちおそい

又 とよむきみかなし

又 きこゑ、あか、なさいきよ

又 とよむ、あか、なさいきよ

きこへきみかなしねいしまいしかふし

24 17 一 きこゑ、きみかなし、たくだる、けすの、うちやう、ならめ

又 とよむきみなしたくたる、けすの

きこへきみなしねいしまいしかふし

25 18 一 きこへきみなしおりほしや、ちよわちへ

又 とよむきみなし

又 きこへあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きこへきみなしみちやるまたりかふし

26 19 一 きこへきみなし、ねいし、まいしのあらきやめ、ちよわれ

又 とよむきみなし

又 きこへあんしおそいや
又 とよむあちおそいや

きこへきみなしねいしまいしのかふし

27 20 一 きこへきみなし とむいど、ちよわれ

又 とよむきみなし

又 きこへあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

廿ノ
44

六ノ
32

きこへきみかなしねいしまいしのふし

28
~~21~~ 一 きこへきみかなしきみかなし、けやわちへ、大くすく、おれわちへ

又 とよむきみかなしきみかなし、けわちへ

きこへきみかなしねいしまいしのふし

29
~~22~~ 一 きこへきみかなし、きみかなし、みちやる、まさり

又 とよむきみかなし

又 きこへあちおそいや

又 とよむあちおそいや

ねいしまいしのふし

30
~~23~~ 一 きこへきみかなし おそて、かけて、とこやけれ、

又 とよむきみかなし

又 きこへあちおそいや

又 とよむあちおそいや

きこへきみかなしねいしまいしのふし

31
~~24~~ 一 きこへきみかなし のほて、みちやる、まさり

又 とよむきみかなし

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

ねいしまいのふし

六
27
へ

32
25- 一 きこゑきみかなしとひやくさす、ちよわれ

又 とよむきみかなし

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

大くすくおわる世かけにせあちのふし

33
26- 一 きこへきみかなし おそて、そろへわちへ、おきもの、せち、しやり、なおせ

又 とよむきみかなし

又 きこへ、あか、なさいきよ

又 とよむ、あか、なさいきよ

廿
18

34
27- 一 きこゑ、きみかなし、とよむ、きみかなしこれと、たにの、またた、やれ

廿
かみしも大とよみかふし
きこへすかさかつゝみのあちなからなしとつぐにうちませるかふし

又 きこへあんしおそいや とよむあちおそいや

又 つくしちやら、はきよわちへ、てかねまる、さしよわちへ、

又 たま、あしちや、ふみ、よわちへ

廿
ナニ

あおりやへかふし

35 ~~28~~ 一 きこへきみなしとよむきみなしもしまの、たからつて、みおやせ

又 しよりもりくすく またまもりくすく 百島 宝積ミテ

又 きこへあんしおそいや とよむあちおそいや

又 船之事 急そこ、かす、みおうねかす、おしうけて

やまくすくけらへきよらかふし

36 ~~29~~ 一 きみかなし、おもしろせは、世かけは、なさいきよか、あちおそろ、しまうち

又 あか、なさいきよ、おもしろせは、世かけは

やまくすくけらへきよらかふし

37 ~~30~~ 一 きみかなし、きみの、あちす、しりゆわめ、かみ下、おそて、かなわ、しよわれ

又 あか、なさいきよ、てたなさいきよす、しりよわめ

又 よきなわ、なつたては急のち、かみ、つかい

又 おにくすく、なつたては、急のち、かみつかい

又 わかおやくに、なつたては、急のち、かみ、つかい

きこ急くしかわかふし

38 ~~31~~ 一 しよりもりくすくきみなし、てつて、かみ、下、おしやわちへ、ちよわれ

今モ手オシヤワチヘナド云フ 即チ押シ合シ也

又 またまもりくすく

いとがすおもろのふし

39 32 一 きこゑきみかなし しまおそて、ちよわれ

又 とよむきみかなし

又 きこへあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

廿ノおちいてはいとかす、おもろのふし

うちいては大きき御まへかふし
(のみ)

40 33 一 きみかなし、なつたては、ゑのち、かみ、このみ、しよわちへ

又 わか大さと、なつたては

世ノナシ

又 たま、みしやく
又 たま、みねふ

今ネイフトニラ ヒシヤク也

くにのまてたかふし

41 34 一 きこゑきみかなしとよむきみかなし かみ、下の、大とよみ

又 下の、世のぬしやあちの、まだの、あちや

きこへすかさきまふりよわるたみかふし

42
35

一 きこゑきみなし おれて、とよま

又 かくらの、けわい、し●^ない、やちよ^い *間切のおおか人の女房

又 とよむきみなし おれて、とよま

又 おほつの、けわい、しない、やちよ^い

又 きこゑおにくすく

又 あか、かね そへつは、

又 とよむおにくすく

又 しろかね、たまきや

又 うちおけ、うちおけ、うち^うおけ

又 いちへきや、たまきや

又 たま^こしけ、うちうけ

又 すもりやは、けつか^ふ

いちへきや
有^りカ^カ

かくらとよてかふし

43
36

一 きこゑきみなししよりもり、おれわちへかみくす、うらのかす、いのり、や^あて、よ^そせれ *参上といふ事也

又 とよむきみなしまたまもりおれわちへ

又 いけなきみ、さきたて なりきよかみ、いくまちへ

又 ^{*日}てるかはす、世の むすひ つきおろせ

又 ^{*月}てるしのす、きみか、くき、さし、よわれ

十ノ
83

又 しよりもり、おやのろ なよかさの、おやのろ
又 かねもりの、おやのろみせりきよの、おやのろ
又 にしもりの、おやのろ なよくら^の、おやのろ
又 ^{舟也}あそこ、かよわ、きやめ、あちおそいしよ、世しり、よわれ、かみくす、うらのかす、いのる^りあそて、
よせれ

44
41
37 一 きこ^あ、きみかなし、いけな、なり、かわて、しよりもり、おれわちへ、なさいきよもいに、

しまか、いのち、みおやせ

又 とよむきみなしなりきよ、おれか^あて、またまもり、おれわちへ

又 さしふ、五ころに、すへとめて、おれわちへ

又 むつき、五ころに、みまふてす、おれたれ

又 なさいきよもい、あちおそい、およりとて、おれわちへ

又 あか、かいなて、あちおそい ^{みまふてす、おれたれ}

又 てるかはか、うさししゆ、このき^{世界}らに、おれわちへ

やまきたらすさへかふし

45
42
41 一 もくと、ふみ、あかりや、けさよりや、まさり、もうちやらの、ぬし^{てた}なりよわちへ

又 きみのふみあかりや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

モノトフミアカリヨ先ヨリハ勝百按司ノ主君トナラレテヨト也

46
~~43~~
~~2~~ ー もゝと、ふみあかりや、みちあけて、かなひやふ、てつこ^{テカ}

又 きみの、ふみあかりや

又 きゝゑ、みやき、せんに

又 けおの、よかるひに

又 (き^{今日也}き^{吉日也}) けおのきやかるひに

すへのちなうるわしかふし

47
~~44~~
~~3~~ ー もゝと、ふみあかりや、おりほしや、よし、世かほう、かなし、おとん

又 きみの、ふみあかりや

又 けおの、ゆかるひに

又 けおの、き^きやるひに

きみかなしかふし

48
~~45~~
~~4~~ ー もゝと、ふみあかりや、世そゝもりに、ともよせ、けらへ

又 きみふみあかりや

又 しよりもりくすく

又 まだまもりくすく

きゝへあらはへかふし

49
~~46~~
~~5~~ ー もゝと、ふみあかりや、きみの、ふみあかりや、あすふ、きよらや

ニ
く
し
二

又 しまの、世のぬしの、おもい、くわの、きみの
又 がぢやの、うらかみや、よきなわ、ねとて
又 しま中、かみや、まちらす、ねとて
又 こくらの、かみの、^{*12、27}こくせの、かみの、
又 あやて、まめかたな、よりて、まめかたな、

きしかなしかなし

50
~~47~~
6- もと、ふみあかりや、てるかはと、^{行金}ゆきあて、世のつほに、世のつくせ、みおやせ

又 きみのふみあかりや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

きしかなしかなし

51
48
7- もと、ふみあかりや、あため、とも、かなしや

又 きみのふみあかりや

きしかなしかなし

天地動搖セシメテ

52
~~49~~
8- もと、ふみあかりや、てにち、よためかちへ、あまなら、ちへ、さしふ、たすけ、わちへ

ここに勝連おなちやらは首里天の御女、御座候処もとふみあかれの按司也神御名御付めされたる由候勝連按司逆心善経首里へいくさ

又 きみのふみあかりや
寄候企^ニ付見大城と申人おなちやらへ此段申上則大城おなちやらを負上夜中^ニ首里へ逃走候を勝連と打手の者炬松を付わにやまと
又 けおのゆかるひに

申渡付可及大事ノ処御神々此おもる被下候付而則大城大声（音）おもる仕候処俄黒くもおこり北方へは石あめほり炬（ア）花火をきし候付
又 けおのきやかるひに
打手に及行様無之候間方へは明み申付大城は急直里へ走登り大難のかりたる由也
ア可

きみなしかふし

53
50-9-1 もとと、ふみあかりや、おれて、あすひ、よわれは、むかひ、ほこら

鬼大城おなちやらを負上赤田御門へ参り勝連按司逆心之次第御取次申上候処夜中男女只二人参り候は御ふしんに候間先御門
又 きみのふみあかりや（ア）則御神々ア

開間敷由御返事御座候此おもる給候付則大城大声上おもる仕候処自然御門之鎖子ハきらくと開たる由候也
又 なさの、たゝみきよか、おわるてゝ、しらにや

かくらとよてかふし

54
51-11-1 きこゑ、きみの、つんし、とよむ、きみの、わう、みしま、おれなおせ

又 まもんうちの、みうちに、あかる、うち、あかりや

（ア）早朝の事也

（ア）待也

（ア）夜人時之事也

（ア）わかれ、十時七時

又 あさらは、まやへて、ようとはは、さりよく

又 さしふ、めつらかて、むつき、かいなてわちへ

又 なさいきよもい、のたてゝ、あちおそいは、いのて

又 おしあけ、とし、よりおれや、なおり、とし、よりおれや

（ア）思事也 種等の例

又 大きききや、もちなしせたかこか、ひきなし、くにの、ねは、しなて、おごと、あわしよ

わちへ

又 いつこ、あか、なよわちへ、くはら、やし、なよわちへ、みしま、おれなおちへ

首里天きやすへあんしおそいかなし
はひのおもろ御さうし

天啓二年癸亥三月七日

はひ　ハ拜カ　国王ヲ賛美スル神唄ニハアラヌカ　此考非也

羽地按司仕置ニ

一五節供ニ者南風之御殿ニ而大和規式ニ而思^{ハイ}御部按司三司官親方部取次役
物奉行本役迄ハ巳時前　被差出座ニ着　座敷A下ハ縁ニ而　出仕可仕事

琉球国旧記卷三南殿賀礼ノ条ヲ参照スベシ

はひのおもろ
47

はひ　ハ、4、17

むかしはちめからのふし

1　きこゑ大ききみや、しよりもり、はちめに、てたか、おさし、●あちおそい、てるかはと、
あいちへなて、ちよわれ

又　とよむせたかこか、またまもり、はちめに、いちろ、おさし、たゝみきよ
又　くになおす、あちおそい、よりみちへは、けらへて、きみくは、てつて
又　しまなおす、あんしおそい、せちよせは、けらへて、ぬしくは、てつて
又　てるかはか、くにとよむ、せちあら、みおうち、よそへて、きもはへて、おれわちへ

又、みしま、おかまれて、ぬしに、まふられて、おきも、せち、まされ

又
てるかはか、^アてりよる、下、あよ、ふてつ、そろいて、かけおそたる、きよらさ

やゝのきくたけかふし

きこゑ大ききや、ちゑねん、もりくすく、かけて、ふさよわちへ、かくら、あつる、くもい^{廿一}

又 いし、●てつと、おきやかもいに、みおやせ
とよむせたかこか

以下廿二ナシ

又 きゝゑあんしおそいきや、ちへねんもり、きよらや、もりくすく、そいつきに、ちよわちへ
又 とよむあんしおそいきや、ちやくにもり、きよらや、もりくすく、すへつきに、ちよわちへ

又 きるきみきや、あさかわに、ちよちへ、すてみつは、めしよちへ、けおの、うち、あつる、もくちの、てもちへ

又きゑへあんしおそいきや、あさかわに、ちよわちへすてみつは、めしよわちへ

又くせきよらの、大のろ、もちろ、うちの、もちよろ

きみしあんしおそいかちやうはち花のふし

9556

3 きこる大ききみや やゝの、きしたけに、のほて、おわちへ、さりよく^{みか}てた、てるかはと、

とこへ、やりかわちへ、しよりもり、ちよわる、あか、たゝみかなし、まふて、まふりよわれ
又　とよむせたかこか

廿ノ
37

やゝのきしたけかふし

4 一 きこゑ大ききや、おほつたけ、あつる、すてる、てうみつよ、かみきや、きもやてや、いつゝしま、おろちへ、かいなて、みつ、しめまし

又 とよむせたかこか

ひやくなうしろかふし

5 一 きこゑ大ききや、おれつむか、たては、さは、しもはしり、おしあけれよ、ちやうのしゆ、たますたり、まきあけれよ、すてもの

又 とよむせたかこか、わかなつか、たては

又 きこゑ大ききや、はつにしか、おいしいへは、さは、しもはしり、おしみちへれ、ちやうのしゆ

又 とよむせたかこか、しらにしゃか、おいしいへは

又 きこゑ大ききや、おれつむか、たては、しらしよ、みしゆ、みおやせれ

又 とよむせたかこか はつにしきやたては

やゝのきくたけかふし

6 一 きこゑ、せちあらきみ、あかるいに、とよむ、きくやなき、たけから、あかて、おわる、月しゆ、しよりもり、ちよわる、あかたゝみ、かなししゆ、またに、やひき、よわちへ

又 とよむせちあらきみ

いへのいのりのふし

7 大きみは、たかへて、世ほこりは、けらへて、天か下なわかけて、ちよわれ
又 くにもりはたかへて

きみのわんしのふし

8 大ききあ大きみきや、みちへつから、いのて、くにもり、ほこて、くにもりて、ちよわれ
又 とよむせたかこか

きこへきみのつんしのふし

9 大ききあ、おわあさか、なさいきよもい、これと、たにの、けおの、今日ニハアラテ京ナルベシうちの、こかね、はなに、
たとわる

又 とよむおわかさか

きこへおわかさかふし

10 大ききあ、きみの、つんし、きやの、うちみや、てもちかね、すたちへ、これと、たにの、しより、おやくに
又 とよむきみのつんし

くもあふたかかふし

11 一 しよりもりくすく、あまへ、ふれまへは、もろら、よてこう、かほう、よせくすく
又 またまもりくすく

群舞へバ

*×

又 あかる、もちつきや

又 きみの、もちつきや

うちいていかなふのりのふし

12 一 きこゑおわもりや、^{きや}きや、かまくら、かわらなはん、きやめ、たうみやこ、そろへ^てかなし

よわれ

又 とよむおわもりや

やゝのきくたけかふし

13 一 きこゑ、おしかさか、みてつから、いので、てたか、おさし、ほこて、あんしおそいしゆ、
かけて、ふさよわれ

又 とよむきみのあんしや

又 しよりもり ちよわる 世のぬしのあんしおそい

又 またまもり ちよわる

又 みもん、かな ひやふに、てつて、おろす、^ききや、てたか、おさし、ほこて

又 てたか、おさし、やれは、もちよろ、かなしけや、てたか、おさし、ほこて

又 しま、なおし、おれわちへ、ころくよ、みまふて、てたか、おさし、ほこて

別表第2号

九
●
27

きこへきみのつんしかふし

14 一 きこへきみ、てるきみきや、けおの、おれのきやすひ、なさいきよか、みおもかけ、たちちへ

又 とよむ、てるきみきや

又 くすく、おとん、みやければ

又 しまうち、おとん、みやければ

九きみのいちのかし

きこへきみのつんしかふし

15 一 きこへきみ、てるきみきや、世もちわし、とりよわちへ、しまうちくせ、あんしおそいに、みおやせ

又 こおりきみ、あらひ、やり 九、又とよむてるきみきや

又 さしふ、いせあけり

又 せいくさ、たつ、とあは

九ナシ

いへいのりかふし

16 一 きこへきみきや、けよの、うちは、おしあけて、しよりもり、おれわちへ、ともとの、

世そ、せち、あんしおそいに、みおやせ

又 とよむせたかこかもちろうちは、つきあけて、またまもり、おれわちへ

又 なさいきよもい、あちおそい、いけなきみ、いきよわ

又 あか、かいなで、あんしおそい、なりきよきみ、いきより

又 てるかはか、かいなで、よわる、あんしおそい

又 てるのか、まふり、よわる、あんしおそい

又 あちおそいや、いみやからと、すゑまゐて、ちよわる

いへりのりのみし

17 一 ききゑきさすかさか、かくら、より、かゑて、しよりもり、めつらしや、もちよつなちへ、あちおそい、

まふら

又 とよむさすかさか、おほつより、かゑて、またまもり、めつらしや

又 しよりもりくすく、おほつたけ、やひちへ

又 またまもりくすく、かくらたけ、やひちへ

又 ゑかのかす、おれらに きらのかす、おれらに

やらのきくたけかふし

18 一 あけとまか、たては、天のうち、けおのうちは、おしあけて、てるかはか、きよらや、

てりおそう、たしま、まふりやへら

又 あけたちか、たては

又 ききへ大ききみや、しよりもり、ちよわる、かいなてあちおそい

又 とよむせたかこかまたまもりちよわる

又 ききゑ、大ききちよ、てた、てるかはと、とゑ、やりかわちへ

いへりのりのみし

19 一 ききゑ大ききみや、すへとめて、おれわちへ、なさいきよもい●、あんしおそい、みきやうあわ

ちへ、おもしろしやと、けに、ある

又 とよむせたかこか、ませとめて、おれわちへ

又 なさいきよもい、あちおそい、ひやくさ、なるきやめむ、おもかわり、しよわるな

又 あか、かいなて、あんしおそい、もくと、なるきやめむ、なわかわり、しよわるな

又 とし、三とせ、なるきやめ、きら、なおさ、とるきやめ、みもん、あすひ、まとうさ、

又 とし、四とせ、なるきやめ、ある、なおさ、とるきやめ、くにとよみ、まとうさ

又 おほつ、きみくや、大きみは、いのて、しよりもり、おれほしや

又 かくら、かみくや、せたかこは、のたて、またまもり、おれほしや

又 そのひやふ、かなひやふは、もりくすく、けらへて、あまれ、この、そこらしや

しよりもりはちめかふし

20 一 きこゑ大きみきや、むかし、はちめ、から、しよりもり、のたて、あんしおそいに、みおやせ

大きみちよ、あよそて、ちよわれ

又 とよむせたかこか、せの^世み、はちめから、またまもり、のたて、

又 なさいきよもい、あちおそい、てるかはか、あかるやに、かけおそて

又 あか、かいなて、あんしおそい、てるしのか、あかるやに、てりおそて

又 しよりもり、みうちに、てるかはか、あかるもり、もりくすく、やひちへ

又 またまもり、みうちに、てるしのか、かねのもり、もりくすく、やひちへ

又 てるかはと、おきもねは、しなて、てるしのと、あよのねはしなて

21 一 きこゑきみなし、いつこ、しま、より、おれて、なさいきよもい、あちおそい、あまこ、より、かわちへ、まなしやと、たちよる

又 とよむきみなし、このみしま、つきおれて

又 おきもうちに、よしらす、大きみに、しなよわ

又 あよかうちに、おほへす、せたかこに、しなよわ

又 大ころた、みまふてす、おほつより、かゑれ

又 もりやへこた、あかなてす、かくらより、かへれ

又 てるかはか、てるしのか、てりよるやに、おきも、うまれわちへ、なさいきよもい、あんし
おそい、あまこより、かわちへ、まなしやと、たちよる

きこゑきみのつんしのふし

22 一 きこゑ大ききや、かいなて、たゝみきよ、うらくと、ゑんさしき、ちよわれ

又 とよむ、せたかこか、

又 しよりもちよわる

又 またまもちよわる

きみのつんしのふし

23 一 きこゑ大ききや、いへの、いのり、しわちへあちおそい^よきや、およりとて^{*あ}、おほつ

より、かゑら

又 とよむせたかこか、つかさ、いのり、しよわちへ

みきやう
しな

／＼

22
46

又 あけとまか、たては てるかはす、みまふれ
又 よすつめか、たては、きみくす、みまふれ
又 さしふ、てるまもの、かいなてたす、おれたれ
又 むつき、てるきしやき、かいなてゝす、おれたれ
又 ゑか、なんか、あすて、あまこ、あわちへ、からは
又 よる、なんか、あすて、みきやう、あわちへ、からは
又 くにとよみ、あおらちへ、みものより、めつらしや
又 くに、めつら、あおらちへ、やゝのすひ、めつらしや
又 さに、しらぬ、ころく、こむて、あわちへ、てつて
又 かす、しらぬ、まころた、みそて、あわちへ、てつて
又 いつこ、しま、なおちへ、このみしま、なおちへ

きこへ大きみかみてつからかふし

24 一 きこへ大きみきや、みかなしけ、あんしおそい、うらくと、あんさしき、ちよわれ
又 とよむせたかこか

とかしきのこねつかふし

25 一 きこへあちおそいや、てるかはす、まふれ、まふり、よわは、もゝすゑ、ちよわれ
又 とよむあちおそいや、てるしのす、まふれ
又 きこへ大きみしよ、あちおそいや、まふれ

むハモ 辞

又 とよむ大きみしよ、たゝみきよわ、まふれ

又 あまみや、きみはゑや、あんしおそいきや、おより

又 しねりや、きみはゑや、たゝみきよか、おより

又 おほつ、せち、おろちへ、あちおそいす、まふれ

又 かくら、せち、おろちへ、たゝみきよす、まふれ

又 かくら、あつる、金すゑ、あんしおそいに、みおやせ

は、まふりよわれは、
もいすゑ、ちよわれ

やゝのきくたけかふし

26 一 きみく、あちおそへか、ちやうはちは、なしよわちへ、すゑ、まさて、あすひ、ふれ

まへは、かみてたの、ほこて、まふり、よわちへ

又 きやの、うち、あや みやに

きこへせちあらきみかふし

27 一 天ちよく、とよみ、よつる、世のつほに、みしやこ、あか、たゝみかなししよ、あんし、かすの、わう

又 きこゑ、はねし、おうね、おみかなし、せとしやり、ある、たゝみかなししよ

又 世のつほに、もちよわれ、よのつくせ、もちよわれ、あか、たゝみかなししよ

うちいてはおきなわのとよかふし

28 一 あけとまに、いのて、おろす、かみや、いつこ、やしなやり、あちおそいよ、まふれ、せち

たかむ、●こて

又 あけたちにいのて

うちいてはあけとまかふし

29 一 しより、もりくすく、おきなわの、いよわ、あちおそいに、みおやせ

又 またまもりくすく

しよりもりちよわるあかかいなてたゝみきよかふし

30 一 しよりもり、ちよわる、みなしの、てたよ、おみやみよ、おかめは、かなしや

又 またまもりちよわる

くろよふにこりかふし

31 一 みろく、みちへ、やはる、この、うまれと、みろく、此みしやい、ぬきあけわちへ、世は、ちよわれ

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 かみの世の、とてや しまのよの、とてや

くろよふにこりかふし

32 一 しよりもりくすく、けおわ、のか、しよしよ、あまへと、いちよ、なしやと、しよい

又 またまもりくすく

きこへ大^アきみやしよりもりはちめかふし

33 一 けとの、よきなわか、もゝうら、まちらすわ、やまと、きやう、かまへら、ふくによせ、あち

おそい、あちおそいや、おかめはと、ともゝと、ちよわる

又 とよむ、よきなわか

又 しもの世のぬしの

うちいてはひやくなうらはへかふし

34 一 いつか、なつたゝしよ、なさいきよ、かなしけや、みやけ、ほしや

又 いつか、おりたゝしよ

うちいてはふへ^{あかる}のとり^{あかる}のふし

35 一 天にとよむ、大ぬし、あけも^{咲キ}ころの、はなの、さいわたり、あれよ、みれよ、きよらやよ

又 ち^天とよむ大ぬし ^{あけも}ころの ^{はなの} 混ニ あけも^{混ナシ}ころのはな 云々
嘉靖二十二年やうよりまうはらいの時みせくる御双紙に有

しやこのおやかふし

36 一 わかさ、あしときや、たまきや、あうて、さちや物、ひやくさ、なてからは、こかね、すへ

つきやり、御まへ、かゝ、おらに

又 わかさ、あしときや、よろい、あうて、まやまちや物

小緑間切
 儀蘭 儀蘭山在那覇迎恩亭対岸
 天使館正南山下有垣花村
 中多米蘭東有榮堂泉

くろさよこたりかふし

37 一 きまの、よらふさよ、きまの、おもいこよ、あちおそいか、しま、まるく、みこい

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 おにの、さき、よりおゑ、さて、みなと、よりおゑ

くろさよこたりかふし

38 一 世とせ、みつ、まわりしよ、たまの、わうやれな、かほうは、しより、おやくに

又 たまの、みつ、まわりしよ

しよりもちよわるみかなしてたのふし

39 一 くもこもり、ちよわる、あか、かいなて、たゝみきよ、てたか、おもい、よわる まて、もちたゝみ

又 またまもちよわる

あちおそいかみしよりちやるきやうちせかふし

40 一 あちおそいきや、うへさちやる、まつなみ、ともとす、とひやくさす、いのらめ

又 あんしおそいきや、たてさちやる、こはなみ

又 あんしおそいきや、たてさちやる、てしなみ
 てくなみ

こはりきよよりかふし

41 一 くろさ、よこたりや、あんの、あんしはゑや、おみかうの、おがめはの、よが、あけるやに

夜

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに
又 よこたりか、かない、あんしはいか さくけ

くるまよこたりかふし

42 一 こはり、きもよりや、あんの、きもよりや、てにの、てた、あちおそい、まふら

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 しより、ふる、あめや、すてみつと、ふりよる

又 くすく、ふる、あめや、わかみつと、ふりよる

やのたけきくかふし

ミ
ノ

43 一 きこゑ大ききや、きらなおちへ、いけなきみ、よりおろちへ、あちおそいしよ、せちまえて、

ちよわれ

又 とよむせたかこか、あか、なおちへ、なりきよきみ、つきおろちへ

又 とし、なくと、さうせわちへ、しよりもり、よりおろちへ

又 とし、やとせ、ねかて、またまもり、つきおろちへ

又 いせゑけり、あちおそい、大ききは、のたてゝ

又 あか、かいなて、わうにせ、きみくは、てつて

又 てるかはか、まふりよわる、みしま、わうにせず、かけおかて

三 23

きみのつんしがふし
いへのいのりのふし

44 一 きこゑ大きみきや、ゑか、ゑらひやり、おれわちへ、あんしおそいしよ、かけふさて、ちよわれ

又 きこゑせしたかこか、きら、ゑらひやり、おれわちへ

又 きこゑ、てにつききや、およりとて、おれわちへ

又 とよむ、わうにせか、はたち、みちへ、やちよ

又 あおりやへ、あおりやへ、

三ナジ

たくしたらなつけかふし

45 一 きこゑあんしおそいきや、しよりもり、ちよわれは、けよも、あちやも、おみきつよ、おかむ

すが、まさり

又 とよむあんしおそいか、またまもり、ちよわれは

くろきよこたりかふし

46 一 あんた●す、かに、あれ、げす、たもす、かに、あれ、めつらしや、あかん、しより、おやくに

きすゝ 宜寿次？

東風平間切

又 きすゝ、おて、やちよも、めつらしや、あかん

又 やとり、こしらいや、めすかわの、まほつす、こゑかおわち

又 もりのこしらいや

又 みるやとるきや

又 かなやとるきや

又 あちはやす、なりきよら、おるち

又　しよはやす、なやす、さうけて
さうけて

うちてはいちぢはながて

47　—　さしき、かなもりに、世うとれ、くもか、おる

首里天きやすへ、あんしおそいかなし

おもろ、ねやかり、あかいんこか、おもろ御さうし

天啓三年癸亥二月七日

1	おもろねやり	42
7	あかいんこ	40

混二

おもろねやり

おもろねやり 反詞 せるむねやり

往古おもろの名人也（原本ニ 変トアリ）日神親愛し給ふと也

あかいんこ

同上

あかのこ 反詞 ねはのこ

おもろの名人にておもひねやりと世を同ふせし人也

あかのこ ねはのこかもくちやらふれ（悉皆しての心なり） おもろてた（美称の言葉）

古歌に

歌と三味線のむかしはしまりや いのこねあかりの神のみさく

御作

ときとたるまはこしやかふし

1 一 おもろ、ねやりきや、あまへわちへ、からは、（今といふ事也） いみやと、いみきや、まはる

又 せるむ、（おもろの事） ねやりきや、

あまへわちへかふし

2 おもろ、ねやかりきや、時とたる、まさしや、おふれ、よ、そわて、ちよわれ

又 せるむ、ねやかりきや、

又 御城京のうちの事 きやのうち、ぬきまるか、時とたる、まさしや

混ニ きやのち ぬきまる 時取之名人也

又 くすく、二くすく、時とたる

全上 もくたよのかね 是も時取の名人也

又 おとん 二おとの、時とたる

きみなしふし

3 おもろ、ねやかりきや、おま^人、たまより、まさり

又 ●^せるむ、ねやかりや

又 あさか、もと、ま^人

すへのちにやうるわしかふし

4 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、見て也 みちへ、行て也 いちあ、かま おもりけと、ア たちよる

又 しもの、世の、ぬしの、おもい、まかもいや

うちいてはおしかけふし

5 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、おかう、おかて、よむ、いき、のかす

又 ほるむ、いぢ^アへき、あちの、ほへむ、ちやくに、あちの

きみかなしふし

6 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、おもふ、きやめ、ちよわれ

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あち

7 おもろ、ねやかりや、世の、さうす、^{いだし也}いちやちへ、かみ、てたの、そろて、まふり、

よわちへ

又 せるむ、ねやかりや

きみかなしふし

8 おもろ、ねやかりや、のり、かなし、めし、^アよわちへ、のり、^アかなし、しま、うち、まきり、よわちへ

又 せるむ、ねやかりや

又 きこゑ、あちおそいや

きみかなしふし

9 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、かほう、てた

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

おもろねやかりやかひやへなまきやのふし

10 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、すへの、ちな、うるわし、こやり、うちや、へら

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あち

すへのちにやうるわしかふし

11 おもろ、ねやかりや、ひやく、きやめ、ちよわれは、しま、たつな手綱也、くじしやん、みおやせ
又 せるむ、ねやかりや

すへのちにやうるわしかふし

12 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、おもろ、たね、こや、へら
又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

すへのちにやうるわしかふし

13 おもろ、とのはらよ、すゑの、くち、まきしや、おしやへ、しちへ、もちみちへる、くすく
又 せるむ、とのはらよ

きみかなしふし

14 おもろ、ねやかりや、ま人の、けわいと、ほしみ、よわる、てた

又 せるむ、ねやかりや

又 しもの、世の、ぬしや

うちてはやくのきいアけかふし

15 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、かね、もちの、み御太刀也こし、さしやり、ふさ、よわちへ

又 しもの、世の、ぬし、あちの、またの、あち

16 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、みほし、みこし

又 とむこか、さゑく、さいく、と、まりや

又 つかさや、みれは、またま、てる、みこし

きこへいかつめきかふし

17 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、くになかの、しより、もわくすく、かち

はやく、御みつかい、おかて、かゝ、おらに

又 ほへむ、世の、ぬしや、米す、との かゆい

又 けおの、よかるひに

又 けおの、きやかるひに

おもろねやかりやきよらやかふし

18 一 ねやかりきや、おもろ か、まゑ、はやく、いちへ、おきもに、しなわに

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

あかいんこおりるかふし

19 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、おもろよ、みおやせ、せるむよ、みおやせ

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

うちいてはわくのしつらいかなし

20 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、けすの、うれし、かなし、てた

又 しよりもり、ちよわる、おきやかもい、かなし

又 しまなかの、かみ里の

きみかなしふし

21 一 おもろ、ねやかりや、うとたる、みやかり、こくらの、けす、ま入、いけて、なかり、よわちへ

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

きみかなしふし

22 一 おもろ、ねやかりや、まてかわに、^{キ行水也}すつみ、よわいか、おわちへ、しま中の、けすの、そろて、おほこり、

しよわちへ

又 せるむ、ねやかりや

きみかなしふし

23 一 おもろ、ねやかりや、ひかわひら、ちよわちへ、けらまよ、御まきり、しよわちへ

又 せるむ、ねやかりや、けお、はんだ、ちよわちへ

きみかなしふし

24 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、みやか、よせなり、^きかなし

又 こめす、世の、ぬしの、ま物、世の、ぬしの、

25 一 おもろ、ねやかりや、てにより、したの、けす、ゑらふ、てだ
又 せるむ、ねやかりや

おもろまづいしかふし

26 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、とひや、くさす、ちよわれ
又 しよりもり、ちよわる、おきやかもし、かなし
又 てにに、てる、ほししよ、ほしし●^ゆ、さに、しよわれ

せしきよなくすくかふし

27 一 おもろ、まこいしや、こかへ、とよみ、よわる、てたよ、みちやる
又 せるむ、まこいしや

あかるもちつきのふし

28 一 おもろ、ねやかりや、いみやと、世は、まさる、てかねまる、しまかねて、きより
又 せるむ、ねやかりや
又 しもの、世の、ぬしや

29 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、なおちへ、よく、まはりよわ

又 しもの、世の、ぬしの、あちの、またの、あちの

又 けお、ふきよる、かせや、とく、かせと、ふきよる

へとのしかふし

30 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、をかう、*あやなくて

又 わらへ、かけにしやり、せまる、かけに、しやり

又 やま・たと、あやり

又 はちらと、あやり

31 一 おもろ、ねやかりや、あまへ、ほしや、ほり、ほしや

又 しもの、世の、ぬしや、やびく、とのはらよ

32 一 おもろ、ねやかりや、おにくすく、けやわせ

又 せるむ、ねやかりや

ねやかりかすとくにいちあ事かふし

33 一 おもろ、ねやかりや、おりほし、かなしけ、きよらやの みおどん

又 せるむ、ねやかりや

又 しもの、世の、ぬしの

すへのちにやうるわしかあし

34 一 おもろ、ねやかりや、あかうに、かうに、あかうに、かみ、^テたす、しら、
又 しまの、世の、ぬしの ●● ^{ちやらめ}

ねいしまいのふし

35 一 おもろ、ねやかりや、のほて、みちやる、まさり

又 せるむ、ねや^ふりや

又 きこあ、おにくすく

^ハ
Bとのあすもりのおせやかあし

36 一 おもろ、ねやかりや、けらへ、せるむ、ねやかりや、しらへ、おきなわ、とよむ、
ま物、うち、みちやる

又 けおの、よかるひに、けらへ、けおの、きやかるひに

ちにやうるわしかあし

37 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、なおちへ、とよま

又 しまの、世の、ぬしの、あちの、またの、あちの

おりほしかなしけあし

38 一 ねやかりきや、すと、くにいちや事、ねやかりよ、おもろよ、
^{* imiti ?}
あめて

事あるに
しるす
事あるに
しるす
事あるに
しるす

又 ねやかりきや、しま中

又 ねやかりよ、わらてか、いちやる

ちんやうるわしかふし

39 一 おもろ、ねやかりや、あち、かほうと、けすは、よかる

又 せるむ、ねやかりや

きたたんよのぬしあかひやしかふし

40 一 おもろ、ねやかりや せるむ、ねやかりや おもろと、そない^{和物也} せるむと、さかな^{肴也}

又 けおの、世かるひに けおの、きやかるひに

つるにくけしかふし

41 一 おもろ、ねやかりや、そほらの、つるき、みちやる

又 しもの、世の、ぬしの、あちの、またの、あちの

きみなしあし

ハ、24へ

42 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、みやか、よせ、きゝ、かなし
又 こめす世の、ぬしの、ま物世の、ぬしの

世ト 42

●、 43

ルニテ即チドカ
るカナラン

43 一 おもろ、ねやかりや、せるむ、ねやかりや、しまうち、のり、かなし
又 しもの、世の、ぬしの、あちの、ま^たちの、あちの
又 の^りかなし、のり、よわちへ、きしやは、くち、ひきやちへ

てんかす 四十三

44 一 あか^モいんこ^ニ事^キ、あかの、おゑつきや、ね^モはの、おゑつきや、しよりしゆ、もろ、うらひく、くすく
又 しより、おや、ひかわ、みつ、からと、世かける
又 くすく、おや、ひかわ、

●、ふねたてはかふし
あかのこかふねたてふし

45 一 あかのこか、大里いちへ、大さとの、おもい、いちへ^のてた
又 ねはのこか、しま尻 いちへ
又 しろ、つもい、ましい、みちやる

●、ふねたてはかふし
あかのこかふねたてふし

46 一 あかのこか、ねはのこか、^{國中の按司の事}もうちやらの、ふれおもい^{女按司は今をなちやと申是なり}、てた
又 大さとは、さと、からる^モ
又 かてしかわ、みつ、か^アる

うらおそいのおやのろかふし

47 一 あかの、おゑつきや、世、かはら、よせ、御くすく、けらへ

又 ねはの、おゑつきや

ねいしまいしかふし

48 一 あかの、おゑつきや、神世の時御遊に手ひやしと申て拍子打事也只今神樂に用候小はち也
ひやしのつち、うたは、ともくと、ちよわれ

又 ねはの、おゑつきや

49 一 あかのこか、うれし、あち、世かけ、ひやし、みおやせ

又 ねはのこか、うれし、あち

又 あたにやの、うれし、あち

又 あたにや、おきて、よたい、アナシきよは、まぐる

きみかなしふし

50 一 あかの、おゑかつきや、うの時の、てたの あかて、てりよる、やに、御顔の事也おみかうの、みほしや

又 ねはの、おゑつきや

きみかなしふし

51 一 あかの、おゑつきや、みれつな、おきて、かにあれはと、おはたわ、より同 七八
よかゆる

又 ねはの、おゑつきや

ねいしまいしかふし

52 一 あかの、おゑつきや、おりほしや、ちよわちへ

又 ねはの、おゑつきや

又 しもの、世の、ぬしや

きみななしふし

53 一 あかの、おゑつきや、ひやくさ、いのち、わかてたに、みおやせ

又 しもの、世の、ぬしの、あちの、またの、あちや

きみななしふし

54 一 あかの、おゑつきや、人の、うらに、^キあつる、^キ上納之事^キ普へつかかないと申て人の頭のほと縮^キ一たわりづゝ上納有之たる由也^ア、^キかまゑ、よせ、かきつるき、^キ有といふ事也

又 ねはの、おゑつきや

又 しもの、世のぬしの、あちの、またの、あちや

きみななしふし

55 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、^アうしこわは、^アあん^アに、たほれ

又 しもの、世の、ぬしの、あちの、またの、^アあちよ

きみななしふし

56 一 あかの、おゑつきや、^キしけち、^キまみき、^アもかや、^アとものと、わかてた、はやせ

又 ねはの、おゑつきや

ゝきみかなしふし

57 一 あかの、おゑつきや、ともその、あすひ、みちへと、うら、やみよる

又 ねはの、おゑつきや

きみかなしふし

58 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、もゝうら、おそう、世そう、みおどん

又 しまの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

又 いしかねこ、やり、よわちへたな、はるし、やりよわちへ

きみかなしふし

59 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、しまよ、^{そら}へて、みおやせ

又 しまの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

きみかなしふし

ハ
59
へ

60 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、しまよ、ゆせて、みおやせ

又 しまの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

あおりやへかふし

61 一 あかのこか、おもろ、つゝみ、うたは、もゝうら、うちよせれ
又 ねはのこか、おもろ、つゝみ

やまきたらすさへかふし

62 一 あかの、おゑつきや、しまの、よた、やれは、たに●るから、きより
又 ねはの、おゑつきや、

いしかねのやにかふし

63 一 あかのこに、よせ、うち、もちゑ、とらちゑ、よせ、うち、しゆ、しまは、うち、よせれ
又 ねはのこに、なりよふ、もちゑ、とらちゑ

世そへうちもちちへみおやせかふし

64 一 あかのこ、おゑつきや、長命の事也いしかねの、やに、をのち、つきよわれ

又 ねはの、おゑつきや

又 いによはの、おきて、もろなるア

てきは

テタの誤ナラン

月てさのやにてゝからちよわれかふしア

65 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、この、ひやし、あけれ
又 しまの、世の、ぬしの、あちの、またの、あちの

又 やまと、ゑむ、せんとう、つくしゑむ、せんとう

しよりもりのほていけはかふし

66 一 あかのこか、いよ、やに、しま、おへく^{太ク也}、世なかく、ちよわれ

又 ねはいんこか、いよ、やに

うちいてはふねこてはかふし

67 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、月てたの、やに、てゝ、^モかゝやぐといふこと也

又 よろは、月てる、ひるは、^{たて}てる、月の、やに、

又 月や、おたしきよ、てたは、世のぬし、月てた、やに、

すへのちにやうるわしかふし

68 一 あかの、おゑつきや、ねはのいん、おゑつきや、かみしもの、人、^{治世の事也}ひちめ、てた

又 きこへ、あちおそいや、とよむ、あちおそいや

きみななしふし

69 一 あかの、おゑつきや、ねはいん、^ゑおゑつきや、てり、いちゑ、やり、ちよわれ

又 しもの、世の、ぬしや、あちの、またの、あちや

極カ

ふねてはかふし

70 一 あかいんこか、かみしも、とよむ、親の事おやもい、みおとの、けらへ
又 ねはいんこか、かみしも、

大きとのけらへみやふのふし

71 一 あかの、おゑつきや、かほう、てた、めつらしや、やまくすく、てた
又 ねはの、おゑつきや、

かねのてたみこしかふし

72 一 あかのこか、ふね、たては、くにの、ちやら、十声八声しちへおかまと申事あれは御物語申上様と云こと也とこいちへ、おみかう、おかま
又 ねはのこか、ふねたては

あかいんこか世よせひやしかふし

73 一 あかのこ、ゆよくむ、またも、うちやかて、ちよわれ
又 ねはのこ、ゆよくむ、またも

きみかなしふし

74 一 あかのおゑつきや、ねはの、おゑつきや、波寒水の事也ともくと、ちよわれ
又 あしかわの、あらきやめ、くもなす、あきやめあきやめ、

又 いしきや、のちては、いしは、われる、物

石金トイヘドモ損歟スルアリ嗚呼何ニカタトヘテ此ノ長命ニシテ
多福ナルヲウタハントナリ

又 かねか、のちては、かねは、ひ●ぢやむ、物、

あかいんこかふねたてはかふし

75 一 あかのこか、かねの、^{御本力也}ぬてた、みこし、さし、よわやり、世、そわる、みこし
又 ねはのこか、かねの、てた、みこし

しよりもりのほていけはかふし

76 一 あかのこか、よせもい、ひ●ぢやりも、にきりも、かなしや

あかいんこかよくもまたもかふし

77 一 あかのこか、よ^うせ、ひやし^や、うちあかる、ひやしや、世、●うちちへ、みおやせ
又 ねはのこか、よ^うせ、ひやし

あかいんこかふねたてふし

78 一 あかのこか、てたは、かに、あれはと、おはたは、^{*同五ノ}よりゆる
又 ねはのこか、てたは

もことふみあかりあふし

79 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、けお、しゆる、つかい、もことの、つかい
又 たくしの、ねくに、たくしの、まくに

もいとふみあかりきやあすふきやうやかふし

80 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、ゑいと、てた

又 たくしの、ねくに、たくしの、まくに

あおりやへかふし

81 一 あかの、おゑつきや、しま世の、あらきやめ、ちよわれ

又 ねはの、おゑつきや

こはりきもよりかふし

82 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、ともしと、とひやへきす、ちよわれ

又 け^およの、世かるひに、けおの、きやかるひに

きみかなしふし

83 一 あかの、おゑつきや、ねはの、おゑつきや、しまよ、そろへて、みよわれ

又 こめす、世の、ぬしの、ま物、世の、ぬしの

首里天きやすへあんしおそいかなし

いろくのこねりおもしろ御双紙

天啓三年癸亥二月七日

1— あおり、ぎみ、みもの、ぎみ、てづて、のちまさり、ちよわる、きよらや

又 あんしおそいきや、たゝみきよか、おみ

又 いしへつは、かなへつは、こので

又 いしらは、ましらは、おりあげは、
て テナラ

又たけたかく、はり、ひろく、おりあげて

きみのつちのふし

ダンジョ

21 しよりもりくすく、たりしよ、けらへわれ、きよらやの、
くにてもち ニておすニてねる

又　またまもりくすく

又きこゑうらおそへと、くにのおとぢや、なしよわちへ

又きゑ、なかにしに、かけだむきちよわちへ

又くも、こよりあふやに、ま玉よりあふやに

うちいていちやはなかふし

ひたりニておすなかにおしかけておしひろちへうちあけるニておちへニて

3
せぬ、^ア きみ^アきや、^ア きみ^アよし^アきや、
いせ、^ア びやし、^ア とよで、^ア うちあけれ
こゐる

又 くめのしま、はねのしま

又 かねくすくもりくすく

又 あんしおそいぎや、たゝみきよか

大さとのけすおもひあんしのふし

4 一 さすかさが、くにもりぎや、
おしかけておかておておのきりして二ておちへ二ておねる
けらへ、みやうぶ、とよめは、みもん

又 大さとのとよみもり

又 さふろくか、まころくか
人名也、同

みやうぶ ヲ 屏風トセバ かたハ 絵ナラン

又 うまの、かた、はりやう、やに

又 うしの、かた、つきやう、やに

又 あけず、かた、とひやう、やに

又 はへるかたまやうやに

ナ、ノ、40
ノ、
マ、チ、ウ

おりもりやげよのきみのふし

5 一 きみよし、きみの、きみおそい、きみの、まちら、
ねはみきり●ておちへ二ておてひたり二ておねる
ためより

又 もゝその、やちよく、な^そもの、やちよい^{あらいはひたり●ておちへ二ておてみきた二ておねる}
百人也、村頭妻也、七十人也
又 もゝそがなかに、なゝそが、なかに

6 一 もゝくらの、よせなみ、やそくらの、
二二ておのきりして二てみきりして二てまぢつて二ておねる
とよめは、とよめは、しま、うち、御へら

又 玉くすく、あつる、おもやいは、もちなちへ

7 一 くも玉くすく、ひたりておちへこねてみきりて
おれが、みもん

又 ひやくな、玉くすくおちへこねてなかにたこねる

又 なさい、きや、たまくすく

しよりおやひかふし

8 一 くすくまの、あさい、によ、あさい、によ、ひろみやに、こちへのきやけてこねる
おれなおせが、みたかみ

又 またよしの、あさい、によ

おにさんこかふし

アハチ
おしあ●てあへ●かておしおろちへうちあけり

9 一 世かせ、きみの、おれて、あすべは、ひやし、うちあければ、きみも、なよろキナラセ

又 おもひきみの、おれて、あすべは

おやみきやまかふし

10 一 くめの、よせきみ、いと、おとし、なめし、いとよ、さげて、二ておちへてこねる
おしまわせ

又 せだか、まよせきみ

たくしたらなつけかふし

11 一 あかす、くにか、ねや、二ておち二てこねる
なよひちへ、おれて

又 くにのしつらいや

又 きみよ、みちよろ、みやり

廿一、
7

廿一、うちいておたのきみは、
おにのきみは、かふし

12 一 きこゑ、せたかこが、世がけ、にせさ
二ておすこねる

又 とよむせたかこか

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

13 一 大きみ、大きみぎや、いそこ
二ておすこねる
こけつな、やちよく

又 くにもりくが、いそこ

うちいてやつとりかわちへかふし

14 一 せぬ、きみや、きこゑ、せぬ、きみや、あゑけやれ
、みきり

又 せぬきみや、とよむ、せぬきみや、あゑけやれ

又 あんしおそいきや、み御まへ、あゑけやれ

又 たゝみきよが、み御まへ、あゑけやれ

にるやせちみおやせかふし

ミ
へ

15 一 にるや、とよむ、大ぬし、たしま、とよむ、わかぬし、あんしおそいしよ、せち、まゐて
みきり

ちよわれ

又 あからたけ、とよむ、まきみ、きよら大ぬし

又 くもこたけ、とよむ、しまはじめ、大きみ

又 あまにこの、うちやて、けさにこの、きこあて

又 てるかはと、よきやて、御こと、あわしゆわちへ

又 しよりもり、うち、あよで、またまもり、うち、あよで

又 ゑぞにやすへ、あんしおそい、てだがする、わうにせ

又 くもこたけ、おりあげて、あおりはな、つみあけて

又 あやこはま、やひちへ、よきの、たけ、やひちへ

又 きもが、うちの、うまれて あよが、うちの、すくれて

又 あんしおそいぢよ、よきやて、あまこ、あわちへ、そこて

又 なるせぢ、あらきやめ、きみぎや、せぢ、あらきやめ

又 てにぎや、した、おそて しよりもり、ふさよわ

16 一 みきりておちへひたりおしかけておのきり
まうねくすく、わかいきよ、わかいきよ、したたかやよ、みやげ、ほしやの、わかいきよ

又 よいのみね、つとて、よいのたけ、つとて

又 おかすきやが、まうれしや、またいきやが、まうれしや

又 わ●かいきよ、いきやて、みちやる、したたりやよ、みちやる

17 一 はひやが、まいとかずに、いぢや、こと、はひはひやよ、とよで、まへちへ、はひ

又 はひやが、しまなかに、いぢやれば、はひやよ、とけて、やなではひ

18 一 あかす、くにかねや、あかす、くにもりや、あやて、まめがすな、くせて、まめがすな

あやて、うちへ、なやら、くせて、うちへ、こねら

又 かみしもの、みるめ、ぢはなれの、みるめ

あかおなりかみのあし

19 一 きやうの、^{ア人名也}よいこせが、きやうの、^{人名也}よいねはが、あやくせ、^{二ておちこねる}めつら、みやみ、

又 よいこせが、さいく、よいねはが、さいく

しげちなはのあし

20 一 きこあおにくすく、きみなし、^{二ておちこねる}てづて、かみしも、^{おす}おしあわちへ、ちよわれ

又 とよむおにくすく

きみのつちのあし

21 一 きこあきみよしや、みものより、おれわちへ、^{ひたり二ておちへみきりおしかけておかてこねる}やこのくせ、なよひかせ

又 とよむきみよしや

又 しよらもりくすく

又 まだまもりくすく

こくのうのあし

22 一 きこあきみなし、いひいし、まよりおれて、なやらきよもい、あんしおそい、

し

十六、
33

十六、

あまこ、より あわちへ、
またよむきみかなし、このみ、
又 おぎも、うちに、よしらす、大きみに、しな、よは
又 あよが、うちに、おほへす、せたかこに、しなよわ
又 大こつた、みまふてす、おほつより、かいれ
又 もりあいこがた、みまふてす、かくらより、かゑれ
又 てるかはが、てるしのが、てるよる、やに おぎも、うまれわちへ
十月日^ノのてるやうに也

十六、いへりのりかあし
しよりもりくすくのかし

二ておすこねる

23 一 きゑゑ、ぐしかわに、しけち、はまざらす、しま世の、かほうさうす、いちへみ
又 とよむ、ぐしかわに
又 とよむ、まちらすに
又 く^{ナシ}にの、しつらいか

十六、
しけちなわかなし

二ておす
こねる

24 一 いけの、もりくすく、きやよせ、はきあかりや、なみ、おそう、はや、みお^{舟也}うね
又 ちやくにもりくすく
又 こたら、わか、さいく

十ノ、50 廿ノ、32

廿ノ、十ノ、十ノ、十ノ、十ノ、十ノ、
ひけちなはかふし

25 一 くめの、さすかさは、なまが、おもひきみ、よ、そろう、ぐしかわ、けらへて
二つおすこねる

又 とよむさすかさは、なまが、おもひきみ

しけちなわかふし

二つおすこねる

26 一 きこゑてるきみや、大ききみや、もちなし、あんしおそい、そろう、かなしけや

又 とよむ、てるきみや

又 しよりもり、あんしおそい

又 またまもりあんしおそい

きみのつちのふし

十ノ、

27 一 きこゑ、てるきみや、世もちわし、こよわちへ、しま、うちくせ、あんしおそいに、みおやせ
二つおすこねる

又 とよむてるきみや

かなふくかふし

十ノ、

28 一 きこゑ、もり、みやげれは、あか、なまが、ちよわする、もちひきつて、かしよる、きみや

又 あかるもり、みやげれは

かなふくかふし

29 一 かなふく、の、もりに、もりあ、たみき、きこ、きこ、おしなせ、なまが、きこ

又 あだにやの、もりに

30 一 もりあい、きみ、きみにしやが、いそこ、なみつりよせ、二ておすこねる つりあわ、ちへ

又 とかしきの、ま男也ころく、まころく、は●しやり

又 つくち津口の、しゆ潮の、いふちへ、あがくれは

又 あらむ素也ぎやが、おろむ素也ぎやが、ほばな

又 いちのども、おそいぎや、あまの、ものくしや

又 かめ、とてる、さんとてる、てやは

又 とらんと、しらんと、しられ

もころのふし

31 一 やびく、くまもとに、いきやる、すぢや、おてが、大きみ、二ておすこねる なおしやり、つかい

又 たけか、くまもとに

又 うたままた、なてはうて

又 しやなめ、なてはうて

てやんおなちやらのふし

32 一 くらはの、きみの、せなはの、きみの

又 しもとよみ、いくきなしもの、ききちやれ、いくきな

又 あたり、せめつけて、かくち、せめつけて

又 いちやぢや、せめつけて かなぢや、せめつけて
又 あたり、おそいつけて、かくち、おそいつけて

ニミしまいのられてかあし

さしふおもなねちへかあし

ニミ
27

33 一 きこゑ大きみきや、とよむせたかこか、かくら、とよて

又 いきやる、あんしおそいか、いきやる、たゝみきよか

又 きみに、ほこられて、ぬしに、ほこられて

又 ゑがなんか、たては、よが、なんか、たては

又 めつらしやと、ありよる、おもかしやと、ありよる

又 あけとまに、おれほしや、あけたちに、おれほしや

又 あさか、たけ、やひちへ、しちく、たけ

又 あけ、なおり、まいたて、あおりかき、そへたて

又 かみがなし、まへたて大きみよ、そへたて

又 けに、またに、のろくたに、またに、かみく

又 なわ、かけの、まみやに、いと、かけの、まみやに

又 かめん、まだかさ、けなこそ、ほやけさ

又 大ころた、そへたて、もりあいこた、そへたて

又 いせゑけり、あんしおそい、あが、かいなて、たゝみきよ

又 あがぐちやか、よへつき、ぜるまゝか、よいつき

以下ニミナシ

又 きみつかい、しよわちへ ぬしつかい、しよわちへ
又 てるかはす、よしらめ てゐるのす、よしらめ

十三
136

十三
きみつかいのしよわちへ ぬしつかいのしよわちへ

34 一 きみつかい、せのきみつかい、うらぐと、はりやせ

又 とよむせのきみつかい、うらぐと、はりやせ

十三
147

35 一 まにしか、まねぐ、ふけは、あんしおそい、てだの、おうねぐ、まちゆる

又 おるちへか、おるちへと、ふけは

尚寧王妃ノ歌二

北かせの眞北 ふきつめてをれば 按司添前てだの御船やまちゆる

明治廿八年三月十四日

語学材料

随庵主

第八

神樂に用ひし小はち

(おもろ手取ノ話家也)

神樂は古くより絶えたり 但し其の折用ひしものなりとて今に家宝として伝ふるものあり 小はちといへるは 即ち是ならむといへり

之ヲ中トシテ ツクナリ

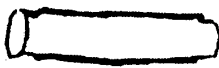
長さ四寸八分

二ツアリ

即上下



口径五寸四分^五



長さ六寸

口径一寸三寸

地ハ朱ニテ唐草模様ソノ間ニ●細ク稻妻形ノ模様ヲ以テ潰セリ

塗ハ唐製ノ如シ

之ニ鳴皮ヲツケ鼓トカハラズ緒ニテ

シメユルメ飾ヲトリシト云伝フ

天啓三年癸亥二月七日

ありきゑとのおもろ御ちうし

天啓三年癸亥二月七日

大方旅行ノミヲ唄ヘリ

ゑと 今俗ニ エイト ト云フ 即チ人ガ働クハニ働ニツレテ歌ヲウタヒ或ハ声ヲ出スヲ云フ 又工夫ナド様ノモノ、カケゴエニモ云フ

関ノ声ニモ通スルトコロアリ

ありき 旅行ノコト也即チ 山原アツチ 旅アツチ ナド云フ是ナリ

行 垂立其 中山伝信録

首里天加那志美御前の御事 ミ行幸の御時天地も振動するやうに有と也

1 大ぬしぎや、天とミとろするやに、ゑけ、せぢま、まさて、ちよわれ

又 大ぬしぎや、あめととろ、するやに ミ上に同意ナリ

又 大ぬしぎや、あやこばま、するやに

又 大ぬしぎや、しづこばま、するやに

又 大ぬしぎや、まはへあなに、ちよわちへ 真蘭ガ

又 大ぬし、とりのもり、ちよわちへ

又 大ぬしぎや、国まわり、しよわちへ

混々= あやこはまするやに
玉まつりしよわちいし
つこはま するやに

三行はむかし知念行幸の時濱辺
御通行の事を申かト見エタリ

廿一
むかしはしめからのふし

廿二

2 一 むかし、はぢまりや、てたこ、大ぬしや、きよらや、てりよわれ
又 せのみ、はぢまりに

以下

又 てだ、いちろくか

廿三

又 てだ、はちろくか

又 おさん、しちへ、みおれは

又 さよこ、しちへ、みおれは

又 あまみきよは、よせわちへ

又 しねりきよは、よせわちへ

又 しまつくれ、てわちへ

又 くにつくれ、てわちへ

又 こころきの、しまく

又 こころきの、くにく

又 しまつくる、ぎやめも

又 くにつくら、ぎやめも

又 てだこ、うらきれて 朝マタマ通テ見ル自由ノナレバ見欲シヤ ウラチラサ、ノユデシヤビガ

又 せのみ、うらきれて

又 あまみや、すぢや、なすな

又 しねりや、すぢや、なすな

又 しやりは、すぢや、なしよわれ

コハダクナラン

あけしのかふし

3 一 ぢ天とよむ、大ぬし、ほしのかた、もちろちへ、ちよわれ

又 天ちとよむ、わかぬし

又 やし御衣のみしよ、めしよわちへ

又 ほしのかたの、みきう、うび

混ニ おほみきよび 御紳也トアリ 今モ羽地間切ナドニテ帯ヲキイビト云フ

又 せぢ真剣まつるき、さしよわちへ

又 こゑかすの、なり きよら

又 あもと、よら、しよわちへ

又 おく困と、しと、しき、よわちへ

又 おぐ困とまうと、ふみ、よわちへ

又 なみとろ、ふみ、よわちへ

又 かさなおり、さしよわちへ

又 きもき、とうし、さきたて

又 ほとけ、たかべ、さきたて

又 あまおれ、大きみ、さきたて

又 国おれ、大きみ、さきたて

又 天きやかなし、しぢや けわ

又 てにきよらは、しだけり

うちいてはおしかけふし

4一 さやはだけ、みちやけ、あよ、あ、やれおせ

又 そこにやだけ、みちやけ、

又 さんこおり、あつる

又 さんみや、あしやげ、あつる

又 よきの、いろの、つまぐろ 雪ノ色ノ ツマグロ也 ツマグロハ馬カ

又 ましぢよ、きやの、つまぐろ

又 くらをふめていふ言葉也 (金、きやぐら、よりかけ

又 上三同 なむちや、きやぐら、よりかけ

又 せりかいかけていふこと也 玉しりぎや、よりかけ

又 むなかいかけていふこと也 玉くみぎや、よりかけ

又 馬の腹帯也 ておのいと、まはるび

又 手繩之事也 くもこたづな、よりかけ

又 大きみの、ぬしよわちへ

又 くにもりぎや、めしよわちへ

又 よなはばま、おれわちへ

又 ばてんはま、おれわちへ

又 浦まわり、めしよわちへ

又 さきまわりめしよわちへ

又 あかるいに、あよみわ

又 てだかあなに、あよみわ

大きみきやときとやりきやふし

5 一 大きみきや、いとめつら、めしよわちへ あまへて、けわい、いぎ、しよわちへ

又 国もりぎや、玉めつら、めしよわちへ、あまへて、けわい、いぎ、しよわちへ

又 朝無風 あさとれか、しよれは

又 夕無風 ようとれか、しよれは

又 船をいふ いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

又 ふなご、あられて、のせて

又 てかち、あられて、のせて

大きみきやいとあつらかふし

6 一 大きみきや、時とやり、おれわちへあまへて、しまより、まより、よわちへ

又 くにもりぎや、あかとやり

又 けおの、よかる、ひに

又 けよの、きやくる、ひに

又 大きみきや、しま内どみ、めしよわちへ

又 くにもりぎや、けおの、はねうち、めしよわちへ

あけしのかふし

7 きこへ、せぢあらきみ、^{此の嶋のこと}だしま、^{とよむ}とよも、おもかは、あがて、おわちへ、^{わか}わかいきよいきやて、^{みちやる}みちやる

トヨムト同カラン

又 とよも、せぢあらきみ

・ 又 あさどれか、しよれは

・ 又 ようとれか、しよれは

・ 又 いちやきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなこ、ゑらて、のせて

・ 又 てりち、ゑらて、のせて

以テ
ナミナシ

うらおそいふし

8 きこへ、大ききみや、てるかはは、のだて、あちおそいしよ、天下おそい

又 とよむ、せたかこか、てるしのは

又 いせゑけり、あちおそい おきも、うちは、なげくな

又 いせゑけり、たきよ、あよか、うちは、なげくな

又 いくさ、おしたては、大ききす、よしらめ

又 せひやく、おしたては せたかこす、よしらめ

又 くにもちの、はうら、かくらなよ、よそいて

又 うらよせの、もどろ、おぼつなよ、よせて

又 くにかねの、はらち、しまは、たいらけて

又 うら、ひぢめ、もどる くに、ひろしくよせいア

きこへ大きみちやうによせたるあちおそいかふし

9 ー あおり、くもの、あんし、ぢやぐにしらたる、うちちんチへへす、もどれハ

又 ており、くもの、あんし

又 しより、おや、いくさ

又 ぐすく、おや、いくさ

又 いたぢや、せめ、つけて

又 かなぢや、せめ、つけて

又 いたぢや、せめ、いぢやちへ

又 かなぢや、せめ、いぢやちへ

又 まゝき、おい、つめて

又 てらほ、おい、つめて

又 もゝそ、きりふせて

又 なゝそ、きりふせて

うらおそいおもものふし

10 ー いしてんが、おもう、ま人の、けわ・ちよい、みもん

又 かなてんが、おもう

・ 又 けおの、よかる、ひに

・ 又 けおの、きやかる、ひに

又 きこゑ、あんしおそい

又 とよむ、あんしおそい

又 きやの、うち、あやみやに

又 きやの、うち、くせみやに

又 物、まいり、しよわちへ

又 てら、まいり、しよわちへ

きこへさすかさかなおせかふし

11 一 きこゑ、こばせりきよ、みやり、ほしや、しよりの、めつらしや、さじ、ある

又 とよむ、こばせりきよ

・ 又 けおの、よかるひに

・ 又 けおの、きやかるひに

又 あかるいは、たかべて

又 てたか、あなは、たかべて

又 やねの、年ならは

又 むかう、年ならは

又 よくかほう、するむ

又 のちかほう、するむ

又 しよりもり、しられゝ

又 またまもり、しられゝ

又 あんしおそいに、しられゝ

又 たゝみきよに、しられゝ

又 ひやくき、ぎやめ、ちよわれ

又 もゝと、ちやめ、ちよわれ

きこへはせりきよみやりほしやかふし

12 一 きこゑ、さすかさが、よけ、よう、よ、なおせ、世うなおさ

又 とよび、さすかさよ

又 けおの、あけとまに

又 けおの、あけだちに

又 あか●いに、みやれは

又 てたかあなに、みやれは

又 むらさきの、あやくも

又 むらさきの、のちくも

又 しまなかね、とお

又 くになかね、とうり

きこへはせりきよ、やれけかふし

13 一 としま、しまおそいや、ふれまて、こけつな、やぢふく、あやれおそい、やぢふく

又 きこゑ、くに、せりきよ

・ 又 あさどれが、しよれは

・ 又 ようどれが、しよれは

・ 又 いたきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなご、ゑらて、のせて

・ 又 てかち、ゑらて、のせて

あかんおゑつきか かいとりかふし

14 一 きこゑ、こぼせりきよ、け、やれ、け

又 とよむ、こぼせりきよ

・ 又 あさどれか、しよれは

・ 又 ようどれか、しよれは

・ 又 いたきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなご、ゑらて、のせて

・ 又 てかち、ゑらて、のせて

又 しちぎ^ぽや、かたはるに

又 まきしや、かたはるに

又 ^モ小浪のこと、なみ、たては

七十人に□□

又 めよと、なみ、たては
 又 すづの、なり、しよれは
 又 かねの、なり、しよれは
 又 モ百人也 鉾 もいそ、もたちへ
 又 七人に弓をもたせてなり なゝそ、ゆみ、もたちへ
 又 もゝそ、さだけ、わちへ
 又 なゝそ、しだけ、わちへ
 又 あかるいよ、歩行なり あよで
 又 てたが(あ)なに、あよで

15 一 しより、まゐ、げらへ、まゐ たりじよ、ゆそい

又 くすく、まゐ、けらへ、まゐ
 又 モ刀之事 たまき、ゑらて、さゝちへ
 又 鎧 ゆろい、ゑらて、着セテ こせて
 又 モ大津嘉山御殿西に有小坂を云也 みねま、くびり、なゝそ、たうちへ
 又 ぎぼくびり、もゝそ、たうちへ
 又 これど、しより、これど、くすく
 又 しより、ちよわる、あちおそい
 又 くすく、ちよわる、あちおそい

大ぬしきや天とろかふし

16 一 大ぬしぎや、せぢあら、せぢ、しらたる、けに、また、たるよ

又 大ぬしぎや、よどり、あすび踊り

又 大ぬしぎや、まうと、あすび舞ウテ

又 かぜ風なおす、せぢあら、せぢ

又 うみ海なおす、せぢあら、せぢ

又 さに数しらぬ船を云ふ、しらぬ みおね、かず、おしうけて

又 かず、しらぬ、ゑそこ、かずおしうけて

てやん
はせんおなちやらかふし

17 一 しより、くに、なる、あんし

又 くすく、くになる、あんし

又 しより、ちよわる、あちおそい

又 くすく、ちよわる、あちおそい

・ 又 けおの、よかるひに

・ 又 けおの、きやかる、ひに

又 大ぎみは、たかべて

又 くにもりは、たかべて

又 かみしもは、あとへて

又 ちはなれ、そろいて

集メテ也 トハツヘハメ

又 いしへつは、このて

又 かな、へつは、このて

又 ^(石垣の事なり) いしらごは、おりあげて

又 ましらごは、つみあげて

又 なみの、うへは、げらへて

又 はなぐすく、げらへて

又 物まいり、しよわちへ

又 てら、まいり、しよわちへ

又 かみも、ほごり、よわちへ

又 ごんげんも、ほごり、よわちへ

18 一 さとし、こいぢやるよ、あけ、やれ、かいとり

又 あんの、こゑぢやるよ

・ 又 あさとれか、しよれは

・ 又 ようとれか、しよれは

・ 又 いたきよは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなご、あらて、のせて

・ 又 てかち、あらて、のせて

波ノ上即権現ヲ祭ル地ヲ云ヘルナルベシ

／、／

あおりくものあんしのふし

19 一 きこゑ、大ききぎや、ぢやぐに、よせたる あちおそいしよ、とよめ

又 とよむ、せたかこが^ッ

又 いせ急けり、あんしおそい

又 いせ急けり、たゝみきよ

又 ひやくき、せぢ^ッまされ

又 しよりもり、ころた

又 きも、ちよく、げにあれ

又 みまわす、ころた

又 あよ、ぢよく、げに、あれ

又 げある、せやり、どみ

又 げある、ており、どみ

又 あよ、まよい、しめて

又 きも、まよい、しめて

又 しよりもり、あせらは、つち、ぎりに、きらせ

又 まだ^ッまもり、あせらは みちや、ぎりに、きらせ

又 うらのかず、きゝあいて、なでまふら

あけしのかふし

20 一 かみがなし、かみきよら、^{*あふら}あおる、^{小風}こがせ、^{*ッ}や、^{*もどる}もどる、^{*き}くち、^{*被せ}はきやり、^イがねてま

^{*美}美^ッ

はちへ、おわちへ

又 のろかなし、のろきよら

以下世ノナシ

・又 あさとれか、しよれは

・又 ようとれか、しよれは

・又 いたきよらは、おしうけて

・又 たなきよらは、おしうけて

・又 ふなこ、ゑらて、のせて

・又 てかち、ゑらて、のせて

あかる三日月かふし

21 一 ゑけ、あかるいの、みづかわ、ゑけ、さいわたるの、さくら しけくと、おりなちへ

けおより、あい、いてるむ

・又 ゑけ、てだが、あなの、みづかわ

・又 ゑけ、あさとれか、しよれは

・又 ゑけ、ようとれか、しよれは

・又 ゑけ、いたきよらは、おしうけて

・又 ゑけ、たなきよらは、おしうけて

・又 ゑけ、ふなこゑらて、のせて

・又 ゑけ、てかちゑらて、のせて

あはれ上る三日月は
あはれ神が金真弓

22 一 ゑ、け、よう、きこへ、おわもりや ゑ、け、よう、しまよ うちとり、よわちへ

又 ゑ、け、よう、とよむ、おわもりや

・ 又 ゑ、け、よう、けおの、よかる、ひに

・ 又 ゑ、け、よう、けおの、きやかる、ひに

又 ゑ、け、よう、きこへ、あちおそいや

又 ゑ、け、よう、とよむ、あちおそいや

・ 又 ゑ、け、よう、大きみは、たかべて

又 ゑ、け、よう、せたかこは、たかべて

23 一 きゑ、こぼせりきよ、しよりの、めづらしや

又 とよむ、こぼせりきよ

・ 又 あさとれか、しよれは

・ 又 ようとれか、しよれは

・ 又 いたきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなこ、ゑらて、のせて

・ 又 てかち、ゑらて、のせて

又

24 一 ゑ、け、あかる、三日月や、ゑ、け、よみかみぎや、かなまゆみ

又 ゑ、け、あかる、あかぼしや

又、け、かみか、まなきとおび

群レ星ヤ

しよりくになるあんしかふし

25
— あれや、この、かいとり

又 おせや、この、かいとり

又てやん、おなぢやらの

又きもちや、おなぢやらの

又 おなづ、あんじ、やれどむ

又　ゑどむ、あんじ、やれどむ

又めやらべが、みしゆ、あちで

又しらくちやが、よそゑらで

又 おりよいは、するく

又ちよいは、するく

又あかき、いやづく

又よすきこやいふくく

又 ^{モト} ^{金也} とかい、ふね、なて スミニテ

女童御衣

又 やかい、ふね、なて

はやりほしやかふし

26 一 みなに、まちらすが、かほう、もう、ゑらび

又 とむに、まちらすが

又 とかしきの、あかなさ

又 なりむらの、あかなさ

又 なりむらの、そやけご

又 もゝ、ゑらびは、おしうけて

又 やそ、ゑ●^ちびは、おしうけて

又 せと、しない、おうね

又 ぬし、しない、おうね

又 かせ 風の向風にも行馳をいふ也 むかて、わきあがて

又 きた、むかて、わきあがて

又 あめふりやり、すみあがて

又 くれふりやり、^あすみあがて

又 おさんだけ、ぬきあてれ

又 まこち あな、のきあてれ

くれハ(時雨)シクレ●ノクレカ

真東風

なゝカ

風ハ船ヲ

儼^カチ

あけしのかふし

27 一 中^アべ、あやの、てに、きみぎ^アや、やじめ^ネさす、みとろかね、みおやせ

又 くもへ、あやの、てに、ぬしが、やじめ^ダさす

又 あふくもの、よろいは、つみあげ^アて、みおやせ

又 すゑのす^アへ、とみに、つみなおちへ、みおやせ

ねいしかまいしかふし

アいしけくた

28 一 いしけした、よう、かほう、よせつける、とまり

又 かねし、かね、とのよ

又 いしへつは、このて

又 かなへつは、このて

又 いしけ、より、なおちへ

又 なたら、より、なおちへ

神代記二
天ノ石楠舟アリ

又 くすぬきは、このて

又 やまと、ふね、このて

又 やまと、たび、のぼて

又 やしろ、だび、のぼて

又 かはら、かいに、のぼて

又 てもち、かいに、のぼて

又 おもいぐわの、ためす

又 わりがねが、ためす

しよりくになるあひかふし

29 一 いちなわの、とよみ、うら、あまへ、ほこよる、きよらや

又 あらさきの、とよみ、うら

又 けおの、よかる、ひに

又 けおの、きやかる、ひに

又 いなこみや、おろちへ

又 あらこみや、おろちへ

かいふたのたころかふし

30 一 たいら、こしらへや、おれなおせ、かみく

又 もりの、こしらへや

又 けおの、よかる、ひに

又 けおの、きやかる、ひに

又 がぢやもりに、おれわちへ

又 ねだてもりに、おれわちへ

又 もこそ、ひちへ、おれわちへ

又 なこそ、ひちへ、おれわちへ

又 あまみやふた、おれわちへ

士ニ
212

又 しねりやふた、おれわちへ
又 しよりもり、おれわちへ
又 またまもり、おれわちへ

31 一 大みづの、みぢよいもい、おちへ、こつて、はやせ 追風をうて走らせ

又 ふるさとの、みぢよいもい

又 みぢよいもいが、うゑたび （モ）始て旅に行事也

又 みちよいもいが、あらたび （モ）おひ

又 よさけもり、どころ

又 ゆみきもり、どころ

又 おとぢやへは、さそやり （モ）兄弟をいふ

又 ちおとぢやは、さそやり （モ）さそやり

こはせりやれけかふし

*八ノ六五 参照

32 一 あかん、おゑづきが、かいとり

・ 又 ねはん、おゑづきぎや （モ）朝無風也

・ 又 あさとれか、しよれは （モ）夕無風也

・ 又 ようとれか、しよれは

る
カ

・又 舟の異名也 いたきよらは、おしうけて
・又 同上 たなきよらは、おしうけて
・又 ふなこ、ゑらて、のせて
・又 てかち、ゑらて、のせて

ア
しし
しし
ししししよきなわかふし

33 一 きこゑ、おにのきみ ゑ、やれしく、しけかけて、こがせ
又 とよむ、おにのきみ

・又 あさとれか、ゑしよれは
・又 ようとれか、ゑしよれは
・又 いたきよらは、おしうけて
・又 たなきよらは、おしうけて
・又 ふなこ、ゑらて、のせて
・又 てかち、ゑらて、のせて

たいらこしらいかふし

34 一 きみ、なおり、わかきみ、うらくと、おせ

又 きみ、わかく、大きみ
・又 あさとれか、しよれは
・又 ようとれか、しよれは

くナラン

・又 いたきよりは、おしうけて
・又 たなきよりは、おしうけて
・又 ふな、ゑらて、のせて
・又 てかち、ゑらて、のせて

せせ
せしきよ、かなくすくかふし

35 一 しより、いちやしが、こちへきよる、きよらや

又 くすく、いちやくか

・又 あさとれか、しよれは

・又 ようとれか、しよれは

・又 いたきよりは、おしうけて

・又 たなきよりは、おしうけて

・又 ふな、ゑらて、のせて

・又 てかち、ゑらて、のせて

沖縄按司ヌ

うらおそいおもつふし

36 一 まさりきよか、ふなやれ、ゑ、おきにや、あんしおそいす、ちよわれ

又 うきあかりぎや、ふなやれ

又 なけち、てゝ、おもな

又 あよて、てゝ、おもな

・又 ふなこ、ゑらて、のせて
・又 てかち、ゑらて、のせて
・又 つきの、わか、きよらか
又 てか^たの、わか、きよらか

こかせかふし

38 一 くめのこいしのか、ぢみち、あよむ、やにこがせ

又 もうら、こいしのか

地即チ陸ノ道ヲ歩ム様ニ漕セテ也

・又 あさとれか、しよれは

・又 ようとれか、しよれは

・又 いたきよらは、おしうけて

・又 たなきよらは、おしうけて

・又 ふなこ、ゑらて、のせて

・又 てかち、ゑらて、のせて

・又 あかず、やりおそい

又 きみの、やりおそい

又 あかるいに、むかて

又 てたかあなに、むかて

1117
15445154-15451

くめの、こいしのか、くに、
ちた^ミや^ミかよ^{ナシ}、
わか^ミきよ^ミか、
たま、
せ^ミせ、
おうね

又　もゝうら、こいしのか
土　くにたか

・又 あさとれか、しよれは

・又 ようとれか、しよれは

下

ナニナシ

・又
いたきよりは、おしうけて

・又 たなきよりは、おしうけて

・又 ふたこゝゑらて、のせて

・又てかち、ゑらて、のせて

こかせかふし

飛ぶ鳥カ

くめの、いのちのか、ふしぎなふし

又もつづらこいしのか

・又 あさとれが、しよれは

・又 ようとれか、しよれは

・又
いたきよりは、おしうけて

・又 たなきよりは、おしうけて

・又 ふな、こゑらて、のせて

・又てかち、ゑらて、のせて

かいふたの大ころかふし

41 一 ほかま、大やこか、やくと、おせやちよ、こた

又 いぢへき、大やこか

・ 又 けおの、よかる、ひに

・ 又 けおの、きやかる、ひに

・ 又 あさとれか、しよれは

・ 又 ようとれか、しよれは

・ 又 いたきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなこ、ゑらて、のせて

・ 又 てかち、^{権取也}ゑらて、のせて

・ 又 あか^いいるに、あよみよわ

・ 又 てたかあなに、あよみよわ

うちいてはおしかけふし

42 一 あけしの、かみにしや、やれ、け、やの、やほう、あふちち

又 あけしの、のろにしや

又 なよかさの、せと、ちやうす

又 そできよらか、ゆどり、ちやうす

又 なよかさの、てどり、ちやうす

又 なみのてや、ふなばしに、しない らカ 不定

又 かせのてや、ほうふぐろに、しない

又 ておの、いとは、もで、あわしやり、みなわせ

又 ておの、いとは、おしあわしやり、たづなせ

43 一 よなおさか、ゑそこゑ、け、やれ、け

又 かみにしやが、ゑそこ

・ 又 あさとれか、しよれは

・ 又 ようとれか、しよれは

・ 又 いたきよらは、おしうけて

・ 又 たなきよらは、おしうけて

・ 又 ふなごゝゑらて、のせて

・ 又 てかち、ゑらて、のせて

・ 又 うらまわり、しよわちへ

・ 又 さきまわり、しよわちへ

・ 又 あかるいに、あよみよわ

・ 又 てたかあなに、あよみよわ

うちいではさはしきよかふし

44 一 きこへ、おしかさ、とよむ、おしかさ、やうら、おちへ、つかい、やうらハヤをち●ノ意カ

又 きくやの、おきしまのきくやの、もいしま
 又 おきしまに、から、ひるかざり、かち
 又 ひるかざり、から、中せと、うち、かち
 又 中せと、うち、から、かねのしま、かち
 又 かねのしま、から、せりよさに、かち
 又 せりよさに、から、かいふたに、かち
 又 かいふたに、から、あすもりに、かち
 又 あすもりに、から、あかまるに、かち
 又 あかまるに、から、さちきやもりに、かち
 又 さちきやもりに、から、かなびやふに、かち
 又 かなびやふ、から、さきよたに、かち
 又 さきよた、から、おやとまりに、かち
 又 おやとまり、から、しよりもりに、かち

以ナニナシ

45 一 かいふたの、大ころ、やふら、おせや ちよくけ
 又 かなもりの、大ころ
 又 大ころか、まみやに

首里城の復興と沖縄の文化

御花

廿一、
17

はつにしやかふし

1 一 あかるいの、大ぬし、くか、おもいくわ、てたのかた、もちろんへ と、おわる
又 てたかあなの大ぬし

はつにしやかふし

2 一 あかるいに、さくはな、天とよて、さくはな

又 ^{祖父也}うきおほちか、おわにや、ゑん、けらへ、あらまし

又 ^{井のこと也}くむさうすや、ちよむ、みちへ、いちへ、いき、ぬは、まし

又 くだる つちや、ちよむ、みちへ、いちへ、あ●ぬは、まし

くめのきみはいかふし
廿一、まへにかきふし

3 一 おとたけ、つかさ、くめの、しま、おわちへ、世なおしか、おわちへ

又 ^{モ・おとたけの異名}きちやらたけ、つかさ、なさか、まへ、おわちへ

又 しよりもり、あちおそい、ともすへ、あんしおそいす、ちよわれ

又 またまもり、あちおそい、ともすへ、あちおそいす、

又 やへまきやめむ、はたら、しま、きやめむ、ともすへ、あちおそいす、

モ八軍山島異名

又 ^{にやナシ}いなくに、きやめむ、はてるま、きやめむ、ともゝする、^{ナシ}あんしおそいす
又 なわ、わたちへ、いとわたちへ、ともゝする、^{ナシ}あんしおそいす、ちよわれ

くめのきみはへかふし

廿、18
廿、106

4 ー おほつおて、みれは、さりよゝ、しちへ、みれは、あやみやの、めつらしや

又 中ち、あやみやに、^{ナシ}あんけらへ、^{ナシ}あかる

又 中ち、くせみやに、むか、けらへ、ありる

廿、106
又 まとよたか、つかいしよ、くめの、しま、おわちやれ

又 ^{我か也}あか、^{男也}ころか、つかいしよ、^{父親}なさか、しま、おわちやれ

又 ^{祖父}うきおほちか、世、やてや、もゝ、かめむ、すへまし

又 ^{清ら庭}あやみやの、^{大男也}大ころ、あまゝ、あわちへ、もとらめ

又 ^{男也}あやみやの、^{男也}ころく、^{御願也}みかう、^会あわちへ、もとしめ

うちいてはくめの大おそいかふし

● 廿、19

5 ー あらかきの、うきおほちか、もりに、あか、^{父也}なさす、ふため、まざりよわれ

又 大さとの とよみもり、おれわちへ、あか、なさす

又 大さとの、ねたてもり、おれわちへ、あか、なさす

又 あらかきの、いな●^みね、おれわちへ、あか、^{あか}なさす

又 十いろ、あしやけ、八いろ、あしやけ、このて、^{ナシ}なさす、ふため

又 百かめは、八十かめは、すへて、あか、なさす

又 おもいきみ、けらへきみ、てつて、あか、なきす

きこへ大ききみやさはたけおれわちへかふし

一、ハ

6一 きこへ大ききみや、おしやたる、せいくさ、勢軍也あちおそいしゆ、よそろいれ

ア 余り也 トアル リ也ヲ

ケシテ能也トセリ

又 とよむせたかこか

又 あはれ、かなし、きみはいしま、うちしてす、もとりよれ

又 あはれ、かなし、きみはあ、くに、うちしてす、もとりよわれ
人名也もりやへこた、ちやくにして、しま、うちしてす、もとりよれ

又 大ころた、ちやくにして、くに、うちしてす

又 船の異名也あそこ、かす、ころたよ、しま、うちしてす、もとりよれ

又 みおうね、かす、ころたよ、あおてす、もとりよわれ

又 おほつかめ、(きや)とよて

廿、
21

うちいてはあまみやみるやにかふし

7一 よなは、わりきねや、すつの、わりきやねや
同

又 くにの、うきくもとくにの、たみきよと

廿、
22

うちいてはくめのきみはいかふし

8一 なかち、あやみやに、あや、きやね、おしあい、しゆわれ
女

又 中ちくせみやに、サヤカサヤカサヤカ

$\left(\begin{array}{l} \#1 \\ \#2 \end{array} \right) \left(\begin{array}{l} \#1 \\ \#2 \end{array} \right)$

板戸口押閉子

又(ち)いちゃく、くち、おい●みき 同 かなちや、くち、おいみき

又（清ら庭）あやみやの*へころた、たちより、ゐより、まちより

うちいではあまみやみるやにかふし

10
—
^{廿二}あらかきの、^{廿二}もりに、^{廿二}たりる、^{廿二}このみるやに、^{廿二}つかい

又 おきおほちきや、
もりに、
たり^{廿二}の

又、^おみや、^せけらへ^せわちへ^せたりるの

又 まみや、けらへわちへ
たりの^{廿一}の

39 あおりやへかふし
なかふし

92 んんてふたし下おもきみけらへきみかふし

廿、
39

廿、
92

11
 11
 んん、とよたしゆよ、⁹²も、^{ナシ}あんしやは、^ちやちよむ、^もゑやれ、⁹²とよむ、^{ナシ}あちおそい

又 よかる、とよたし⁹ゆよ³⁹
 まゝ⁸⁰あはれ⁹²ふか⁹²い⁹²ち⁹²ん⁹²な⁹²り⁹²や⁹²う⁹²ら⁹²ひ⁹²を⁹²あ⁹²は⁹²れ⁹²

又 きいゑあちおそいや^{3ナリ}
かゝあやふたふかふた⁸

又とよむあちおそい³⁹や³⁹ナシ

[illegible]

44
29

廿、あんこ、とよしゆよ、よかる、とよしゆよ、おもいきみ、けらへきみ、きよらや、てた、
なかつし

12

けらへて、ちよわれ

又 たが、ためが、たほう、たがためが、よしも

又 おもいくわの、ためす、きみよしきや、ためす

いやとよししかふし

13

一 ふくじ、きまのしゆよ、よかる、きまのしゆよ、おもい、こて、けらへ

又 うねくすくけらへ大くすくけらへ

又 かさす、わかてたよ、まもの、わかてたよ

又 いし、ちやうは、たてゝ かな、ちやうは、たてゝ

44
27

あんこ、とよしゆよ、あちかふし

14

一 ふくじ、きまのしゆよ、てたよ、みちやる、まさり

又 よかる、きまのしゆよ、

又 かさす、わかてたよ

44
28

う、きまのしゆよ、あちかふし

15

一 いやか、とよしゆよ、まぐし、とよしゆよ、おやより、こて

又 かさす、わかてたよ、まもん、わかてたよ

又 うまの、とし、きよもの もまれとまきもの
又 うまれ、とし、きよもの

廿、
29

16 一 いやぐ、とよだしゆよ、まぐし、とよだしゆよ、うらまひしや、みほしや

又 はなれ、おる、あんは、とわけ、おる、あんは

又 かわはんだ、おりやり、(こはんだ、うれは

又 かさず、わかてたの、まもの、わかてたの

又 うち、あよみか、みもん、ふれまへか、みもん

又 まへに、かち、よてこう、そいにか、ち、よてこう

廿、
64 又、四、五、二

たんなふし

17 一 きみよし、さしお、てる●もは いきやる、さうす、あてか、くもてより、いてたる、またま

より、いてたる

又 (たけか、くまもとに、もりか、くまもとに

廿、
65

うちいてはあまやみるやにかふし

18 一 きみよし、きみの、きみよ、ほりりよわちへ、あんしおそいや、もくと、世す、ちよわれ

又 きみおそい、きみの、きみ、ほりりよわちへ

96

21 ー あおりやへ、きみの けらへ、みもん

うちいてはきたたん世のぬしかふし

67
へ

20 ー おきやか、あちはいや、てわん、おきも、はやさ

あおりやへかふし

又 はたみ、いくさ

又 中くすくおもい

又 きもたかのおもい

66

19 ー きこゑ、せんきみきや、ましけす、まけらへしよわちへ

あおりやかふし

又 とよむせのきみか

又 きこへあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

又 こみかす、たかへ

又 きこゑあちおそいか

又 とよむあちおそいか

又 またいらの、あさいに

又 おとかねの、まころく

又 のち世かる、まころく

は力は小く書キタリ

23
くめの、こいしのか、あけ、みのかか、うちへ、とよみ

廿、61へ

あおりや／＼かふし

くめの、こいしのか、もゝすへ、とよむ、きこへか、もり

又もよう、こいしのか

又きこへあんしおそいか

又
とよむあちおそいか

御見^{ミミ}こと
ソカ

力

又　　きみおそいきみの
又　　たにま、御み事サニ事サニる

又
けにま、
御み事事る

火神也

又 あかくちやに、よいつちへ

廿一、國々ちちくおむむちくたせくきよに

以

モ火の神の異名也
せるまゝに

よいつちへ

廿一ナシ

又
せたかこか、み御まへ

又 あちおそいか、み御まへ

又もゝかめは、すゑて

又やそかめは、すへて

又きみつかい、たりる

又ぬしつかい、たりる

廿、
111

又 もうち、こいしのか あはみのかわ
又 けおの よかるひに あはみのかわ
又 けおの きやかるひに あはみのかわ

あおりやへかふし

24 一 くめの、こいしのか、世^せし^せせ、あかす、おとん

又 もうちこいしのか

又 きこへあちおそいか

又 とよむあちおそいか

あおりやへかふし

廿、
112

25 一 くめのこいしのか、もうちこいしのか、せたかき、とよみ、よわる、たみ
又 きこ^あん^ちしおそいかとよむあちおそいか
又 くし、かわの、もりに、かなふ^くしの、もりに

うらおそいかふし

廿、
119

26 一 せたかこは、たにま、御^ごみ^ご事^ごる、こいしのす、もちよろゑて、みおやせ
又 あちおそいや、たにま、御^ごみ^ご事^ごる、こいしのす、
又 あかくちや^か、てるちろ
又 せるまゝか、てるちろ

又 ^{神人の事}さしふは、おもろは、せらす
又 ^{神人の異名也}むつきは、せるむは、しらす

あおりやへかふし

27 一 くしかわの、またまうちは、けらへて、よくけらへて、まさり、^{ゆゑ}ゆる、^{せだか}せだか

又 かなふくの、またまうちは、けらへて

又 たうの、ふねせに、こかね、もちよせる、くすく、よく、けらへて

又 やまと、ふねせに、こかね、もちよせる、くすく

廿二、ナシ

きこへせたかこか世かけにせさ●かふし

28 一 おにの、きみこゑや、みやけ、ほしやす、ありよわれ、こかね、うちの、世そ、^{せち}せち、みおやせ

又 きこへあんしおそいやみやけほしやす、ありよれ

又 とよむあちおそいや

又 あやもとろ、めしよわちへ、よりいちゑ、こかね、^{さしよわち}さしよわちへ

又 よきの、^{馳馬也}はやみちやに、こかね、くら、かけて

又 ゆきの、^よそにめきに、なむちや、くら、かけて

おにのきみはいやなまといきよにこなでかふし

29 一 おにのきみはいや、^{嶋のかしら女房事也}やちよ、^{アかしら}いよやに、^下おそて、^{アリ}ちよわれ

又 おそい、きみはあや

又 おにす、いてゝ、人おどせ
又 人の、いちへて、おに、おどちへ、

やちよゝいよやにかふし

30 一 おにの、きみはあや、なさいきよに、しなて、とよま

又 おそいきみはあや

又 おとかねの、まごろ

又 のちのよかる、まごろ

又 おにのきみはあや、なさいきよに、しなて、とよま

おにのきみはあや、なさいきよに、しなて、とよま

31 一 おにの、きみはあや、ももつらの、とよみ

又 おそいきみはあや

又 くしかわに、おわる

又 かなふくに、おわる

又 なさの、うきよくもか

又 おきなわに、とよむ

又 大くに、とよむ

又 こかねの、みしやく

又 またまの、みしやく

又 ぬき、あけれ、みしやく

廿、
81

又 さいさらけれ、みしやく

廿、
たんたんなかふし

32 一 くしかわの、もりに、稲米いなよね、ゆゆりみちへれ

又 かなふくのもりに

又 せもち、おや、たはる 賜フル

又 わかいきよもいか、たはる

又 あんしおそいか、たはる

廿、
82

廿、
かかねくすくおもちいへおもちいへおもちいへ

33 一 かねくすく、もりに、つくせ、よせれ

又 ききゑあんしおそいや

又 父也なさか、けらへみやに

おもろねやかりかふし

廿、
83

34 一 かねくすくもりに、もいりり、まぢぢす、たちよむぢ、ふ

又 ねたてかなもりに 廿、
ふ

又 なさか、けらへみやに 廿、
ふ

廿、
84

廿、おぢいおぢいあかりやすきものちんちんわしかな
たんなかふし

35 一 あらかきに、おわる、ま物、よのぬしの、まもん

又 ^{初也}よきの、くわは、なしよわちへ、はつの、くわは、なしよわちへ

又 ともその、いくさ、やもその、いくさ

あおりやへかふし

廿、
85

36 一 くめのこいしのか、もろうら、こいしのか、せいの、きほしや、くにどよみ

又 あやみねに、あつる ^{祖父也}うきおほちが、うへけ

又 あやみねに、あつる ^{祖母也}うきおわが、うへけ

又 うねに、おてたては、大さに、とよて

又 大さに、うては大きく、とよて

あおりやへかふし

廿、
86

37 一 たうのしか、つかい、きこゑ、あんしおそいや、もくと、世す、ちよわれ

又 たうの、大やか、つかい ^{きこゑ}おそいや

又 たう、かわに、よと、しよわ ^{泉する川也}

又 わくさうす、よと、しよわ ^{きこゑ}

やちよこいよやにかふし

世、
世也

38 一 くめの、^世くせ、きみ、いけく、しくはやせ

廿／
88

又 おもい、よらせきみ
又 御みやたつ、いつこ
又 まみやたつ、いつこ
又 けおのよかるひに
又 けおのきやかるひに
又 あんしおそいか、み御まへ
又 たゝみきよか、み御まへ
又 もゝかめは、すゑて
又 やそかめは、すゑて
又 あんしおそいよ、はやさに
又 たゝみきよよ、はやさに

きゑせのきみきやいけかくとそろわはかふし

39 一 きゑせのきみや、わかきみ、けらへて、つかい
又 とよむ せのきみきや^{廿、ナシ}
又 あかつ、あや、はかね
又 あかつ、くせ、はかね
又 たるか、さちへ、にせる
又 つれか、さちへ、にせる
又 こしらへす、にせたれ

又 かみにしやす、にせたれ

九 おちちあけよのきみかふし

うちいてはおこもりはけおのきみのふし

廿、69
九、5

40 一 きみよし、きみの、きみ、おそい、きみの、まちら、ためより

又 もゝその、やちよく、なくその、やちよくの女な房ふ

九、ナシ

又 もゝそか、なかに、なゝそか、中に

又 くもも、よりより またまもも、よりより

やふつよためかちへかふし

廿、70
八

41 一 ねうしか、時、かみか、時、しらたる、いちよかく、ころた、あやの、みやし、うちよわちへ、

かみは、またたお

又 とらうの時、かみか時

又 けおの時、よさは、かみ時

又 なまの時、よさは、かみか時

あおりやへかふし

42 一 ふくじ、きまのしゆ、人のうらの、かない、かきよせて、あちおそいに、みおやせ

又 かさす、わかつてたに、人のうらの、かない

又 まもんわかつてたに

廿、
59

あおりやへかふし

43 子一 きんぶ、やすかさは、おと、きみ、やれども、おれるかす、きみはやす、みこい、

又 とよむやすかさは おれるかす

又 くしかわのもりに おと、きみ、やれども、おれるかす

又 かなぶくのもりに おと、きみ、やれども、おれるかす

あらかきのもりにうちあかるたゝみかふし

廿、
24
Q

イキ
44

43 一 あらかきのもりにうちあかるひやし

又 あか、なきか、もりに

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 あんしおそい御まへ

又 せたかこか、み御まへ

廿、
25

うしおそいおもろのふし

45 一 かねくすく大や、おもろ、する大や、世そ、ひやし、うちちへ、みおやせ

又 くにのねの大や おもろ

又 けおのよかるひに おもろ

又 けおのきやかるひに おもろ

又 あんしおそいか、み御まへ おもろ

又 せたかこか、み御まへ おもろ

26

うちいではおそいおもろのふし

46

かねくすく、ねだて、もりくすく、世、ま、じ、う、ひ、く、み、お、せ、く、の、の、ね、ね、だ、て、も、り、く、す、く

又 けおのよかるひに

又 けおのきやくるひに

ナ

又 あんしおそいかみ御まへ

又 せたかこかみ御まへ

71

うちいではおとくきまはりのふし

47

おもい、なよくらか、まへさうす、ありては、あ、け、ま、さ、り、き、へ、う、ら、や、み

又 中ち、ましろくか、

30

うちいではおとくきまはりのふし

48

なち、ましろくか、とよみよる、つかい、ましろくか、けらへ

又 とくよせる、したに、とよみよる、つかい

又 こしあて、はりや、つて、とよみよる、つかい

31

カタカナ
ハスミニテ

49

おとくきみ、ま、さ、り、な、さ、か、おもいきみ、あ、わ、す、れ、な、な、さ、い、き、よ、か、御、み、か、う、の、み、ほ、し、や

又 たまはしり、つきあけわちへ、ちやうわちへ

35

てわんおきもしなわかふし

53
52 一 かさす、わかつてたに、御みしやく、ぬきあけ

又 まもん、わかつてたに

又 あふの、はまさきに

又 あふの、いふまきに

又 おと、まち、とよたる

又 せさの、おや、おもしろ

あおりやへかふし

33

54
53 一 きこふくにおそいか、くにてもち、けらへてかほう、せち、まへ、よせて、ちやうわれ

又 とよむくにおそいか

又 くしかわのもりに

又 かなふくのもりに

せのきみかつとりかわちへかふし

33

55
54 一 くにおそい、くにもりか、あすひ、よわれは、せたかこか、つかい

又 かてかわの、中もりにあすひ、よわれは

又 おきて、やりよわ つかい、やりよわ

又 おわる、てやは、あよむ、てやは

74
ハ

百瀬モノウラ

56
~~55~~ 一 くめのこいしのか、おきも、たかもりや、くにまなり、しよわちハ

あおりやハかふし

又 もみら、こいしのか

又 くめの中くすく

又 とよむ中くすく

72

あおりやハかふし

57
~~56~~ 一 くめの、こいしのか、世の、いきじきの、世のてもち、みおやせ

又 もとよりこいしのか
9a#J#59#J#

又 おとしやかわ、おれわちハ
9a#J#59#J#

又 わくさうす、おれわちハ
9a#J#59#J#

73

あおりやハかふし

58
~~57~~ 一 くめのこいしのか、まいと、おどし、けさ、つり、とよて

又 もとよりこいしのか

又 くめのあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

あおりやハかふし

59
~~58~~ 一 よだましきや、おもろ、おにより、まなり、せち、そわて、もろちやら、まかせ

70

又 よたましきや、せるむ

又 くめのあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

あおりやへかふし

60
59 一 よたましきや、おもろいみと、世は、まさる、世、たまの、ともまるくすく

又 よたま、にやか、せるむ

又 きこへあんしおそいや

又 とよむあちおそいや

△

あおりやへかふし
△ 一 よたましきや、おもろ、もろあちより、まさる、よわ、すあ
なかく、たまよ、そろい、わちへ
又よたまにやか、せるむ
又きこへあんしおそいや
又とよむあちおそいや

うちいてはくめのやまくすくのふし

62
61 一 きこへあんしおそいや、てるかはす、まふれ、まふり、よわは、もろすあ、ちよわれ

又 とよむあんしおそいや、てるしのす、まふれ

又 きこへ大きみす、あんしおそいや、まふれ

又 あまみや、きみはのや、あんしおそいか、おより

又 しねりやきみはあや、たゝみきよか、おより

又 おほつ、せち、おろちへ、あちおそいす、まふれ

又 かくら、せうち、おろちへ、たゝみきよす、まふ、れ

又 かくら、あつる、こかねすへ、あちおそいに、みおやせは、まふり、よわは、もろすあ、ちよわれ

66
 65
 一 きこゑせのきみや、あやつちへ、とよま
 又 とよむ世のきみきや

又 やまと、ゑむせと
又 せたかこか、まへに
又 けらへこか、まへに

又
せたかこ、まへに

又
けらへこか、まへに

廿一
43

65
-64 一 ききゑせのきみきや、^かさいの、はなの、まやいと、みもん
又 とよむせのきみきや ^{*}ゼーヌ マチユン ラター

又 あさとれか、しよれは
又 ようとれか、しよれは

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

廿一
38

64
~~63~~
一 かてかわの、とのく、^カすつとみす、あちはやせ
あおりやへかふし

一 かてかわの、とくにし「カ」の、かねまるは、のちすゝのすゝ、おせわ、おきやかもし、ちよわれ
 又 けお、ふきよる、まにしや、にし「シ」の、かねまるは、のちすゝのおよは
 又 なま、ふきよる、にしや、にし「シ」の、かねまるい、のちすゝのおよは

廿
—
37

廿一、おとねから「おしなから」
たんふし

又 しよりもりくすく
又 またまもりくすく

廿、
102
ハ

67
66 一 きこゑのきみきや、いけくと、そろわは、おれら

きこゑのきみつくかきみけらへてつかいふし

又 とよむせのきみきや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

廿、
88

あおりやへかふし

68
67 一 大くに、とよむ、かねくすく、せのきみ、てつて、あまやかせ

又 おきなわとよむかねくすく

又 あさとれかしよれは

又 (よう)とれかしよれは

又 いたきよらはおしおけて

廿、
62
廿、
89

69
68 一 きこゑのきみきや、おれて、ふれまへは、すへ、なか、世そろあて、ちよわれ

又 とよむせのきみきや (おれてふれまへは)

又 あか、なさいきよ、あちおそい、ねいしの、てい、うへ御く、きやめ

又 てた、なさいきよ、あちおそい、まいしの、^{てめ}に、うへつく、きやめ

70
~~69~~ 一 あから、ともかいや、みもん、ともかいや、世、なおしか、おれわちへ

又くめのしま、おわちへ

又（廿一、前へツバク
かねの、しま、おわちへ

又 しよりもり、ちよわる

又　またまもり、ちよわる

又 あんしおそいか、おより

又たゝみきよか、おより

又もゝすへ、ちよわれ

又 やそすへに、ちよわれ

又中ち、あやみやに、みれは、きもはいて

又 なち、くせみやに、みれは、きもはいて

又 おほつ、おて、みれは、あやみやの、めつらしや

又かくらおて、みれは

うちあかるひのし

71
~~70~~
—
あらかきの、もりに、うち、あかる、たゝみ

又　うきおほか、もりに

廿、
64

又 おみや、けらへわちへ

又 まみや、けらへわちへ

又 もゝかめは、すゑて

又 やそかめは、すゑて

しのくりやわなれかみのふし

72
71 一 みるやにや、よなれ、かみ、やれば、けわいつ

又 みるやにや、よつき、かみ

又 みるやにや、いちき、かみ

又 みるやにや、ちやくに、かみ

又 いちへ、きり、やり、かね、わかこ、さしよわちへ

又 いちきり、やりかね みさき、さしよわちへ

又 かねわか、こひもすつは、さけて

又 かね、みさき、なり、すつは、さけて

あおりやへかふし

73
72 一 大きみか、うさししよ おもかはの、せち、おろちへ、あんしおそいよ、まふらて、おれわちへ

又 せたかこか、うさししよ おもりはの、せち、おろちへ

又 てるかはか、うさししよ、てらちんの、せち、おろちへ

又 てるしのか、うさししよ、てらちんの、せち、おろちへ

廿一、42

廿一、ナシ 以下

又 あまみや、きみはへや、てらちんの、せちおろちへ
又 けおの、きみはゑや、てらちんの、せち、おろちへ
又 おもかはの、のろく、てらちんの、せちおろちへ

#1. $\Delta \phi_{\text{eff}} = \phi_{\text{eff}} - \phi_{\text{eff}}^{\text{ref}}$ $\Delta \phi_{\text{eff}} = \phi_{\text{eff}} - \phi_{\text{eff}}^{\text{ref}}$
 $\Delta \phi_{\text{eff}} = \phi_{\text{eff}} - \phi_{\text{eff}}^{\text{ref}}$
 $\Delta \phi_{\text{eff}} = \phi_{\text{eff}} - \phi_{\text{eff}}^{\text{ref}}$

又 かくらうちに、ありよる、こかね、うちに、ありよる、かみか、いのち、あんしおそいに、みおやせ
又 おほつ、うちに、ありよる、なむちや、うちに、ありよる、かみか、いのち、あちおそいに、

あおりや／＼かふし

74
—73—

二 さすかきくに、なおちへ、かなふくに、おれわちへ、なさいきよに

みやかの、もり、みおやせ

又きみの、あちの、くに、なおちへ、(廿一ナツ)かなふくに、おれわちへ、

又くしかわの、もりに、^(廿一、ナシ)くになおちへ、おれわちへ

又
かなふくのもりくに^{廿一、ナシ、}

あおりやかふし

75
~~74~~

一きこへ、あおりやへか、たけ、みつぎ、しまの、つち、ちよわれ

又　とよむあおりやへか、たけ、みつぎ、
廿一、ナシ
、しまにの、
、

又くめの中くすくたけ^{廿一}みつき

又とよむ中くすくたけみつき廿一

又
けさは、
かみきや、
たけ、
たけ、
みつぎ、
しまの

又けきは、のろか、たけ
たげみつき

又かみむかて、こうて^{廿一}たげみつき

又のろむかて、こうて廿二たげみつき

うらおそいふし

76 一 せのきみか、おれたち、きみよしか、おれたち、もと、ひやく、うちあかる、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、なけくな、せのきみす、しりよわめ

又 てた、なさいきよ、なけくな

又 あんしおそいか、せいやりよわは、せのきみや、けやりよわは

ナ、うらおそいふしのちあかりかなし

廿一、60

77 一 せんきみか、きみよしか、世かほう、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、てたなさいきよ

又 あまみ、たま〇ち、な、おるわし

又 いと、ぬきやり、なわ、ぬきやり

又 おてつから、みてつから

又 とりよわやり、うちよわやり

タ、廿一、トアル 78 ノカタリ

まりね マカネ カ

廿一、78 廿一、100

あおりやへかふし

78 一 しましりに、あつる、つてやこの、まりね、たま、よ、そつて、みおやせ

又 きるあんしおそいきや

又 とよむあちおそいカ

ナ、うらおそいふしのちあかりかなし

82

$$\sqrt{81}$$

一のくりやは、世なれかみ、やれは、やれ、このゑ

又　しのくりやか、やまと、たひ、のほて、やれ、このちち

又かみにしやか、やしろ、たひ、のほて、やれ、このゑ

又やまと、たひなおかい、のほて

又 やしろ、たひ、なおかいか、のほて

又 あおしや、てうたまかい

又 ふく^フしゃ、てうつしやかいか

もゝとふみあかりかふし

83

82

おきや、まちよくもい、おこのみの、たりさ、くしかわ、わくさうす、けらへて

又
はたみまちよくもい

又きこへあんしおそいか

又
とよむあちおそいか

廿一
56

84

~~83~~

あんなに、とよたしゆよ、あんしおそい、てたの、このみ、よわる、かまへ、つむせん、よせ、けらへ

又世かる、とよたしゆよ、
あぢちちてんたのくぬちをむ

又 いしけ、なは、おきて^{おきて}あぢおとご^{あぢおとご}いたの^{いたの}のみ^{のみ}やむ^{やむ}る

又 おみや、 みやつちへん おみや、 みやさきに

廿、
58

廿一 67 參照

85
~~84~~
— あんこ、とよたしゆよ、世かる、とよたしゆよ、あんしおそい、てたと、わかつてた

又 きこへあちおそい[＃]やとよむ[＃]あちおそい[＃]や

又　ことしまの、あんちや
ことく^ふにの、あんちや

又みちへと、うらやみよるきちへと、うらやみよる

[illegible]

おにの、きみはあや、やほう、ひちん、まちよめら

又 おそい、きみはるや

又 せたかこが、まへに

廿一、ナシ 又 けらへこが、まへに

又
いつかてゝ、いちへ、やほう、ひちへ

又 はやくてゝ、いちへ、やほう

又 おきて、やりよわは

あおりやへかふし

イキ 87
— 86 —
おきや、あんしはへや、てわん、おきも、はやせ

又はたみ、いくさかこうよ

又、きむたか、おもい

5 ウ 二似タルおもろアリ 彼ハ
うよ二季ナク 次ニ 又 中くすくおmoiノ一行アリテ・ノ行ハナシ

全 ルド

・ 又 しまおそいの、おもい
・ 又 きゃかはた、みやれは

あおりやへかふし

88
87 一 しもの、おきて、ねとて、月のかす、なつのやに、あまへる、きよらや

又 もの、いにしや、ねとて

又 くめの中くすく月のかす

又 とよむ中くすく

又 ふよ、なつむ、しらす

又 なつ、ふよむ、しらす

又 ふよわ、御さけもる

又 なつは、^{神酒也}しけちもる

又 あんし、からる、かに、ある

又 てた、からる、かに、ある

もんとみあかりかふし

89
88 一 しもの、おきて、ねとりちへ、くしかわの、またま、あんし、からと、とよむ

又 もの、いにしや、ねとらちへ、

又 きこるあんしおそいか

又 とよむあちおそいか

うらそいおもろのふし

90 ~~89~~ 一 みやこ、こいつか、ません、ほこり、しよわちへ、御さげや、あよてと、たちよる

又 や^あま、こいつ、せの

あおりやへかふし

91 ~~90~~ 一 きこ^アあおりやへか、みやかの、ひやし、^{アモ}な^{父親之事也}こいきよもいにみおやせ

又 とよむあおりやへか

又 くしかわのもりに

又 かなふくのもりに

うらそいふし

92 ~~91~~ 一 こいしのか、ちへねんもり、おれわちへ、きみつかい

又 くしかわに、きみほこり、けらへて

又 かなふくに、きみほこり、けらへて

又 あちおそいか、きみ、ほこり、けらへて

かねくすくのろのふし

93 ~~92~~ 一 こいしのか、くに、いけくし、

くまからハ紛レザランカタメ
添ヘタルモノカ

くまからうらおそいふし

しまつれ、くにつれ、み物

又 まちらすか、くにいけくし

又 よなはるの、くにいけくし

又 とろろ、^{アナシ}きの、くにいけくし

又 五たけの、くにいけくし

又 七たけの、くにいけくし

又 めつらしや、あぐにいけくし

又 さうさしや、あぐにいけくし

うちては^かねくすくのろのし

94
93 ー こいしのか、くにいけくし もりくすくおれほしや

十ノ、⁹³
参照

93 ● しまつれ、くにつれ、み物

又 まちらすの、くにいけくし

又 よなはるの、くにいけくし

又 とろろきの、くにいけくし

又 五たけの、くにいけくし

又 七たけの、くにいけくし

又 めつらしや、あぐにいけくし

又 さうさしや、あぐにいけくし

十ノ、⁹³
ナシ

せんとハせ
定ナラズ

廿
八

うちいてはとまりみちへりきよ
かふしヲ脱セシナラン
アモナシ

95
94 一 こまかの、みおに、おれ、みもん

又 くたかの、みおに

又 さん、あみ、むすひ、おろちへ

又 かめ、あみ、むすひ、おろちへ

又 さんひやく、こめて

又 かめひやく、こめて

又 さんひやく、とりやり

又 かめひやく、とりやり

又 おき、なます、せんと

又 海の事
へた、なます、せんと

又 樽取之事
てかちあらて、のせて

又 おきはいたての、いそいて

又 ひせはいたてのいそいて

96
95 一 くめの、こいしのか、やれけ

又 もうらこいしのか

又 王朝風閑之事
あさとれかしよれは

又 モク風風之事
ようとれかしよれは

又 船之異名也
いたきよらはおしうけて

又 たなきよらはおしうけて
又 ふなきゑらて、のせて

九年母木_三

~~94~~

明治廿八年三月四日
語学材料

いろくのあすひおももる御ちうし

天啓二年癸亥二月七日

随々庵主
第九

第十二

あすび 94

ミ 29

おもろとのはらかふし

1 きこゑ大きみきや、おれて、あすび、よわれは、のちあかりしよ、世わ、ちよわれ

又 とよむせたかこか

又 しよりもり もりくすくあんしの世かけくに

又 またまもりくすく

ミナシ

ミ 30

のちあかりのふし

2 きこゑ大きみきや、みやかの、ひやし、うちあかる、ひやし

又 とよむせたかこか

又 しよりもりまたいらに

又 くすくまたいらに

ミナシ

おしかけかふし

ミ 31

3 きこゑ大きみきや、おれて、いのり、よわれは、鳴か命、おきやかもいに、みおやせ

又 とよむせたかこか

又 いせゑけりあんしおそい、世のつほに、とりよわちへ

又 わかいきよもい、あちおそい、世のつくせ、とりよわちへ

ミナシ

ミナシ
61

又 み物うちの、まみやに、くにめつら、あふらちへ
 又 あんしおそいか、ゑりしゆ、つかいてゝ、とよて
 又 かくらより、かゑて、もちよろなちへ、とよま
 又 おほつおわちへ、やちよも、むちよろなちへ、とよま
 又 きみくも、ほこて、てるかはも、ほこて

よきけらいかふし

4 一 大きみ、くにおそい、きみの^{ミナシ}世かほう、まかほう、みおやせ
 又 せたかこ、くにおそい、きみの^{ミナシ}
 又 かみしもの、くにかすの、^{ミナシ}かほう
 又 ちはなれの、国かすの、かほう

5 一 大きみ、くにおそい、おれわちへいくまちへ、はやせ、やちよ
 又 せたかこ、^{ある}国おそい、おれわちへ
 又 白かね、あか、かね、やりちよ
 又 おしあけて、つきあけて
 又 たけなか、もりなか、おれわちへ
 又 あへらちへ、よすらちへ

あふりやへかふし

6 きこゑ大ききや、あけの、みあおり、もちろちへ、これと、たに、嶋うち、みあおり

又 とよむせたかこか

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

あふりやへかふし

ハ
ノ
誤
カ

7 きこゑ大ききや、けよのうちは、おしあけて、おきやかもしよ、てるかはか、てりよ●やに、
ちよわれ

又 とよむせたかこか、もちろちへ、つきあけて

又 としか三年いきよて

又 としか四年 いきよて

又 いけな、きみ、おろちへ

又 なりきよ、きみ、おろちへ

又 きこゑ大ききや、わまへわちへからは アマヘワチヘト同カ

いとやすおもろのふし

8 大ききや、み御サリまへ、ともその、あすひ、とよまちへ、きみくつかい

又 きみくのみ御まへ

又 きやの、うち、あやみやに 京ノ内ノ文官ニ

又 くすくせみやに 王城ノ内ノ奇官ニ

又 あんしおそいかみ御まへ

又 おきやかもいか み御まへ

又 けよのよかるひに

又 けよのきやかるひに

又 てにの、てた、たかへて

てかね丸かふし

9 一 きこゑ大ききみや、あまみやすへ、おれわちへ、世かほう、せち、おきやかもいに、みおやせ

又 とよむせたかこか、しねりや、すへ (ウスビミニテ小ク)

又 たきより、(内の、)まつるき、おきやかもいしし●ゆ、さしよわめ (ちよ)

あふりやへかふし

10 一 きこゑ大ききみや、しよりもり、おれわちへ、くにく、おそう、大そい、たゝみ

又 とよむせたかこか、またまもりおれわちへ

又 おしかけは、そへたて、(アナシ)みみちよのは、まへたて

又 さらめきは、そへたて、にせとのは、まへたて

世ノ
47

たいらのとのかふし

11 一首里大ききや、まふらとよむくにおそいか、まふら、なさいきよもいに、世かけ、せるむみおせ

又 しよりもり、まふら、またまもり、まふら

又 きゝあちおそいよ、まふら、とよむあんしおそいよ、まふら

又 世、そわりは、けらへて、まふら つみつは、けらへて、まふら

世ノしよりあふし
たくしたらなつけかふし

12 一 しよりおわる、てたこか、おもいくわの、あすひ、み物あすひ、なよれはの、みもん

世鑑ニ

世ノナシ
又 くすくおわるてたこか
又 わしの、はね、さしよりちへ

御即位ノ年ノ二月陽神キミツリ現シ給ヒケレハ尚宣威是ハ必定我慶賀ノ為ニ
オリサセ給神ニテソアルラント悦留名テラヌシハ帝坐ニ付セ給ヒテ託宣アルケルハ
首里オハルテダコ●ワガオモヒクワノアソヒミモノアソヒナヨレハノミモノナ
尚宣威聞台テ我其德ニ非スシテ云々

てかね丸かふし

13 一 あかる、もちつきや、さしふ、よなれ、きみくかいのち、おきやかもいに、みおやせ

又 きみの、もちつきや、さしふ、よつき、きみ

又 あまみや、きみやれは、すへのきみ、やれは

又 しよりもり、おれわちへ、またまもりおれわちへ

又 あか、まふる、あんしおそい、あか、い^かなてあちおそい

又 おれらかす、みまふら、あすは、かす、みまふら

又 あかるもちつきや、てたと、よきやて

こねり也
なよれはの

ははは也

の辞也ト略同草子ラン

猶別ニモ出テタレバ兼シテ云ベシ

あふりやへかふし

14 一 きこゑせんきみきや、しよりもり、おれわちへ、おきやかもいに、美称の言葉末は子々孫々の御事也金すへみおやせ

又 とよむきみ、とよみきや

又 てるかはか、てるしのか、もちなし

又 毛神人の事さしふ、五ころに、おれなふちへからは

又 さしふ七ころに、おれふさてからは

又 きみしゆ、まふり、よわれ、ぬししゆ、まふり、よわれ

又 けさよりや、まさり、むかよりや、まさり

くすくまの大やよしの大やかふし

五へ

15 一 つるこ、にくけしや、よかる、にくけしや、玉つむきやの、内、みちやる

又 おひ人に、とへわ、は人のおやに、とへは 老人三問へハ 父老三問へバ也

又 けさよりや、まさり、むか、よりや、まさり

五へ

きこゑあふりやへやすへハすへきやめかふし

16 一 きこゑ、おしかけか、しよりもり、おれわちへ、きみつほに、おきやかもいに、みおやせ

又 きみの、にせとのか、またまもりおれわちへ

又 さしふ五ころに、おれな^ふちへ、からは、さしふ七ころに、おれふさて、からは

*十五 2 同

きみなしのふし
17 一 あめく、よりおそい、のろの、かけて、かけふさい、しよわれ
又 あめく、よりみちへ、のろの

*十五 3 同

あふりやへかふし
18 一 あめくにやか、おもう、けらへ、あや、つみ、うちちへ、なりあからせ
又 あく^{アナシ}しか、せるむ

*十五 4 同

きみなしかふし
19 一 あめく、まひ、やりよもひ、こねり、なよる、かなしけさ
又 いちき、まひやりよもい

*十五 18 同

きみなしかふし
20 一 るその、いくさ^いもひ、月のかす、あすひ、たち、ともと、わかてた、はやせ
又 いちき、いくさ^もめい
又 なつは、^{神酒也}しけち、もる
又 ふゆは、^よ御さけ、もる

十五 34 廿ノ 4

十五 し^ませんたあけし^ののちて
よきけらへかふし
21 一 よきけらへ、よきの、めつらしや、世かほう、まかほう、み^まおやせ

又 きみけらへきみのめつらしや
又 つみあかりきや、そつつききや、下に

又 きみけらへかふし

又 きみけらへ、けいの、うちの、あやより、いくまちへ、もちろちへ、あすひ、よわ

又 きみけらへ、もちろ内の、くせより

又 きみけらへかふし

又 きみけらへかふし、あちの、●ち、あんしおそい、つくしちやら、玉の、きみつかい

又 とよむおわもりや

又 きみけらへかふし

又 きみけらへかふし、またまもり、せたりあんしおそい、きみよきらくせ、みもん

又 きみのもちつきや、せたかあんしおそい

又 きみけらへかふし

又 きみけらへかふし、すつなりや、かほう、そろちへ、あか、なさいきよ、のちまより、てつら

*十五北
1二同

たいらのとのふし

26 一 きこゑきみ、とよみ、せたかきみ、とよみ、うちちへ、みものきみ

又 きたたんの、みやに、あかなさの、みやに

又 たまよせか、まへに、よりたちか、まへに

又 もくちの、つみ、八そくちの、なりよふ

きこゑあらはへかふし

27 一 もくと、ふみあかりや、きみの、ふみ、あかりや、あすふ、きよらや

又 しもの、世のぬしの、おもいくわの、きみの

又 がぢやの、うらかみや、よきなわ、ねとて

又 しま中、かみや、まちらす、ねとて

又 こくらの、かみの、こくせの、かみの 巨多ノ神々ノト也

又 あやて、まめかたな、よりて、まめかたな

きこゑおし
かけかふし

28 一 きこゑあおりやへや、十す、八すへ、きやめも、おきやかもいよ、みまふてす、おれわめ

又 とよむあおりやいや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

うらへうち

*十六
二同

中城おもものふし

29 一 ききゑあおりやいや、たにす、とよみ、よわれ、もゝすへ、とよむ、あんしおそい

又 とよむあふりやいや

又 ききゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

ききへたうやまかふし

30 一 ききゑあおりやいや、あすひや、から、みよれば、しま、そわて、とよみよわる、あんしおそい

又 とよむあおりやいや

又 しよりもりくすく

又 またまもりくすく

あおりやへかふし

31 一 ききゑあおわ^りや、ほしの、かた、もちろちへ、けおの、うちの、よりなおり、みもん

又 とよむあおりやいや

又 しよりもりて^くすく

又 またまもりくすく

あおりやへかふし

32 一 ききゑあおりやいや、ともへ、みまかり、かけわちへ、かくらの、けおの、うちの、かに、ある

御羽織
ミアオリ

又 とよむあおりやへや

あおりやへかふし

33 一 きこゑあおりやいや、たまの、みあおり、よろしゆは、あけの、みあおり、あおりやいと、しなて、

又 とよむあおりや●いや

又 しよりもりくすく

又 またまぐすく

あかるいつかさく□ふし

34 一 きこゑあおりやいや、とよむあおりやいや、嶋内、あおりやいや、やちよ

又 あんしや、あちおそい、やちよ、くにや、しよりおやくに

又 あんしや、さとゝ、あちぶ、さとゝや、あんしあちぶ

あふりやへかふし

35 一 きこゑあおりやいや、おれて、あすひ、よわれは、ひやし、うちちへ、きみよ、ふれよわせ

又 とよむあおりやへや、玉なるし、とりよわちへ
なるとし

あふりやへかふし

36 一 きこゑあおりやへや、なかへ、やほう、あうちちへ、しらなみや、かなぐり、おそ、やに

又 とよむ ●あおりやあや

又 きみくらか、ふきはなか、したに

あおりやへかふし

37 一 きこ^ああおりや●や、玉のとり、こかねとり、あすはちへ、くもへ、みしやの、はしらへしゆ、み

もん

又 とよむあおりやへや

きみなしのふし

38 一 しより、みもんきみ、よりなちへ、おきやかもいに、みおやせ

又 くすく、みもんきみ

又 なさいきや、み物きみ

あおりやへかふし

39 一 おもいきみ、金ちやう、よとしよ●^わ、なへきよか、いきよいちよ、まぢよる

又 けらへきみ、金ちやう、よとしゆわ

又 もゝそひちへ、金ちやう、よとしよわは

又 なゝそひちへ、金ちやう、●^やよとしゆは

いとがすおもろのふし

40 一 きこゑせんきみか、しよりもり、きよらや、かくらの、けおの内る、かに、ある
又 とよむせんきみか、またまもり、きよらや

中城おもろのふし

コノダ幾許

41 一 つくしたま、みたまし、かねる、みたま、こころの、てもち、もちちへ、みおやせ
又 つくし、おそい、みたま

大きみかみ御まへともそのあすひかふし

42 一 いとかすか、おもろ、けさよりや、まさり、世、たまの、とまりくすく
又 いとかすかせるむ

尚元ハ尚清ノ誤

尚元王御代 西千五百三十四年^{十五}

嘉靖廿四年己巳の年きみてすりのも^うかほ^うこの時に八月十九日つちのとの酉日の
とらの時にきこゑ大きみの御まへより給し^申

おしかけかふし

43 一 きこゑ大きみきや、すへ、あらひやり、おれわちへ、あんしおそいしゆ、きみきや、せち、も^うち
よわれ

又 とよむせたかこか、ませねかて、おれわちへ

又 いけな、きみ、そろへて、なりきよ、かみ、あとへて
 又 とし八とせ、なるきやめ、おほつたけ、おきやつめ
 又 ゑか八とせ、なるきやめ、かくらたけ、おきつめ、
 又 あんしおそいか、おこと、きみてつり、まときさ
 又 わうにせか、おこと、みもの、あすひ、まときさ
 又 大ころた、そろへて、もちやへこた、あとへて
 又 きみ、いきよい、このめ、ぬしつかい、このめ
 又 つかい、てゝ、よしられ、おこと、てゝ、よしられ
 又 あかくちやか、よいつき、おほつたけ、とよて
 又 あんしおそいか、おこと大きみに、してなて
 夏

尚元王御代全

嘉靖廿四年己巳のとしきみてつりのもゝかほう●この時に八月廿五日きのとうのゝ
 うまの時にきこゑ大きみの御まへよりたまわり申候

廿ノ
 かへつてか
 かくらとよてか

廿ノ
 10
 廿ノ
 23

44 一 きこゑ大きみや、とよむ、せたかこか、さしふ、おれなおちへ

又 おほつゑか、とりよわちへ、たしま、きらなおちへ

又 かくらゑか、とりよわちへ、たきより、きらなおちへ
 10
 23
 ナシ

きみきみ

又 あんしおそいか、おこと、わうにせか、おこと
 又 大きみは、のたてゝ きみくはのたてゝ
 又 あまこあわちへ、おかま、みかほう、あわちへ、てつら
 又 あかくちやか、よいつこ、せらちへんに、とよて
 又 けらへ、^(おほ)太ころた、あんしおそいに、よしられ
 又 きみくも、ほこて、ぬしくも、ほこて

きみきみとよみかふし

45 一 たいらの、とのゝ、なよら、てすく^{*}の、あちの、こねら、ゑけ、しま、よせ、せるむ
 又 しよりのみやに、なよら、●てすくの、みやに、こねら
 又 あんしや、あちと、^(なよら)けすわ、けすと、こねら

たいらのとのかふし

46 一 たいら、こしらへか、おせやもりの、こしらへか、おせややゝと、おせやかみた
 又 あさとれかしよれば、おせや ようとれか しよれば、おせや

一際珍シヤ

ほいハカ

47 一 たゝら、おしかけや、しときや、めつらしや、たり、きよらす、きんとれ
 又 おしかけ、やれば、めつらしや、やれば
 又 ともから、ほいまで、おしかけ、しなて

48 一 わくの、しつらへや、わくの、みせりきよ、つかいと、まちよる

又 やまち、いちやちやに、やまち、かなちやに

又 しときやも、つくて、かめんこ、つくて

又 つかい、ありては、いちやわり、ありては

49 一 たうの、大や、きこへか、まみや、あすはす、きよらや

又 いしけなは、きこへか^{ゝる}

又 なりきよ、おろちへ、きこへか^{ゝる}

又 いけな、おろちへ、きこへ

おやまかまふし

50 一 買 くめの、こいしのか、もうら、こいしのか、きよらや、みもん、あすひ

又 いしよもいは、ねとらちへ、ひかのしは、ねとらちへ

又 しよりもりくすく またまもりくすく

51 一 きみよしきや、やちよこ、せたかこか、やちよこ、うちあかて、はやせ、やちよこ

又 あらかきの、みやに、あらかきのふに

又 もくちの、つみ、八そくちの、なりきよ

52 一 くめの、大おそいか、みもん

又 急けわいと、みもん

又 くめのせたかこか、みもん

又 急けわいと、みもん

又 くめのあんしおそいか、みもん

又 急けこいと、みもん

53 一 あらくすく、急けまきよに、あらくすく、急けふたに、

又 けとのよら、急けまきよに、やわれよら、急けふたに

又 きみか、あつ、急け物に、ぬしか、あつ、急けものに

又 きみに、御か急、けわれて、ぬし又、つか急、けわれて
にまう アカノレド

54 一 あはこんの、くせらへや、おそつちへ、急け、とよな^{うま}

又 なからにや、ひやこんしか

又 はねさしや●か、くせさしやり

55 一 きこ急きみかなし、しま おそてちよわれ

又 とよむきみかなし

たいらのとのゝふし

56 一 くめの、よらせ、きみきや、しよりもり、おれわちへ、きみきや、せち、おきやかもいに、みおやせ

又 せたか、よゝせ、きみきや、またまもり、おれわちへ

中城おもろのふし

57 一 せたか、おわもり、きみの、あやつちへ、わかいきよに、みおやせ

又 きみのおわもり、きみの

又 さしふの、よつかん時に

又 さしふの、よなれん時に

58 一 おやみかま、ねとらちへ、きみてつり、まは、ないふう、よせる、よりきよら、おうね

又 しよりもりくすく

うらおそいおもろのふし

廿、⁸⁸ 参照

59 ⁴ 一 せんきみか、おれたち、きみよしか、おれたち、もゝと、ひやし、うちあかる、なさいきよ

又 あかなさいきよ、なけくな、せんきみしゆ、しりよわめ

又 大みや、もゝしまよ、^{□?} せんとうち、ハそしまよ

うらおそいおもろのふし

ナ、⁷ へ

60 一 せんきみか、きみよしか、世かほう、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、てた、なさいきよ

又 あまみ、^ア たまら、なうるわし

ナ
ハ

又 いとぬきやり、なわぬきやり

又 みてつから、おてつから

又 とりよわやり、はきよわやり

おしかけかふし

61 一 きこゑ大ききみや、てるかはに、してなて、きらのかす、あちおそいす、てつれ

又 とよむせたかこか、てるしのに、しなて

又 としみとせ、なるきやめ、とこゑ、まとうさ

又 ゑか四とせ、なるきやめ、ゑかちよ、まとうさ

又 おほつゑか、とりよわちへ、いけなきみ、よりおろちへ

又 かくらゑか、とりよわちへ、なりきよきみ、つきおろちへ

又 しよりのろ、さきたて、なよかさよ、さきたて

又 まかひ、のろ、さきたて、みちへりきよ、さきたて

又 きほのろ^よさきたて、とよましよ、さきたて

又 やりおそいよ、さきたて、おやのろよ、さきたて

又 あちおそいよ、さきたて、たゝみきよ、よほたて

*たへんにて
コニハナヌカ

あおりやへかふし

62 一 きこゑせんきみか、おれて、ふれまへは、すへなく、世、そろへて、ちやうわれ

又 とよむせんきみきや

又 おんな、やき、しまよ、あふそ、やき、しまよ、もくと、世す、ちやうわれ
あさとれか、しよれは、ようとれか、しよれは

Handwritten signature: [Illegible]

27

64 一 中ひやにや、おわろ、あれにしやよ、いみやと、おれて、なよる
又 せと、ひやにや、おわる また
あれ

よきけらゝかふし

29

よまけらへかふし

65 一 しま、せんこ、あけしのゝ、のろの、もゝと、ひやし、
うちあかる
うち
うちかる、なさいきよ

又 なかひやにやの、せとひやにやの、おやのろ

七
32

66 一 きゝゑおしかさか、やちよく、たにしらせ、わらいきよ、さしふ、おしかかて
又 とよむおしかさか

おしかけふし

67 一 あめかなし、まごころ、のちよかる、まごころ、おしかさか、まふり、よわる、たゝみ
又 あんしおそいか、おもいくわ、のちよかる、おもひくわ

うらそいふし

68 一 せやろ、くにおそい、おきと、もり、おれわちへ、もと、あかり、ふみあかて、ちやうわれ

又 けある、くにおそいよ

又 けよのよかるひに

又 けよのきやかるひに

又 なおり世は、さたけて

又 あまへ世は、したけて

うらそいふし

四

69 一 きこゑさすかさは、まふり、きみやれは、くもいろよ、てりあかて、ちやうわれ

又 とむ大きみや、かいな、きみやれは

又 しよりもりちよわれ、いせけり、あちおそい

又 またまもりちよわる、あか、かひなてあちおそい

又 あまみやから、あへちへ、きみやれは

又 しねりやから、つほ、きみやれは

又 てるかはか、おことす、てるしのか、おことす

おしかけふし

70 一 大きみや、まふる、けらへ、きよら、いちやちや、もろ、おそう、せち、たかもる

又 ^アせちかこかまふる

又 おほつ、きやめとよて

又 かくら、きやめ、とよて

又 たしま、あるきやめも、せいぐさ、よせるまし

又 たくに、あるきやめも、せひやく、よせるまし

又 てるかはす、まふれ、てるしのす、まふれ

おしけかふし

71 一 きゝゑ大ききみや、けおの、内の、のろく、あよそて、かくら、ひやし、みおやせ

又 とよむせたかこかもちろうちなのろく

又 ^{以下} ^{世ナシ} あちおそいか、いきよい、しよりもりおれわちへ

又 たゝみき^よか、いきよい、またまもり おれわちへ

又 くもゝ、みあおり、あおらちへ、あけの、みあおり、あおらちへ

又 もゝくちの、つゝみ、八そくちの、なりよふ

又 あかくちや^か●、よいつき、せるまゝか、よいつき

おしけけふし

72 一 きゝゑ大ききみや、けおの、うちの、もちよろ、みしま、いので、あんしおそいに、みおやせ

又 とよむせたかこか、もちろ内の、もちよろ

又 大ききは、てつて、あけまとし、ならは

又 きみくねは、てつて、むかふとし、ならは

又 てるかはは、のたてゝ、いしきよらは、あかなて

又 てるしのは、のたてゝ、ふさちゃんはや、しなて、あちおそいと、よきやて、あまゝ、あすて、

あわちへ

あふりやへかふし

73 一 しより大きみか、さしふ、ゑらて、おれわちへ、てる、てもち、あちおそいに、みおやせ

又 とよむ、くにおそいか、すへとめて、おれわちへ

又 かくらきやめ、とよて、さしふ、ゑらて、おれわちへ

又 おほつきやめ、とよて、ませと、おれわちへ

又 きこゑ大きみと、とこへやり、かわちへ

又 とよむせたかこと、ゑりちよ、やり、かわちへ

又 あか、なききよ、み、まふてす、おれたれ

あおりやへかふし

74 一 きこゑさすかさか、あんしおそいよ、ほこて、あけろ、とし、たゝかす、きみく、てつて、ふさよわれ

又 とよむ大きみか、たゝみきよ、くほこて

又 きののかす、おれわちへ、きみてつり、まとうさ

又 ゑかのかす、おれわちへ、かみつか、まとうさ

又 たに、みとせ、なるきやめ、けに、四とせ、なるきやめ、

おしかけかふし

75 一 きこゑ大ききみや、けおの内は、おしあけて、くもこすへ、あちおそいに、みおやせ

又 とよむくにおそいか、もちろ、うちは、おしあけて

又 しよりもりおれわちへ

又 またまもりおれわちへ

又 めか、ゑらひやり、おれわちへ

又 きら、ゑらひやり、おれわちへ

又 あちおそいちよ、あまこ、やりかわちへ

おしかけかふし

76 一 きこゑ大ききみや、みしま、いのり、おれわちへ、あちおそいしゆ、かみか、世、ちよわれ

又 とよむせたかこか、みくに

又 けらへ、大ころた、あんしおそいに、よしられ

又 かい、なて、まころ こた、たゝみきよに、のたてれ

又 あんしおそいか、おこと、きみくは、つかい

又 たゝみきよか、ゑりちよ、ぬしくは、つかい

又 けよ、よせは、あおらちへ、やゝめつら、あおらちへ

又 いけな、きみ、たてゝ なりきよ、はな、たてゝ

77

あ●あ、おい、やうり、やうり、やうり、あ、おい、やうり、やうり、あ、おい、あ、おい、

やうい、やうい、やうい、あゝい、ゑおい、

やういふやういふ、あゝいゝ、あおい、

一 ちやむかねや^{ア、ちや} むこゑけりやの ちやむこはひや よはひやよ

又 たまもたちや事みしゆもたちやこと

又 たまもちにけて みしゅもちにけて

又さくちもいのよりて^くちもいの

一 きしやはつくりきよきしやはおなりしやゑけはひ

又よへ、みちやる、いめの、まよ、なかの、いめの

又いめや、あとなもの、いめや、うせな、もの

又 おなり、たちへ、ともに、つくり、たちへ、ともに、

世ノ
16

あかなおりかみのふし

80 一 あられ、なの、とりの、くち、なりの、とりの、えけ、こいの

又 のう、みちへる、おひきよか、いきや、みちへ●か、おひ、きよる

又 きみ、みちへす、おひ、きよれぬし、みちへす、おひ、きよれ

尚元王御世尚主

嘉靖廿八年己酉のとしきみてつりのもゝかほうごとの時に十月廿一日ひのとのみのへにきこる

大きみのみ御まへより給申候

世ノてかねきるふし

81 一 きこる大きみきや、おほつ、せち、おろちへ、あちおそいよ、みまふて、きみくや、おほつ、より、かゑら

又 とよむせたかこか、くらせち、おろちへ

又 きこるあんしおそいや、きみよ、ほこりよわちへ

又 とよむ、わうにせか、かみ、このみ、しよわちへ

又 よか、なんか、あすて、あまこ、あわちへ、からは

又 ゑか、なんか、あすて、みきやう、あわちへ、からは

又 きみくむ、ほこて、みもん、あすひ、めつ●しや

尚元王御代尚書主

嘉靖廿八年己酉のとしきみてつりのもゝかほゝことの時に十月十二日つちのどのとりのへ●うま
の時にきみかなしのみ御まへより給申候

あふりやへかふし

82 一 きこゑきみかなし、さしふ、おれかわて、しよりもり、おれわちへ、なさいきよもいしよ、きみふさで、
ちよわれ

又 とよむきみかなし、むつきおれなおちへ、またまもりおれわちへ

又 なさいきよもい、あちおそい、み、まふてす、おれたれ

又 あか、かいなて、あちおそい、かいなてす、おれたれ

又 てるかはは、のたてゝ、すへとめて、おれわちへ

又 てるしのは、のたてゝ、ませとめて、おれわちへ

又 なさいきよもい、あちおそい、しよりもりちよわちへ、大きみに、しな●わ

きみかなしふし

六、へ

83 一 きこゑきみかなし、いけな、なりかわて、しより、おれわちへ、なさいきよもいに、しまか、いのち、みおやせ

又 とよむきみかなし、なりきよ、おれかわちへ、またまもり、おれわちへ、

又 さしふ五ころに、すへとめて、おれわちへ

又 むつき五ころに、みまふてす、おれたれ

又 なさいきよもい、あちおそい、およりとて、おれわちへ

又 あか、かいなて、あちおそい、みまふてす、おれたれ
又 てるかはかうさししゆ、此きらに、おれわちへ

尚永王御代

萬曆六年戊寅きみてつりのもゝかほうごとの時に十月十五日みつとのみのへにきこへ
大きみのみ御まへおあおりやへのみ御まへより給申候

あおりやへかふし

84 一 きこゑ大ききや、すゑらひやり、おれわちへ、あんしおそいしゆ、きみ、ほこて、ちよわれ

又 とよむせたかこか、ませ、ねかて、おれわちへ

又 いけな、きみ、よりおろちへ

又 なりきよ、きみ、つきおろちへ

又 きみくむ、ほこて

又 かみくむ、ほこて

又 あか、まふる、あちおそい、てに下、いとかけて、ちよわれ

廿ノおしかけ

85 一 きこゑあおりやへや、せちまさて、おれわちへ、世もつせら、あちおそいに、みおやせ

又 とよむくにもりや、けおそわて、おれわちへ

又 さしふ、なおき、とりよわちへ、おほつ、たけ、おきやめ

コレヨリ別おもふナルベシ

又 さら、なおき、とりよわちへ、かくら、たけ、おきつめ
 又 きみてつり、めつらしや、せちまきて、おれわちへ
 又 みもの、あすひ、めつらしや、せちまされて、おれわちへ
 又 あちおそいや、いみや、からと、せちまきて、ちよわや

尚永王御代

萬曆六年戊寅のとききみてつわのもゝかほうごこの時に十月十九日ひのとのとりのへにさす
 かさのみ御まへしより大きみの御まへより給申候

86 一 きこゑさすかさか、すへとめて、おれわちへ、きらのかす、あちおそいまふら

又 とよむ大きみきや、ませ、ねかて、おれわちへ

又 きこゑ大きみちよ、とこゑ、やり

又 とよむせたかこと、ゑりちよ、やり、かわちへ

又 トアリテ前ノツミキナリ

87

一 あちおそいと、ともゝすへ、きみ ふきて、ちよわれ

又 しより大きみきや、さしふ、ゑらて、おれわちへ、鳴か命、あちおそいに、みおやせ

又 とよむくにおそいきや、さしふ、おれなおちへ

又 おほつゑか、とりよわちへ、しよりもりおれわちへ

又 かくら、きな^ちおちへ、またまもり、おれわちへ

又 いみやからと、あちおそいや、てもゝいろ、てか^りや、あかて、ちよわる

尚永王御代

万曆十五年丁亥のとしきみてつりのもゝかほうこの時に十月十八日みつのとのりのへのさる^{ナラン}か^{ア不定}
時せんきみのみ御まへより給申候

*四ノ同参照

四ノ

一恐又

88一 きゝゑせんきみや^きなりきよ、おれふさて、なさいきよもい、わうにせ、せちまさて、ちよわれ

一とよむきみ、とよみか、いけな、おれなおちへ

又 みものうちの、まみやに、あすて、なおちへ、からは

又 かわるめの、まみやに、ほこて、なおちへ、からは

又 さしふ五ころに、おれなおちへからは

又 むつき七ころに、みまふてす、おれたれ

又 しよりもり、ちよわる、あか、なさいきよ、わうにせ、すへなく、せちまさて、ちよわれ

又 またまもり、ちよわる、あかなさいきよ、わうにせ、すへなく、せちまさて、ちよわれ

尚寧王加那志し御代

萬曆二十五年丁未のとしきみてつりのもゝかほうこの時に十月十日つちのとのみのへのうしの

時にきゝゑんきみのみ御まへより給申候

ア
あおりやへかふし

89一 きゝゑんきみや、さしふ、おれなおちへ、あちおそいし^よ、ともゝすゑ、すへまさて、ちよわれ

三
69

以下ミナシ

又 とよむせたかこか、むつきおれふさて

又 いけな、きみ、あとへて、なりきよ、そろへて

又 あんしおそいきや、おごと、わうにせか、おごと

又 とし八とせ、なるきやめ、ゑか、八とせなる、きやめ

又 きみてつり、まとうさ、みものあすひ、まとうさ

又 大ころた、あとへて、もりやへこた、あとへて

又 きみ、いきよい、けに、あれ、かみ、つかい、たに、あれ

又 あかてぢやか、よいつき、てた、かみたち、とよて

又 てるかはむ、ほこて、いちろこむ、ほこて

90 一 大ききや、まふる、てたかすへ、あちおそい、^{天下した}天きみや下、すへまさて、ちよわれ

又 せたかこか、みまふる、すへまさる、わうにせ

以下
ミナシ
又 おきも、うちの、御さうせや、あけとまに、たとへて

又 あよか、うちの、おさうせや、あけたちに、たとへて

又 きみきや、世ねん、けらへて、ぬしきや、世ねん、けらへて

又 ^アてもこ、^キはし、^アかけわちへ、みもの、はし、かけわちへ

又 うらおそいに、ちよわちへ、世のつちに、ちよわへ

又 いへの、いのり、めしよわちへ、つかさ、いのり、めしよわちへ

又 つかさ、かす、ほこり、よわちへ、あぬしかす、ほこり、よわちへ

又 てるかはむ、ほこり、よわちへ、いちこむ、ほこりよわちへ

91 一 ききあおりのやへや、きみきやすへ、おれわちへ、あちおそいに、おほつ、とよむ、きみ、きや、せち、みおやせ

又 とよむくにもりや、ませねかて おれわちへ

又 てたかすへあちおそい、すへまさる、わうにせ

又 おほつせち、あらきやめ、きみきやせち、あらきやめ

又 天きやした、おそて、しよりもりふさよわ

尚寧王かなし御代

イ四すしめより

萬曆二十五年丁未のとしきみてつりのもつかほうこの時に十月十五日^めみつのとのとりへのうしの時にさすかさのみ御まへしより大ききのみ御まへせんきみのみ御前より給申候

四へ

「92 一 ききあすかさか、さしふ、おれかわて、ともとの、^{世おそう心也}世そ、せち、あちおそいに、みおやせ

又 とよむさすかさか、むつきおれなおちへ

又 けおのうちは、おしあけて、しよりもりおれわちへ

又 もちろんちは、つきあけてまたまもり おれわちへ

又 あんしおそいよ、ほこてたゝみきよ、世、ほこて

四へ

「93 一 しより大きききや、首里もりおれわちへ、あんしおそいしよ、せちまさて、ちよわれ

又 とよむくにおそいきや、またまもりおれわちへ

又 あちおそいきや、おより、わうにせか、おより

又 きののかす、おれわちへ、ゑかのかす、おれわちへ

四
へ

又 おれらかす、みまふら、あすはかす、みまふら

「94 一 きこゑせんきみや、すへとまいて、おわちへ、あんしおそいに、しまか、いのち、みおやせ

又 とよむきみ、とよみきや、ませねかておれわちへ

又 あまみやから、すへの、きみ、やれは

又 しねりや、から、あへちへ、きみ、やれは

又 さしふ五ころに、みまふてす、おれたれ

又 むつき七ころに、かいなてゝす、おれたれ

又 大ききみや、御さうせ、てるかはゝ、のたてゝ

船あとのおもろ御さうし

天啓●三年癸亥二月七日

廿
43あかすめ^{ナシ}い^{ナシ}ち^{ナシ}かふ^{ナシ}

1 　あかず、めつらしや、いち^{ナシ}へ^{ナシ}ら、かず^{ナシ}、おみ、まふてす、はりやせ
又　きみの、めつらしや

廿
28

2 　おしちへたる、あ、つかさ^{ナシ}と^{ナシ}、あ、あば、い^{ナシ}のて、はりよる、あ
又　はり、いてたる、あ

又　あさとれか、しよれはようとれか、しよれは

しよりあとのふし

3 　おくらつか、ふなやれ、けらい、まさり^{ナシ}と^{ナシ}とみ、おしうけらは、しまよ、ふさよわれ
又　あんしおそいか、おやおうね

おくらつかふなやれかふし

4 　しより、おわる、てたこ^{ナシ}か、おやおうねは、つる^{ナシ}よ^{ナシ}は、おや、おうねや、はち^{ナシ}へ、●^{ナシ}より、みちや、
はりやち^{ナシ}へ、き^{ナシ}らや、しよわ、世の、つほに、世の、つくせ、みおやせ
又　くすく、おわる、てたこか

しよりあどのふし

5 一 すざべ、大さとか、かち、とたる、よしていふ事也こまさよ、大きみに、まはへ、こうて、はりやに

又 よかる、大さとか、かち、とたる

又 ●あくて、おちやる、かうちちよ、そて、たれて、わたたる

すさへ大さとかふし

6 一 しより、おわる、てたこか、おうねの、きみ、おしうけて、もうら、おそう、きよらかの事たまの、きみつかい、舟ノ名也きみつかい、
又 くすく、おわる、てたか

しよりあどのふし

7 一 しより、おわる、てたこか、すつとみの、おや、おうね、あちおそいか、なおさ、とり、はりやせ
又 くすく、おわる、てたこか

おくらつかふなれかふし

8 一 しより、おわる、てたこか、那覇之事也うきしまは、けらへて、唐なんばん也たう、なはん、よりやう、なは、とまり

又 くすく、おわる、てたこか

しよりあどのふし

9 一 しより、おわる、てたこか、みてつから、たち、よわちへ、飛鷹ノ一也ふれたかの、まやう、やに、きよらや
又 くすく、おわる、てたこか

廿一 40
王城ノ頌歌

おくらつかふし

10 一 しより、おわる、てたこか、もろうらおそい、けらへて、(清らかなるはしろの事也)たまはしり、たまやりと、みもん
又 くすく、おわる、てたこか、

全

廿一 41

しよりあとのふし

11 一 しよりもり、くすく、万々歳を清か
目出度といふ
事也なかへきよら、御くすく、たりしよ、また、かみ下、とよみ
又 またまもり てすく 廿一、あ

全

廿一 42

しよりあとのふし

12 一 しよりもりくすく、くもかせす、よりそへ、のちか、すゑ、(勢軍也)せくさ、よせる、まし
又 またまもりくすく

13 一 しより、おわる、てたこか、けらへたる、ゑそこ、たま、めつらせ、このとく、まさり、

又 くすく、おわる、てたこか

しよりあとのふし

14 一 しより、おわる、てたこか、おやおうねは、おしうけて、たま、みねぶ、たわくしよわ、おきあかもい●か、
つほに、玉みしやこ

又 くすく、おわる、てたこか

廿ノ42

しよりあとのふし

15 一 しより、おわる、てたこか、はちやの、さいく、集めて也あともて、はねうちする、小筆こはい、生書即ち作りテト也ふさすたちへ
又 くすくおわるてたこか

しよりあとのふし

16 一 しより、おわる、てたこか、たうの、みち、あけわちへ、わうと、もいか、なんたいむ、かに、ある
又 くすく、おわる、てたこか

西一五二七 永正十四年 尚真ノ世

天孫氏御代
トアルヲケヤセリ

正徳十二年十一月廿五日ひのとのとりへのせちあらとみまなはんに御つかいめされし時に候

おきやかもい天の御みてつからめされ候と

しよりあとのふし

17 一 大きみは、たかへて、せち、舟也あらとみ、おしうけて、大きみに、順風也おるちへ、こうて、はりやせ

又 せたかこは、たかへて

又 あちおそいきや、おさうせや、むかう、かた、しなて

又 おきやかもいか、御さうせや、むかう、かた、しなて

又 あちおそいきや、おやおうね、おしうけ、かず、まふりよは

又 けらへ、せちあらとみ、くわうけくわうけ、かず、まふりよは

又 ふれしまの、かみく、肝の事あよそつて、まふりよは

又 きみはゑは、たかへて、せちあらとみは、おしうけて
又 のろくは、たかへて

尚清王加那志御代

西一五五三

嘉靖二十二年五月四日つちのとりやらさもりのまうはらいの時にきみま物のみ

人へア

御まへよりおかみ申みせくる

尚清王かなし神御名也

天つきのあんしおそいかなし天の御みるに

ア事

前ノ意ナシナシイウかみしものみめ眼節とナリ

やふその大やくもい

こゑくの大やくもい

こふはの大やくもい

くによしの大やくもい

しよりゑとのふし

王かなし也 御簡也

18 一 天つきの、御さうせ、大きみは、たかへて、やらさもい、いしらこは、おりあけて、ともゝすへ、

せいくさ、よせる、まじ

又 わうにせの、御このみ、せたかこは、のたて、やへさもり、ましらこは、つみあけて、ともゝすへ

海の深きこゑ也

又 きこゑ、天つきの、世の、さうせ、めしよわちへ、おくの、みよう、いしらこは、おりあけて、ともゝすへ

又 とよむ、わうにせの、世の、さらせ、めしよわちへ、おくの、うみの、ましらこは、つみあけて、ともゝすへ

又 きこへ、大きみきや、やらさもり、ちよわちへ、だしきや、くぎ、さしよわちへ、ともゝすゑ

康熙四十八年二上リシ
那覇由来記二
やらさ森の事
此やらさ森の右をやへさ森
と云左をやらさ森とて右を
崇めけると見へたり云々

又 とよむ、せたかこか、やへさもり、ちよわちへ、あさか、かね、とゝめは、ともゝすへ

しよりあとのふし

19 一 あか、かにる、ふなやれ、けらへ、こかねとみ、^{舟也}大きみに、まはい、こうて、はりやに
又 けらへ、こかねとみ、あか、かに、こせと、しやり
又 たうと、いてゝ、はりよれば、たうの、ほうさ、たかべて

しよりあとのふし

20 一 おしかとか、もちよる、うけたから、とよて、うけるかす、ちやくにとみ、おうね、
又 かみにしやか、もちよる

しよりあとのふし

21 一 あかる、よゝせ、きみ、さしふ、いせゑけり、^{御日ノ事}てるかはに、ちやくにゑらて、つかぬひ、
又 きみの、世ゝせ、きみ

しよりあとのふし

22 一 みちへりきよか、^{清らかなる事}もちよる、かな、かふと、けらへて、かなふくに、もちりよかす、きよらや
又 かみにしやか、もちよる

しよりゑとのふし

23 一 みちへりきよが、もちよる、けらへ、まさりとみ、ふなやれ、けらへて、みおやせ

又 かみにしやか、けに、はりよる

はつにしやかふし

24 一 みちへりきよが、もちよる、かみにしやか、もちよる、でわん、これ、いちへ、はりやに

あらふく、あらふ、もちあらひの、おや、おうね

又 ちよる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

又 ちよる、のる、ふなこ、なそ、のる、ふなこ

● つよつけたはりやせかふし

25 一 みちへりきよが、けに、はりよる、わかうらの、めつらしや、はりそいよ

又 かみにしやか、けに、はりよる

うち出はたぐし、ちよふつけかふし

26 一 よきなわか、もちよる、かみにしやか、もちよる、けお、みちへ、もちと、みふさ、よわれ

又 きこゑ、あちおそいや、とよむ、あんしおそいや
 又 となき、はし、^{たよりして也}しよわちへ、けらま、^{少し滞在して也}よと、しよわちへ
 又 とのしきに、^アおわちへ、ふうまわり、おわちへ

うちいてはやゝめつらしかふし

27 一 すへの、ゆきなわは、しない、かみ、やれは、かけて、^{まき}よわり、よわれ

又 きこへ、あんしおそいや、とよむ、あちおそいや

又 しまおそいに、ちよわちへ、かなふく^わけらへて

又 たり、よから、きけは、きやう、よりや、まさり

すへのよきなわかふし

28 一 よきなわか、もちよろ、かみにしやか、もちよろ、この世、おそて、なおしよわちへ

又 きこゑあんしおそいや とよむあんしおそいや

これいとかしきのかねつかふし

29 一 くめの、やまくすく、けらへ、やまくすく、けらへ、ふきよわり、^アもり

又 けさは、かみか、たけ いみやばわ、のろか、たけ

うちいてはやゝめつらしかふし

30 一 おきて、わらいきよ、なまの、そやけ、こて、やかやちやゑ、なまの

又 こゑしのは、たかへて、かみにしやは、たかへて
又 まにし、こや^そ、へら おいちへ、こや^{順風也}、へら

うちいてはきやのしかふし

31 一 ゆらきやねか、ふなやれ、^{舟の名}やらいとみ、おしうけ、むかい、ほこら

又 ゑひせにやの、ゆらきやね

又 あか^{我也}、ころか、つかいす

又 なで、ころか、つかいす

なよくらかもちよろかふし

32 一 なよくらの、のろの、^あままへとみ、かまへつて、みおやせ

又 わかのろわ、^さますり

又 あや^{薙の事}の、みやし、うちよちへ

又 せりこ、こつて、うちよちへ

うちいてはきみのあんしのふし

33 一 いやく、めつらしや、こゝろ、なおし、おれわちへ、^ききつむや、もりへすへ

又 おなりかみ、やれは

又 おきおほちか、さかい、とひこりて

しよりあとのふし

34 一 くめの、こゑしのか、もちうら、こゑしのか、うけみ、つ、なりおそい、つけれ

又 あよみねに、あつる、おきよおほちか、うゑけ

又 やまの、ひよとりや、●^うけとりやり、ふく、やに

しよりあとのふし

35 一 まは●^チへ、すつなりきや、まはい、さらめけは、たう、なばん、かまへつて、みおやせ

又 おゑちへ、すつなりきや、おゑちへ、さらめけは

なよぐらのろのあまへとみかふし

36 一 なよぐらか、もちよう、せたかこに、いちへ、おやせ みや、あかり、よわれ、せたかこ

又 ^{*か}しみし●の、ことむ せたかこに、いちへ、おやせ

しよりあとのふし

37 一 くめの、たうやまに、うへて、あつる、うるわし、うけみつ、なりおそい、●●^アみ

又 はなれ、たうやまに

又 うねに、おて、うては、大里に、とよて

しよりあとのふし

38 一 くめの、こゑしのか、もちうら、こゑしのか、これと、たにの、きやの、まかね

又 くしかわの、とまり、かほうよる

又 やまと、ま五らせと、しられては、はりやたな

しよりゑどのふし

39 一 くめの、わかきよらか、^{何也}なおう、このて、おわちへか、おいちへ、こうて、てる、きしやき、つかい

又 はなれ、わかきよらか

かうちすつなりかふし

40 一 きこゑ、せのきみか、こいしの、おも●か、かはの、みしま、ようしま、からと、かなしや、ある

又 とよむ、せのきみか、こいしの

又 いしけ、なは、まみやに、けさ、けらへ、あるよる

うちいてはとしましまおそいかふし

41 一 きこゑ、せのきみか、^{舟之事}うらはりきや、みもん

又 とよむ、せのきみか

あやけらへのふし

42 一 きこへ、せのきみと、つとりきや、わちへ

又 とよむせのきみと

又 せのきみか、おうねや、わしか、まやい、とみ

又 あちおそいか、おうねや、けらへ、しま、うちとみ
又 わしか、まゆい、とみと、けらへ、しまうち、とみと

うちいてはつとりくわちへかふし

43 一 きこゑせのきみか、あや、けわい、みもん

又 とよむせのきみか

又 あさとれかしよれば

よなおさかゑそこかふし

44 一 すつなりか、ふなやれ、やうら、おちへ、わかきよ、つかい

又 かみにしやか、ふなやれ、しち、ようきや、てう、みおうね

又 まきしや、てう、みおうね

あけしよのかみにしやか良金もちへのかふし

45 一 すつかねや、かみにしや、もちよる、あゆまちへか、みもん、きよらや

又 かしら、くろ、おやおうねは、おしうけて

又 あち、おうねや、こかね、せひ、おしたて

又 けす、おうねや、くがの、せひ、おしたて

又 あち、おうねや、まぬの、ほうは、ひきたて

又 けす、おうねや、さるき、ほう、ひきたて

しよりあどのふし

46 一 くめの、こいしのか、おとちよもい、つかよわ、きく、くろかりやよ、とりよわ、やり、

ふきよわ

又 もこうら、こいしのか

五く

とまりみちへりきつかふし

47 一 五くの、まころくよ、^{舟也}うききよら、は●りやせ

又 たらこ、かいなて、ころ

又 こゑしのは、たかへて

又 おなり、かみ、たか●て

又 ひか・^たけに、のほて

又 おほか、くち、のほて

け木

又 よかる、けは、ゑらて

又 きやきやる、けは、ゑらて

又 もと、つけな、なつけて

又 やま、つけな、なつけて

又 ^{船作場の事}すよらかくの、はや、おうね

又 ^{船作場の事}すゑからの、はや、おうね

又 なは、とまり、はりやへは

又 おや、とまり、はりやへは

又 もゝ、おうねの、ふな●^さき

又 やそ、おうなの、ふな^さき

うちいてはかうちすつなりかふし

48 一 きゝゑ、おわもりや、きよら、はりやせ、ゑ、おこれや、やちよ

又 とよむ、おわもりや

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

うちいてはおしやへこかふし

49 一 おかちや、大ころ^よな、おかちや、なてころよ

又 おやのかみ、やれは、おなりかみ、やれは

又 おれる、かす、よせて あすふ、かす、よせて

又 あかるいの、みしま、なお、つほに、あてかよう

又 てたか、あなの、みしま、なお、つくせ、●あてかよう

五く

五くのまころくのふし

50 一 とまり、みちへり、きよう、そよらく、はりやせ

又 やわれ、みちへりきよう

又 とまり、あやみやに

又 やわれ、あやみやに

又 百^ア、かめは、すゑて

又 やそ、かめは、すゑて

又 かみ、ほこる、そやけこ

又 たか、ほこる、そやけこ

又 かみ、ほこて、から

又 たか、ほこて、から

又 みか、つきの、みつやに

又 四か、つきの、みつやに

うちいてはきみよしきみのふし

51 一 おわもりか、けおの、きみ、あまへて、ふれまて、はりやしよわ

又 たまて、おりや、しけて、おりや

又 おし、うけわちへ、くりうけ、●わちへ

つましけかふし

52 一 しけかけの、かみにしやか、ふなやれ、うきはたの、なおれよる、きよらや

又 あか、ころは、にくし、こはせと、しやり

又 よう、あけ、いちへて、^{明日の事}あけとまに、はりよれは

又 おかみ、いちへて、みさき、いちへて、はりよれは

きすゝ大やこかふし

53 一 とまり、みちへりきうよ、やわれ、みちへりきうよ、あくかべよ、よはり、あまやかせ

又 しより、のろ、たかへて おや、のろは、たかへて

又 いちへて、てゝ、しられゝ はり、より、てゝ、しられゝ

又 とまり、しらね、とも、くちや、しらね、とも

又 さしまわちへ、いれて ぬきまわちへ、いれて

しよりゑどのふし

54 一 ともそいか、なてころ、舟の事せりきう、とみ、おしうけて、くもかせの、たち、なおる、きよらや

又 かみにしやか、なてころ

しよりゑどのふし

55 一 ともそいか、なてころ、たち、なてす、まふりよは、よそお、せち、せち、まさる、わかゑ、きう（よ

又 かみにしやか、なてころ

すつなりのふし

56 一 世なおさか、舟の事ゑそこゝゑ、け、やれ、ゑ、け

又 かみにしやか、ゑそこゝ

又 まはい、くに、はへの

又 やわくと、おちへゝう

しよりあとのふし

57 一 みるや、てる、てりやかり、てりや、ある^アりは、たかへて、あちおそいか、御つかいと、はりよる
又 かなや、てる、てりやかり

しよりあとのふし

58 一 あかる、てた、おかみや、あんしおそいす、おかみよれ、あける、日^ヒや、^{御顔の事}おみかうと、おかむ
又 あかる、月、おかみや

しよりあとのふし

59 一 おきやか、なり^アちにやか、あちく、ゑらふ、おうね、かみ、てたの、まふり、よわる、おうね
又 あち^アおそいか、おや、おうね

みちへりきかけにはりよるかふし

60 一 みちへりきうか、もちよる、ふなまぎ、つよ、つけた、はりやせ

又 かみにしやか、もちよる

又 あちおそいか、おうねや

うちいてはおかちや大ころかふし

61 一 おしやへこか、ふなやれ、ゑ、あおりやへ、●やはりつなや、ちよこ

又 かみにしやか、ふなやれ

おもかはのみしまかふし

62 一 かだち、すつなりか、かみく、あまへて、ほごてす、はりや、しよわ

又 みもん、すつなりか、かみく

しよりゑとのふし

63 一 さはちきうか、ふなやれ、おうね、くらなみ、ようつゆ、かけら、たな、はりやせ、
(別行ナリキ或ハ又
ノ字ヲ脱カ
あち)

おそいか、おや、おうね

しよりゑとのふし

64 一 おや、さはち、ねとらちへ、あちおそいに、しなて、おもう、やに、うちや、あかりやり、みおやせ

又 このと、たつあふ、●なみや、あちおそいに、しなて

ふなやれひやしかふし

65 一 くめの、こいしのか、くにたか、わかきうか、たまよせ、おうね

又 もうら、こいしのか、神人也くにたか

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

あかつめつらしやかふし

66 一 大にしの、うらはり なよくら、てつてす、はりよれ

又 モ読谷山の事
さきよたの、うらはり、

あかつめつらしやかふし

67 一 大にしに、とよむ、きこへ、なよくらく、てつてす、はりよれ

又 さきよたに、とよむ

あおりやへかふし

68 一 きこゑ、よんたむさ、おしやけ、み、あぐて、たりす、はかす、ちやれ

又 とよむ、よんたむさ

又 かみの、ふね、もゝ、おうね

又 下の、ふね、やそ、おうね

しよりゑとのふし

69 一 いやや、大やこか、せなは、おきて、なしよわちへ、せなは、おきて、なつ、みつる、かに、ある
又 せなは、大やこか、せなは、おきて、なしよわちへ

しよりゑとのふし

70 一 いへの、あちか、ふなやれ、おしかさに、しられて、あんモ、まふて、此と、わたし、よわれ
又 あち、ゑらひか、ふなやれ

しよりゑとのふし

71 いへの、はたころ、あちにせに、なりよもい、まはねぢは、あんしおそいに、みおやせ
又 はなれ、はたころ、あちにせ、なりよもい

しよりゑとのふし

72 しも月か、たちよれば、あん、まちよれ、まはねじ、まはねじや、きもからも、さらん
又 わかなつか、たちよれば

かつれんはいきやあるかつれんかふし

73 あすもりの、きりくちの、きみの、あまへ、きよら、ており、とみ
又 つれの、ふた、つれの、まきよ、おれ、ほしや
又 いじけ、まきよ、いじけ、ふた、おれほしや

しよりちあほりやへかふし

74 あかるいの、つかさ、あかたかへ、つかさ、●うみ、とらちへ、かぜ、なおちへ、つかい
又 てたか、あなの、つかさ

きくみあくむかふし

75 あかるいの、大ぬし、ふゑの、とりの、かこへ^{きこへ}の、うらくと、きよ、きよらや
又 てたか、あなの、大ぬし

ふいのとりのふし

76 一 あかるいの、大ぬし、きゝ、みやくむ、せち、やてよゝ、ころ、そろいわる、あちおそい
又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしやかふし

77 一 あかるいの、大ぬし、大ぬしか、まへに、あかき、ゆすきの、はなの、ましろ^キ、まから^キ、さきよれば、
おれ、よとて、おねりさちへ、あけの、つよに、おされて、なみ^キや、よりきや、はるよれば、おれみになる、
又 てたか、あなの、大ぬし
ころたへ

ふへのとりのふし

78 一 あかるいの、大ぬしか、まへ^アから、あよ、そろて、やくめ、てゝ、しられゝ
又 てたか、あなの、大ぬし、

ふいのとりのふし

79 一 あかるいの、大ぬし、天か下の、あんし、けす、ちかわすは、おきも、しやり、なをし、より
又 てたか、あなの、大ぬし

きゝみあくむかふし

80 一 あかるいの、大ぬし、あけま、もとろ、みれは、へにの、とりの、まやへ、みもん
又 てたか、あなの、大ぬし、

81 一 あかるいの、大ぬし、ゑのち、大ぬし きや、みもん

又 てたか、あなの、大ぬし

ふいのとりのふし

82 一 あかるいの、大ぬし、こへかなし、なりきよら、うちちへ、しまそいれ

又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしゃかふし

83 一 あかるいの、大ぬし、きこへ、くに、せりきうと、やく●の、やくせ、ほてらちへ、てり、おそいか、みもん

又 てたか、あなの、大ぬし

又 いろの、またま、へにと

又 いろの、わか、さひと^か

又 いきや、よわる、ところ

又 おも、よわる、ところ

ふいのとりのふし

84 一 あかるいの、大ぬし、^アみやきせん、かな、ひやふ、あちおそいす、かけて、ふきよわれ

又 てたか、あなの、大ぬし

廿ノ
35

うちいてはふいのとりのふし

^キあかつきの事

85

一 あけるいの、あけもとろ、たては、とはし[?]の、やはし^{キ?}●、おし、あけわちへ、みもん、きよらや

又 てたか、あなの、あけもとろ、たては

ふいのてりのふし

86

一 あかるいの、大ぬし、くか、このみず、あそこ、みおうね、このたれ、おきもの、しなお、やに、はりやせ

又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしゃかふし

廿ノ
29

87

一 あかるいの、大ぬし、ややの、まほう、おし、あけて、はりやせ

又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしゃかふし

88

一 あかるいの、大ぬし、なるかねの、おも^{いく}●わ、しつらかね、まくもに、なか人に、やた物^モやこへ^モせは、
^モとこへせは、とくつかい

又 てたか、あなに、とよみよし

又 あさつゆは、けり、あけて、よう、つゆは、けり、あけて

又 なか人に、かよて、こいものに、かよて

さい。
咲キ。

はつにしやかふし

89 一 地天、とよむ、大ぬし、ちうらの、はなの、さい、わたる、みもん
又 天ち、とよむ、大ぬし

はつにしやかふし

90 一 あかるいの、大ぬし、天か下、せち、まさる、あちおそい
又 てたか、あなの、大ぬし、天か下
又 きこへ、くにせりきよか
又 しよりもり、ちよわる
又 またまもり、ちよわる

はつにしやかふし

91 一 あかるいの、大ぬし、たま金、みうち、たより、なちへ、みおやせ
又 てたか、あなの、大ぬし

うちてはなこさいかふし

92 一 くにかさの、おや、のろは、せと、しやり、もちろ、やほう、うらま^らま^ちへ、はりやし^わ
又 くにかさの、わか^のろは
又 あかき、とて、ゆすき、とて、とくか
又 あやき、とて、くせき、とて^{●●} ほう、はしりや

みなわせ 皆アハセ

又 てうの、いとは、ま●の、いとは、み^なおわせ

うちいてはおしかけふし

93 一 あけしのく、かみにしや、やれかゑ、や、く、やほう、あおらちへ

又 なよかさの、のろ、にしや、あさとれ、ようとれ

又 いたきよら、たなきよら

又 ふなこ、ゑらて、てかち、ゑらて

又 あけしの^わせと、しちやうす

又 なよかさ^わ、てとり、ちやうす

又 そてきよらわ、ゆうとり、ちやうす

又 かせのてや、ほう、ふくろに、しなへ

又 なみのてや、ふなはらに、しちへ

うちいてかつかねかふし

94 一 あけしの、かみにしやか、なむちや、こかね、^そよらちへ、はりよる、きよらや

又 なよかさの、のろにしや

又 あさとれか、しよれは

こはもりかなもりかふし

95 一 きこゑ、あけしのか、神人也 おみしやく、さしやけは、はりやせ

又 とよむ、あけしのか

御みしやくぬきあけかふし

96 一 きこゑ、あけしのか、ちやくに、かなしけや、かみ下の、かまへ、つて、みおやせ

又 とよむ、あけしのか

御しやくぬきあけかふし

97 一 きこゑ、あけしのか、ア かみ下、とよむ、みおとん けらへ

又 とよむ、あけしのか

あけしのかふし

98 一 きこゑ、あけしのか、ゑか、きみ、はねこよわちへ、くもかせ、しなへて はりやせ

又 とよむ、あけしのか

あけしのかふし

99 一 きこゑ、あけしのか、こはもり、かなもり、み、あぐむ、かみくすく

又 とよむ、あけしのか

こはもりかなもりかふし

100 一 ききゑ、あけしのか、あかるいの、こはもり、こはの、はなの、ききよれば、うらくとわり、きみ、つかい
又 とよむ、あけしのか

うらそいおもろのふし

101 一 ききゑ、あけしのか、あよ、そろお、たゞみきつ、まへ^{まへ}かち、天^{てん}か下^げ、たより、^{平らけて也}なちへ、みおやせ
又 とよむあけしのか

あけしのかこはもりかなもりかふし

102 一 ききゑ、あけしのか、さやは、たけ、おれわちへ、あけず、みそ、めしよわちへ、^{風なかり也}かさなおり、さし
よわちへ、なみ、ところ、うみ、ところ、おしうけて、ひやくなの、うらはりか、みもん
又 とよむ、あけしのか

あけしのかこはもりかふし

103 一 ききゑ、^{青色の衣也}あけしのか、あおしよ、みそ、めしよわちへ、なみか、はな、おそよわ
又 とよむ、あけしのか

はつにしやかふし

104 一 あおり、こしりやへは、せと、しやり、おわもり、かまへかち
又 きみの、こしりやへは

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

はつにしやかふし

105

一 御月の事 月しろの、大ぬし、きくやなき、たけから、やまは、ひちめかちへ、ありて、モ月出て山端を映して也 てる、月しよ、

我 父親の事也 あか、なさか、せひき やひ、きゑ、あかる、やに

又 明の月の事 てる、月しよ

なへ

うちいてはあかるゑとのふし

106

一 てにゝ、とよむ、大ぬし、早期咲花の事 あけもとの、はなの、さいわたり、あれよ、みれ●よ、きよらやよ

又 ちてに、とよむ、大ぬし あけもとの、はなの

ナゴヤ
和ケ

しよりゑとのふし

107

一 きゑゑ、大きみか、せいやりとみ、めしよわちへ、浪風やはくとなる事也 なみかせ、なゑやけて、さはやたけ、きみくしよ、むかい

又 とよむ、せたかこか、てよりとみ、めしよわちへ、なみかせ、なゑやけて、さはやたけ、きみくしよ、むかい

又 きゑゑ、あんしおそい、ふさいとみ、おしうけて、なみかせ、なゑやけて、さはやたけ、きみくしよ、むかい

又 とよむ、あんしおそい、せいやりとみ、おしうけて、なみかせ、なゑやけて、さはやたけ、きみくしよ、むかい

108

一 せちあら、かみとまり、くも、よせとまり、なみかせ、なやけて、さやはたけ、きみくしよ、まふれ
 又 あさねとれか、しよれは、せいやりとみ、おしうけて、なみかせ、なやけて、あすもりの、きみくしよ、まふれ
 又 ようとれか、しよれは、ふさいとみ、おしうけて、なみかせ、なやけて、せらちよんの、きみくしよ、まふれ
 又 うみ、なおい、^{たか}うてわちへ、なみおそいは、おしかけ、なみかせ、なやけて、うらのかす、きみくしよ、まふれ
 又 かぎなおり、^たあおちへ、^{赤き衣の事}あけの、みそ、あおちへ、なみかせ、なやけて、うらのかす、きみくしよ、まふれ
 又 こばお、もりの、きみく、^{寄合}まやあて、^{て也}おこらめ、なみかせ、なやけて、しよりもり、きみくしよ、まふれ
 又 かな、もりの、きみく、まやあてす、おこらめ、なみかせ、なやけて、またまもり、きみくしよ、まふれ

しよりあとのふし

109

一 しよりもり、ちよわる、きこゑ、あんしおそい、せいやりとみ、おしうけて、こばもり、ちよわちへひやぐさ
 せち、あんしに、みおやせ

又 またまもり、ちよわる、^あゑそにや、ませ、^{舟の名也}おちおそい、ておりとみ、おしうけて、こはお、もり、ちよわちへ
 又 きこゑ、大きみか、こはお、もり、●つかさと、おこと、あわしよ、わちへ、てるかはに、しられて
 又 とよむ、せたかこか、こはお、もり、つかさと、おこと、あわしよわちへ
 又 くにかさの、おや、のろ、かに、はねて、おきやかもいに、しられ
 又 くせきよらの、大のろ、かにはねて、おきやかもいに、しられ
 又 しよりもり、ちよわる、おきやかもい、あちおそい、いみや、からと、すへまねて、ちよわる

おやみかまかふし

110

一 きみとよみ、まし、ちよきやれは、ふれまて、まち、よふさ、ゆらせ

又 うきとよみ、けおの、はねうち、やれは、

又 おしうけ、わちへ、くりうけ、わちへ、からは

又 あける、つかさ、なおか、つかさ、やれは

又 たまこかね、もて、あわしやり、ほうはしりや

又 ておの、いとは、もて、あわしやり、みなわせ

又 まおの、いとは、もて、あわしやり、こなわせ

又 ●み、なおす、やゝの、まほう、おしや、けて

しよりあどのふし

111 一 みよちよのは、たかへて、此と、いちへて、はりよれば、うら、こして、そてたれて、はりやに

又 かみにしやは、たかへて

しよりあどのふし

112 一 あかかにか、ふなやれ、てたか、まへ、しられて、おるぢへ、こうて、くもに、お●られ、

又 おるましか、ふなやれ、てたか、まへ
アま入

しよりあどのふし

113 一 あかかにか、ふな、やれ、あらふ、むすひもよへ、いみやゝより、めつらゝやひた

又 おるましか、ふな、やれ

又 たひに、たつ、あんは、くれかてや、あれとも、いみやゝより、めつら

しよりあとのふし

114 一 ゑらふ、たつ、あすた、大●すく、けらへて、けらへ、やり、おもひくわの、御ため

又 はなれ、たつ、あすた、大きく

しよりあとのふし

115 一 ゑらふ、まこはつか、たまの、きやく、たかへて、ひといちよは、すかま、うちに、はりやせ

又 はなれ、まこはつ、たまの

しよりあとのふし

116 一 ゑらふ、世の、ぬしの、ゑらて、おちやる、のさ、あくか、む、よみの、まきんとて、みやせ

又 はなれ、世の、ぬしの、ゑらて、おちやる

うちはてはみかなしてたのふし

117 一 きこへ、ばてん、のろ、みやけ、ほしやの、わかいきよ、しのひ、あくみ、ちよに、まふる、かみ、そわて

まふるれて、かよい、ふさよわち

又 とよむ、はてん、のろ

しよりあとのふし

118 一 きこえ、大きみか、しまうちとみ、おしうけて、かくらの、ており、とみる、かに、ある

又 とよむ、せたかこか、しまうち、とみ

ナ
ヘ

又 けおの、よかるひに、^{しま内とみ}
 又 けおの、きやくるひに、^{しま内とみ}
 又 あさとれか、しよれは、しまうちとみ
 又 ようとれか、しよれは、しまうちとみ

大きみかいとめつらかふし

119 一 大きみか、^{御為也}なおさ、とて、おれわちへ、あまへて、しま内、まさり、よわれ
 又 くにもりか、時とりやり、おれわちへ

大きみか時とりやりかふし

120 一 大きみか、^{きまつたこといふ事也}たま、めつら、めしよわちへ、あまへて、けわい、こぎ、みもん
 又 くにもりか、いと、めつら、めしよわちへ、あまへて、けわい、こぎ、みもん

うらおそいおもろのふし

121 一 まさりきよか、ふなやれ、おきなわ、あんしおそいしよ、ちよわれ
 又 うきあかりか、ふなやれ
 又 なけちへて、おもな
 又 たよて、て、おもな

しよりあとのふし

122 一 かつれなか、ふ^なやれ、ふなやれ、とかまへ、とく、大みや、ひちやち、なちへ、みおやせ

又 おともいか、ふなやれ

うちいてはさはしきつかふし

ナ
へ

123

一 きこゑ、おしかさ、とよむ、おしかさ、やうら、おちへ、つかい

又 き^きらやの、うきしま、き^きらやの、もいしま

又 うきしまに、かゝら、ひるかさり、きやち

又 ひるかさり、から、中、せち、きやち

又 なかせち、から、かねの、しま、かち

又 かねのしま、から、せり、よさに、かち

又 せり、よさに、から、かゑふたに、かち

又 かゑふたに、から、あすもりに、かち

又 あすもりに、から、かなひやふに、かち

又 かなひやふに、から、なは、とまり、かち

しよりあとのふし

124

一 み^きやせん、おや、おうね、なむぢや、金、かくとみ、とも、まきやけ、なは、とまり、はりやせ

又 おもいくわの、おやおうね

しよりあとのふし

125 一 きこゑ、みやきせん、もゝまかり、つみ、あけて、かはら、よせ 御くすく、けらへ
又 とよむ、みやきせん

しよりあとのふし

126 一 うらおそいに、おわる、けらへ、あまくもい、あんし、かなし、しより、かち、つかい
又 とかしきに、おわる

かけめなのしよのふし

127 一 あきみよの、とまり、きこゑ、おや、とまり、あよ、はりあや、やちよこ
又 はんたま、おきて、あち、なおり、おきて
又 うらはるの、とまりや、ふさすの、とまり

あきみよのとまりかふし

128 一 あはこんの、大や、あんし、つきの、大や、うみ、とらちへ、わかうら、よせれ
又 あかくわ、たひ、やたる、さるこ、たひ、やたる
又 けらま、たひ、やた物、ざまみ、たひ、やたもの
又 というやか、ほしやす、八いろやか、ほしやす

きこへくにせりきよかふし

129 一 あかるいの、大ぬし、なたま、いろの、なつるき、つみ、つけな、しよりもり、みおせ

又 てたか、あなの、大ぬし、なたま、いろの、なつるき、つみ●けな、またまもり、みやせ

しよりあとのふし

130 一 くしの、まへかねく、世もちとみ、すたちへ、ともしする、のりあさ●しよわちへ

又 たけの、わかいへきよ、ほはな、おかて、まふら

又 たけくの、かみや、ゆまたちて、まふら

一 あちちよりあちのふし
きこへ大ちみかせちとよむせいくさかふし

131 一 きこゑ、大きみか、ちやくにや、世そい、あちおそいす、とよめ

又 とよむ、せたかこか、ちやくにや、よそい、あちおそいす、とよめ

又 いせゑけり、あちおそい、ちやくにや、世そい、あちおそいす、とよめ

又 いせゑけり、たゝみきよ、●ちやくにや、よそい

又 せいくさ、せち、まされ、ちやくにや、世そい

又 せいひやこ、せち、まされ、ちやくにや、世そい

又 しよりもり、男くた、ちやくにや、よそい

又 みしま、かすころく、ちやくにや、世そい

又 あゆ、ちよく、けに、あれ、ちやくにや、よそい

一
へ

132

うらおそいおもものふし

又 きも、ちよく、たに、あれ、ちやくにや、よそい

又 けやる、せやりとみ、ちやくにや、世そい

又 けやる、ておりとみ、ちやくにや、よそい

又 やへま、しま、いつ、あま、あま、あま、あま、あま

又 はたら、しま、くはら、きも、まよい、しめ、しめ

又 しよりもり、あせらは、つち、きりに、きらせ、あんしおそいす、とよめ

又 またまもり、あせらは、みちや、きりに、きらせ、あんしおそいす、しよめ

又 うらのかす、かみく、あいちへなて、まふら、あちおそいす、とよめ

一 きこゑ、大きみか、てるかは、は、のたて、あちおそいす、天きや下、おそい

又 とよむ、せたかこかてるしのは、のたて、あちおそいす

又 いしゑけり、あちおそい、あよか、うちは、なけくな

又 いしゑけり、たゝみきよ、おきも、うちは、なけくな

又 せいくさ、おしたては、大きみす、よしらめ

又 せひやく、おしたては、せたかこす、よしらめ

又 くにもちの、はらく、おほつなよ、ゆそいて

又 うらよせの、もとろ、かくらなよ、ゆそいて

又 くにかねの、はらく、しまは、たいらけて

又 うらひちめ、もとろ、くに、ひろく、そいて

又 あかくちやか、ゆいつき、せいぐき、てゝ、はねて、あちおそいす、天か下、おそい

しよりゑこのふし

133

一 やまの、くにかねか、なてゝ、おちやる、こまつ、あんしおそいに、世かほう、せち、みおやせ
モやまのかみの事也 船の名也

又 ほこり、ころかまか、ともまさり、けらへて
船の名也

又 ほこり、ころかまか、しまとつけ、からへて、いてらかず、そてたれて、はりやせ

134

一 あまの、みちへりきよか、しないとみ、まちら、たなめより
 又 てくの、みちへりきよか

うちいてはせのきみかいやけたもきかふし

135

一 きゝゑ、せのきみか、めつけ、しよわちへ、はりやせ
 又 とよむ、せのきみか

きゝへせのきみかとかはさめかふし

136

一 きゝゑ、せのきみか、うらくと、はりやせ
 又 とよむ、せのきみか、うらくと、はりやせ

137

一 このたけ、この、みちよの、つかさゝ、かやまて、しらてす、はりよれ、ふたまたの、中へ、あやの、てに

又 おくとう、いちへて、おくとう、いちへて、はりゑは、たるか、てゝ、ずれか、てゝ、とうな
又 やゝとまり、くはちへ、たるか、てゝ、ずれか、てゝ、とらな

かうちすつなりかみかふし

138 一 かうち、すつなりきや、めつら、なはいきよ、まへ、しられゝ

又 みもん、すつなりきや、

うちいてはやくのきたけかふし

139 一 まはゑ、まはへ、やおら、おせ、こかね、くち、はりやさ

又 おゑぢ、おゑぢ、やゝ、うら、おせ

首里やどのふし

140 一 しより、おわる、てかこか、おや、おうねは、おしうけて、とゑ、とりと、いそいで世、はりやせ

又 くすく、おわる、てたこか

しよりやどのふし

141 一 しより、おわる、てたこか、おや、みゑは、つかよわ、おや、みゑは、きより、てゝ、しられゝ

又 くすく、おわる、てたこか

しよりあとのふし

142 一 しより、おわる、てたこか、御まへ、おわる、あすたべ、にしの、うみの、なみのくわ、^{かみ}てだの、まより、よわる
おうね

又 くすく、おわる、てたこか

しよりあとのふし

143 一 しより、^ちかち、^{行人也}いきや人、^{我に}あん、かたれ、いやりせ、大きみか、きみし、^{みぶしや也}うらきれて
又 御ま^へ人、かち、いきや人

しよりあとのふし

144 一 やまのなしのか、まふる、かみ、なりよわちへ、かほうとみ、のりふさい、しよわちへ
又 きみの、にせとのか、こしあてかみ、なりよわちへ

しよりあとのふし

145 一 しより、おわる、てたこか、ふなやれと、みかま●い、かみしむの、かまへつて、みおやせ
又 くすく、おわる、てたこか

146 一 くめぬ^すきの、みおうね、おしうけ、たる、みおうね、あとなおちへ、さき、よかる、みおうね
又 あちおそいか、みおうね

九、
35

先王尚寧尊君御上国之御時おなちやらの美御前御つくり被召候おもろ

147 一 まにしか、まねまね、ふけは、あんしおそい、てたの、おつねと、まちよる

又 おゑちへか、おゑちへと、ふけは いろくのこねりおもる御双紙九、終二出テタリ

はつにしやかふし

かく 不明

148 一 あかるいの、かくのよ、むかて、とふ、かくよわ、まふる、かみ、さらめ、まちよく、

かく 不明
あれ、みまふら

又 てたか、あなの、かくのよ

ふへのとりかふし

149 一 あかるいの、大ぬし、あん、まふて、くれわれ、あんしおそいきや、ちやくに、はやつかい

又 てたか、あなの、大ぬし

糠
フトム

150 一 あやき、うまに、あやき、くら、かけて、あやき、ぶち、とらちへ、おゑたて、はりやせゑ、やれ

又 くせき、うまに、くせき、くら、かけて、くせき、ふち、とらちへ

はつにしやかふし

151 一 あかいの、みつたけ、みつたけわ、めより、まちよく、あれ、●ころく

又 てたか、あなの、みつたけ

はつにしやかふし

152 一 あかるいの、みつたけ、みつたけわ、めより、あれ、みるろ、のろく、あよ、ちよく
もちよわれ

又 てたか、あなの、みつたけ、みつたけわ、めより

太ゑとのふし

153 一 ふてつたむ、^{七人也}なゝの、おとぢや、なしよわれ、おや、やらは、てゝ、わん、はりやせ
又 ふてつたむ、^{十也}とうの、おとぢや、なしよわれ

154 一 これる、これ、はつにしや、うらゝ、しちへ、せのきみ、つかい

又 これる、これ、おきとは

又 はつにしやす、まちよたれ

又 おきとはす、まちよたれ

しよゝあとのふし

155 一 あちおそいきや、おや、おうね、しまみらは、^{*だ}くめたら、あちやわ、なは、とまり、

おや、おうねや、せのきみしよ、しりゆわめ

又 おきやかもいきや、おやおうね

しよりあとのふし

156 一 きみは^いは、たかへて、たすこやま、のほて、なてまつは、けらへて、はねうち、かま、すたちへ、

とぶ、とりと、いそいして、はりやせ

又 うまのこか、さあぐ、まい^きとの、なわ、かけて
馬ノ子カ驕カ非也ひちめくがノ条参照

しよりあとのふし

157 一 ぢやなの、あさ^{人名也}か、ふなやれ、まはへ、かぜ、おちへ、きより、あば、おしられ、おやまてす、はりよれ

又 いぢへき、あさか、ふなやれ、おちちへ、かぜおちへ、きより

又 やりおそいは、たかべて、まはあ、かせ、こうたれ

又 おやのろは、たかへて、まはあ、かせ、こうたれ

又 大にしに、はりやさは、なよくらす、しりよわめ
モ饒谷山の事

又 さきよたに、はりやさは、のろくす、しりよわめ

又 みおかみむ、やぐ●めさ、さきくむ、やぐめさ

しよりあとのふし

158 一 きたたんに、おわる、またらひ^{人名也}か、おやおね、せち、まさて、しまうち、まさり、よわれ

又 くにのねに、おわる、おもいくわの、おやおうね

又 おし、いちへやり、はりやさは、うらゝ、しちへ、はりやしよわ

又 ぬきいちや、しやり、はりやさは、そてたれて、はりやせ

又 いくさ、はな、たちよわは、あや、さはね、さし、よわれ

又 ちやくに、はな、たちよわは、くせ、さはね、さし、よわれ

しよりあとのふし

159 一 大にしに、とよむ、きこへ、なよくら、あん、まふて、^{これ／＼也}わたしよわれ

又 さきよたに、とよむ

しよりあとのふし

160 一 ひるぬ^{モ人名也}しか、^{舟の名の事}やせしのか、ふな^{舟の名の事}もところ、おし、うけて、いちやさ、かす、せち、そわて、はりやせ

又 さあぐ、あうて、はきちへ、あうて、^{舟の名の事}はやもところ、おし、うけて、いちやさ、かす

しよりあとのふし

161 一 ひる^{アノシ}しのか、ふなやれ、おや、おうねは、おしうけて、うけるかす、せち、そわて、はりやせ

又 いちへき、あさか、ふなやれ

しよりあとのふし

162 一 おんなしか、ふなやれ、すつとみは、おしうけて、おやの、かみ、たかへて、まやあて、うら／＼しちへ、

はりやせ

又 やきしまか、ふなやれ

しよりあとのふし

163 一 おゑたちの、おやのろ、おやのろは、たかへて、うら、とよむ、はねうち、とみ、すたちへ

又 おしわきの、おやのろ

又 いくさもい、ころかま、けさ、さあぐ、もとちへ

しよりあとのふし

164 一 おんなしきや、ふなやれ、おしわきは、たかへて、あん、まふて、このと、わたし、よわれ

渡

又 やきしまか、ふなやれ、おやのろは、たかへて

はつにしやかふし

165 一 せむ^ういの、おやのろ、おやのろは、たかへて、しないとみ、はぎ、うけたる、きよらや

又 うつの、うらの、おやのろ、おやのろは、たかへて

しよりあとのふし

166 一 ●せむ^ういの、おやのろ、おや、のろは、たかへて、あん、まふて、このと、わたし、よわれ

又 うつの、うらの、おやのろ、おやのろは、たかへて

しよりあとのふし

167 一 みやきせんに、たつくも、こかね、くも、たちより、大きみに、おゑちへ、こうて、はりやせ

又（今帰仁の異名也スミニテ）かなひやふに、たつ、くも、なむちや、くも、たちより

しよりあどのふし

168 一 しませんこ、おやのろ、おやのろは、たかへて、あちおそいに、かまへつて、みおやせ

又 あけしの、おやのろ

しよりあどのふし

169 一 おきみつな、人名也わらいきよ、わらいきよは、たかへて、あん、まふて、ノ也これと、わたし、よわれ

又 こはなれの、わらいきよ

しよりあどのふし

170 一 しませんこ、おやのろ、おやのろは、たかへて、うき（き）よらは、けらへて、こかねつて、しより、モ向てといふ事也スミニテ

アチから、はりやせ

又 みやきさんの、おやのろ、おやのろは、たかへて

171 一 まにし、てう、●かせの、よい、みやきせん、ねしやり、かゑなて、かいなて、おごらに

又 おゑちへ、てう、かせの、よい、みやきせん、ねしやり

あくかへよゆはりあまやかせかふし

172 一 さちきや、もりくすく、ひぢやり、かた、おけわちへ、あか、なさか、ゆはり、あまやかせ

又 さちきや、もりくすく、にきり、かた、うけわちへ

しよりあどのふし

173 一 ゑひやの、おやのろよ、きゑゑ、まねかせよ、あん、まふて、此と、わたしよわれ

又 たなの、おやのろよ

しよりあどのふし

174 一 いちゑゑな、おやのろよ、わかきよ、かなしけか、おうね、とふとりる、はやふさる、かに、ある

又 はなれ、おやのろよ、わかきよ、かなしけか、おうね

しよりあどのふし

175 一 ゑひやのしか、ふなやれ、たかべてす、こうたれ、おゑぢへ、こうて、おも、やに、はりやせ

又 おしわきの、おやのろ

しよりあどのふし

176 一 やかひもり、おわる、おやのろは、たかへて、あん、まふて、このと、わたしよわれ

又 あかまるに、おわる、てゝのきみ、たかへて

はねうちしちへはりよるまふちやかふし

177 一 へとに、おわる、ましうて、ましうては、たかへて、あん、まふて、此と、だしよわれ

又 おくに、おわるましらて、ましらては、たかへて

首里まどのふし

178 一 くにかさの、おやのろ、おやのろは、たかへて、かにはねて、あちおそいに、みおやせ

又 くにかさの、わかのろ、わかのろは、たかへて

とまりみちへりきよかふし

179 一 へとの、なよせりきよ、はねうち、しちへ、はりよる、きよらや

又 こだか、とよみ、おうね

又 しより、とよみ、おうね

180 一 おれつむか、たちよれば、あか、あしやつかみ、あしやけ、おなりかみ、てつり、よら、大きみに、まはる、

こうて、はりやせ

又 わかなつか、たちよれば

いきやあるかつれかふし

181 一 おふよ^ふよ^ふのか、ふな、も^もと^とろ、おしうけて、このと、うちへの、うら、こや

又 おによ^よのか、はや、も^もと^とろ

又 あおなみ^なやか、^{船の名所也}てと^とる^りけと、おやまて

又 しらなみ^なやか、やかた、くち、おやまて

又 おによとのか、たれ、き^キおひおやまて

又 おによとのか、たればかま、おやまて

はつにしゃかふし

カマ也

182 一 くにかさに、おわる、おやのろは、たかへて、しまうち、しちへ、あちおそいに、みおやせ

又 やかひもり、おわる、かねまるは、たかへて

又 あかまるに、おわる、てくの、きみ、たかへて

又 あすもりに、おわる、ましては、たかへて

又 おくもりに、おわる、たまの、きやく、たかへて

183 一 かあふたの、おやのろ、とから、あすひ、たかへて うらこ、しちへ、そてたれて、はりやせ

又 ねのしまの、おやのろ

又 のろくは、たかへて

又 かみくは、たかへて

又 にしこわは、にしなれ

又 はあこわは、はあなれ

184 一 かあふたの、おやのろ、おや、おうねよ、まふり、よわ、まあふて、みまふて、はりやせ

又 ねのしまの、のろく

又 のろくす、しりよわめ

又 かみくす、しりよわめ

しよりあどのふし

185 一 かゑふたの、おやのろ、まどく、うらに、かよて、あちおそいに、金つてみおやせ
又 ねのしまの、おやのろ、

はつにしゃかふし

186 一 よろん、こいしのか、まどく、^くうらに、かよて、しまかねて、あちおそいに、みおやせ
又 はなれ、こいしのか

187 一 よろん、こいしのか、まどく、うらに、かよて、玉金、あちおそいに、みおやせ
又 ねくに、こいしのか

はつにしゃかふし

188 一 かゑふたの、おやのろ、とから、あすひ、たかへて、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 ねのしまの、おやのろ

へどのなせりきはねうちしちへかふし

189 一 くにの、なてしのか、なて●しのか、ふなやれ、なこなこ、なこやけて、はりやせ

又 くにの、みちへりきよか、みちへりきよか、ふなやれ
 又 かみや、おなりかみ、男也ころは、勝り也いしあけり
 又 かつおう、たけ、とた物、こばうたけ、とた物

しよりあとのふし

190 一 ゑらふ、世の、ぬしの、おうねはし、しよわちへ、ゑらふ、しま、なちや^るか
 又 はなれ、世のぬしの

首里あとのふし

191 一 ゑらふ、よのぬしの、ゑらておちやる、みちやふれ、みちやふれや、世のぬしちよ、まちよる
 又 はなれ、世のぬしの
 又 金、くら、かけて、よわ、とまり、おれて

はつにしやかふし

192 一 ゑらふ、せりよさに、はこぎ、はりそゑて、あまへこか、まふり、よわる、ゑそい
 又 はなれ、せりよさに

しよりあとのふし

193 一 かつれんか、ふなやれ、舟のこと也うけよろは、はし、しやり、どく、ゑらふ、たより、なちへ、みおやせ
 又 ましふりか、ふなやれ

しよりゑとのふし

194 一 かつれんか、ふなやれ、ふなやれと、みかまへ、きくや、大みや、ひちやち、なちへ、みおやせ
又 ましふりか、ふなやれ

はつにしゃかふし

195 一 さと中の、ころかま、いちの、たし、まちよく、あまへこり、まふり、よわる、ゑそこ
又 としらもい、ころかま、
又 たみな、たけ、めより
又 にしめたけめより
又 せりよさの、はつきはへき、おり、あき^アけより

しよりゑとのふし

196 一 ゑらふ、やむ、またけ、^キ遠々とみおるして也
おさん、する、かみく、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 はなれ、やむ、またけ

197 一 ゑらふ、おわる、みそ、のろ、みそ、のろは、たかへて、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 はなれ、おわる、みそのろ

しよりゑとのふし

198 一 とくやまの、なてまつ、おや、おうねは、すたちへ、とぶとりと、いそいして、はりせ

又 にしたけの、なてまつ

しよりあどのふし

199 一 とくに、おわる、みそのろ、みそのろは、たかへて、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 とくに、おわる、よりそてのろ、よそのろは、たかへて

しよりあどのふし

200 一 よろと、いちへて、はりよれば、たかまるは、たかへて、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 此と、いちへて、はりよれば、けなちたけ、たかへて

しよりあどのふし

201 一 あかきなの、のろの、しもの、くにかねと、あん、まふて、此と、わたしよわれ
又 ねのしまの、のろの

しよりあどのふし

202 一 あかきなの、もゝかみ、おやせとべ、おこりよわ、おやせとへ、御まへ、わら^う●^きれて
又 ねのしまの、やそのろ

しよりあとのふし

203 一 きこゑ、にしもりに、世ほこりは、けらへて、みちへわきよす、^アあおりやゑて、はりやせ

又 とよむ、中もりに、たなきよりは、おしうけて

又 つるもいの、こらか、おや、おうねは、おしうけて

又 けおの、よかる、ひに、おやうねは、^アあやぐせ、せりまよ

△

おしうけて

はつにしゃかふし

205 一 そよめききや、^{清らきの事也}もちよる、かみにしゃか、もちよる、てわん、しくたんか

又 まはへ、かせ、^アふききよれば、おあちへ、かせ、ふきよれば

又 おわんたけ、ぬきや、てゝ、てらち、たけ、ぬきや、てゝ

しよりあとのふし

206 一 いゑや、大やこか、みつけたる、小はなれ、かち、くれて、はりよれば、せんきみしよ、ほかさ、おそて、まふれ

又 はなれ、大やこか

しけかけのかみにしゃかふし

207 一 あましきよか、け下にやか、ふなやれ、うらよみちへ、きもちや、うらやい

又 中くすく、しまおそいや、めより

又 にしたけむ、ひかたけ^むめより

△

又 けおのきやくる、ひに、おあちおねは、おしうけて
又 あちおそいきや、おためす、いたきよらは、おしうけて
又 たゝみきよか、おためす、たなきよりは、おしうけて
しよりあとのふし

204 一 なせの、まつりかみ、あやぐせ、せりまよ、せは、おきて

おあちへ、こつて、はりやせ

又 いつふ、まつりかみ

又 なせの、うらの、八さ、あやぐせ
せりまよ

又 なせの、うらの、十さ、あやぐせ
せりまよ

いきやあるかつれんかふし

手神の事也

208 一 すつなりきや、ふな、ころろ、しな^らたな、おあちへ、こつて、はりや^なに

又 かみにしやか、ふなころろ、しらたな、おあちへ、こつて

うちいてはわくのしつらへかふし

209 一 かさす、しちや、たりやかよ、よ、しま、せ^せせれ

又 かさす、ぬれはみやかよ

又 しちや、たりやか、みおと、ちや

又 ぬれはみやか、みおとちや

又 ふな、このみ、しよわちへ

又 たひ、このみ、しよわちへ

うちいてはいやとのきくたけのふし

210 一 にしたけに、おわる、たけの、よきかなししよ、くめの、しま、かみやれ、くめの、めつらしやよ

又 ひかたけに、おわる、きこゑ、よきかなし

又 にるや、ろ^ちに、つ^けれは、おうちよのか、やぐめさ

又 にしたけに、つけれは、にるやちやか、やぐめさ

又 しらよねに、つけれは、世^よ中に、つけれ

又 た^りから、からきこゑは、けにろ、から、きこゑは

又 くめの、しま、とうれは、かねのしま、とうれは

又 かなふくに、おわる、くしかわに、おわる

又 きこゑ、あんしおそいきや、とよむ、あんしおそいきや

又 うらかない、よせて、はつかない、よせて

又 おうね、はくてうむ、み^おうね、はくてゝむ

又 い^{モ今といふ事}みや、とよみ、つけて、いみや、まさり、つけて

はつにしゃかふし

211 一 いくらとの、ころかま、いちの、たし、まちよく、あかころか、ともはいの、つるき

又 さふらとの、ころかま、いちの、たし、まちよく、あかころか、ともはいの、つるき

又 このと、まこたけに、あわの、きみ、なるし、しよりの、めつらしや、

又 大と、まこたけに

又 ひやもさ、くさき、まわる

こはせりきやりほしやかふし

モ人名也

212 一 大みつの、みてもい、お^モちへ、こうて、はりやせ

又 ふるさとの、みてもい

初旅 又 みてもいきや、おひ、たひ

又 みてもいか、あら、たひ

又 よさけ、もり、ところ

又 よ●みき、もり、ところ

又 ともからは、さそて

又 ちおとちやは、さそて

しよりあどのふし

213 一 ゑらふ、むすひよもへ、くれる、てや、なちやな、いみやこ、より、めつら^らあ、やらに

又 たひ、たつ、あんや

又 なつたるし、^{なつ}やれは、はた、からむ、さわらん

又 つしやの、たまやれは、くひからむ、さわらん

かうちすつなりかふし

214 一 きこゑ、きみかなしかよ、くに、まさり、おやのろ、ゑけよ、しま、^{ラナシ}かゝと、めつらしや、ある

又 とよむ、きみかなしかよ

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

かうちすつなりかふし

215 一 きこゑ、きみかなしかよ、やちよくた、まち●よふさの、^りよかあふ、しま、はちへ、おわちへ

又 とよむ、きみかなしかよ

又 あさどれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

とまりみちへりきよかふし

216 一 きすゝ、大やこ、いちき、大やこ、あくかべよ、よはり、あまやかせ

又 ふつき、しめ、あらしに

又 はつき、しめ、あらしに

又 あんしおそいか、おや、おうね、おもいくわの、おや、おうね

又 あめく、のろ、たかへて、おや、のろは、たかへて

又 いちへて、てゝ、しられゝ、はりより、てゝ、しられゝ

又 とまり、しらねとも、くちや、しらね、とも

とまり、くち 共ニ
湊ナリ

おきなわのいよのふし

217 一 おきやか、あんしはるや、しまよせか、ふれまへと、みもん

又 はたみ、いくきこか

又 御さけ、ほしや、あらず、おうね、よりそいよ

又 しけち、ほしや、あらず、おうね、よりそいよ

はつにしゃかふし

218 一 うふたまに、おわる、きこゑ、おわもりや、くめみきや、おわちへ

又 そこにや、たけ、おわる

又 これる、これ、くめと

又 これ、これ、おへこもり

あきみよのふし

219 一 かけめなの、しほの、おしあき^い、なみたては、なお、みちへか、なよる、きみ、みちへす、なよれ

又 おしあい、なみ、たては、よりあい、なみたては

すなにかふなやれのふし

220 一 あかおなり、みかみの、まふら、てゝ、おわ^ち●やむ、やれ、ゑけ

又 おと、おなり、みかけ^{アミ}の

又 あや、はへか^{アミ}、なりよわちへ

又 くせ、はへか^{アミ}、なりよわちへ
ルナラン

いきやるかつれんかふし

221 一 あおりやへや、いくさ、いちへす、ちよわれ、さすかさは、わきかち、とて、はりやせ

又 あおりやへや、あいつます、ちよわれ、さすかさ

はつにしゃかふし

222 一 おくと、まう、おにわし、つゝか、うゑつかい、あんまふて、このと、わたしよわれ

又 となか、まう、おにわし、せひか、うゑつかい

もうしやうなまのふし

223 一 ゆらふさか、けおの、おれの、さうしや、なさいきよもい、みおも、かげ、たちちへ

又 きとかさに、けさ、けらへ、ありより

又 くにかさか、ゑん、けらへ、ありより

又 わかのろか、けおの、おれの、さうしや

又 きちよかさに、うち人、もちなし、なさいきよもい

しよりあとのふし

224 一 くめのしま、あつる、つしや、こかね、わたしへ、こしよわ、もり、のほせて、あちおそいに、みおやせ

又 かねのしま、あつる

うちいち●ちてはうらはへかふし

225 一 いや、や、あか、なさいきよ、うらの、なりとよみ、よりかさか、ほこて

又 いやゝ、大なさいきよ

いぢやはなもものか

226 一 やとの、みちへりきよか、いちへて、けに、はりよる、わかうら●の、めつらしや、とおく、はりやせ

又 へとの、なよせり●きよ

又 つほに、けさとのよ

あけしのかふし

227 一 かみかなし、かみきら、ゑかき、とり、まやう、しま、はち、おわちへ

又 のろかなし、のろにしや

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

あけしのかふし

228 一 きら、あけしのか、はまちとり、おゑだて、おへくと、おゑだて、わかうら●の、はち、みもん

又 とよむ、あけしのか

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 ふな、ゑらて、のせわちへ

又 てかち、ゑらて、のせわちへ

あけしのかふし

229 一 きゑゑ、あけしのか、かみしも、とよむ、みや、あしやけ、けらへて

又 とよむあけしのか

あけしのかふし

230 一 きゑゑ、あけしのか、あけもてう、やもてうとて、わきやけ、おきなわに、つかい

又 とよむ、あけしのか

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いたきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

又 ふなご、ゑらて、のせわちへ

又 てかち、ゑらて、のせわちへ

あけしのかふし

ナ、

但し

コレハ

別ニタツベシ

231 一 きゑゑ、せち、あらきみ、だしま、とよむ、^{御日の事}おもかは、あかて、おわちへ、ななきき、いきやて、みよわちへ

又 とよむ、せち、あらきみ

又 ^{来月の事}あける、月せと、しやり

又 ^{来月の事}なおり、月せと、しやり

はつにしやかふし

232 一 あかるいの、大ぬし、ちうらの、はなの、さきよれば、あれ、みれよ、きよら、きみ
又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしやかふし

233 一 あかるいの、大ぬし、くか、み御まへに、こかねすへ、おろちへ、しまそろて、あちおそいに、みおやせ
又 てたか、あなの、大ぬし

はつにしやかふし

234 一 あかい^{＊る}の、大ぬし、きこへ、くにせりきよ、いろまさりまで、もちたゝみ
又 てたか、あなの大ぬし

はつにしやかふし

235 一 あかるいの、大ぬし、あやの、天とらちへ、やゝの、やくせ、ほてらちへあんしおそいか、御まへ、かち
又 きこゑ、くにせりきよか

はつにしやかふし

236 一 あかるいの、大ぬし、くか、御まへに、くにふ、げは、おへて、おちへ、おれつむ、またな、いな、
はやはな、さちやる

九年母といへるは、垂仁天皇の御代に田道間守といふ人を常世の国につかはされて時々のかゝのこのみをとりよせ給ひしを後世九年母といへる故に御記の
九十年春二月庚子朔天皇命田道間守令求非時香菓今いふ橘これなりとありて九十九年云々明年春二月辛未朔壬午田道間守至自常世国
則寶物也非時香菓●云々九十年より九十九年の明年まで十二年なるをつかはされし年とかへり来りし年とを略きて中九年なれば九年母とは云々
へし母とはこの菓を乳柑といへば母と掛けしならん云々 〔靈應曆ノ傍相〕

明治廿八年三月十四日

語学材料

ふんへんのきりぎりす

随々庵主

第十

第十四

*竊度

*こ
陸

1 ぢやなもひや、たか、なちやる、くわか、こか、きよらさ、こか、みほしや、あよるな
 又 もうちやらの、あらて、おちやる、こちやくち、ぢやなもしゆ、あけたれ

又 ぢやなもいか、ぢやな、うへばる、のほて、けやけたる、つよは、つ●_よからと、かはしや、ある

薩カラソ香シクアルカ

2 1 はなくすくあんしづきの、大や

又 花城ちやらつきの、大や

又 ひとりくわの、やくさくわは、なちへ、おちあ

又 ほか、あたりに、うち、あたりに、あへる

又 はつかりやる、したしらひよは、あらて

又 たちあらひに、すちあらひに、あらて

又 ^廿わた、よみやは、^卅みしよ、よみやは、しちへ、おちへ

又 はなくすく、いちやかわに、おれて

又 かせはあちへ、ぬのはあちへ、おれて

又 おもひかけす、しより、あへかへ、いきやて

又 ま^人や^アたも、こ^アり、みほしや、ありよれ

又 おきてたも、こか、きよらさ、あよれ

3 一 かなくすく、大ちきよ、おもひ、にせ、かなし

壬子ノニセ也

又 かなくすく、しらへきよ

又 大ちきよか、わくくさ

又 しらへきよか、わくくさ

又 くねふ、とて、はき、よわちへ

今帰仁の城しもないのくねふ喜真之權かのきやいはきやい

今帰仁の城跡

又 かなし、とて、はき、よわちへ

4 一 かつれんに、おわる、きみししたりや●よ、よへの、したたりや、よせれ

又 きむたかに、おわる

おとまりかふし

5 一 ちはな、おわる、めまよ、きよら、あんしの

又 ●ちはな、おわる、はくき、きよら、あんしの

又 みはち、まき、てちよく、まき、しよわちへ

又 しらかけ、みしよ、かさへ、みしよ、しよわちへ

又 といき、おび、まゆし、ひきしめて

又 大かたなよ、かけさし、しよわちへ

又 こしかたなよ、いかさ、さし、しよわちへ

又 ひきや、かわさは、うちおけ、くみ、しよわちへ

又 うま、ひきの、みちや、ひきの、こたら

沖ノ鳥ノ

又 ましらほにこかね、くら、かけて
又 まへくらに、てたの、かた、ゑかちへ^{画キカ}
又 しる^{シラシ}いくしに、月の、かた、ゑかちへ

6 おんな、やちき、まよ、あふそ、やちき、まよ、おもひはの、きも、ちやさ
又 あわの、おやの、もすめ、きも●^ちや、おやの、もすめ
又 やまこ、まて、●みつき、たけこ、まて、みつき
又 かちやも、せゝられて、ぬかこ、●せゝら●て

うおさけかふし

7 一 あさて、やたいらの、まつり、はふとり^{アガ}、かみ^ア、せらは、みちへ^ア、おわれ
又 みかいは、さにきやの、おりめ^{アガ}やまとの、こらに、みせたな、やたる

同ふし

8 一 にしたけの、さくらか、さくやに、きみし、しなて、なよら
又 ひかたけに、むらさき^{アヤ}かり、さくやに、きみしなて、なよら
又 たけなかし、あやへかさ、さしよわちへ
又 もりかなし、くるまかさ、さしよわちへ

9 一 うけのとりの、うたい

又 はなれとりの、うたい

10 一 あかるいの、ましたに くわけもと、ふくとり、あか、おもひか、こゑなり、いぢゑて、

きけく、きも人、きも人す、きくとれ

又 てたかあなの、ましたに

11 一 おとたるい、きもからと、しひつく、あんしおそいきや、おみわゑの、きこやに

又 きすゝ、おてや、ちよも、とうさおてや、ちよも

うさけかふし

12 一 いけなの、よきよら、ゑけか、かなしやの、ゑけり

又 いけなの、たけきよら、ゑけり

又 ●けわきや、しよりおや国、おわとき

又 ゑけわきや、あんしおやこに、おわとき

又 ゑけわきや、さけおらに、ならに

又 ゑけりか、おとりに、ならに

13 一 しましり、くねふ、おや国、くねふ、うらこやはひ

又 おれつもか、たては、わかなつか、たては、うらこやはひ

かつれんのまみなこかふし

14 一 くめす世の、ぬしの、まふに、とのか、よい、うらきらしや、●おかて、かり、おらに
又 けよは、わかとのうち、あちやは、こめす、うちへ

くめす世のぬしのふし

15 一 かつれん、まみ^{にや}こは、やておちへ

又 中ひやくな、こみなこは、やておちへ

又 ひるなれは、^{肝通と通ヒテ}きもか、よいかよて

又 よるなれは、^夢いめか、よいかよて

又 にしみちの、ちやなみちる、いきやしゆ

又 ひる^かみ●ちの、やきみちる、いきやしよ

又 ひ●か道い、やきの、おもいきや、まちより

又 にし道や、ちやなおもいきや、まちより

又 いちや、やけな、中みちちよ、いきやしよ

16 一 あか、おもいきや、あぐて、おちやる、なこのうら、たゝひとり、やたもの、おもいはの、^きあもちやな

又 あか、おもひきや、すまて、おちやる、きせのうら

17 一 おろ^かやへより、おわよりな、^{女ノ男兄弟を云}あけり、あんし
*おろ^かやへより、おわよりな、^{女ノ男兄弟を云}あけり、あんし

又 といし、いちへれ、あしやけいちくれ、^{へナラシ}おなりあち

ア
いちくれ

又 のおたにかいきや、おわにきや、ゑけり、あんし

又 世ごと、せに、せらうせ、せに、おなり、あんし

又 世ごとまは、世さうせ まは、ゑけり、●あんし

又 しまゑれい、国ゑれい、おなり、あんし

又 しまもまは、く●もまは、ゑけりあんし

又 うみちへ、ゑれ、おかちへ、ゑれ、おなりあんし

又 うみちへまは、おかちへまは、ゑけりあんし

又 たまゑれい、つしやゑれ、おなりあんし

又 しなわになや、ひきやになゑけりあんし

18 一 さてしかわ、のほりあめ、ふらん、つよの、ゑけり、きや、みそて、はな、ぬらちゑ

又 さてしかわ、くたりくれ、ふらんつよの

19 一 いときなの、のろの、わらへ、ちやれ、もたちへ、ちやらか、みね、のほて、かみきや、ふねみれは

ゑけり、やうらきや、ことゝ、あんす、いちやけ、おもい

又 うつき、よきふりに、はたよみやか、そて花、みきやら、ひき、たてくかみきや、ふね、みれは

20 一 こゑくもりくすく、こいくあやみやに、なさいきよ、世そろいわちへ

又 あかるい、もりくすく、あかるあやみやに、なさいきよ

21 一 こゑく、世のぬしの、こちや、おりつちに、むつまは、けらへて、かみしもの、みもんする、御くら
又 あかる、世のぬしの

おらおそへふし

22 一 こゑく、もり、おやのろ、おやのろは、もちなちへ、いみやからと、つさけや、まさる
又 あかるもり、おやのろ

23 一 ●^{ちは}ちな、こしたけに、あらへか、あらへ

又 けよのよかるひに

又 けよのきやくるひに

又 かわら、よせき、いちゑて

又 てもち、よせき、いちゑて

24 一 かねくすく、大ころ、大ころか、つかいしよ、このたしま、おれたれ、てわん、あすは、かみく
又 かね城、なてころ、なてころか、つかいしよ

25 一 きこゑ、中くすく、まへ、みれはみなと、これと、あまみ、かねくすく

又 とよむ中くすく、こいし、みれは、たきやの、うみ、これと、きこゑ中くすく

26 一 きこゑ、おへさとに、おれほしやの、もりに、けらへ、あぐもい、おほつ、よと、しよわちへ

又 とよむおへさにと、おれほしやのもりに

27 一 こてるわの、おやのろ、あまみや、のろ、やれは、世そうせち、せちまらて、あすは
又 なかしアのろ、おやおきて、しねかアやのろやれは、世そうせち、せちまきて、あすは

28 一 伊江島の事也 かいふたの、おやのろ、あかるいに、かよて、いみやからと、いみきや、まさる
又 かなもりの、おやおきて、てたかあなに、かよて

29 一 つけん、ゑはくすく、つけん、せやくすく、あたらの、いとおうの、よるい
又 はなるれ、ゑくすく、はなるれ、せやくすく

30 一 けらゑ、すつなりきや、やゝの、きら、しよれはとも、あかなさと、みゝゑ、あわさたな
又 み物すつなりきや、み物きよら、しよれとも、あかなさと、ゑりちよ、あわさたな

31 一 さしき、おやひかわ、せつみよわちへ、からは、いみやからと、おきも、せち、まさる
又 ね国おやひかわ

32 一 さしき賢き器量勝たる美称也いちゑきフル、あちの、あはれ天晴男と云事也、まへゑくか、も国中しま、うちちへ、かけて、ふさよわれ
又 さしき、ちやくにあちの

例

33 一 さしき、かなもりや、あんしのすて、おやくに、さしきよ、ふみあかて、ちよわれ

又 にしのかなもりや

34 一 さしき、おわる、おもひくわ、ま^人ゑらて、よせて、かくらの、くひよもい、はけ^わ●ちへ

又 ねくに、おわる、おもひくわ

35 一 ^キ萬代の大ひや門之事也
なわしるの、ちやうに、いきせりしよ、まちよわれ、こかね、^金鑓之事
ちやちよく、せゑなめて、

おまち

又 ねくなわしるに

36 一 さしき、かなもりに、お^わもりは、あすはちへ、こかねの、もちろきよる、きよらや

又 ねくになもり

37 一 ^キ昔大唐へ初参たる人のよし也
てとこんの、大やこ、たうの、みち、あけわちへ、てとこんす、にほんうちに、とよめ

又 てとこんの、さとぬし

^キものかしらの人事也

38 一 ひらた、みち^アありきよか、ことなおい、おれわちへ、さやはの、^清水井之事也
すむさうす、けらへて

又 ひらた、^{モノ}みち^頭ありきよか、ことなoshi、おれわちへ、さやはの、てたなみ、けらへて

39 一 ちへねんもりくすく、あか●るいの、くすく、あんしおそいきや、おもひ、あけの城

又 ちやくに、もりくすく、てたか、あなのくすく

40 一 くてけんの、まちやりきよ、あか、つかね、けらへて、あんしおそいきや、さしなしの、みこし
又 あかるまの、大やこ、あかつかね、けらへて

41 一 あまみやから、とよみ^{よる}あ、ちへねん、もり城、あんしおそいきや、おもひあけの、くすく
又 しねりやから、とよみよる、ちやくに、もり城、あんしおそいきや、おもひあけの、城

42 一 あまみや^から、まほ^くく、ちへねんもり城、けらへて、けらへやり、あんしおそい、みおやせ
又 しねりやから、まほ^くく、ちやくに、もり、けらへて

43 一 やかの、大はまに、やかのなかはまに、ておら、とし、ておら

又 やかの、おい人、やかの、もと人、ておら、とし、ておら

44 一 あかいん、おあつきや、ねはの、おあつきや、くに、なつち、みちへ、うらやめ

又 みやきせん、のほて、とよみ^ア国、のほて

又 ^{神酒也}しけち、いちやせ、もて、^{行ク}いきや、^アつさけ、^御いきやせ、もて、いきや

45 一 きゝゑ、かねまるか、おもひくわの、きみの、あすへは、みほしや、しよわちへ
又 とよむかねまるか、おなりかみの、あすへは

46 一 せりかくの、のろの、あけしの、のろの、天？雨あまくれ、おろちへ、鰲よるい、ぬらちへ
又 うむてん、つけて、こみなと、つけて
又 かつおうたけ、さがる、あまくれ、おろちへ、よろい、ぬらちへ
又 やまとの、いくさ日本國の事也やしろの、いくさ

47 一 うちま、よきなわ、よわちへかみくつかい
又 なたかよきなわ

48 一 きゝゑ、大のろこ、とよむ、大のろこ、あまみきよか、はちめと、もちよる
又 むくき、たい、とらん、たしま、たい、とらん
又 いつしこ、いちゑ、しらん、くはら、いちゑ、しらん
又 のろやちよも、やくめさ
又 ぬしやちよも、やくめさ

49 一 あかるいの、大ぬし、すゑまさり、けらへて、けらへわちへ、ともゝすへ、ちよわれ
又 きゝゑくにせりきよ、せへまきて、けらへて

十六、 44

又 てたかあなの大ぬしすへまさり、けらへて
又 てたかあなの大ぬしよそうせち

50 一 くわいに、おてや、ちよも、おしあけ、おてや、ちよも、あたにやの、あやより、くせより、みらな
又 よこたけの、けにす、まあたけの、けにす

十六、
いぬしのかあし

51 一 くしかわに、おわる、あまとく、ちやらの、おせや、ちやらつい

又 おやくにおわる

又 月よか、たては、よりあ●ひ、ならて、

十六、ナシ

52 一 たいら、まさりきよか、あかはんた、おわちへ

53 一 きやむもり、大ころ、な大ころか、けらへたる、まみはに、あすへく、やちよくめ

又 きやむもりの、中もり、けらへたる、まみやに

十六、いぬしのかあし

54 一 おゑす、とよみ、くに、まみはきや、いちあ、みとしよる

又 おゑす、大かわや、つさけは

十六、まみはきやむもり、な大ころか、けらへたる、まみはに、あすへく、やちよくめ

55 一 おきん、しらとんの、むすめ、あけわひはようこわひは

又 おかしくかまらたむおうは●めえけはひよこはひ

56 一 よなはる、おきて、しろこ、とよたしゆ、あかちやる、まさり、みたれは、^{三人ナリ}かなしや

又 しま中、おきて、みれつな、おきて

又 いなくに、つかい、いなみね、つかい

57 一 きこゑ、よんたむさ、あちゑらて、す、まちよたれ、おもひくわす、かけて、ふさよわれ

又 とよむ、よんた、むさ

58 一 きこゑ、よんたむさ、あかかねの、よなおし、中もらちへ、あんしおそいに、みおやせ

又 とよむ、よんたむさ、あかかねの、よなおし

59 一 ひるの、やしのし、ゑのち、ふつてゐるに、てるまもん、てりよう

又 きな^きゑ、大みやに、きな●^き、ちやうくちに

60 一 てるしなの、まみやに、きみ、けらへ、てつて、世のつほに、おきやかもいに、みおやせ

又 そんとの、まみやに、ぬし、けらへ、てつて

61 一 よなくすく、大やこ、うらおしやの、とよみ、のちまさり、あんしに、おもわれ、

又 たけきやかの、大やこ

62 一 きこゑ、かになおり、いりて、みつこゑは、みつなきやん、まみき、いちやす^{出す}、まくに
又 とよむくになおり

あぐれなのとりのあし

63 一 おたけ、みやてらに、たるか、つる^{する}ならす、ゑのち、おにの、との、やちよ

又 ひかのこひらに

又 せちの、たわる、まつとり、まわさ、たな、いりおとちへ、ゑのち、おにの、との、やちよ

64 一 きこゑ中くすく、まもん、ひろみやに、めつらしや、さらん、てた

又 とよむ中くすく

65 一 あたにやの、もりに、おにの、きみ、おしいて、世かけ、わし、とりよわちやる、まなり

又 きも、あくみの、もりに

又 ひかの、うらの、みかなしの、てたの

又 たかさう、す、さはのはな、あいわる^{アハシ}

*十七二五ミ

66 一 くば^{アハ}ものしきめ、おもろ、とり^{十日}、では、とうさ、みき^{三日}や、はな^はさめ、世かけ、ひやし、みおやせ
又 くわのしか、せるむ^{おもろ也} *か

67 一 きゑゑ、くしかみや、よりたちちよ、くにのね、みきかはし、おや国

又 とよむくしかみや

68 一 きゑゑ、よりたちちや、みきや、ては、とうさ、けよち、あちやむ、みさしけと、はりよる

又 とよむ、よりたちちや

69 一 きゑゑ、はなくすく、とよむはなくすく、きみきや、金物のくすく

又 しまよせか、ちやうくち、せちまさりか、ちやうくち

又 みき、よせか、ちやうくち、さけ、よせか、ちやうくち

又 しま、よせる、みやに、世まさりか、みやに

又 あおりかす、たてゝ、きみかすは、てつて

70 一 きみよし、きみよし、きみの、けらへよる、きよらや

又 きみおそい、きみおそい、きみの

又 やくちや、やくく、ちやや

又 よに、いしふ、きよらは

又 まへふしの、いつこの

又 さに、しらん、いつこの

又 こなけ^{こなけ也}、なけな、よて、きより

又 ぬき、なけな、よて、きよわ^{きより}

又 きみよしきや、まわしす
又 かみにしやか、まわしす、よたま、こころ、よせ、ぬきよわれ

首里天きやすへあんしおそいかなし

うらおそいきたたんよんたむさおもろの御さうし

天啓三年癸亥二月三日

うらおい 52

またん 12
そ

よんたむさ 11

あさとおきて

真和志間切

安里

*おやみかま

天久全

*かま

*じむ

*しよのおやへん

あかいんこかふねたてはる●ふし

1 ー あさと、おきて、おやみかま、かまゑつむ、しよりおやへん

又 あめくくち、おやとまり *人名

又 なはとまり、おやとまり

きみなしのふし

ナニヘ

2 ー あめく、^{より}おそいのろの、かけてかけふさい、しよわれ

又 あめく、よりみちへ、のろの

あおりやへかふし

ナニヘ *ナハ

3 ー あめくにやか、おもろ^{養ル也}けらへ、あや^{遊び轍}つみ、うちちへ、なり、あからせ

又 あめく、^{*12、}しきや、^{*1、}せ^{しか、より}るむ

ナ
ノ
ン

きみなしあし

4ー あめく、まひやり、よもい、こねり、なよる、かなし、けさ

又 いちへき、まひやり、よもい

きみなしあし

5ー あめく、まひやり、よもい、^{御座する也}おりて、しらにや、みちなる、おむかい、せらまへ

又 いちへき、まひやり、よもい

澤
岬
連
綿
切

しよりおわるてたこおもひくわのあすひかふし

6ー たくし、たらなつけ、てたよ、つや、このいしと、かねとやに、てたしひつかは、とす、世は、ちよわれ

又 世かる、たらなつけ

しよりおわるてたこおもひくわのあすひかふし

7ー たくし、たらなつけ、おかむすか、いやは、き^ちやらつは、きやう、かまくら、とよませ

又 よかる、たらなつけ

しよりおわるてたこおもひくわのあすひかふし

8ー たくし、たらなつけ、^お国、こほり、うらの、かす、とよまぢへ、つかい

又 よかる、たらなつけ

御日

しよりま人のふし

9 一 つるゝにくけ、あちはゑ、きよらや、ほゝら

又 よかる、にくけ

又 中にしの、ゑらひ、ま入

又 あさとれ●^に、世とれに

又 すつとみは、はやとみは

又 ゑなん、わたて、ちいたか、わたて

ゑなん
ちいたか

つるゝにくけしやふし

屋富村祖 浦添間切

10 一 おゑやふその大や、大やこか、かない、のほて、いけは、てたか、ほゝり、よわちへ

又 またよしの、大や、大やこか、さ^{責也}け

又 けおの、よかる、ひに大やこか、さ^{責也}け

又 けおきやかる、ひに

つるゝにくけしや、たまつ、むきやん、うちみちやりかふし

11 一 くすくまの、大や、またよしの大や、きやうの、うち、あま^{嬉しく競之事也}やかせ

又 けおの、よかる、ひに、けおの、きやかる、ひに

又吉村

今ハ廢絶シテナシ延享九年
ニハ確カニアリ(証名青嶋)

うらおそいのおやのろかふし

12 一 くすくまの、まみやに、しより、あくかへ、もちなちへ、こかねの、またまの、みしやく

城間 浦添切

又 またよしの、まみやに

うらおそいのおやのろかふし

13 一 くすくまの、まやまとう、けに、み^物のおわちある、よりかさか、けおの、より、みもん

又 またよしの、こしや^{たて}てい

うらおそいおもろのふし

14 一 くすくまの、こはもり、こはもりむ、よむいきやす、こしやて、もいか、よしみよわは、

ゆとしより^わ

又 またよしの、こはもりも

きみかなしかなし

伊祖

15 一 るぞるぞの、いしくすく、あまみきよか、たくたる、くすく

又 るぞるぞの、かなくすく

きみかなしかなし

16 一 るぞるぞの、いしくすく、いよやに、おそて、ちよわれ

又 るぞるぞの、かなくすく

ねいしまいしかふし

17 一 ゑその、いしくすく、のほて、みちやる、まさり
又 ゑその、かなくすく

きみかなしかふし

ナノヘ

18 一 ゑその、（恵祖てたの幼少の御名也）いくさもい、月のかす、あすひ、たち、ともくと、わかてた、はやせ

又 いちへき、いくさもい

又 なつは、（神酒之事也）しけ●ち、もる、

又 ふよは、御さけ、もる

あおりやへかふし

19 一 うらおそいに、ちよわる、きいゑ、おわもりや、あち、けす、すたしやり、ちよわれ
又 よのうちに、ちよわる

あおわやへかふし

すておや国
ステック
産子

20 一 きいゑ、うらおそいや、あちの、すて、おや国、ともとすゑ、とひやくさす、ちよわれ
又 とよむ、うらおそいや、しよの、すて、おや国

あおりやへかふし

21 一 きいゑ、うらおそいや、しまの、おや、やれば、もちやらの、（御買之事也）かまへ、つて、みおやせ

又 とよむ、うらおそいや

あおりやへかふし

22 一 うらおそいに、ちよわちへたま、みしやくさし、ゆわれは、もうちやらは、みちへと、うらやみよる
又 世のつちに、ちよわちへ

あおりやへかふし

23 一 ききゑ、うらおそいに、しまの、より、なよれはちかわすは、よりいて、やりなおせ
又 とよむ、うらおそいに、くにの、より、なよれは

あおりやへかふし

24 一 ききゑ、うらおそいに、てた、きよら、つかい
又 とよむ、うらおそいに

あおりやへかふし

25 一 ききゑ、あちおそいや、うらおそいに、ちよわれは、てたか、ほこり、よわちへ
又 とよむ、あちおそいや、世のつちに、ちよわれは

にしひか 西東

東恩納ヒガオンナ

ヒチヤオンナ

あおりやへかふし

26 一 ききゑ、うらおそいに、にし、ひかの、かまへ、もち、よせて

又 とよむうらおそいに

おきやか、へともいかふし

27 一 きみし、あちおそいや、わしと、ふきよ^ふわる、かみ下世^よそわて、ちよわれ

又 うまみちやも、わしけ、わしと、ふきよわる

又 のりみちやむ、わしけ、わしと、ふきよわる

あおりやへかふし

28 一 うらおそいの、ね国、もんと、つも、こかね、うらおそいと、ありよる

又 とし^アきの、まくに

あおりやへかふし

すてみつ
噴水^{デミツ}カ

29 一 うらおそいの、ねくに、いちへみ、^{薬水川也}さうす、けらへて、すてみつよ、おきやかもいに、みおやせ

又 とかしきの、まくに

あおりやへかふし

30 一 き^アらうらおそいに、あち、あうてす、まちよたれ、とも^アすあ、おもひくわす、ちよわれ

又 とよむうらおそいに

中々すくよくよのふり

36 一 うらおそいや、うらおそいや、みきいとあるな、さけとあるな、たや、たや、きや、きや、よらせによか、ちへ、つかい
又 とかしきや、とかしきや、さけと、あるな、みきと、あるな

うらおそいのおやのろかふし

37 一 かにむ、かに、さふろこか、うさししよ、かみてたの、せち、もちやり、ちよわれ
又 かにむ、かに、まころこか、うさししよ、

又　うらおそいむ、ちよわちやれ、よのつちむ、ちよわちやれ

あおりやへかふし

又　とよむ、おわもりや

あおりやへかふし

39 一 うらおそいの、おもいくわ、もくとちよわれ、おもひくわ、のち、まさり、もくあぢ（註）するこの事也しちや、しよわれ
又 世のつちの、おもひくわ
又 ちやうはちは、なしよわちへ

棚原 西原間切

あおりやへかふし

40 一 きゝゑ、たなはるに、ゑいにせや、とものと、あんしおそい、はやせ
又 とよむ、たなはるに

あおりやへかふし

41 一 きゝゑ、たなはるに、なつ、ふ^よむ、わからす、あま^キへて、しけち^キ、ちよ、もりよる
又 とよむ、たなはるに、ふよ、なつも、わからす

あおりやへかふし

42 一 たなはるの、てたの、おもひくわはなしよわちへ、しまよ、あつけ、わちへ
又 しむの、世の、ぬしの、おもひくわは、なしよわちへ

さわぢこか、おもものふし

嘉数 宜野濤間切

43 一 かゝすもりくすく、ねたて、もりくすく、なよくら、てつて、あまやかせ

又 けおの、よかる、ひに

又 けおの、きやかる、ひに

又 あらかみは、てつて、おりなくは、てつて

やまきたらすゑさへかふし

44 一 かゝす、すつなりや、あめそこの、こかね、みやに、おれほしや

ア^く (朱ニテ)

又 み物、すつなりや

うちいてはきはちこかふし

45 一 かくす、すつなりや、おれほしやの、あめそこ、おれて、おれなおさ

又 み物、す

つなりや

しよりもり、ちよわる、みかなしの、てたかふし

46 一 わかいきよか、てりや^が、もちつきに、ともとの、かたな、うちの、とよみ

又 わかいきよか、かかす、たうはるに、ともとの

大にしのたらつかふし

謝名 宜野ウシ間切

47 一 いちへき、ちやなの、おきて^(アナシ)、よ、ちや国、ちやなの、おきてよ、ちやへにあらふ、ちやなの、おきて

又 いきやる、おやのなちへかよ、いきやる、あさかなちへかよ

又 とき、とりやり、なちへるに、^(時とる事也)、とりやり、なちへるに^{かよ}

うちいてしよりふくしきようかふし

48 一 ちやなのしは、ねいしやり、たうのしく、なむちや、こかね、もち、みちある

又 おなとのは、ねいしやり

大にしのたらつかふし

49 一 ちやなの、ひやりよもい、いちへき、ひやりよもい、かなてあんしに、おもわれて

又 ちやなのよかり、しま、うみ、ちかさ、あもん

又 とぎや^い、いよ、つく、いぎよも、たこつく

又 うみむ、おやもん、^{海の事也}たきやも、おやもん

大にしのたらつかふし

50 一 ちやなの、せときよらせめうち、かねまる、うらきつしや、かにある

又 きとむなわれ、^いともしおもかけの、ともし

又 中くすく、みれは、しらみちよ、みみれは

又 しら、ぬ^のも、はあて、ま、ぬのも、はへて

うらおそいものかし

51 一 きわんの、のろの、あさもりに、おれわちへ、しま、かねて、あんしおそいに、みおやせ

又 ねのしまの、のろの

うらおそいものかし

52 一 きわんの、てたの、よほし、みね、ちよわちへ、大だ、かち、みよれは、^{稲之草爪生茂たるをいふ}しろちやねの、より

なひく、きよらや

宜野濟聞切 伊佐村ト
有

又 ねのしまのてたの

てんかす五十二

たいらのとのかふし

53 1 きこゑ、きみとよみ、せたか、きみ、とよみうちへ、みもん、きみ

又 きたたんの、みやに あかなぎの、みやに

又 たまよせ^か、まへに、よりたちが、まへに

又 もくちの、つゝみやそくちの、なりあふ

玉代勢 北谷蘭切

ちやうや、おあまのしかふし

54 2 きたたんに、おわる、うらの、世のぬしの、せきよ、めつらかて

又 けおの、世かる、ひに けおの、きやかる、ひに

又 大みきは、つくてさかくらは、たてゝ

又 かつれんに、おわる、おもひせき、つかい

又 なおか、ひき^いちへ、物、なおか、てつと、もの

又 いとおどしの、よろいまいと、おどしの、よろい

又 おれと、ひき●いちへ、物、おれと、てつと、物

きこゑきみなし、かみ下の、天とよみかふし

55 3 たらこ、にしとのよ、世かる、にしとのよ、おやつきしよ、よは、ちよわれ

又 にしの、世れぬしの、まさりきよは、なしよわちへ、おやつきしよ
 又 ●^きたたんの、てたの、おもひくわは、なしよわちへ
 又 けおの、よかる、ひに けおの、きやかる、ひに

いちはななおもものふし

56 4 一 あんの、つのけたち、あんの、おやけたち、くもか、いきつきに、とよみ、ゆわる、たかさ
 又 きたたんの、てたの、ちやらもいは、なしよわちへ
 又 ちやらもい賦か、けにしよ、きみし、てた、みちやる
 又 おもひくわの、けにしよ、

やきから、のほる、しちやたかや、よろいかふし

砂辺 北谷蘭切
 アそへへの

57 5 一 ●^きたたんの、世のぬし、あかひやし、うたは、世そわて、ちよわれ
 又 そたへの、つかい^{我か}あかひやしう、たは

きたたんの世のぬしあかひやしうたはかふし

オシバシバ
 御側剣

58 6 一 きたたんの、世のぬし、^{脇差の事也}おさは、つるき、さし、よわちへ、なしやり、ふは、い、よわちへ
 又 アそへへの、つかい、おさは

くしかわの、ちやうくちのふし

屋良 北谷蘭切

59 7 一 やらの、へたとのか、おみてつり、よりこ、あまへ

又 さすの、へたとか

しよりちよわちへからかふし

60 8 一 やら、まはりきよか、しより、おやくに、おてから、あるなど、ある

又 さす、まはりきよか、わかおやくに、おてから

しよりま人のふし

61 9 一 くすくまの、あかす、みやに、けらへ、よしみや、あしやけ、けらへ、

又 やらき、たけの、ひかさ、まつに
よ

大さとのけすのおもいあちのふし

62 10 一 あさど、おきて、おやみかま、いくさ、せち、たかは、しまうち、とよむ、あちおそい

又 けおの、よかる、ひに^{*人名}

又 やらの、ちやうくちに

又 ^モ大け、^{読谷山間切の名所也}たうはるに

和
宇
慶
中
城

さはちきよかふし

63 11 一 あかす、めつらしや、あかす、きみ、きよら、あまへなよろ

又 さすのろ、わきくろ さすかさじ、しられ、

又 もちろきやは、さたけて ひしよろきやは、したけて

*
 島入船
 船
 船
 船

いちの、なすりきか、さばなふらなかな

64 12 ー や●のいふさまに、やらの、はまはまに、あしま おやせ国 おやせたくみ

又 かみの、おしかさと、しもの、やりかさと

又 みも、うちかわちへ、みそて、やりかわちへ

又 いみやわ、なわ、ふてつ いみやわ、いとふてつ

てんかす十二

あおりやへかふし

65 1 ー よんたむさ、おわる、おもい、またちよもい、けらへ、世ほり、ちよわちへ

又 (さきよたに、
 巖谷山之事也
 おわる

ふるけものろのふし

66 2 ー おぎの、たちよもいや、たう、あきない、はるちへあんしに、おもわれ、

又 いちへき、たちよもいや

ふるけものろのふし

67 3 ー おぎの、たちよもいやなみいちへ、との みちへ、きよもん

又 いちへき、たちよもいや

ふるけものろふし

68 4 おぎの、たちよもいや、いちへき、たちよもいや、かかみ、いろの、すてみつよ、みおやせ

又 おぎとけすうまた、しけち、かめ、はわて

又 おぎとけす、あすた、御さけ、もち、はわて

*牟那国の龜久御節
もたやかし
も

ちやなのよきよらかふし

69 5 大にしの、たう川、たらつ、みちへつきや、おきむ、(き嬉しきこと云事也)さかやかせ

又 さきよたの、たらつ

ひるやしゑのしかふし

70 6 大にしの、たらつ、たらつ、みちへつきや、きむ、ひろく、もちやり、けすに、あちよ、おもわせ

又 さきよたの、たらつたらつ、みちへつきや

ひるのやしゑのしかふし

71 7 大にしに、●とよむ、きこゑ、なよくら、あか、まふる、あちおそい

又 さきよたに、とよむ

又 しらし、おてやちよも みちよ、おてやちよも

又 いちやちや、きしかめは、たるか、てう、おむうな、きこゑ、なよくら

又 かなちや、きしかめ・は

又 いりきや、(ほうかめは)ろめ

※ 濁点は鉛筆

又 やつら、ほろめかは
*屋面

瀬那覇 読公簡切

へどのおやのろかふし

72 8 一 せなは、とむかちか、に、せなは、あけり、しやか、よ
又 せなは、かわひらに、せなは、いしよ、ひらに

大にしのごらつかふし

73 9 一 ひるの、やせのし、あち、ふつくろに、おやひやし、あまへて、つかい
又 けおの、よかる、ひに けおの、きやかる、ひに

大にしかたらつかふし

74 10 一 ひるの、やせのし、あち、ふつくろに、みちへ、おて、いき、せらに
又 けおの、よかる、ひに けおの、きやかる、ひに

ちやうおやおまれしかふし

喜名主

75 11 一 きなわ、大みやに、きなわ、ひろみやに、てたきより、つかい

又 けおの、よかる、ひに

又 けおの、きやかる、ひに

てんかす十一

首里天きやすへあんしおそいかなし

勝連真志川おもろの御さうし

天啓三年癸亥三月七日

かつれん 28
くしかわ 20

四ノ

おとしきままりかふし

1ー あおりやへか、みやの、とよみ、あんし、ほごる、おやみやの、とよみ

又 せたかこか、みやの、とよみ

又 かつれんの、み^きやの、とよみ

のちあかりかふし

2ー おもろ、とよ^のはしよ、すゑの、くち、ま^のしや、かつれん、ゑらひやり、ちよわれ

又 せる●も、との^はひよ

又 きゑゑ、あまわりや、くにの、おとしや、なし、よわちノ

はな^のき^のかふし

3ー かつれんの、あまわり、とひやぐさ、ちよわれ

又 き^{心高き}もたかの、あまわり、

又 かつれんと、にせて

又 きもたかと、にせて

伊計島 離島
平安座島
今ハ与那城間切
濱島 今ハ濱比嘉
トイフ

さはちきよかふし

4 一 きこゑ、おわもりきや、おれて、あすひ、よわれは、かみしもの、そかなすか、み物

又 とよむ、おわもりきや

又 けおの、よかるひに

さはちきよかふし

5 一 せだか、おわもりや、おれて、ふれまへは、しま、かよて、くる、やに

又 きみの、おわもりやきや

又 ま物よせ、ちよわちへ、いけはなれ、ちよわちへ

又 さすか、おそい、ちよわちへ、はま^{アスミニテ}ひやもさ、みやれは

さわうきよかふし

6 一 ^そかつれんのあまりおなちやを申也
あかる、もちつききや、きみの、もちつききや、きよらやの、たまの、みうち、みちやる

又 たかへすの、こらか、むかいたる、ほこらしや

又 あか、なさいきよ、こらか

こゑしのかふし

7 一 かつれんはわ、てた、むかて、ぢやう、あけて、またま、こかね、よりやう、たまのみうち

又 きむたかの、月むかて

又 かつれんわ、けさむ、みやも、あんし、ゑらふ

勝連ハ日ニ向ウテ門ヲ建テ、千珍万宝寄リ集リ会ウ玉ノ御殿ナリ也

きむたか(ハ美祿)月ニ向ウテ門ヲ建テ、

勝連ハ古往今来按司ヲ扱ヒ良主ヲ得ト也

あおりやへかふし

8 一 かつれんの、あまわり、たま、みしやく、あり、よなきやか、まぐら、これと、いちへ、とよま

又 きむたかの、あまわり

又 しましりの、みそての、あんし しましりくにしり ●八島知リ国知リ ニテ

又 くにしりの、みそあんし

又 しより、おわる、てたこす、たま、みしやく、ありよわれ

さはちきよかふし

9 一 かつれんの、たゝみきよ、ま物よせ、みやらに

又 きむたかの、たゝみきよ

又 あや、てもち、はきよわちへ

うちいちへはふるけものろふし

10 一 つるこ、たしよ、よりよれ、みるめの、かなしや、すま人は、よりよれ

又 かつれんの、てた

うちいやはふるけものろふし

11 一 もちつききよ、かみにしやか、おれたち、しまの、うらに、とよませ

又 かつれんの、たゝみきよ、しられゝ

又 きむたかの、たゝみきよ

又 はまかわの、なみ、うちくち、おれわちへ

うちいちはふるけものうとし

12 一つるこ、にくけしや、よかる、にくけしや、あけ、人おそて、みよわれ

又 うまかなし、めしよわれ

又 あからかさ、さしよわちへ ？の下原書 曖昧ニ付不審ト付テアリ

やまくすくけらへきすらもちりかふし

13 一 もちつきや、けさからの、ぬしきみ、あすへく、やちよくた

又 もちつきや

又 もちつきや、はまかわに、おれわちへ

又 もちつきや、なみ、うちくち、おれわちへ

又 もちつき、よは、あからしに、あわしする (アナシ)

又 よないしやり、あかくちやに、めいるな

やまくすくけらへきすらもちりかふし

14 一 かつれんの、とよみ、てた、もうら、とよみ、てた

又 きむたかの、とよみ、てた

又 かつれの、いちや、ぐち

又 きむたかの、かなや、くち

又 かみからは、てる、まはま

又 下からは、はま、かはに

おらおそいかふし

15 一 かつれんの、あまわり、きこゑ、あまわりや、ちやくにの、とよみ

又 きむたかの、あまわり

あおりやへかふし

16 一 せたか、おわもりや、きみの、あまわりや、せちたか、あんしおそい、おやと、しなよわれ

又 かつれんは、けらへて、けらへ、かなしけや

又 きむたかは、けらへて

くしかわのちやうくちかふし

17 一 おとゝきみ、きみまさり、あんしの、つんし、おとちや、より、まさり

又 あねの、きみく、しない

あかのこ●^かよくもまたもかふし

18 一 かつれんは、^わなおにきや、たとゑる、やまとの、かまぐらに、たとゑる

又 きむたかわ、なおにきや

勝連ハ何ニカ譬ヘル倭ノ鎌倉ニ譬ヘル 又きむたか(阿摩和利ヲ譬メテ言フ)ハ何ニカ譬ヘル

ふねたてはかふし

19 一 かつれん、しよさくもい、かなし、おなり、ゑけり、ちよわい、^うなしけさ

又 きむたかの、しよさ

あかるいとのふし

20 一 あかるいの、大ぬしきや、まへから、こかね、もちちへ、^あおよそて、よわい事、みおやせ
又 てたか、あなの、大ぬし

やまくすぐけらぬいきよらのふし

21 一 かつれんは、いきやる、かつれんか、しまのうらに、とよませ

又 きむたかは、いきやる、きむたかか

うらおそいふし

22 一 ひやむさ、かなもりに、いちへき、かみしらたる、しつらいす、ことなおし、かみやれ

又 ねたて、かなもりに

うらおそいふし

23 一 たけ、きよらの、おやのろ、あかるいに、かよて、世の、つほに、おきやかもいに、みおやせ
又 けさとの、おやのろ

うらおそいかし

24 一 いけくすく、おやのろ、あや、はし、かけわちへ、しま、かねて、おきやかもいに、みおやせ
又 まちらすの、おやのろ

うらおそいかし

25 一 きいあ、みやくすく、あらひ、いちへの、まかね、しまよりや、まなり
又 とよむ、みやくすく

うらおそいかし

26 一 みやくすく、もりに、けに、み物、おれたる、かみ、あらひきや、けおの、より、しよわ、て
又 けおの、よかるひに

うらおそいかし

27 一 きいあ、みやくすく、しつらいの、のろの、けおの、より、しよわれは、いつ、こたしやり、ほこて
又 とよむ、みやくすく

うらおそいかし

28 一 ひいあ、よなき、かわ、て、もちよす、き、いちへて、くに、てもち、おきやかもいに、みおやせ

おとしきみまほりかふし

29 1 くしかわの、ちやうぐち、あらはあす、とよみ、きくやれ、よれ

又 おやぐちの、ちやうぐち

又 あか、おとしちや、すまら

又 よしたると、すまら

おとしきみまほりかふし

30 2 せいある、くに、きよらか、くしかわに、あよみ、ぬら、しよわちへ

又 けらへ、まぬくに、きよらか

おとしきみまほりかふし

31 3 たらもいや、とくらしや、あまへ、よら、ほり、よら

又 あか、つゝみ、ちやくる、わし

又 たか、とりよら、たか、うちよらもと、ふみ、あかりか、あす

あさよらやかふし

32 4 1 きいあ、あらはあす、とよみ、あらはあす、あまる、のち、しちや、ちやに、みおやせ

又 月じよ、あまり、よわれ 月しよのこりよわれ

いへりのりかふし

なへ

335一 きこゑ、ぐしかわに、しけちな●は、まさうす、しまよの、かほう、さうす、いちへみ^泉

又 とよむ、くしかわに

うらおそいふし

346一 あすの、もりくすく、やつまたか、よりたち、かみ下、み物する、よりたち

又 あす、つちくすく

又 あてき、かたはるに

うらおそいふし

357一 あすの、もわくすく^り、あすの、つちくすく、あすは、かほう、くに

又 あす、のろの、おやのろ、けおの、よかる、ひに、しけち^{神酒也}、もわに^り、まへて

うらおそいふし

368一 あす、のろの、せりきよ^{人名也}、かね、のろ、のあし、ねふさ、やくめさ、しよりもり、こかね、つて、みおやせ

又 けおの、よかるひにせりきよ、かねのろの

月てたのてゝかゝちよわれかふし

379一 あすの、たうしま、●あすの、おやくに、きもたか、もり、おとと、みちやる

又 これる、かつれん^{是也}

又 これる、きむたか

うらおそいふし

38 10 一 ^{大瀬村の古名也}てくらんのろの、くに、てもち、みおちへに、かつれんす、くに、てもち、くすく

又 わらいきよ、のろの

又 あんしおそいきや、おより かつれんに、おれて

やまきたらすさへかふし

39 11 一 てくらんの、たうし、たちち、ちやめ、かしや、みつめ、てた、あくちよ、あまい

又 てくらんの、みやに、あかるいの、みやに

又 わか、てたよ、つかい、世の、ぬしよ、つかい

こへしのかふし

40 12 一 くしかわの、わか、おやぐに、きよらや、この、いけら、わしや

銀

又 まちらすの、^{くしかわの返し言葉也}かみにしや、こかね、おとん、なむぢや、おとん、きよら

こへしのかふし

41 13 一 ^{人名也}たいら、まさりきよか、あか、はんだ、のほて、おほた、はる、みやれば、しらちねの、^やより

なひく、きよらや

又 とよむ、まさりきよか、

安慶名 具志川間切

こゑしのかふし

42 14 一 あけなはの、もりに、しま、たるめ、なるし、しま、たるめ、あんしおそい、みおやせ

又 あけなはの、もりに、くに、たるめ、なるし

こゑしのかふし

43 15 一 おきんの、しらとん、しらとんの、むすめ、あおうはひ、やうかふはひ

又 おなしく、かはら、たむ、おうはめ

又 おなしく、またま、たむ、うはめ

こゑしのかふし

44 16 一 くしかわに、おわる、あめとく、ちやらめの、おそいや、ちやらつ

又 おやくに、おわる

こゑしのかふし

45 17 一 せいやる、くに、きよらか、なさの、けらへ、かみ、かけて、なさいきよ、とよませ

又 けらへ、くに、きよらか、

又 わが父が御為と云こと也
あかなさか、おより

又 もりやいこか、おより

十四

いあしのかふし

46 18 一 おあす、とよみ、くに、●御さけや、いちへみど、しよる

又 おあす、^{手傳也}きくやれ、くにまみき^や、いちへみど、しよる

いあしのかふし

47 19 一 くしかわの、おや、おたね、うけら、たな、とよて、うけた、事、ちやくに、とよみ、おたね

又 おやくにの、おたね

おたねハおたね●アラヌカ^ニた^ニう

おたね
おうねナラン

うらおそいふし

48 20 一 てくらんの、のろの、たち、たち、しや、めかしや、みちへよかる、おらに

又 あかるいの、みやに、たら、しちや、めかしや

恩納より上のおとこ御として

おきかへともいかなし

1 おもろ、こたらつか、ひやくさ、おみしやく、さしよわは、^{そ敬也}やくめさよ、うも、いき、のかす
又 きんの、よの、ぬしに、ひやくさ、みしやく

ナ
ノ
ハ

2 おんな、やきしまよ、あふそ、や^きしまよ、もろと、ようす、ちよわれ
又 あさとれか、しよれは、ようとれか、しよれは

いちのなよりとよかなし

3 おんな、●やきしまよ、あふそやきしまよ、^{タンヂヨ}たりす、とよみ、きかれ、
又 おんな、おてや、ちよも、あふそ、おてや、ちよも
又 しもの、とよみ、^{しもの}いくさ、きかれ、いくさ

きみかなしおし

4 おんな、やきしまよ、あふそ、やきしまよ、みれとも、あかん、てた
又 けよの、よかる、ひに、けおの、きやきやる、ひに

うちいてゝとしま島そいかふし

5 ー なこのこてゐるは、あけ

又 みもん、こてゐるわ、あけ

みやきせんきこへてたのふし

6 ー なこ、さかい、おや、さかい、茶居ルカラ きよもの 太師開ケテ我ヲ入レヨト也 おやちやうあけて、わん、いれゝ

又 おきて、にしや、もの、いにしや、きよ、もの

又 まはねじの、たれ、しけち、きよもの

又 あわ、やぶの、せに、たまり、きよもの

安和屋部 名蘭切

かねくすくのろのまふりよりおまりふし

喜瀬全主

7 ー きせのしや、わか、おとちや、いみや、ある、みや、おたる、けよから、しばしミみらに

又 まちり、こいて、なこのうち、

伊指 羽地蘭切

8 ー るさしかの、みやに

かふすか

又 かふツすカみ、みやに

きみかなしふし

かわかみ

9 ー いちへき、かわかみや、おくク人、やれは おもひ、てるひ、よらちへ

又 ちやくに、かわかみや ●

源河 羽地間切

あおりやへふし

10 一 ききゑ、うちたかか、けらへたる、まはねじ、あんしおそいか、(威種事成を云)くむこ、よせ、くすく
又 とよむ、●ちたかか 真羽地

きみかなしふし

11 一 きんか、人名也なりよもひや、せち、たまくすく、やまとの、おにる、かにある
又 いちへき、なりよもいや

きみかなしふし

12 一 きんか、なりよもひや、みやきせん、のほて、とくみつは、けらへて、とくみつは、
御へらの、とよみ

又 いちへき、なりよもいか

あおりやへふし

池城 羽地間切

13 一 ききへ、いけくすく、みらんすか、ほるび、ききゑ、おに、みちやすが、まはり
又 とよむ、いけくすく

ちやうかねよらめきかち

14 一 へとの、よなりせりきよ、うらの、なりとよみ、うては、よりかさか、ほいて、
又 やわれ、なりせりきよ

せなはともかちかあし

15 一 へとの、みせりきよよ、やよろ／＼、あま／

又 やわれ、みせりきよか

やよろ／＼かあし

16 一 へとの、おやのろか、よまにや／＼、ほいら

又 へとの、のろかよ

又 へとの、大はまに

又 へとの、なかはまに

おもろねやかりかおきなわとよみまもんうちかあし

17 一 へとの、あすもりに、おせや、へとの、きり／＼に、おせや、おせや、やち／＼へ

又 けよの、よかるひに、けよの、ま／＼る、ひに

へとのしやれわかあし

18 一 へとの、た／＼、おもひ、た／＼、けに、み●ちや／＼、だに、みちや／＼

又 おんな、やきちまよ、あふそ、やきちまよ

へとのた／＼かあし

19 一 へとのし、やれは、た／＼、やれは、のりや、よかるもの

又 わかうらの、ならい、わかくにの、ならい
又 あわ、みき、つくて、キミきみ、みき、つくて

祢ハアニ祢

黍御酒

あおりやへふし

20 一 きこゑ、みやきせんに、これる、くになか、☆あち、もゝあち、おそてちよわれ
又 とよむ、みやきせんに

なこさかいかふし

21 一 みやきせん、きこへ、てた、天より、下の、わうにせ、てた
又 とよむ、くに、きこゑ、てた

あおりやへふし

22 一 きこゑ、みやきせんに、あち、ゑらてす、まちよたれ、かけふさい、よのふさい、しよわちへ
又 とよむ、みやきせんに

あおりやへふし

23 一 まかねこか、おもろどか、キミでゑは、三日間有てとうさ、みきや、ハはさ、よもち、ひやし、みおやせ
又 きこゑ、みやきせんに、とか、てゑは、とうさ

*十四ノ六十六

あおりやへかふし

24 一 きゝゑ、みやきせんに、大みきの、みち、あかる、くすく

又 とよむ、みやきせんに

あおりやへかふし

25 一 きゝゑ、みやきせんに、やせの、はななきに、よれは、すてゝ、よむ、いきのかず

又 とよむ、みやきせんに

かつれんのとよみてたかふし

26 一 ちとこのか、さゝけ、そるて、おや、ひやし、あまゝ

又 くしけんの、かない

くしけん

うちいへはしようちわちへからかふし

27 一 なかひや、にや、おわる、あれにしやよ、いみやと、おれて、なよる

又 せとひや、にや、おわる、あれ

ナノノ

よせきみのふし

28 一 うちま、おきて、おにさんゝゝゑ、け、ほゝら

又 あゝたり、かくちやま

又 くわげ、うゑて、なてす、●うゑて

又 つゝみ、つくて、(被の異名也)なりよふ、つくて

よきはらへかふし

ナ
ノ

29 一 しません、あけしの、のろの、もと、ひやし、うちあかる、なみぎよ
又 なりひやにやの、せとひやにやの、おや、のろ

ちよちやうへましかふし

30 一 せりかくの、のろの、あけしの、のろの、おり、あけたる、きよらや

又 いし、へつは、このて、かな、へつは、このて

きみかなしふし

31 一 きぎゑ、うちたかか、人名也おわくたて、ちよわちへ、つゝみ、ごへ、きと、ほしや、しよ、わちへ

又 とよむ、うちたかかの、おつお、アたけ、ちよわちへ

ナ
ノ

32 一 きぎゑおしかさか、嶋のかしらくの女房やちよくたに、しらせ、わらひきよ、なしふ、おしかわて

又 とよむ、おしかさか

きみかなしふし

33 一 いちへな、人名也しらこもい、ちやくにしろこもい、わかまつか、とくらし、ひやにや、中くすく
中くすく、のほて

うちいではねいしまいしかふし

34 — きりぎり、みやぎせんに、さほね、よふゆふよ

又とよむ、みやきせんに

きたたんのよのぬしかふし

35 —
てゐるか、ひやし、てうちちちや、よりきや、きよらや

又おもひきや、ひやし

きたたんの世のぬしかふし

36 一
てゐるひきや、ひやし、これと、おや、おもひ、ひやし

又おもひきや、ひやし

きたたんのよのぬしかふし

37 ー
 てるよも~~ひ~~ひ
 かなし、あか、おな^ここやてや、うちちへ、
 りか、^{カサ}おらまし

又おもいく、かなし

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 84

38 — いちの、なよりきよか、さはね、よらふきよ、なち、けらへの、とよみ

又 きこゑ、みやきせんに、さはね、よらゑさよ
又 とよむ、みやきせん

39 一 てるひ、よもい、かなし おみかうの、めつらしや、てた
又 おもひくかなし

あおりやへふし

40 一 いぢへな、おや、のろよ、おしかきだ、しられ、やへりみや、くりこ、つて、みおやせ
又 ゑひや、のおやのろよ
又 はなれ、おやのろよ

あおりやへふし

41 一 かにきや、おやのろよ、きこゑ、まねこせ、も、てつられ、
又 きこゑ、まねこせ、あがたかべ、おやのろ
又 あかのこよ、すまちやる、ねはのこよ、すまちやる

あおりやへふし

42 一 あかのこか、いぢへな、おて、みれは、みやきせんは、つさけと、もりよる
又 ねはのこか、ゑひやに、おて、みれはみやきせんは

今帰仁宮司ノ神事中ニ伊平屋ヘノ御願アル由彼自方物語レリ

きなわ大みやにてたきうちつかいかふし

43 一 ちやうや、おへまし、かほう、とき、とりひり、ひやくさ、きやめ おほり、しやわちへ

又 るひやの、二はなれ、かほう、時とりやり、

又 ●るひやの、ふうまわり

あおりやへふし

44 一 いゑの、あかるいに、よのつほに、みしやく、おまかない

又 はなれ、あるいにア、かす脱せしす

又 はなれ、おわる、あんは

又 とわけ、おわる、あんは
連方也

しま中おもろのさうし

一ハ、さんてふたしかなし
ねうしの時かふし

45 1 45 一 みやくすく、こりねし、よかる、わかねし、（大人ナシ）こかねし、に、こいや

又 いなふくに、のほて、てたか、まへ、のほて

又 かな、かふと、こいや、かなよろいや

又 あか、おとちや（の一ハ）三人、あかおとちや（の一ハ）四人

一八 2

46 2 46 一 さんご、とよたし、よかる、とよたし、てたきよら、まふる、てた

又大たうの、まへに、おとち、こひつこや、てた、きよら

又 いなふくの、はんだ、よりたちの、はんだ

一八 3

47 3 一 ゑなふくの、よさり、けらゑて、ちよわちへ、みやり、ほこり、よわちへ

又 くにの、ねの、よさり

一八 4

48 4 一 たかかわの、みつの、こすもの、やてや、のきあけ、みつ、かいなて、みつ、せまし

又 おや、かわの、みつは 一八 よさ

一八 5

49 5 一 大きく、おわる、よかけにせ、あちの、みちや、つれか、みも●の

又 くにねおわる

又 いとかす、つかい、ねくにの、つかい

一八 6

50 6 一 大きく、おや、いくさ、ちやくに、とよみ、いくさ、みちへと、みや、あぐむ

あおりやへふし

又 くにのねの、おやいぐさ

あおりやへふし

51 7 一 ききゑ、大くすく、みあかる、ちやう、たてゝ神酒也しけち、もち、よせれハ

又 とよむ大くすく

わなのおもやこかふし

52 8 一 おもゝ、なつらしや、あきと、しなて、かなて、あちよだ、おもわれゝ

又 わなの、あしか、かない

いつかなつたゝしやかふしハ
はハ

53 9 一 ひやくな、うらほ、ふけは、あおりやハ、あんしおせい、まゐらハ

又 わるうらは、うらはゝ、ふけは

又 おれつむ、けもりやか、たては

うらしてゐたてゐいふし

54 10 一 ひやくな、うらしろ、ふけは、うらくと座敷裏ト云、わかきみ、つかいカサナル

又 わかうらは、うらしろ、ふけは

又 てかすは、こはのはな、さきハ、きよら

又 かいハやるは、なみはな、きよら

一ハ
11

中くすくおもろのふし

55 11 一 わなの、おもやこか、みやり、ほしや、ひやくなの、よせもり、^ハかなし

又 わなの、まちやりこか

又 かつお、たけ、のほて 一ハ、みやりほしや

一ハ
12

ひやくなからのほてかふし

56 12 一 ひやくな、から、のほて、ねくに、から、のほて、しま、^ハそるて、ともすへ、みやおやせ

又 しよりもり、ちよわる、おきやかもい、かなし

一ハ
13

ひやくなからのほてかふし

57 13 一 ひやくな、から、かねて、つれる、つれ、^ハかほうお、しより、おやくに

又 さき、よたから、かねて、

一ハ
14

たくしたらなつけかふし

58 14 一 たまくすく、おわる、しまの、ぬし、^ハてたよ、^ハもしまの、^ハふう、^ハまわり、^ハしよわちへ

又 くにね、おわる

又 けおのよかるひに

一ハ
15

こいしのかさしふとの^ハはらかふし

59 15 一 たまくすく、^ハもりくすく、^ハみやこより、^ハもんと、^ハす、^ハちよわれ

又 たゝみき（にハ）、おき、くむ（よハ）に

一ハ、かつれんはいきやるかつれんかふし

しまのうらかふし

一ハ 16 廿一 34

60 16 一 あまつゝは、あめたもす、（廿一ハ）もらね、あまつゝは、あいつまは、いきやかせ

又 あまつらは、くれたもす、（廿一ハ）もらね

たくしたらなつけのふし

一ハ 17

61 17 一 たまくすく、おわる、（のハ）いちへき、きよら、てたよ、（よハ）この、かけ、つめて、ちよわれ

又 くに、ねに、おわる、（手）いちはき、（器）きよら、てたよ

一ハ 18

こいしのかさしふとのはらかふし

62 18 一 （見事なりと云事也）くむ、（一ハ）たまくすく、またま、もりくすく、大きみに、しられ

又 みちへりきよか、（神人事也）さしふ、かみにしや、もつき

あおりやへふし

63 19 一 おきやかしか、おもろ、（宝剣手金丸の異名也）つくしちやら、おほいて、たまがはら、ふうくに、よせくすく

又 おきやかしか、せるむ

又とよむ、あやてにきき

あおりやへふし

69 25 一 よたいきよか、おもろ、つくし、ちやう、おほへて、けらへて、ともしと、ちよわれ

又 おきやかしかおもろ

70 26 一 やかふ、のろ、けはや、のろ、すへと、こち、たちよる、とよみ

中へくおもろのふし

71 27 一 いとかすに、おわる、てた、あそのでた、みちあ、みち、まわて

又 やかふ、かち、あよも、てた

うちいちへは大きとのてたのふし

72 28 一 いとかす、てた、あちおそい、あまへて、^かかる、ちよわれ

朱三テるノ上ニ☆トセリ

又 けよの、よかるひに、けよの、きやくるひに

又 うらふきに、つかい、かなはに、つかい

(うちいては一ハ、
大きとのてたのふし

73 29 一 いとかす、てた、^{んし}あちおそい、てた、よ^世そわ^ハる、ひやし、うちちあ、みおやせ

又 けよの、よかるひに、けよの、^るきやく^ハるひに

又 くらま^るちあ、^ハみとろはも、たちあ

又 わたさは、わたせ、^ハくたさは、^ハくたせ

※ 濁点は朱筆

一八、
30

うちへいてはあ^ハる^ハへとのふし

74
30

一 ちねん、おわる、わかきよ、やくめさ、ふなこし、こましや^ハ

又 さきに、おわる、わかきよ、わかいきよ、やくめさ、ふなこし、こましや

又^ハ さきに、^ハ うわる、わかいきよ、

雪月朔日巳之刻に

~~ア~~ あかいんこかかみしもとよむ おやもいみおとのけら

~~又~~ ねはんこかかみしもてためつらしや やまてすしてた

ア ニナシ

原本ノ表紙ニセル反故紙ノ字ヲ書き加ヘシナリ

首里天きやすへあんしおそいかふし

しま中おもろ御さうし

天啓三年癸亥二月七日

さんことよたしかふし

1「みやくすく、こかねし、ゆかる、^{*こかねし}こかねしに、こいや

又 あなふくに、のぼて、てたが、まへ、のぼて

又 かなかふと、こいや かなよろい、こいや

又 あか、おとぢやの、三人あか、おとぢやの四人

みやくすくこかねしかふし

2「さん、とゆだし、ゆかる、とよだし、てだきよら、まはるてた

又 大たうのまへに、おとち、こいつめや、てだきよら

又 あなふくの、はんた、よりだちの、はんた

あさとおきておやみかまのふし

3「あなふくの、世、まさり、けら^へんて、ちよわちへ、みやかり、ほこりよわちへ

又 くにのねの世まさり

うらおそいおもものふし

4「たかかわの、みづはよた^こす、ものやてや、ぬき^あけ、みづ、かいなで、みづせまし

又 おやかわのみつは、よたす

きこへきみなしおそてそろへわちへかふし

5 一 大くすく、おわる、世かけにせ、あちの、みちや、づれが、み物

又 くへのねに、おわる

又 いとかずの、つかい、ねくにの、つかい

あおりやへかふし

6 一 大くすく、おやいくさ、ちやかに、とよみいくさ、みちへど、みあぐも

又 くへのねの、おや、いくさ

あおりやへかふし

門立テ、

7 一 きこへ大くすく、み、あがる、ちやう、たてゝ、^{神酒}しげち、もちよせて

又 とよむ大くすく

わなのおもやへかふし

8 一 おたゝ、なつくしや、あさど、しなて、かなて、あんしに、おもわれゝ

又 わなの、あら、かない

又 ひやくな、はつ、かないあさど、しなて、かなて

いつかなつたしよかあし

9 ー ひやくなわ、うらばあ、ふけは、あおりやへ、^{父也}なま、まふりよわちへ

又 わりうらは、うらばへ、ふけは

又 おれつむ、けもりやか、たては

うらしろたちよいあし

10 ー ひやくな、うらしろ、ふけは、うらくと、わかきみ、つかい

又 わかうらは、うらしろ、ふけは

又 てかすは、こぼ、はなまきより

又 かひやるは、なみはな、さきより

中くすくおもろのあし

11 ー わなの、おもやこか、みやり、ほしや、ひやくなの、よせもい、かなし

又 わなの、まちやりこが

又 かつお、だけ、のぼて、みやり、ほしや

ひやくなからのぼてかあし

12 ー ひやくな、から、のぼて、ねくに、から、のぼて、しまそつて、ともろすあ、みおやせ

又 しよりもり、ちよわる、おきやかもい、かなし

ひやくなからのほてかふし

13 一 ひやくな、からかねて、つれる、つれ、つれて、かほう●お、しより、おやくに
又 さきよた、から、かねて

たくしたらなつけかふし

14 一 たまくすく、~~わ~~おわる、しまのぬしてだ、とものとの、ふまわり、しよわち
又 くのにねに おわる
又 けおのよかるひに

こいしのかきしふとのかいらのふし

15 一 たまくすくもりくすく いみやこ、より、もと、世す、ちよわれ
又 たくみきよに、おきよくむに

かつれんはいきやるかつれんかふし

16 一 あまつとは、あめたもす、むらね、あまつとは、あいつまは、い^いきや かせ
又 あまつとは、くれたもす、^{むらね}ね

たくしたらなつけかふし

17 一 たまくすく、おわる、いち^ききよらてたよ、此世、かけつめて、ちよわれ
又 くのにねに、おわる、いち^ききよら、てた

ナシ
62

こいしのかきしふとのはらかふし

18

一 くむこもり、まゝまもり、くすく、大きみに、しられ、

又 みちゑりきよが、さしふ、かみにしやが、むつき

又 あかべとり、せくと、まむが、とりせと

ナシ

ナシ
63

あおりやへかふし

19

一 おきやかしぎや、おもろ、つくしちやら、おほいて、玉がはら、ふうくに、よせくすく

又 おきやかしぎや、せるむ

こいしのかふし

ナシ
64

20

一 くむこもり、まだまもりくすく、かねがなし、きみぼこり、けらへて

おちやるま

ナシ

又 ひやくな、うちに、ゑらて おちやる、ま

又 さきよたうちに、そとて、おちやる、ま

あおりやへかふし

ナシ
65

21

一 くむこもりくすく、おわもりは、●てつて、世、まゐる、ひやしうちちへ、みおやせ

又 またまもりくすく

又 きいへ、あが、なさきよ

ナセ 66

あおりやへかふし

22 一 きいゑおわもりきや、くももり、おれわちへ、なちや、こかね、もちろ、きぬ、きふや

又 とよむおわもりきや

ナセ
又 あやの、てたは、なだけて

ナセ 67

あおりやへかふし

23 一 きい●あ、あやの、てに、きや、すへの、ひやし、めつら、ひやし、みおやせ

又 とよむ、あやの、てにきや

ナセ
又 くももりおれわちへ

ナセ 68

あおりやへかふし

24 一 きいへ、あやの、上に天きや、くももり、おれわちへすへの、ひやし、めつら、ひやし、みおやせ

又 とよむあやの、天か

ナセ
又 ななきよもいが、み御まへ

ナセ 69

あおりやへかふし

25 一 よだいきやが、おもひ、つへちやら、おほて、ひひて、とよむ、ちちわちへ

又 おきやかしきや、おもひ

ナセ
又 きいゑたまへすへ

せくく不定
十七 70

26 一 やかぶ、のろけはや、のろ、
又 たけこらが、かみにしやが、せくたち、
すへとてち、たちよわる、とよみ

中くすくおもろのふし

27 一 いとかすに、おわる、てだ、ゑぞの、てだ、みちゑ、みちまわて
又 やかぶ、かち、あよむ、てだ

十七 72

うちいては大きとのてたのふし

28 一 いとかす、てだよ、あんし、おそい、てだよ、あまへて、かちよわれ
又 けおのよかるひに

又 けおのきやかるひに

又 うらさきに、つかい、がなはに、つかい

うちいては大きとのてたのふし

29 一 いとかす、てだ、あんしおそい、てだよ、世、そわる、ひやし、うちちへ、みおやせ

又 けおのよかるひに けおのきやかるひに

又 くらまる、もたちへ、みとろは、もたちへ

又 わたさは、わたせ、くださは、くだせ

うちいへはあかるあとのあし

30 一 ちあねん、おわる、わかきよ、やへめよ、ふないし、いしあや

又 なまに、おわる、わかきよ

おもねやかりかひやゝまかふし ゆかる かなくすく

31 一 せしきよ、かなくすく、おもやげの、くすく、てだが、ほごり よわちへ

又 いとかすの、ねくに、たまくすく、まくに

おもやげのくすくのあし

32 一 せしきよ、かなくすく、よかる、かなくすく、玉よせ、くすく、てだす、世わ、ちよわれ

又 いとかすのねくに たまくすくまくに

明治廿八年三月十四日

語学材料

随々庵主

第拾卷

ちゑねんさしきはなくすくおもろ御さうし

尚豊王御代

天啓三年癸亥二月七日

第十九

さしき 19
ちあねん 18
はなぐすく 13

はなぐすく

具志頭間切 波名城

うらおそいのおやのろかふし

1 一 さしき、いぢ^モへき、あぢに、にら人は、これと、きむ^モあぐみ、てた^{かなしや也}

又 さしき、ぢやくに、あぢに

うらおそいのおやのろかふし

2 一 さしき、いぢあき、あぢ^{の、}●●世^お●●^おそうお、もりに、よそわる、^{御城殿中之御座の事也}くにつぽに、ちよわれ

又 さしき、ぢやくに、あちの、

うらおそいのおやのろかふし

3 一 まこ^{人名也}あしが おもろ、きむ^{*足}たるに、にせ、あんし、ふうくに、そろゑて、みおやせ

又 さしき、いちへき、あちの

又 さしき、ぢやくに、あちの

うらおそいのおやのろかふし

4 一 さしき、かなもりに、わか、きよらか、けわい、あすび、みもん

又 にしの、かなもりに

又 まいと、かずに、おわる

うらおそいのおやのろかふし

5 一 さしき、かなもりに、おもしろ候時つゝみにて拍子打事也あやて、うちちへ、なよれば、せのきみと、きみと

又 にしの、かなもりに

又 かみしむの、眼前の事也みるめ

うらおそいのおやのろかふし

6 一 さしき、かなもりに、せのきみは、てづて、大きみしよ、しろわめ

又 にしの、かなもりに、誰かと云事せのきみは、何れかと云事てづて

又 せのきみや、誰かと云事たるが、何れかと云事大きみや、づれが

うらおそいのおやのろかふし

7 一 さしきから、人名也もだいきよ、きちあ、やぢよ、しらよきやは、おきやかもいに、又トアリテ 別行ナルベシみおやせ、アアレドねく

国から、もだいきよ

又 おれづむか、わかなつか、たては

うらおそいのおやのろかふし

8 ー さしき、かなもりや、あめもらん、かなもり、さしき、よせめらてしちやる
又 にしの、かなもりに

うらおそいのおやのろかふし

9 ー さしき、なわしろに、むかしの事也あまみやから、佐敷小松司おほ御水の事也すでみつ、すてみづよ、おぎやかもいに、みおやせ
又 もたい、なわしろに、

うらおそいのおやのろかふし

10 ー さしき、なわしろに、誕生の事男子の事すで物ま物まだまのとりやかかる、能か事と云事也みしやこ
又 栄へる事也もたいなわしろに

うらおそいのおやのろかふし

11 ー さしき、ぢやうぐちに、誕生の子かなく事鬼々わしくする事に云かけた云おにわしの、子か手足差上勤はたらく事をいふ也はねうち、する、みもん
又 にしの、ぢやうぐちに

うらおそいのおやのろかふし苗代大や庭ニ御座有盡石之事也

12 ー なわしろの、みやに、父親の事也月しろは、てづて、つきしろす、なさいきよもい、まふりよわめ
又 けよのよかるひに

与那嶺村々々々

うらおそいおやのろかふし

13 一 手前代大や事也 となみねの大や、たけつばに、つくて、おちへ、あんしおそい、ぎや、しま、うちする、(い失也) やころ 矢ナラン

又 なわしろの大やたけ 竹つほの事也

うらおそいおやのろかふし

14 一 手前代大や事也 となみねの大や、あや、ひよとり、あすばち、いみやからと、いみぎや、まざる
又 手此人佐敷小崎之御父也 (なわしろの大や、あや

うらおそいおやのろかふし

15 一 さしき、手瀬崎の事也 よりやげの、もりに、しまよせる、つらみの、あるあぢ

又 ねくに、より●げの、もりに

中城おもろのふし

16 一 さしき、いちぢぎ、あぢの、ながり、きこゑ、てた

又 さしき、ちや国、あちの

又 てたきしの、うるめ

きこへきみなしのふし

17 一 さしき、なわしろに、勢軍の事也 (せあらは、今日 けお、く、致といふ事也 なへせらに

又 栄へる (もたいなわしろに

又（除かといふ事、百姓男之通称也、フムル也）
 又（されく、ころた、せあらは、今日之事、竝といふ事）

又 とけく、ころた、せあらは けお、くなべ、せらに

うらおそいのおやのろかふし

18 一 さしきから、みさげや、のぼて、やぢよ、世のつぽに、御みしやく、ぬきやげは、のち、まなる、ひやく、

うちちる、みおやせ（献上物の事）

又 ね国から、みさげや、のぼて、やぢよ、世のつぽに、みしやく

うらおそいのおやのろかふし

19 一 さしき、いぢへき、あぢ（正にと云事也、賢き聖賢勝たる云）、まさの、いぢるき、あぢや、おや（和睦之事也）、しなて、しまうち、まさり、よわちへ

又 さしき、ぢやくに、あぢ

うらおそいおもしろのふし

知名 知念簡切

*20 1 一 ちにや、まけな、いきやる（あ、す、臣下也）、あぢや、おて●が、なみしぐ（首里天加那志美御前東シ行幸之御時知名安座實の深などにて御驛夫ども潮をけやく御驛を上行事也）、いぢまちへ、こかせ（イクマチナルベシ）

うらおそいおもしろのふし（人名也）

*21 2 一 くでけんの、わかきよ、わかきよらか、世かほう、みおやせ（人名也）

又 くてけんの、まちやり（ア、リ）

又 けよのよかるひに

久手堅 全

うらおそいおもものふし

*22 3 ー ちゑねん、もりくすく、この、世まさり、よわちへ、しまかねて、あんしおそいに、みおやせ
又 ちやくにもりくすく

うらおそいおもものふし

*23 4 ー ちゑねん、もりくすく、くにつぽに、あちおそいに、みおやせ
又 ちやくにもりくすく ヲノ意ヲ含メリ

又 けよのよかるひに

うらおそいおもものふし

*24 5 ー ちゑねん、もりくすく、のぼて、いけは、てだが、ほこり、よわちへ
又 ちやくにもりくすく

きこへたうやまかふし

*25 6 ー ちゑねん、もりくすく、かみ、(すぢ) *都而世の人をいふ也 甘ぢや、そろて、きみ、はやせ
又 (能く) ぢやくにもりくすく

又 けおのよかるひに

うちいてはおへやあその大やかふし

*26 7 ー ちゑねんもりくすくきよらや、かみ下の、よそい、おどの

又 ちゑねんもりくすく

又 くるかねころか

うちいてはおやふその大やかふし

*27 8 一 ちゑねんもりくすく、ふつくに、よるもり、くすく

又 ちやくにもりくすく

又 けおのよかるひに

くたかあつめなにくせきよらかけおのうちかふし

*28 9 一 ちゑねんもりくすくつきしろは、てつて、なさいきよか、いきよいど、まちよる

又 ちやくにもりくすく

かつれんはてたむかてちやくあけてかふし

*29 10 一 ちゑねんもり、ちやくにもり、うらとよむ、あちかなし、みちやる

又 さふろこが、うれしこが、

又 かわひらに、まいひらに

きこへたうやまかふし

*30 11 一 ちゑねんもりくすくたうのふね、こころよる、くすく

又 ちやくにもりくすく

たいらこしらいかふし

* 31 12 一 ちゑねんもりくすく あまみきよが、のだて、はぢめの、くすく
又 ちやくにもりくすく

たいらこしらいかふし

* 32 13 一 ちゑねんもりくすくかみおれ、はぢめの、くすく
又 ちやくにもりくすくかみが、おはぢめ^ねの、くすく

うらそいおもしろのふし

* 33 14 一 ちゑねんもりくすく みもんくにひちゑり、おわもりに、みおやせ
又 ちやくにもりくすく

うちいてはほいのとりのふし

* 34 15 一 ちゑねん、あつめなに、世う、よりみちへれ
又 あま、あつめなに

又 けおのよかるひに

うちいてはせちとよみせいくさかなし

35 16 一 だしま、おしかさか、とよみよる、おあさど、もり、みちやる
又 たきりおしかさか

廿ノ
33

以下
廿二ナシ

又 なるや、てりやかり

又 かなや、もちつき

又 これる、うらはる

又 これる、あきみよ、とよみよる、おるぞと

*廿四ね

おもろねかりしまたつなかふし

36 17

くだか、あつめなに、さはね、よらふさよ、ちるねんが、みやり、ぼしや

又 きむは、いきよれ、どむ、あよは、いきよれ、どむ

ねいしまいしかふし

廿一 31

37 18

くたか、あつめなに、くせきよらが、げおの、うち、あらさき、やくめ

又 ほか・あつめなに

又 すつはしりつきあけて

ほかまめつめなと手ヲ脱セシテノアサカスカノ島外聞柑アリ
みおやたいりのおもむ御敷紙廿一もウほかまめつめなにて下出ヲアリ

廿 51

うらおそいおもろのふし

38 11

きゝゑ、はなくすく、いちやぢや、もちろかちへ、きみが、けおの、うちる、かに、ある

又 とよむはなくすく

廿 52

うらおそいおもろのふし

39 12

きゝゑはなくすく、さすかさは、てづて、きみが、金うちる、かに、ある

又 とよむはなくすく

廿、
59

40
廿一 うらおそいおもしろのふし
又 とよむはなくすく
我があが、なす、にせたれ、だに、さうせて、ふため、まはり、よわち入

廿、
54

41
廿一 うらおそいおもしろのふし
又 とよむ、はなくすく
我があが、なす、しまの、ぬしに、せたれ
みづ、たて、あが、なす、しまの、ぬしに、せたれ

廿、
55

42
廿一 うらおそいおもしろのふし
又 とよむはなくすく
我があが、はなくすく
あおり、かず、たて、かくらの、けおの、うちる、かに、ある

廿、
56

43
廿一 うらおそいおもしろのふし
又 きいあはなくすくとよむはなくすく
又 さすかさが、きみのあんしの、かねとり
又 やあそ、ころかま、ころかまに、とらしよわ
かま 小也

47
#

うらおそいおもろのふし
44 7-1 きこゑはなくすく、つづみ、おわもりや、くにとよみ
又 とよむはなくすく

58
#

うらおそいおもろのふし
45 8-1 きこゑはなくすく、とよむはなくすく、つづみの、あぢ国^{#んし}とよみ
又 たまとりに、あつる、うら、うしなおちへ

59
#

うらおそいおもろのふし
46 9-1 きこゑはなくすく、もくら、ひき つれる、御くら、^モ佐事^ノ事^ノけらへ
又 とよむはなくすく

60
#

うらおそいおもろのふし
47 10-1 はなくすくたゝ、なしす、かてく、[#]あぢに、おもわれ
又 しもの世のぬしす、まききやか、しよわれ

61
#

なくすくおもろのふし
48 11-1 おきなわ、^{#は}はなくすく、ちやらの、けにや、^オ合^ノして居度と也^オい、い、ほしや
又 おきなわ、はなくすくてた

廿、
62

ちやうや●うへまのしのふし

49
12- たまとりに、^{有也}あつる、うるわしは、なおちへ、うらとよむ、まちらす、つけれ

又 せるしまに、あつる

廿、
63

たつなかふし

50
13- はなくすく、おわる ^(首皇天か那し美御前の御事) ^(みかなしの、てだの、) ^(悪世之事) ^(善世之事) ^{(あま、よ、なす、てた}

又 くにのねに、おわる

廿、ナシ
又 人の、うらの、にぎや、よ、わ●^{イカヌ}るうらの、あま、よ、にぎや、よ、あま、よ、なす、てた

いめすおもろの御なうし

天啓二年癸亥三月七日

第式十

こめす 43

首里大君 5

せんきみ 2 はなくすく 13

十四、⁴ かつれんのまみなこかふしヲ参照スベシ

こめす 米次 摩文仁間切

しよりちよわちへかふし

1 くめす、よの、ぬしの、きみ、くらよ、きみくらす、あんし、はやせ

又 まもん、よの、ぬしの

うらおそいふし

石原 摩文仁間切

2 いしやら、^うたり、くすく、ゆかる、たう、くすく、かみ、てたの、まふり、ゆわる、くすく

又 いしやら、よの、ぬしの、けらへ、たる、御くすく

又 いくさ、よせる、まし かたき、よせる、まし

あおりやひかふし

3 一 よたましきや、おもろ、おかう、かなしけ、すゑ、なかく、よう、もち、よわれ

又 いしやら、世の、ぬしの、まもん、よの、ぬしの

福地 喜屋武間切

うらおそいふし

4 一 まふに、いし、くすく、まふに、かな、くすく、あまつは、あいつまに
又 くるかわの、よいい、いきやかせ、いと、とうしに、みなち

ちやうやかへ●しかふし

5 一 はひら、あつる、御大刀也みこし、ねくに、あつる、つるぎ、よ、そいの、みこし、またまど、てりよる
又 ふくじあつる、みこし、ねくに、あつる、つるぎ

うらおそいふし

6 一 はひら、もり、くすく、いしはしは、このて、よぎ、あかりしよ、てつて、ふさふわれ
又 ねくに、もりくすく

てくらんのたらちへかふし

7 一 *山内の小名也やまぎ、たらすさへ、よかる、たらすさへ、おかう、した^たりやか、きよらや

又 けおの、よかるひに けおの、きやく●^つひに

又 やまぐすく、おわる、いちへき、きよら、あんしの

山城 喜屋武間切

やまきちふし

8 一 やまぎ、たらすさへ、よかる、たらすさへ、もと、ちよわれ、みおとん
又 しまよせは、つくて、なとよせは、つくて

やまきおまののふし

13 一 やまきし、すばし、うちよせれ、かきよせれ

又 かねくすく、わかおや国

にしないのふし

14 一 やまきおまののふし、あかる、もつつき、きみの、きよき

又 ふくし、おわる、ねくに、おわる、よのぬし

あかる、もつつき、きみのふし

15 一 やまきにやか、すはしきやおもつ、にし、かない、よせて、また、よくまなる、ひか、かない

ま、よせて、ちよわれ

又 ふくし、おわる、ねくに、おわる、世のぬし

たまへくあまつへりふし

16 一 やまへくすく、けら、きよら、もりに、くによせ、けらへる、きよらや

又 ましや、かすに、さり、よら、しちへ、みよれは

又 あかくちやか、せるまか、ゆいつき

やまきおまののふし

17 一 やまき、たらすさへ、ゆかる、たらすさへ、おや、おもひくわ、おもひ、しよわちへ、あけ、ほら

又 大さとの、てたと、おゑす、世の、ぬしと、

きたたんのよののしかふし

18 一 やまくすく、たゝみきよ、まちやよす、けすれ、いしらこ^{石垣也}、けすたる、きよらや
又 いし、おうの、このて、かな、おうの、このて

うらおそいふし

19 一 やまくすく、たゝきよ、かみ、すちや、そろて、あまへ
又 いちへの、なよりきよか

うらおそいふし

上里
喜屋敷切

20 一 せやるくに、おそいきや、おゑさと、もり、おれわちへ、もゝと、あかり、ふみ、あかて、ちよわれ
又 けう、有くに、おそいきや、

又 けおの、よかるひに けおの、きやくろひに
又 なおりよは、さたけてあまへよは、さたけて

ふるけむのろのふし

21 一 きしん^{きしん} おおひつじ、ひひやの、せるむ
又 とよむ、おゑやふし

真壁間切 真壁村

ふるけむのろのふし

22 一 ききゑ、うゑきと、もりに、やちや、みつめ、てた

又 とよむ、おゑきとに

たよんなりみねかふし

23 一 まかび、たうひよもい、ゑかう、にきやか、おかう、ならて

又 大さとの、てたよ、さくら、いろの、てたよ

あおりやへかふし

24 一 まかびおわる、ね国 おわる、よのぬし、もしま、しまうちちへ、とちやけれ

又 まかび人、ゑらひ、よわちへ

又 おきて、ゑゑらひ、よわちへ

又 なは、みなと、はし、わたちへ、みちへ、わたちへ

又 なは、わたて、いなそ、みね、よど、しよわ

あおりやへかふし

25 一 ききゑ、大さとに、ころ、すな、たまわより、よれ

又 とよむ大さとに

あおりやへかふし

26 一 きこゑ、大さに、きこゑつくし、ちやら、とやり、ふさゆわれ

又 とよむ大さに

又 とよむ、つくしちやら

もゝとふみあかりかふし

27 一 大さとの、てたの、てた、きよら、あんしの、みかなし、てた

又 さくら、いろの、てたよ、またま、いろの、てたよ

あおやへかふし

28 一 あかす、きみおそいや、みやかねより、もりに、かみ下、そろて、みおやせ

又 きこゑ大さに

又 とよむ大さに

29 一 きこゑ、大さに、たまの、みつまわり、もゝつれ、ぬちへ、もろち^{うち}へ、みおやせ

又 とよむ、大さに

又 こしやて、なつこもい

あおやへかふし

30 一 きこゑ、大さに、みもんする、あすひ、とよめは、み^すずか、まさり

又 とよむ大さに

又 ともゝそか、なかに、やもゝそは、ゑらて

けらへひやうふかふし

31 大さとの、けすの、おもひ、あち、かみ、てたよ、つほゝしやり、ちよわれ

又 しましりの、けすの

あおやへかふし

32 大さとの、とよみ、もりくすく、よかけわし、とりよわちやる、まより

又 さすかさが、きみの、あんしの、かねとり

又 なかへ、つちへ、くもい、つらへ、まう、とり

うらおそいやさけとあるなかふし

33 大さとは、みきゝに、ゑ、け、よ、そわて、ちよわれ

又 大さとの、さけくに、

きせのしかふし

34 かねくすく、のろの、まより、よわる、おとまより、やへめさ、やまど、いんさ、よせうや

又 くにかねの、のろの

おもたかふし

35 一 がなは、とよみ、みちや、わしけ、くまたかの、やり、ふさよわれ
又 うらさきに、とよみ

うらおそいふし

36 一 がなはもり、とよみ、もりくすく、なよせりきよ、まきよの、かす、てはわいへ
又 あかかかいたまか、かいおとちやむ
又 ぬすと、みやす、かくと、みやす、とたらめ

しよりま人のふし

37 一 つるこ、にくけ、よかる、にくけ、きよらや、ほころ

又 かなは、おきて、とよみ、おきて

又 あさ^アねなの、はま^マさき

又 まい、ひきやり、かちや、さげて
又 あち^アは、つかい、ちや^チは、つかい
又 あち^アは、つかい、たい^タらに^ニつ^ツや^ヤぬ
舞^マギ^ギヨ、紋^{モン}下^ゲケ^ケテ^テヨ

うらおそいふし

38 一 うらさきの、たいらに、つとみ、うちへ、あすへは、あ^アの^ノし、たいら^タし、な^ナめ
又 さきよ^サたの、たいらに

うらおそいふし

39 一 にしの、よの、ぬし、大みねの、つかい、あまふて、輝也かゝ、ちよわれ

又 けおの、よかるひに

又 けおの、きやくろひに

あおやへふし

40 一 大きてか、おもろ、しま、よりや、まさり、かくしかね、みちやる

又 たらこもいか、おもろ

又 ましけつに、ちよわちへ

●さはちへきよかふし

41 一 やらさ、大つかさ、あかごろよ、みまふて、かくら、きやて、とよて

又 やらさ、わかつかさ

又 せいくさ、おしたては

又 いぐさ也はいらおしたては

ふねたてはかふし

42 一 あかのこか、大さと、いちへ、大里の、おもひ、いちへの、てた

又 ねはのこか、しましりにいちへ

又 しろつもい、ましい、みちやる

八へ

ふねたてはかふし

43 一 あかのこか、ねはのこか、もうちやらの、物様の事也ふれ、おもひ、てた

又 大さとは、さとからる

又 かてしかわ、みつからる

首里大きみきやおもろのさうし

四へ

以下七ふしハ六ノ首里大きみきやおもろのさうしニ同シ 四下セシハ第四ノあおりやへさすかさのおもろ双紙ニ出タルモノト校定セシ也
あちおせいしよしれかふし

44 一 しより大きみきや、とよむ、くにおそい^{きや}や、く^四に、ふさて、ちよわれ

又 けおの、うちにもとて「も^四ちる、うちに、もとて

又 なさいきよもい、あちおせい、「なさいきよもい、た^六みきよ

六ノト大方同シ唯
やハか もちるハ あよか
ならてハからわ よりハゆか
てハや なてハあ

又 あまこ、あわちへ、ならて「みきやう、あわちへ、ならて

又
点カケタルトコロハ皆又ノ字ヲ添ヘテ別行ニ立テタリ

又 あけま、とし、ならは「むかう、とし、ならは

行ノ中ゴロニ●点ヲ付ケタル処ニハ三行共 句読アリ

又 きみてつり、ほ^四り、かみつかい、このめ

又 けおとまに、よりおれや、あかあひの、よりおれ^やて

又 よりみちへか、おより、せちよせか、お四なおさ

又 おれらかず、まふら、あすばかず、かいな^四てら

四へ

45 一 しより、大きみきや、すあ、あらひやり、おれわちへ、きみきや、せち、もちよる、^四なちへ、

みおやせ

六二同ジ
唯あんしおそい 六ノニハニツ井あちおそいトアリ

又 とよむ、くにもりきや、ませゑらひやり、おれわちへ
又 しよりもり、ちよわる、ゑそにやすへ、あんしおそい
又 またまもり、ちよわる、てたかすへ、あんしおそい
又 みもん、^{四ナシ}うちの、まみやに、くにあかりは、あふらちへ
又 かわるめの、みうちに、きみ、しない、あふらちへ
又 きこへ、大きみちよ、ゑりちよ、やりかわちへ

あおりやへかふし

ミ
ハ

46 一 しより大きみきや、このゑり^アの、よりおれや、す^オへに、きやめ、まちよく、ちよわれ

全

六ノニハ・ニ行ヲ一行ニセリ

又 とよむ、くにおそいきや、このきらの、つきおれや
又 たゝみきよ、きもはへて、あすて、
又 みもん、きよら、あふらちへ、おほつ、^{四ナシ}たけ、より、きちへ
又 くにおさい、おしたて、かくらもり、ひらちへ
又 大きみに、よしられ、てるかはに、のたてれ

あおりやへかふし

四
ハ

47 一 しより、大きみきや、●よりもり、おれわちへ、あんしおそいしよ、せち、まさて、ちよわれ

又 とよむ、きみとよみきや、●ませねかて、おれわちへ

・ 又 あまみや、から、すゑの、^{四ハ}きみ、やれは

四ノ

又 しねりやから、あいちへきみ、やれは
 又 ^(神人)さしふ、五ころに みまふてす、おれたれ
 又 ^(四む)もつき、七ころに、かいなてゝす、おれたれ
 又 ^(神人異名)もつき、七ころに、かいなてゝす、おれたれ
 又 大ききや、おさうせ、てるかはゝ、のたてゝ

全上六二ハ
 あんしおそいしよ ノそノ下ニ、句読アリ
 ・二行ハ一行
 もつきハ むつき

あおりやへふし

48 一 しより、大ききや、しよりもり、おれわちへ、あんしおそいしよ、せち、まさて、ちよわれ

又 とよむ、くにおそいきや、またまもり、おれわちへ、

全上六二ハ

あんしおそいしよノよハゆ

・二行ハ一行

又万曆三十五年云々ノ序アリ 四三モアリ

又 あんしおそいか、おもり、わうにせか、おより

又 きらのかす、おれわちへ、ゑかのかす、おれわちへ

又 おれらかす、みまふら あすはかす、みまふら

あおりやへふし

四ノ

49 一 きこへせんきみきや、なりきよ、おれふさて、なさいきよもい、わうにせ、せち、まさて、ちよわれ

又 とよむ、きみ、とよみきや、いけな、おれなおちへ

全上 六二ハ

へハゑ・二行ハ一行

ハハ三ツ共 わ モハむ はモモ四モ六二同シ

又万曆十五年云々ノ序アリ 四二モアリ

又 みもん、うちの、まみやに、あすて、なおちへ、からは

又 かわるめの、まみやに、ほこて、な●おちへ、からい、

又 さしふ、五ころに、おれ、なおちへ、からは

又 もつき、七ころに、みまふてす、おれたれ

又 しよりもり、ちよわる、あか、なさいきよ、わうにせ、すゑなかく、せち、まさて、ちよわれ

又 またまもり、ちよわる、あか、なはいきよ、わうにせ

あおりやへふし

四へ

50 一 ききゑせんきみや、すへとまへて、おれわちへ、あんしおそいに、しまる、いのち、みおやせ、るハカ、

全六二ハ

るハカ 蓋シヨヲるト觀享セシナラン

又万曆二十五年云々ノ序アリ 四二モア

又 とよむ、きみ、とよみきや、ませねかて、おれわちへ

又 あまみや、から、すゑの、きみ、やれは

又 しねりや、あいちへ、きみ、やれは

又 さしふ、五ころに、みまふてす、おれたれ

又 むつき、七ころに、かいなてゝす、おれたれ

又 大きみきや、おさうせ、てるかはゝ、たてゝ

以下ハ十九ノはなくすくおもろ三同シ 双紙

うらおそいふし

●十九へ

51 一 ききゑ、はなくすく、いちやちや、もちろ、かちゑ、きみか、けおの、うちろかに、ある

るハカ

又 とよむ、はなくす

十九へ

52 一 ききゑ、はなくすく、さすかさは、てつて、きみか、金、うちろかに、ある

又 とよむ、はなくすく

るハカ

又うらおそいおもろのふしナアリ

うらおそいふし

十九へ、

53 一 きゝゑ、はなくすく、あか^{わが}、なさす^{父也}、に、せたれ、たに、さうせて、ふため、まさり、よわちへ
又 とよむ、はなくすく

うらおそいふし

十九へ、

54 一 きゝゑ、はなくすくあおり、みつ、たてゝ、あか、なさす、しまれ^た、ぬし、にせたれ
又 とよむ、はなくすく

うらおそいふし

十九へ、

55 一 きゝゑ、はなくすく、あおりかす、たてゝ、かくらの、けおの、うちろ、かに、ある
又 とよむ、はなくすく

うらおそいふし

十九へ、

56 一 きゝゑ、さすかさか、とよむ、さすかさか、あやわし、よせる、^すなくすく
又 きゝゑ、はなくすくとよむ、はなくすく

ツツケテ
又さすかさか、きみのあんしの、かねとり
又やまてころかまころかまにとらしてわゝ行アリ

うらおそいふし

十九へ、

57 一 きゝゑ、はなくすく、つゝみ、おわもりや、くに、とよみ
又 とよむ、はなくすく

うらおそいふし

十九へ、

58 一 きこゑ、はなくすく、とよむ、はなくすく、つゝみの、あんし、国、とよみ

又 たまとかに、あつる、こら、うし、なおちゑ

・かはり こはう

うらおそいふし

十九へ、

59 一 きこゑ、はなくすく、もくろ、ひき、つれる、つくし、^{御くら}けらへ

又 とよむ、はなくすく

つくし、御くら

うらおそいふし

十九へ、

60 一 はなくすく、たゝなしす、^てかくく、あんしに、おもわれゝ

又 しもの、よの、ぬしす、まなきやか、しよわれ

かくく、あんしハ かてく、あら

中城おもものふし

十九へ、

61 一 おきなわ、はなくすく、ちやらの、けにや、へらい、ほしや

又 おきなわ、はな城てた

十九へ、

62 一 たまとりに、あつる、うるわし、はな、おちゑ、うら、とよむ、まちらす、つけれ

又 せるましに、あつる

ましハしま

たつなふし

又 63 一 はなくすく おわる、 みかなしの、 てたの、 散 に、 や よう、 世 あま、 能キ よ、 世 なす、 てた

別行ツツケテ 又人のうらの、にぎやよ、わかうらの、あま、よ、にぎや、よ、あま、よ、なす、てたトアリ

くめの二間切おもろ御さうし

天啓三年癸亥二月七日

第廿一

*まきよ
ふた

あらかきのもりのふし

1 一 あまみや、みるや、にや、まきよ、ゑらてす、おれたれ、もうすへ、てつた^アれ

又 しねりや、みるや、にや、ふた、ゑらてす、

又 あらかきの、みやに、まきよ、ゑらてす、

又 おき^{祖父也}おふぢかみやに、

あまみるやにかふし

2 一 あらかきのもりに なよしのは、てすて、おもやけ、めつらかて

又 おきおふぢか、もりに

又 なよる、ともかなし、よてこう、物しられ、

又 いちの、おもやけや、たちよりゑより、まちより

あまみるやにかふし

3 一 きみや、おにの、きみ めつけ、しよわちへ、かなしやす、みよわめ

又 さしふ、いつゝ人、

又 あまの、かなしやにす

あまみるやにふし

4 一 よらせきみ、わかいきよ、わかいきよ、きみ、ほどり、ふごりにせ、あかよれ

若人也

又 おもいきみ、わかいきよ

又 かなふくの、わかいきよ

又 くしかわの、わかいきよ

あまみるやにふし

5 一 よらせきみの、みい、きよらや、わかいきよ、わかいきよか、みふしや

又 おもひきみの、みい、きよらや、わかいきよ

又 かなふくの、わかいきよ

又 くし川の、わかいきよ

うちいてかおにのきみにふし

6 一 くめの、よゝすきみ、しのこて、とよま

又 あんしおそいか、みおまへ

又 たゝみきよか、み御まへ

うちいておにのきみにふし

7 一 きこゑ、せたかこか、よかけ、にせさ

又 とよむ、せたかこか

九へ

81 あまみや、みるやにや、よさけ、も^アい^クくと、きみか、まふり、せたな、おぶつゑ、
たまれて

又しねりや、みるやにや、ぬしか、まふり、せたな

76 うちいちへまへあおりやへかち天のせぢちちへかふし
きこゑあおりやへふし

76

きこゑ、せのきみや、とよむ、せのきみや、拾はさめ、みおやせ

又 ききゑ、 あつ^{ア、}おそいや、 とよむ、 あん⁷⁶し^ちおそいや、

又　　うの時の、⁷⁶とき　　てたの、あかて、てりよるやに
あんし

又こかねの、みしやく、またまの、みしやく

又ぬき、あけれ、みしやく、さしあけれ、みしやく

うちいていづかなつたゝしゆふし

廿一、47、

10 — せのきみきや、いやけ、たむき、せんきみしゆ、もと、いやけ、わめ

又きみたかか、いやけ

又
せたかこに、
いやけ

又 あんしおそい、に、いやけ

48
ノ

又 めくかにせや、いやけ
又 おとくにせや、いやけ

きこへせのきみかつとりかわちへふし

11 一 きこへ、せのきみか、おもいの、おきも、とちへ、みおやせ

又 とよむ、せのきみや

又 まこち、^{東風也}かす、ふけは

又 おるぢ、^{順風也}かす、ふけは

又 あらかきの、^{牧也}まきに

又 十^イいろ、すき、よらちへ

おもろねやかりかふし

12 一 きこへ、せのきみや、かみ、ほとけ、^{今也}いみやの、あんしおそい、まふら

又 とよむ、せのきみや

又 まくけすか、みうちに

又 かわるめか、きみきや

よるけものろのふし

13 一 きこへ、せのきみきや、とよむ、せのきみきや、い●つも、あんしおそいす、ちよわれ

又 きこへ、あんしおそいや、とよむ、あんしおそいや

うちいてかおにのきみていふし

14 一 きこゑ、せのきみや、いのり、やり、ちよわは、せのきみしよ、よはにせめ

又 とよむせのきみきや

又 きこゑあんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

きこゑくしかわしけるなほし

15 一 きこゑ、せのきみか、あかん、ま物、みちやま、しまよ、^(アニモ如斯)そつゑて、みおやせ

又 とよむせのきみか

おもとたけつかさ^(こ)あし

16 一 くめの、^{そろ大神也}きみはいや、まゑに、かち、よてこ^{父也}う、なさか、めつらしや

又 おとゝ、きみはゑや、まへに、かち、よてこ^う

又 こむて、とて、みらよ、まゑに、かち、よてこ^う

又 しま、ゑりきや、ほしやす、やへま、しま^(ま)おわちやれ

又 くに、ゑりきや、ほしやす、きちやら、たけ、おわちやれ

又 なかち、あやみやに、ゑん、けらゑゑ、ゑ、あきる

又 うきおほちか、おわにや、ゑん、けらへ、あらまし

又 ^{井之事也}くむさうすや、ちよむ、^{見て}みちゑ、^行いちゑ、いき、のば、まし

又 くだる、つちや、ちよむ、みちへ、いちゑ、^肝あよ、のば、まし

十
ハ

くめのきみは●まへにかちよてこうかふし

17 一 おもとだけ、つかれ^き、くめの、しま、おわちへ、世なおしか、おわちる又 きちやらたけ、つかさ^モ、なさ^{父事也}か、まゑ、おわちる

又 しよりもり、あちおそい、ともゝすへ、あちおそいす、ちよわれ

又 またま、もり、あちおそい、ともゝする

又 やゑま、しま、きやめむ、はたら、しま、きやめむ、ともゝする
八重山嶋の異名也又 いにやくに、きやめむ、はてるま、きやめむ、ともゝする
八重山嶋の異名也

又 なわ、わたちる、いと、わたちる、ともゝすへ

くめのきみはあかふし

十
ハ18 一 おほつ、おて、みれは、さりよこ、しちへ、みれは、あやみ^{清ら庭の事也}やの、めつらしや

又 なかち、あやみやに、ゑん、けらへ、ありる

又 なかち、くせみやに、むか、けらへ、ありる

又 まとよたか、つかいしよ、くめの、しま、おわちやれ

又 あか、ころか、つかいしよ、なさ^モか、しま、おわちやれ
父

又 うきおほちか、世、やてや、もゝかめむ、すへまし、

又 あやみやの、大ころ、あま^{目と目と見合ふ也}、あわちへ、もとらめ、又 あやみやの、ころく、みか^{向顔之事也}を、あわちへ、もとらめ

十一ノ

うちいちへはくめのおおそいかふし

19ノ

一 あらかきの、うきおほち、かもりに、あか^わ、な^父さす、ふため、まきり、よわれ又 大さとの、とよみもり、おれわちへ、あか、な^父さす、

又 大さとの、ねたてもり、おれわちへ、あかなさす

又 あらかきの、いなみね、おれわちへ、あかなさす

又 ^十十いろ、あしやけ、八いろ、あしやけ、このて、あか、な^父さす又 百かめは、八十かめは、すへて、あか、な^父さす又 おもいきみ、けらへきみ、てつて、あか、な^父さすきこゑ大きみかさ^はたけ^れおわちへかふし

十二ノ

20ノ

一 きこゑ、大きみか、おしやたる、世いくさ、あちおそいしよ、世そゑれ

又 とよむ、せたかこか、おしやたる、せいくさ

又 あはれ、かなしきみはゑ、しまうち、してす、もとりよれ

又 あはれ、かなし、きみはゑ、国うち、してす、もとりよれ

又 ^{人名也}もりやゑ、こ、た、ちや国、してしまうち、してす、もとりよれ

又 大ころた、ちや国、して、くにうち、してす、もとりよれ

又 ^舟ゑそこ、かす、^{男人名也}ころたよ、しまうち、してす、もとりよれ

又 みおうね、かす、ころたよ、あおてす、もとりよれ

又 おほつ、きやめ、とよて、あおてす、もとりよれ

十ノ、
ノ

21 ー よなは、わりかねや、すつの、わりかねや
うちい●●はあまみやみるやにかふし

又 くへの、うきよ、くもと、国の、たゝみ、きよと

十ノ、
ノ

22 ー なち、あやみやに、あや●きやね、おし、あい、しよわれ

又 なち、くせみやに、あやきやね

うちい●●ちへはくめのきみはあかふし

十ノ、
ノ

23 ー あまみや、きみはあや、けおの、きみはあや、もと、てつられ

うちい●●ちへはくめのきみはあかふし

又 くしかわの、つかい、かなふくの、つかい

又 いちやちや、くち、おいみき、かなちや、くち、おいみき

又 ~~かなちや~~ちやおいみき まとよたは、しちやけて、あかころは、しろやけて

随ひてナリ

あらかき●●のうちにあかるたゝみかふし

十ノ、
ノ

24 ー あらかきの、もりに、うちあかる、ひやし

又 あか、なさか、もりに

又 けよのよかるひに

又 けよのきやくるひに

又 あちおそいか、み御まへ

又 せたかこか、み御まへ

十一、ハ

うらそいのおやのろかふし

25 一 かねくすく、大や、おもろする、大や、世そう、ひやし、うちちあ、みおやせ

又 くにの、ねの、大や、おもろする、大や

又 けよの、よかるひに、おもろする、大や

又 けよの、きやくるひに、おもろする、大や

又 あちおそいか、み御まへ、おもろする、大や

又 せたかこか、み御まへ、おもろする、大や

十一、ハ

うらそいのおやのろかふし

26 一 かねくすく、ねたて、もりくすく、世まさる、しま、うちひやし、みおやせ

又 くにの、ねの、ねたて、もりくすく、世まさる

又 けよの、よかるひに、ねたて、もりくすく

又 けよの、きやくるひに、ねたて、もりくすく

又 あちおそいか、み御まへ、ねたて、もりくすく

十一、ハ

27 一 ふくじ、^{人名也}きまのし●ゆ、てたよ、みちやる、まさり

又 よかる、きまのし●よ、

又 かさす、わか、てたよ、

ナ
ハ

いやり、とよたしよ、まぐし、とよたしよ、う●らきらしや、みほしやか、ふし
28 一 いやや、とよたしよ、まぐし、とよたしよ、おやより、このて、

又 かさす、わかつてたよ、ま物、わかつてたよ

又 うまの、としきよ物、うまれ、としきよ●物

いやり、とよたしよ、まぐし、とよたしよ、おや●り、このてかふし

ナ
ハ

29 一 いやや、とよたしよ、世、まぐし、とよたしよ、世、うら、きりしや、みほしや

又 はなれ、おるあんは、とわけ、おる、あんは

又 かわはんだ、おかやり

ナ
ハ

うちいちへは、なし●、こてるわかふし

30 一 なかち、ま●ろくか、とよみよる、つかいま●ろくか、けらハ

又 とくよせか、したに、とよみよる、つかい

又 こしあて、はりや、つくて とよみよる、つかい

おもつなよくらかふし

ナ
ハ

31 一 おと、きみまさり、なさか、おもいきみ、あわすれ、たな、なさいきよか、おみかうの、みほしや

又 たま、ばしり、つき、あけわちハ、ちよわちハ

又 たま、やりちよ、おし、あけわちハ、ちよわちハ

又 たま、すたり、まさ、あけわちハ、ちよわちハ

又いと、すたり、おし あけわちへ、ちよわちへ

九へ

きこへ、くしかわに、しけち、なはかふし

32 一 くめの、^{神の事也}さすかさは、なさか、おもいきみ 世そろう、ぐしかわ、けらゑて
又とよむ、さすかさは、なさか、おもいきみ

十、へ

うちいちへは、こゑしのか、さしふ、とのはらかふし

33 一 かさす、ちやらは、たりしよ、とよめ、みれは、みつまわて、
又ま物、ちやらは、たりしよ、とよめ
又なこの、はまに、たりしよ、とよめ
又なこの、ひちやに、たりしよ、とよめ
又やまと、きやめ、たりしよ、とよめ

十、へ

かさす、わかてたの、御みしやくの、きやけかふし

34 一 かさす、わかてたの、てわん、おぎもに、しなわ
又ま物、わかてたの

十、へ

うちいちへはなこのこゑるわかふし

35 一 かさす、わかてたよ、おみしやく、ぬきあけは
又ま物、わかてたよ

*
おんが

又 あおの、はまはまに

又 あおの、いふふきに

又 おと、まぢとよた

又 せさの、おやへもい

あおりやへかふし

36 一 きいゑ、くにおそいか、国てもち、けらゑて、かほう、せち、まゑ、あちおそいに、みおやせは、

まふよわは、もゝすへ、ちよわれ

おもつねあかりしまうつなかふし

十一、

37 一 かてかわの、とのく、にしの、かね丸は、のちすゑの、およは、おきやかもいす、ちよわれ

又 け^およ、ふきよる、まに^{西風}しや、にしの、かね丸は、のちすゑの、およ●わ^は

又 なま、ふきよる、まにしや、にしの、かね丸は、のちすゑの、およは

あおわやへかふし

十一、

38 一 かてかわの、とのく^ア、すつとみす、あちはやはせ

^{朝風}の^{閑と云也}

又 あさとれかしよれは

又 夕風の閑と云也
又 ようとれかしよれは

あおりやへかふし

ナ
ノ

39 ー あんこ、とよたしゆ、もゝあんし、やらはや、ちよむ、あやれ、とよむ、あちおそい

又 よかる、とよたし、もゝあちやらはや、ちよむ

又 きゝゑ、あちおそい、もゝあち、やらはや、ちよむ

又 とよむ、あちおそい、もゝあち、やらはや、ちよむ

あんこ、とよたしゆ、もゝあちやらはや、ちよむかふし

40 ー あんこ、とよたしゆ、よかる、とよたしゆ、おもい、きみ、けらへ、

又 さうきしや、ゑくに、いけくし

うちいちへはかぬくすくのろかふし

ナ
ノ

41 ー あんしのか、くに、いけくし、もりくすく、おれほしや

又 まちらすか、国、いけくし

又 よなはるの、くに、いけくし

又 とろきの、くに、いけくし

又 五たけの、くに、いけくし

又 七たけの、くに、いけくし、あちおそいに、みおやせ

又 おほつ、うちに、ありよる、なむちや、うちに、^あおりよる、かみきや、いのち、あちおそいに、みおやせ

あおりやへかふし

ナ
ノ

42 一 さすかき、くに、おなうちへ、かなふくに、おれうちへ、なさいきよに、みやかの、もり、みおやせ

又 きみの、あちの、国、なうちへ

又 くしかわの、もりに

又 かなふくの、もりに

ナ
ノ

43 一 きこゑ、せのきみか、さいの、はなの、まやいと、みもん

*きこゑの花

又 とよむ、せのきみか、

又 やまと、ゑむせと

又 せたかゝか、まへに

又 けらへこか、まへに

ナ
ノ

おにのきみはあやなさいきよになてかふし

44 一 きこゑ、せのきみか、あやうちへ、とよま

又 とよむ、せのきみきや

又 しより、もりくすく

又 まだま、もりくすく

廿、
409
十一、
61

45 一 よたましきや、おもろ、もゝあんしより、まさりよわ、すへなかく、たまよ、そろへ、はちへ

又 よたまにやか、せるむ

又 きゝゑあんしおそいや ^{十一、61}

又 とよむあんしおそいや ^{49以下、} ^{十一、61} ^{モナシ} あちより、まさりよわ

又 きゝゑ、あちおそいや、もゝあちより、まさりよわ

又 とよむ、あちおそいやもゝあちより、まさり、よわ

うちいちへはとかしきのかねつかふし

廿、

46 一 きゝゑ、あちおそいや、てるかはす、まふれ、まふれよわは、もゝすへ、ちよわれ

又 とよむ、あちおそいや、てるしのす、まふれ

又 きゝゑ、大きみす、あちおそいや、まふれ

又 とよむ、大きみしよ、たゝみきよわ、まふれ

又 あまみや、きみはゑや、あちおそいか、おより ^{御為}

又 しねりや、きみはゑや、たゝみきよか、おより

又 おほつ、せち、おろちへ、あちおそいす、まふれ

又 かくら、せち、おろちへ、たゝみきよす、まふれ

又 かくら、あつる、金すへ、あんしおそいに、みおやせは、まふり、よわは

10 うちいていつかなつたゝのかあし

廿、
10

47 一 せのきみきや、いやけ、たのき、せのきみしよ、もゝと、いやけ、わめ

廿、
11

廿、
45
ノ

又 きみたかゝ、いやけ、(以下10ナジ)
又 せたかこに、いやけ、(以下10ナジ)
又 あちおそいに、いやけ、(以下10ナジ)
又 めくか、にせや、いやけ、(以下10ナジ)
又 おとく、にせや、いやけ、(以下10ナジ)

きゝゑのきみかつとりかわちへかふし

48 一 きゝゑ、せのきみか、おもいの、おきも、11ナジ みおやせ

又 とよむ、せのきみや、(以下11ナジ) おきも

又 まごち、かせ、ふけは、(以下11ナジ) おきも

又 おいぢゑ、かせ、ふけは、(以下11ナジ) おきも

又 あらまきの、牧也ナジ まきよに、(以下11ナジ) おきも、いみやと、世わ、まざる

● 11 ナジ 又 とよむ、あちおそいや、いみやと、世わ、まざる

あおりやへかふし

49 一 よたましか、ナジ おもろ、もゝあちより、まざる、世わ、するなかく、たまよ、11ナジ そろへわちへ

又 よたまにやか、せるむ

又 きこへ、ナジ あんしおそいや

又 とよむあんしおそいや

八重山嶋おもとたけの神の事也

50 一 おもとたけ、つかさゝくめの、しま、おわちへ、よ、なおしきや、おわちへ

又 きちやら、たけ、つかさゝ、なさか、まへ、おわちへ

又 おきなほちきや、おわにや、ゑん、けらゑ、ありろ

又 なち、くせみやに、むか、けらゑ、ありろ

又 まとゆたか、つかい、しよ、くめの、しま、おわちやれ

又 あかころか、つかいしよ、なさか、まへ、おわちやれ

又 おきおほちか、よ、やくイデ

又 たなきよらは、おしうけてふね也

又 ふなゝゝゑらて、のせて

又 てかち、ゑらて、のせて

又 月の、わかきよらか

又 てたの、わかきよらか

くめのこいしのかとりかとりかふし

51 一 くめの、こいしのに、こかせ

又 もゝうら、こいしのに、こかせ

又 あさとれか、しよれは

又 世うとれか、しよれは

又 いちやきよらは、おしうけて舟の異名也

十一、76

かく
かへか

又 舟の異名也
たなきよらは、おしうけて

又 ふなこゑらて、のせて

又 か子事也
てかちゑらて、のせて

又 おきちへ、たてぬい、そゑて

又 ひせちへ、たてぬい、そゑて

くめのこいしのかとりかとりかふし

52 一 くめのこいしのか、やれけ

又 もゝうら、こいしのか

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いちやきよらは、おしうけて

又 たなきよらは、おしうけて

又 ふなこゑらて、のせて

又 以テ
ナシ
てかち、ゑらて、のせて

又 洋中の事也
このとう、まう わしの

又 大と、まう かくの

又 わしや、物、しると

又 かくは、物、しると

又 ちやかねもい、ほこて

ナ
ハ

54

くめのこいしのかくにちやかふし

一 くめの、こいしのか、ふなやれ、ひやし

又 もううち、こいしのか、

又 あさとれか、しよれは

又 ようとれか、しよれは

又 いちや、きよらは、おしうけて、かいきや、のほて、やれ、このへ

又 わかきよらよ、ほこて
又 しよりもり、むかて
又 またまもり、むかて
又 そて、たれて、まうて

53 一 あけの、こしらいや、なたか、こしらいや、てはかり、やり、せめつけて、とよま

又 いちもりか、さきに あいもりか、さきに

又 かな、かふと、きやり

又 かな、よろい、きやり

又 うしあや、たて、とりやり、ぬり、てほこ、とりやり

又 いちやちや、せめつけて、かなちや、せめ、つけて

うちいちへはもんとみあかりかふし

55 一 おきやか、まちよく、もい、おこのみの、たかさ、くしかわ、わくさうす、けらゑて寒水

又 はたみ、まちよくもい、おこのみの、たかさ、くしかわ

又 きゑ、あちおそいきや、おこのみの、たかさ、くしかわ

又 とよむ、あちおそいきや、おこのみの、たかさ、くしかわ

あんことよたしよあちおそいてたとわかてたかふし

56 一 めんこ、とよたしよ、あちおそい、てたの、このみ、よわる、御買之事也かまへ、つむ、せんよせ、*銭けらへ

又 世かる、とよたしよ、あちおそい、てたの、このみ、よわる

又 いしけなは、おきて、あちおそい、てたの、このみ、よわる

又 おみや、みやつちに、おみや、みやさきに、あちおそい、てたの、このみ、よわる

あんことよたしよおもいきみけらへきみかふし

57 一 めんこ、とよたしよ、よかる、とよたしよ、あちおそい、てたと、わかてた

又 きゑ、あちおそいや、とよむ、あちおそいや

又 ことしまの、あちや、よゝ、座敷くにの、あちや

又 見とみちゑと、座敷うら、やみよる 聞きちへと、うら、やみよる

おにのきみは、やもうらのとよむかふし

58 一 おにの、きみは、出帆之事やほら、ひちへ、まちよら

十一、ハ

又 おそい、きみはいや

59 一 きこゑ、さすかさ、おとゝきみ、やれとも、おれるかす、きみはやす、みこゑ

又 とよむ、さすかさはおれる、かす

又 くしかわの、もりに、おとゝきみ、やれとも、おれるかす

又 かなふくの、もりに、おとゝきみ、やれとも、おれる、かす

あおりやへかふし

60 一 きこゑ、さすかさは、よそう、せち、あちおそいに、みおやせ

又 とよむ、さすかさは、よそう、せち

又 くしかわの、もりに、よそう、せち

又 かなふくの、もりに、よそう、せち

十一あおりやへかふし

十一、22

61 一 くめの、こいしのか、もゝすゑ、とよむ、きこゑ、^かもり

又 もゝうら、こゑしのか、^(以テ十一、ナシ)もゝすゑ、とよむ

又 きこゑ、^{あちおそい}か、^(以テ十一、ナシ)もゝすゑ、とよむ

又 とよむ、^{あちおそい}か、^(以テ十一、ナシ)もゝすゑ、とよむ

以下、十一、ナシ
又 ^モせるまゝに、ゆいつちへ

又 せたかこか、み御まへ

又 あちおそいか、み御まへ

又 も^百かめは、すゑて

又 やそ^{八十}かめは、すゑて

又 きみつかい、たりる

又 ぬしつかい、たりる

あおりやへかふし

62 一 くめの、こいしのか、

又 しより、もりちよわる またま、もりちよわる

又 あちおそいか、おより、たゝみきよか、おより

又 ともゝすゑ、ちよわれ、やそ^にすゑ、ちよわれ

又 なかち、^{清ら庭と云事也}あやみやに、みれは、きも、はゑてや、もゝかめも、すへまし

又 あやみやの、^{大男}大ころ、あまゝ、あわちへ、もとらに

又 あやみやの、^男ころゝ、みか、^おあわちへ、もとらに

うらおそいおもろかふし

63 一 きゝゑ、大きみきや、おし^{押寄ル}やたる、せ^勢いゝき、あちおそいす、世そへれ、てらちんの、せち、おろちへ

又 けおの、きみはゑや、てらちんの、せち、おろちへ

又 おもかはの、のろゝ、てらちん、のせち、おろちへ

又 かくら、うちに、ありよる、こかね、うちに、ありよる、かみきや、いのち、みさき、さしよわちへ
 又 かねわか、こひも、すつは、さけて
 又 かね、みさき、なりすつは、さけて

あおりやへかふし

十一ノ

64 一 大きみか、うさしよ、おもかはの、せち、おろちへ、あちおそいよ、まふらて、おれわちへ

又 せたかこか、うさしよ、おもかはの、せち、おろちへ

又 てるかはか、うさしよ、てらちんの、せち、おろちへ

又 てるしのか、うさしよ、てらちんの、せち、おろちへ

又 あまみ^はや、きみ^は●や、てるもは、いきある、さつ、あてか、くも、より、^{出たる}いちなる、またまより、いちへたる
 又 たけ^{峰の}か、くまもとに、もりか、くまもとに、^{伊平屋渡たつ波やなみやれば波る}きしか、くまもとの、^{大波小なみ}大波小なみ

略マンモト三テ 即ち魔下日語也

うちいちへはあまみるやにかふし

十一ノ

65 一 きみよし、きみの、きみよ、ほこり、よわちへあちおそいや、もんと、世す、ちよわれ

又 きみおそい、きみの、きみよ、ほこり、よわちへ

又 きこゑ、あちおそいか、きみよ、ほこり、よわちへ

又 とよむ、あちおそいか、きみよ、ほこり、よわちへ

又 またいらの、あさいよ、^{アに}きみよ、ほこり、よわちへ

又 おとかねの、まころく^{男人也}、きみよ、ほこり、よわちへ

又 のちよかる、まころく、きみよ、ほこりよわちへ

66

一 きゝゑ、せのきみか、ましけすま、つらゑ、しよわちゑ

又とよむ、せのきみか

又 きゝる、あちおそい●や

又とよむ、あちおそい●や

又こみかすの、たかや
かへ

あおりやへかふし

十、
 20
 十、
 87

67

一 おきやか、あちは急や、でわん、おきも、はやさ

又 はたみ、いくさこ
又 ^{十一、20}なかくすくおもい又きまたかのおもい

87 20 以下ナシ

又なかくすくおもい又きもちたかのおもひ
十一、 87 うよ又たまたかおもい又しまおそいのおもい又きかはたみやれば

又おもい、世、よせきみ

又 お●み
や たついつこ

又まみやたつ、いつこ

又
けよのよかるひに

又けよの、きやくるひに

又 あちおそいか、み御まへ

又たゝみきよか、み御まへ

又もゝかめは、するゑて

又やそかめは、すゑて

又 あちおそいよ、はやさに

又 たゝみきよ、●世、はやさに

十ノ
ハ

きこへせのきみきやいつくところわはおれわにかふし

68 一 きこゑ、せのきみや、わかきみ、けらへて、つかひ

又 とよむ、せのきみや

又 あかつ、太刀の事あやはかね

又 あかつ、右同くせはかね

又 たるか、アキさちへ、にせる

又 づれか、さちへ、にせる

又 人名也こしらゑす、にせたれ

又 右同かみにしやす、にせたれ

十ノ
ハ

うちいてはおわもりきやけおのきみかふし

69 一 きみよし、きみの、きみおそい、きみの、まちら、ためより

又 もゝその、位衆妻やちよく、なゝその、やちよく

又 もゝそ、かなかに なゝそ、かな●かに

又 くもゝ、むより、より またま、むより、より

やふつよためはかふし

十ノ
41

70 一 ねうしか、とき、かみのきや、とき、しらたる、いちよアかゝ、こゝろた、あやの、みやし、うちよナちへ、かみは、

またたな^お

又 トラ、うの、とき、かみきや^{かみ}、とき

又 けよの、ときよは、かみきや^{かみ}、とき

又 なまの、ときよは^{かみ}、かみきや^{かみ}、とき

又 せたかこか、み御まへ、ねたて、もりくすく

おとしきまざりかふし

71 おもい、なよくらか、まゑ、さうす^{薬水}、ありちゑは、ゑけ、まより、きく、うらやみ

又 なかち、まごろく^{真男也}か、まゑ、さうす、あかちゑは^ア、きもたか、もりや

あおりやへかふし

72 一くめの、こゑしのか、世の、いきつきの、世の、てもち、みおやせ

又 もらうら、こゑしのか、よのいきつきの、

又 おとしよ、かわ、おれわちへ、世の、いきつきの、

又 わくさうす、おれわちへよの、いきつきの

あおりやへかふし

73 一くめの、こゑしのか、まいと、おとし、けさうり、とよへ

又 もらうら、こゑしのか

又 くめの、あちおそいや

又 とよむ、あちおそいや

あおりやへかふし

⑤、十一、
56

74 一 くめの、こゑしのか、^{お十一、}きも、たか、もりや、くに、まさり、しよわちへ

又 もい、^{十一、ナシ、心高き云なり}こゑしのか、^{お十一、}きも、たか、もりや、

又 くめの、なかくすく^{十一、ナシ、}きも、たか、もりや、

又 とよむ、中くすく

又 十いろ、すき、よらちやおもいの、おきも

十一、ナシ

おもろねやかりしまたつなかふし

75 一 きこゑ、せのきみか、かみ、ほとけ、いみやの、あちおそい、まふら

又 とよむ、せのきみか、かみ、ほとけ、いみやの、おほつ、ゑたまれて

又 しねりや、みるやに、や、世、みき、もらくと、ぬしか、まふり、せたな

うちいちへきこゑあおりやへかち天のせちおろちへかふし

廿、
9

76 一 きこゑ、せんきみや、とよむ、せんきみや、とか、はさめ、みおやせ

又 きこゑ、あちおそいやとよむ、あちおそいや

又 うの、ときの、てたの、あかて、てりよる、やに

又 こかねの、みしやく、またまの、みしやく

又 ぬきあけれ、みしやくさしあけれ、みしやく

のちあかりかふし

77 一 せのきみか、きみよし^が、よかふう、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、てた

又 あまみ、たまちな、おるわし

又 いと、のき^ぬやり、なわめ^ぬ、きやり

又 おて^{御手目}つから、みて^右つから、とりよわ、やり、うちへよわ、やり

*?

あおりやへかふし

ナ
ハ

78 一 しまちりに、あつる、つしやこの、まかね、つしやこ、まかね、たまよ、そろゑて、みおやせ

又 きゑ、あちおそいか、つしやこの、まかね

又 とよむ、あちおそいか、つしやこの、まかね

うちいちへはくめの大おそいかふし

79 一 あまみや、そよめきや、みかなし、^{若人也}わかいきよ、もゝすゑ、ちよわれ

又 しねりや、そよめきやしなて、とよま

又 おそい、きみはゑや、なさいきよに

又 おとかねの、まこゝろ、なさいきよに

又 のちよかる、まこゝろなさいきよに

ナ
ハ

やほらひちへまぢよらかふし

80 一 おにの、きみはるや、もろろの、とよみ

又 おそい、きみはるや、

又 くしかわ、おわる

又 かなふく、おわる

又 なさの、うきよくもか

又 おきなわ、とよむ

又 大くに、とよむ

又 こかねの、みしやく

又 またまの、みしやく

又 ぬきあけれ、みしやく

又 さしあけれ、みしやく

ナ
ハ

うちいちへはするのちにやうるわしかふし

81 一 くしかわの、もりにいなよね、より、みちへれ

又 かなふくの、もりに

又 せもち、おや、たはる

又 わかきよもいか、たはる

又 あちおそいか、たはる

ナ
ノ
ノ

うちいちへはかねくすくおもいくわのふし

82 一 かねくすく、もりに、つくせ、よせれ

又 ききゑ、あちおそいや

又 なさか、けらゑ、みやに

ナ
ノ
ノ

おもろねやかかりかふし

83 一 かねくすく、もりに、もろうら、まちらす、たち、よわちへ、みそやわれ

又 ねたて、かなもりに、もろうら、まちらす

又 なさか、けらへ、みやに、もろうら、まちらす

ナ
ノ
ノ

おもろねやかかりやすゑのちにやうるわしかふし

84 一 あらかきに、おわる、ま物、世の、ぬしの、ま物

又 よさの、くわは、なし、よわちゑ ●^はつの、くわは、なしよわちへ

又 とも^{千人也}●その、いくさ、やも^{八百人}その、いくさ

ナ
ノ
ノ

あおりやへかふし

85 一 くめの、こゑ^{名人也}のか、もろうら、こゑ^{有ル}のか、せこ^{二近}い、きろほし、くにとよみ

又 あやみねに、あつる、うき^{祖父也}おほちか、うゑけ

祖母^{祖母}

又 あやみねに、あつる、うき^{祖父也}はわかうゑけ

又 うねに、おて、うては、大さとに、とよて

又 大きとに、うては、大きにに、とよて

十一、
へ

あおりやへかふし

86 一 たう^{モ人名也}のしか、つかい、きこゑ、あちおそいや、もと、●^世す、ちよわれ

又 たうのちやか、つかい、きこゑ、あちおそいや

又 たうかわに、よど、しよ●わ、きこゑ、あちおそいや、

又 わくさうす、よと、しよわ、きこゑ、あちおそいや

おにのきみはあやちよくいよにやかふし

87 一 くめの、世、よせきみ、いけく、しく、はやせ

あおりやへかふし

十一、
へ

88 一 大きに、とよむ、かねくすく、せのきみ、てつて、^{打はり遊び事}あまやかせ

又 おきなわ、とよむ、かねくすく、

又 あさとれか、しよれは ようとれか、しよれは

又 い●ちや、きよらは、おし、うけて

舟也

あおりやへかふし

十一、
へ

89 一 きこゑ、せのきみか、おれて、ふれまへは、すゑ、なく、せ^世、そろゑて、ちよわれ

又 とよむ、せのきみか、おれて、ふれまへは、

又 あか、なさいきよ、あちおそい、ねいし、てに、おあつく、きやめ
又 てた、なさいきよ、あちおそい、あちおそい、てに、おいつく、きやめ

おもたけつかさこかふし

ナ、ハ

90 一 あから、ともかいや、^{手妙三番ル也}み物、ともかいや、よ、なおしか、おれわちへ

又 くめの、しま、おわちへ、かねの、しま、おわちへ

又 あやみやの、^{男也}ころた、^為たちより、^為より、まちより、^為ニテ居也

うちいちへはあまみやみるやにかふし

ナ、ハ

91 一 あらかきの、もりに、たりるこの、みるやに、つかい

又 うきおほちか、もり、たりるこの

又 おみや、けらへ、わちあ、たりるこの

又 まみや、^へけらわちへ、たりるこの

あんことよたしめおもきみけらへきみかふし

^{人名也}

92 一 あんこ、とよたしよ、^{人名也}も、あち、やらはや、ちよち、やれ、とよむ、あちおそい

又 世かる、とよたしよ、も、あち、よせて、ちよわれ

又 とよむ、くにおそいか、くに、てもち、けらへて

又 くしかわの、もりに、くに、てもち、けらあて

又 かなふくの、もりに、くに、てもち、けらあて

十一、
55

十一、ナシ
うちいちへはきき、おせのきみかつとりかわちへかふし

93 一 国おそい、くにもりか、あすひ、よわは、せたかこか、つかい

又 かてかわの、中もり、あすひ、よりは、われは

又 おきて、やりよは、つかい、やりよは

又 おわる、てやは、あよむ、てやは

十一、ナシ
又 なち、くせみやに、みれは、きも、はるて

又 おほつ、おて、みれは、あやみやの、めつらしや

又 かくら、おて、みれは、あやみやの、めつらしや

あらかきのもりにうちあかるひやしかふし

十一、
ノ

94 一 あらかきの、もりにうちやかる、たふみ

又 うきおほちか、もりに、

又 おみや、けらへ、わちへ

又 まみや、けらへ、わちへ

又 もくかめは、すゑて

又 やそかめは、すゑて

しのくりやはよなれかみかふし

95 一 みるやにや、世、なれ、かみやれは、けわい、つゑけ

又 ●みるやにや、世つき

又 なくすく、おもい
又 ^{心高き事を云}きもたかの、おもい

うちいてはきたたん世のぬしかふし

十一ノ
ハ

96一 あおりやあ、きみの、けらあ、みもん

又 きみおそい、きみの、

又 たにま、おみ事る

又 けにま、おみ事る

又 あかくちやに、ゆいつちへ、国、なおちへ、おれわちあ、なさいきよに

あおりやかふし

十一ノ
ハ

97一 きこあ、あおりやあが、たけ、みつぎ、しまの、つぢ、ちよわれ

又 とよむ、あおりやへか、たけ、みつぎ

又 くめの、なくすく、たけ、みつぎ

又 とよむ、なくすく、たけ、みつぎ

又 けさは、かみか、たけ、たけ、みつぎ

又 けさは、のろか、たけ、たけ、みつぎ

又 かみ、むかて、こうて、たけ、みつぎ

又 のろ、むかて、こうて、たけ、みつぎ

十一ノ 59 廿ノ 3

うらそいおもろかふし

98 一 せんきみか、おれたち、きみよしか、おれたち、もろ、とひやし、うちあかる、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、なけくな、^{十一ノ 廿ノ せんきみしりよりめ}みやかの、もり、みおやせ

以下廿ノ

又 きみの、あちの、国、なおちゑ、かなふくに、おれわちへ、なさいきよに

以下廿ノ

又 くしかわの、もりに、くに、なおちへ、おれわちへ、なさいきよに

又 かなふくの、もりに、せんきみす、しりよわめ

又 てた、なさいきよ、なけくな、せんきみす、しりよわめ

又 あちおそいか、せいやり、よわは せんきみや、けやりよわ

うちいちへはのちあかりかふし

99 一 せんきみか、きみよしか、世かほう、なさいきよ

又 あか、なさいきよ、てた、なさいきよ

又 あまみたま、ちな、うるわし

又 いと、ぬきやり、なわ、ぬきやり

又 おてつから、みてつから

又 とりよわやり、うちよわやり

あおりやへかふし

十一ノ 八

100 一 しましりに、あつる、つしやこの、まかね、たま、●世、そろへて、みおやせ

又 きこゑ、あんしおそいや

又 とよむ、あんしおそいや

101 一 きこゑ、せのきみや、とも^カらすへ、あんしおそいす、ちよわれ

アニテ如斯^アラクハ続キナラン 前紙一枚余スベキヲ直ニ次ノ頁ニカキ又例ニ違^フテ又ヨリ次ノ枚ヘカキシナルベシ

又 とよむ、せのきみか

又 首里、もり、くすく

又 またまもり、くすく

ナ、
67

102 一 きこゑ、せのきみか、いけくと、そろわは、おれら
きこへせのきみやわかきみけへてつかへかふし

又 とよむ、せのきみか、

又 首里、もり、くすく

又 またまもり、くすく

よ
まの
誤ナルベシ

ナ、
ナシ

又 しま^マ、いのち、くにか、いのち、みおやせ

又 いしか、いのち、かねか、いのち、みおやせ

又 かわら、いのち、てもち、いのち、みおやせ

十一、ハ

あおりやへかふし

103 一 しけかけの、のろの、きまもりに、おれて、金すゑ、あちおそいに、みおやせ

又 くのにのねの、のろの、きまもりに、おれて、金すへ

みるやにかふし

十一、ハ
82

104 一 しのくりやは、よなれかみ、やれは、やれ、このゑ

又 しのくりやか、やまと、たひ、のほて、やれこのへ

又 かみにしやか、^{日本也}やしろ、たひ、のほて、やれこのゑ

又 やまと、たひなお、かいきや、のほてか、^{日本也}やれこのゑ

又 やしろ、^{日本也}たひ、なお、かいか、のほてか、^{日本也}やれこのゑ

又 あおしや、てうたま、かいり、^{日本也}のほて、やれこのゑ

又 ふくしや、てうつしや、かみ、^{日本也}やれは

又 みるやにや、^{日本也}いちへき、かみ、^{日本也}やれは

又 みるやにや、ちやくに、かみ、やれは

又 いちゑきり、やりかね、わかこ、さし、よわちへ

又 いちへきり、やりかね、みるな、^{日本也}わかいきよ

又 中くすく、ちよわる、みかなし、わかいきよ

又 しまおそいに、ちよわる、みかなし、わかいきよ

又 あちおそいか、おもひくわ、みかなし、わかいきよ

十一、ナシ

ナ
ハ

たまぐすくもりぐすくかふし

105 ー こいしのか、さしふ、とのはらふ、しまてん、くにてん、みおやせ

又 こいしのか、むつき、とのはらふ、しまてん、くにてん、みおやせ

又 しらけおゑて、きよらけ、おゑて、から、しまてん、くにてん、みおやせ あつし

おそいす、かけわれ

くめのきみはあかふし

ナ
ハ

106 ー おほつ、おて、みれは、さりよう、しちへ、みれは、あやみやの、めつらしや

又 なかち、あやみやに

うらそいのおやのろかふし

107 ー ほのころか、もちよろ、けよの、うち、おや、ひやし、みおやせ

又 かみにしやか、もちよろ

又 かなや、さきはちへ、いちへ

又 みるや、さきはちへ、いちへ

又 こかね、よすか、しよわちへ

又 なむちや、くため、しよわちへ

うらそいのおやのろかふし

108 ー あかなは、はいきやか、いよる、めつらし、かへら、おて、おや、あすひ、しよわちへ

又より、きよらと、より、みちると、このみよる
 又あか、なさか、ゑか、さうせら、きやめや
 又あか、なさか、ときとり、よら、きやめや

さうせら トアリテせらニアトヨリ、ヨ加ヘテラトセリ
 墨色甚分明

あおわやへかふし

109 一 まごころか、もちなし、よりあけ、もり、おれわちへ、てわん、わん、かくら、きやめ、とよま

又 なよくらは、すつなりは、もちなちへ

又 なさか、せん、おやか、せのこのみ

又 もゝかめは、やそかめは、すへて

又 あおの、てにの、たま、すたり、まき、あけて

又 けおの、うちの、いと、すたり、まき、あけて

又 なよくらか、うさししよ、よらふさは、おろちやれ

十一
ハ

110 一 くめの、こゑしのか、ゑ、け、みのかわ、うちちゑ、とよみ

又 もゝうら、こゑしのか、ゑ、け、みのかわ

又 けよの、よかるひにゑ、け、みのかわ

又 けよの、きやくるひに、ゑ、け、みのかわ

あおりやへかふし

十一
ハ

111 一 くめの、こゑしのか、世、よせ、あかす、おとん

又 もゝうら、こゑしのか

又 きゝゑ、あちおそいか

又 とよむ、あちおそいか

あおりやへかふし

ナ
ノ
ノ

112 一 くめの、こゑしのか、もううら、こゑしのか、せい、たかさ、とよみ、よわる、たゝみ

又 きゝゑ、あちおそいか とよむ、あちおそいか

又 くしかわの、もりに、かなぶくの、もりに

うらそいおもろのふし

ナ
ノ
ノ

113 一 せたかこは、たにま、御み事ろ、こゑしのか、もちよろゑて、みおやせ

又 あち、おそいや たにま、御み事ろ

又 あかくちやか、てるちろ

又 せるまゝか、てるちろ

又 さしふは、おもろは、せらす

又 むつきは、^{まじふ世}せるむは、^{おもろ世}しらす

あおりやへかふし

ナ
ノ
ノ

114 一 くしかわ、またま、●●うちは、けらへて、よく、けらへて、まはりよわる、せたかこ

又 かなぶくの、またま、うちは、けらへて

又
たうの、ふねせに、こかね、もちよせる、くすく、よくけらへて

み
お
や
た
い
り
お
も
ろ
御
さ
う
し

*てゐかはなうなしてし

*いのきりだ

稲之穂祭之時おもろ

*ウザンムン

*おれむち

あおりやへかふし *命せいのせ

五ノ

1ノ あまみきよかうさししよ、この、大しま、おれたれ、ともくすへ、おきやかもいす、
ちよわれ、

又 ほうはな、とて、ぬきあけは、ちり、さひは、つけ、るな

おしかけふし

十ノ

2ノ きこゑ、大きききや、けおの、うちの、のろく、あよそつて、かくら、ひやし、みおやせ
又 とよむ、せた、かこか、もちろうちの、のろく

うらおそいおもろのふし

廿ノ

3ノ せん、きみ、か、おれたちきみ、よしか、おれたち、もと、ひやし、うちあかるなさい、
きよ

又 あか、なさい、きよ、なけくな、せんきみしよ、しりよりめ

くにおそいきみのふし

十ノ

4ノ よき、けらへ、よきの、めつらしや、世かほう、まかほう、み^{おや}せ

又 きみ、けらへ、きみの、めつらしや

おちいてはいとかすおもろのふし

六へ

5ー きみ、かなし、なつ、たては、ゑのちかみ、このみ、しよわちへ、

又 わか、大さと、なつたては

うちいてか いつか●なつたしよかふし

6ー あおり、やへと、さすかさど、よそう、せち、もつ、たゝみ、

又 たゝみ、きよと、おき、くもと、

なつたてはかふし

四へ

7ー さすかさは、すゑの、ひやし、めつら、ひやし、みおやせ、

又 きみの、あちに、

うらおそいふし

五へ

8ー たまの、みそて、かなし、けらへ、みそて、かなし、かみ、すちや、そるて、ほこり、よわちへ

又 あうのたけ、大ぬし、なてすもり、大ぬし、

のろあかりのふし

五へ

9ー あまみや、は^ち、またる、しより、もり、くすくこれと、こかね、うち、たとわる

又 しねり、はち、またる、またま、もり、くすく

稲の大祭之時おもろ

かくらふし

十一ノ

10 一 きゝゑ、大きみきや、とよむ、さたか^せこか、さしふ、おれ、なおちへ

又 おほつゑかとりよわちへ たしま、きし^ら、なおちへ

おしかけふし

十一ノ

11 一 きゝゑ、大きみきや、けおの、うちの、もちよう、みしま いのて、あんしおそいに、みおやせ

又 とよむ、せたかこか、もちろ、うちの もちよう、

おしかけふし

十一ノ

12 一 きゝゑ、あおりやへや、せち、まさて、おれ、わちへ、世もつ、せち、あちおそいに、みおやせ

又 とよむくに、もりや、けお、そ^ひて、おれわちへ

おちいてはおしかけふし

四ノ

13 一 きゝゑ、なすかさか、もろと、ちよわれ、あちおそい、のち、まより、もろあち、なおしよわれ

又 とよむ、なすかさか、

三
へ

あふりやへかふし

14 一 ききゑ、大きききや、たお^{おほ}つゑか、とりよわちへ、けおの、うちは おし、あけて、あちおそいよ

ともすへ、ちよわれ

又 とよむ、せたかこか

四
へ

あふりやへかふし

15 一 しより、大きききや、とよむ、くにおそいきや、国ふさて、ちよわれ

又 けおの、うちに、もとて、もちろ、うちに、もとて

てかねまるふし

十
へ

16 一 ききゑ、大ききか、おほつ、せち、おるちへ、あんし、おそいよ、みまふて、きみくや、おほつ、

より、かくら

又 とよむせたかこか、かくら、せち、おるちへ

おしかけふし

一
へ

17 一 いるや、とよむ、大ぬし、かなや、とよむ、わかぬし、いるや、せち、みおやせ

又 たしま、おそう、あちおそいたきより、おそう、あちおそい

かみしも天とよみかふし

六
へ

18 一 ききゑ、きみ、かなし、とよむ、きみ、かなし、これと、たにの、また、やれ^又きゑ、あんしおそいや、とよむ、あち

おそいや、

又 つくし、ちやら、はきよわちへ、てかねまる、さく、よわちへ

きみなしふし

六へ

19 一 きこゑ、きみ、かなし、きみか、いのろ、もりに、ちよわちへ、しまか、おゑ、ちよわれ
又 とよむ、きみなしふし

やまきおもつふし

20 一 もくと、ふみあかりや、けさよりや、まはりもくとちやらのぬし●た、なりよわちへ
又 きみの、ふみ、あかりや

同ふし

21 一 もくと、ふみ、あかりや、みち、あけて、かなひやふ、てつて
又 きみの、ふみあかりや

知念久高行幸之御時おもろ

首里御城御打立之御時

ナ、ハ

むかしはしめからのふし

22 一 むかし、はちまりや、てたこ、大ぬしや、きよらや、てわ^り、よわれ
又 せのみ、はちまりや

与那原村稻福親雲上宿三御規式の御時

ナ、ハ

かくらふし

23 一 きこゑ、大ききみや、とよむ、^せたかこか、さしふ、おれなおちへ
又 おほつ^があり、とりよりちへたしま、きらなおちへ

右同所御打立前に

ハ、ハ

大きとのけすのおもいあんしきやふし

24 一 よなは、はま、きこゑ、大ききみやちよ、かけて、とよま^さに
又 あきりくち、とよむ大ききみやちよ

佐敷よりやけもりにて

ナ、ハ

うらそいのおやのろかふし

25 一 はしき、よりやけのもりにしま、よせる、つらみの、あるあち

又 ねくに、よりやけのもりに

さは御たけにて

きゑきみおそいかふし

26 一 きゑきみおそいかふし、さは、たけ、おれわちへ、うらぐと、おさうせやに、ちよわれ
又 とよむせたかこか、よりみちへい、おれわちへ

さは御棧敷にて

うちてはおしかけふし

27 一 さははたけ、みちやけ、あよ、あ、やれおせ
又 そこにや、たけ、みちやけ

御船に被召候御時

28 一 おしちへたる、あ、つかさ、あ、あは、いので、はりよる、あ、
又 はりいちへたる、あ、

御船帆上ヶの御時

ナニヘ

はつにしゃかふし

29 一 あかるいの、大ぬし、や、^{アナシ}やの、まほう、おしあけて、はりやせ

又 てたか、あなの、大ぬし

久高となかにて

ナニヘ

しまうちあおりやへかふし

30 一 あかるいの、つかさ、あかたかへ、つかさ、うみとちへ、かせなおちへ、つかい
又 てたか、あなの、つかさ

久高外間門との^{御門}三而御規式の御時

ナニヘ

ねいしまいしかふし

31 一 くだかあつめなに、くせきよらか、けおのうち、あらなきの、やくめ
又 ほかまあつめなに

知念大川にて御規式の御時

ナニヘ

やんのきくたけかふし

32 一 きくたけきくたけ、ちねんもり、くすく、かけて、ふなふな^わりちへ、かくらあつる、かもいいて

つて、おきやかもいに、みおやせ
又　とよむせたかこか

玉城やふさつの御い^へやの御前^に而

十九へ

33　うちいぢへかせちとよみせいぐさかふし
一　たしまおしかさか、とよみより、おきやなとより、みぢやる

又　たきより、おしかさか

玉城あまつゝにて

十八へ

かつれんはいきやるかつれんかふし

34　あまつゝは、あめたもす、むらね、あまつゝは、あいつまい、いきやかせ
又　あまつゝは、くれたもす、むらね

あかつきのおもろ

十七へ

おちいぢはあつきのとりのふし

35　あかるい^あの、けもより、たては、とほしり、やはしり、おしあけり^わちへ、みもん、きよらや
又　てたか、あなの、あけもより、たては

ナニ
ン

きくみあくむかふし
36 一 あかいの、大ぬし、ふゑの、とりの、かゝゑの、うちくと、きくきよらや
又 てたか、あなの、大ぬし

ナ
ハ

ひくなくらしろかふし
37 一 きくゑ大きみきや、おれつむか、たては、さは、しもはしり、おしあけれよ、ちやうしよ、
たますたれ、まきあけれよ、すてもの
又 とよむせたかこか、わかなつか、たては

御帰城の御時 附路次上下は知念佐敷おもろ

ナ
ハ

あけしのかふし

38 一 かみかなし、かみきよら、あおるこかせ、やもとる、くもはきやり、こかねしま、はち
おわち

又 のろかなし、のろきよら

雨乞の時おもろ

ナニ
ハ

39 一 やとり、こしらいや、めすかわの、まなづす、こゑか、おわち

又 もりの、こしらいや

又 みるやとるきや

又 かなやと^いるきや

又 あちはやす、なりきよら、おるち

又 しよはやす、なやすさ^まけて

昔神代に百浦添御普請御祝ひの時

おくらつかふし

ナミ
ハ

40 一 しよりおわる、てたこか、も^うらおそい、けらへて、たまはしり、たまやりと、みもん

又 くすくおわる、てたこか

しよりあとのふし

ナミ
ハ

41 一 しよりもりくすく、なかあきよら、御くすく、たりしよ、また、かみ下、とよめ

又 またまもりくすく

ナミ
ハ

42 一 し^しより^同おわる、てたこか、は^ち●やの、さいく、あとあて、はねうちする、こはいふさ、すたちへ

又 くすく、おわる、てたこか

唐船すらおるし又御茶飯之時

ナ
ミ
ハ

あかすめつらしやかふし

43 一 あかすめつらしや、いちらかす、おみまふてす、はりやせ

又 きみの、めつらしや

祝ひの時

ナ
ハ

きこへきみなしみちるまきりかふし

44 一 きこへ、きみかなし、ねいし、まいしの、あらきやめ、ちよわれ

又 尚様御冠船之時、此おもろニ成ル
とよむ、きみかなし

此処ニアルベキカ
あふりやへかふし

45 一 おきもかなしきや、てた、かみ、そろへて、まふよわれ

又 みかうかなしきや

ナ
ミ
ハ

46 一 ●こいしのか、さしふ、とのはらよ、しまてん、くにてん、みおやせ

又 しらけ、おゑて、きよらけ、おゑてから、しまてん、くにてん、みおやせ

御冠船之御時おもろ

十一ノ

しよりあとふし
尚穠様冠船之御時々おきもかなしきと云おもう二成ル文句上段ニ有ル
47 一 しよりおわるてたこかおもいくわのあすひなよりはのみもん

首里天尚益王加那しの美世にみおみ事をおかみおもう御双紙二部

書あらため申 老部は御城に御格護老部は言葉間書に調

おもう主取のかたへかくこおよせめされ候

皆大清康熙四十九年庚寅

是ヨリ六十年前ニ中山世鑑ノ撰アリ

七月三日

摂政

越来王子朝奇

識名親方盛命

三司官

幸地親方良象

池城親方安倚

奉行

津嘉山按司朝睦

主取

座間味親雲上景典

津 瀬親雲上実昌

立津親雲上全明

筆者

伊良皆^{筑登之}親雲上 実休

並里^{筑登之}親雲上 嗣喜

おもろ主取

宜野湾間切大山村

安仁屋親雲上

瑞慶田^{筑登之}文親雲上 正方

小渡筑登之 元敷

嘉数子 宗宣

明治廿八年五月十七日初校了

廿九年十二月十五日 旧おもろ主取^仁安屋家^ニノ本^ニ依テ校合

一ハ 一ハ むかしからの本
一ハ 廃藩後かきあらためしもの